

I 調査概要

◆調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、合志市における今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象地域

合志市内全域

(2) 調査対象

市内に在住する18歳以上の男女 3,000人

(3) 調査対象者の抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 回収率

45.4% (回収数 1,363 通、内無効票 0 通)

(5) 調査方法

郵送による配布、回収

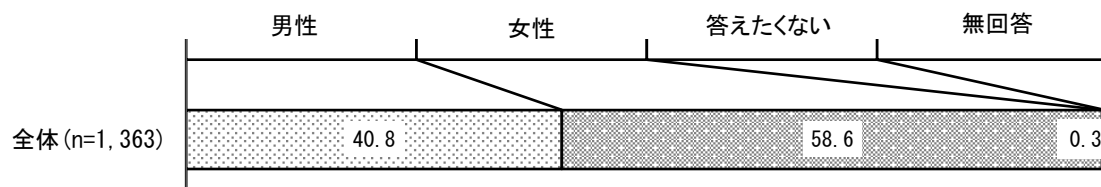
(6) 調査期間

令和3年4月24日～令和3年5月10日

3. 回答者の基本属性

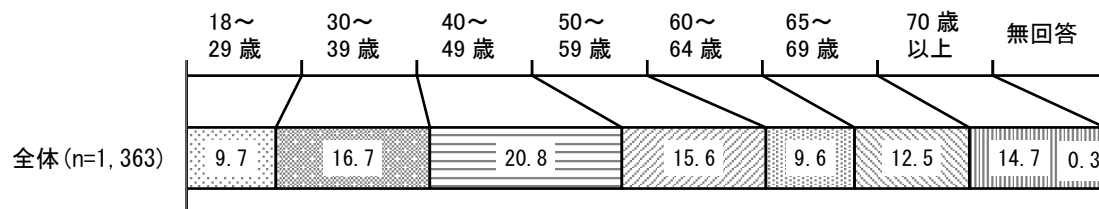
(1) 性別

- 「女性」が半数以上で、「男性」は約4割となっており、女性が上回っている。



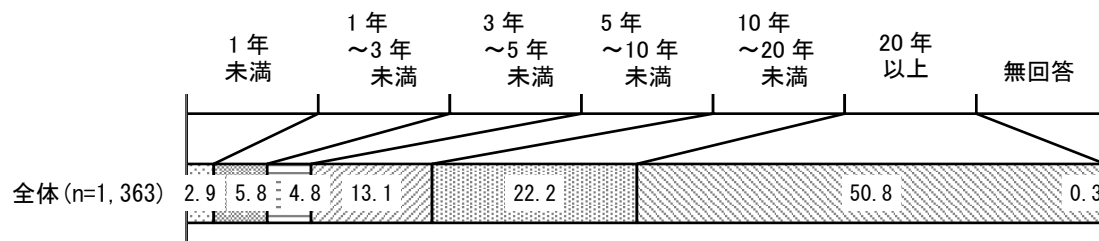
(2) 年齢

- 「40～49 歳」が 20.8%と最も多く、「30～39 歳」が 16.7%で続く。平成 27 年度の国勢調査結果と比較すると 40 代の割合が高く、20 代以下と 70 歳以上の割合が少ない。



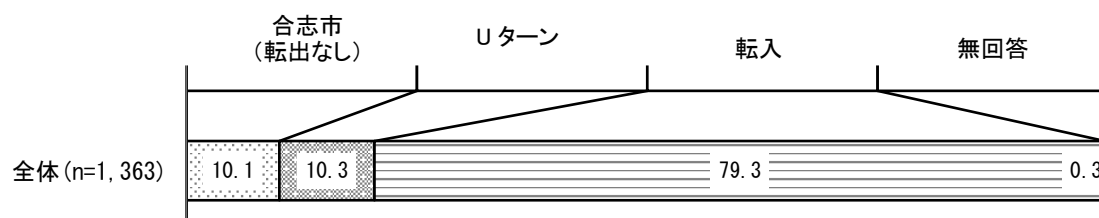
(3) 居住年数

- 「20 年以上」が 50.8%と半数を占めている。



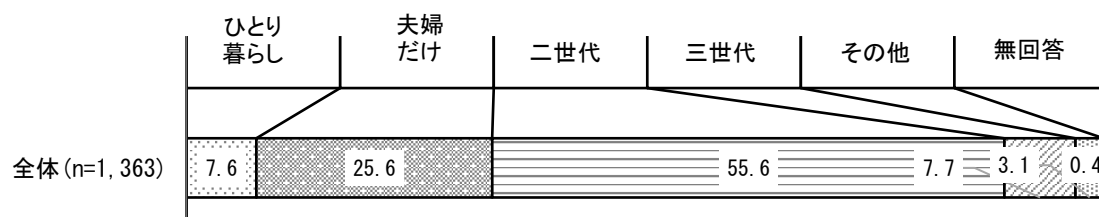
(4) 居住パターン

- 「転入」が約8割となっており、「合志市（転出なし）」、「U ターン」がそれぞれ1割となっている。



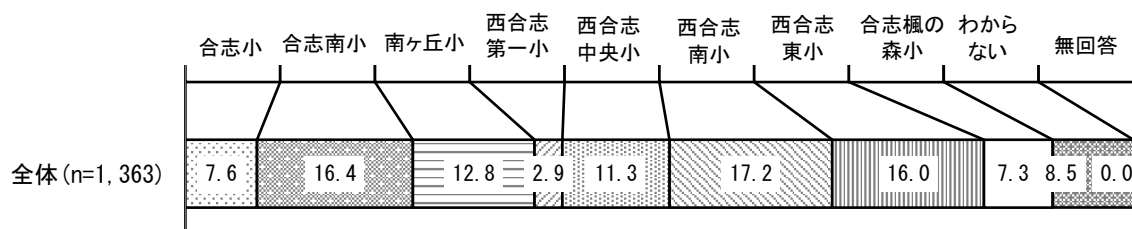
(5) 家族構成

- 「二世世代世帯（親と子）」が 55.6%と半数以上となっており、次いで夫婦だけの世帯」が 25.6%となっている。「ひとり世帯」「三世世代世帯（親と子と孫）」は1割未満となっている。



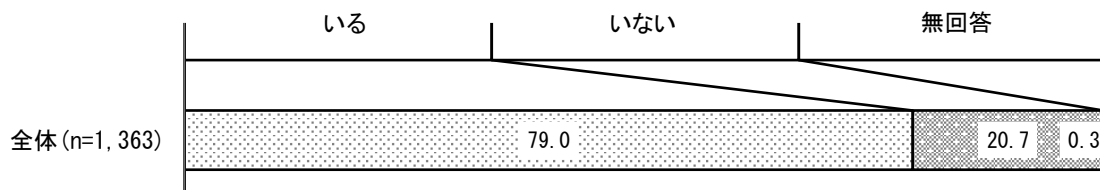
(6) 校区

- 「西合志南小」が 17.2%と最も多く、「合志南小」が 16.4%、「西合志東小」が 16.0%と続く。「南ヶ丘小」は 12.8%、「西合志中央小」は 11.3%、「合志小」は 7.6%、「合志颯の森小」は 7.3%となっている。なお「西合志第一小」は 2.9%と少ないため、数値を見る際に注意が必要である。



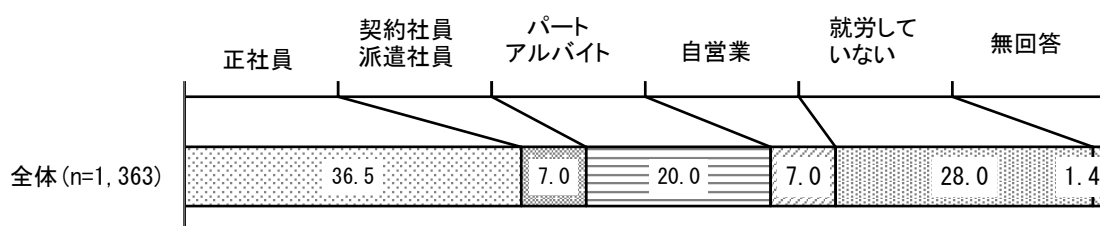
(7) 配偶者有無

- 「配偶者がいる」が79.0%と約8割を占めている。



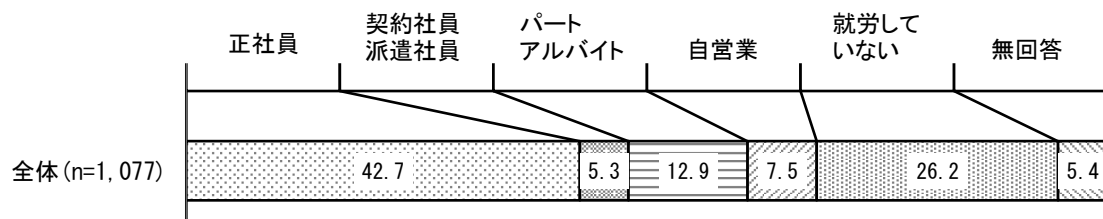
(8) 自身の職業

- 約7割が就労しており、「正社員」が36.5%、次いで「パート、アルバイト」が20.0%となっている。



(9) 配偶者の職業

- 配偶者がいる 1,077 人のうち、約7割が就労しており、配偶者の職業では「正社員」が42.7%と最も多く、「パート、アルバイト」が12.9%で続く。「就労していない」は26.2%となっている。



<基本属性の比較>

		令和3年度調査 n=1,363	令和2年度調査 n=1,329	平成31年度調査 n=1,116	平成30年度調査 n=934
性別	男	40.8	43.2	43.1	40.8
	女	58.6	56.1	56.0	58.0
	答えたくない	0.3	0.6	0.5	0.7
	無回答	0.3	0.1	0.4	0.4
年齢	18～29歳	9.7	10.1	8.6	10.4
	30～39歳	16.7	16.2	15.9	22.1
	40～49歳	20.8	21.3	20.9	24.0
	50～59歳	15.6	15.5	14.2	20.6
	60～64歳	9.6	10.1	12.9	17.9
	65～69歳	12.5	11.4	13.7	4.4
	70歳以上	14.7	15.5	13.5	0.5
	無回答	0.3	0.0	0.3	0.2
自分の職業	正社員	36.5	39.7	36.3	42.9
	契約・派遣社員	7.0	5.0	5.4	5.9
	パート・アルバイト	20.0	17.8	16.8	19.0
	自営業	7.0	6.0	6.6	8.1
	就労していない	28.0	30.1	33.9	22.3
	無回答	1.4	1.4	1.1	1.8
居住パターン	合志市（転出なし）	10.1	23.4	22.7	24.3
	Uターン	10.3	76.4	76.9	74.9
	転入	79.3			
	無回答	0.3	0.2	0.4	0.7
居住年数	1年未満	2.9	3.2	3.4	4.9
	1～3年未満	5.8	5.7	4.0	7.5
	3～5年未満	4.8	6.4	4.7	6.5
	5～10年未満	13.1	11.7	9.9	13.1
	10～20年未満	22.2	21.0	22.9	20.4
	20年以上	50.8	51.3	54.6	47.3
	無回答	0.3	0.7	0.4	0.2
校区	合志小	7.6	9.2	8.8	8.4
	合志南小	16.4	22.0	20.5	20.4
	南ヶ丘小	12.8	13.8	14.4	12.3
	西合志第一小	2.9	3.0	2.2	2.0
	西合志中央小	11.3	10.5	11.7	11.3
	西合志南小	17.2	16.9	14.2	15.2
	西合志東小	16.0	16.9	20.1	21.1
	合志楓の森小	7.3			
	わからない	8.5	7.8	8.1	9.2
家族構成	ひとり世帯	7.6	5.8	5.9	4.0
	夫婦だけ	25.6	25.6	28.1	21.5
	二世帯世帯	55.6	56.5	55.1	62.2
	三世帯世帯	7.7	8.2	7.6	8.4
	その他	3.1	3.1	3.0	3.5
	無回答	0.4	0.8	0.2	0.4
配偶者	いる	79.0	78.4	76.0	77.6
	いない	20.7	21.4	23.5	22.1
	無回答	0.3	0.2	0.5	0.3
配偶者の職業	正社員	42.7	40.3	37.7	42.9
	契約・派遣社員	5.3	4.7	5.3	5.9
	パート・アルバイト	12.9	16.6	15.2	19.0
	自営業	7.5	7.9	7.9	8.1
	就労していない	26.2	27.7	30.7	22.3
	無回答	5.4	2.8	3.2	1.8

※平成30年度は国勢調査結果と比較して、65歳以上の高齢者の割合が4.9%と極端に低く、若い年齢層の回答者が多かったことから、結果を比較する際には注意が必要である。

Ⅱ 調査結果

◆日常生活について

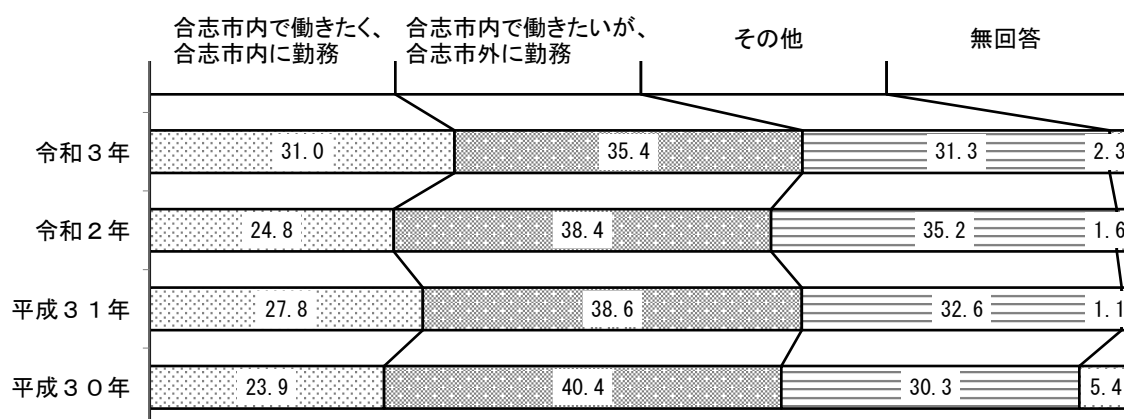
1. 職場について

(1) 働く場所（問10）

あなたは、合志市内で働きたいと思いますか。また合志市内で勤務していますか。

自営業以外で働いている867人について、合志市内での就労意向と実際の勤務状況を尋ねたところ、合志市内で働きたいと思っている人（「合志市内で働きたい」と思っており、合志市内に勤務している」＋「合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している」）は66.4%となっている。しかしながら実際に市内に勤務している人の割合は全体の31.0%であり、市内で働きたいと思っている人の半数以下である。

昨年度と比較して大きな違いはみられていないが、合志市内で働きたいと思っている人の割合はやや増加している。

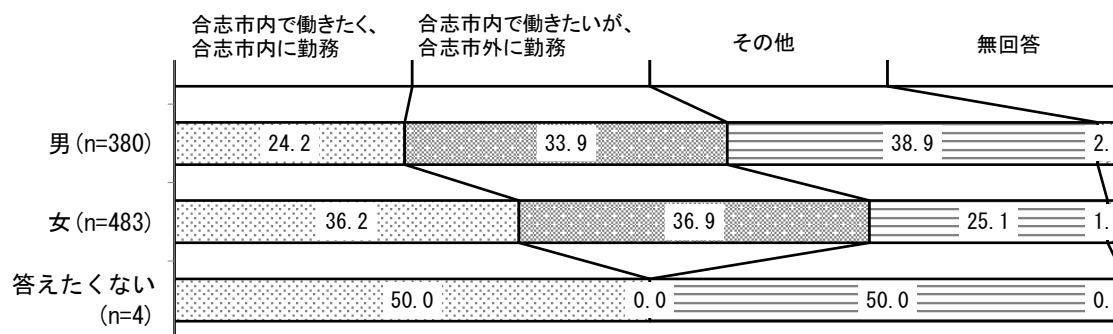


※平成30年調査までは今回の選択肢に加え「合志市内で働きたいと思っていないが、合志市内に勤務している」「合志市内で働きたいとは思ってはならず、合志市外に勤務している」があったが、比較するためにこれらを「その他」としてまとめた。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している	269	31.0	206	24.8	181	27.8	151	23.9	132	23.5
2 合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している	307	35.4	319	38.4	251	38.5	256	40.4	221	39.4
3 その他	271	31.3	292	35.2	213	32.7	192	30.3	175	31.2
4 無回答	20	2.3	13	1.6	7	1.1	34	5.4	33	5.9
合計	867	100.0	830	100.0	652	100.0	633	100.0	561	100.0

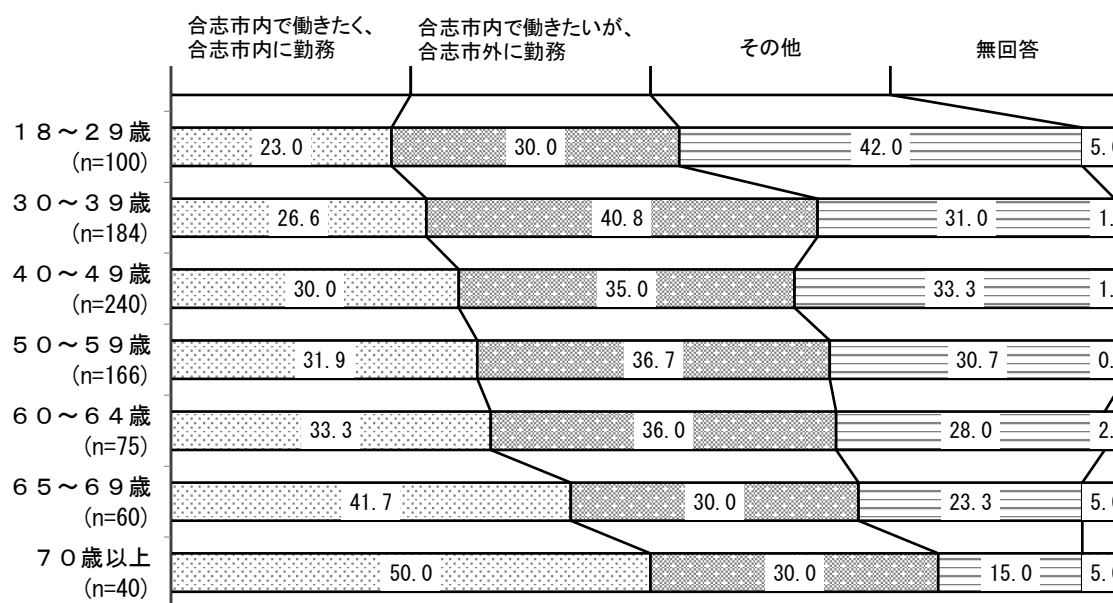
【性別】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、男性 58.1%に対し、女性 73.1%と女性の方が高くなっている。
- また実際に合志市内で勤務している人の割合も男性 24.2%、女性 36.2%と女性の方が高くなっている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



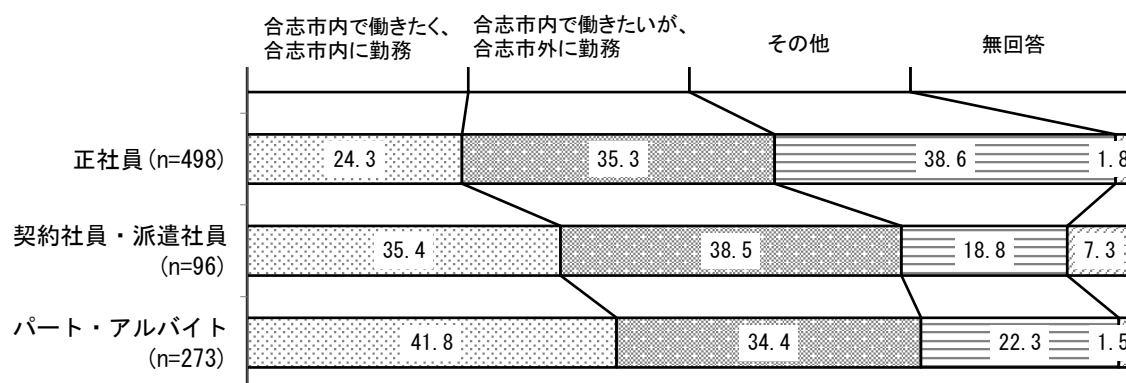
【年齢】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、30代が67.4%と最も高く、全体的に年齢が高くなるほど増加している。20代以下では53.0%だが、30代から50代では6割を超え、60歳以上では7割を超えている。
- 30～60代で、実際に合志市内で勤務している人と合志市外で勤務している人の割合はいずれも約3～4割となっている。65～69歳で41.7%、70歳以上では50.0%と高くなっているが、他の年代ではいずれも合志市外で勤務している人が市内で勤務している人を上回っている。



【職業】

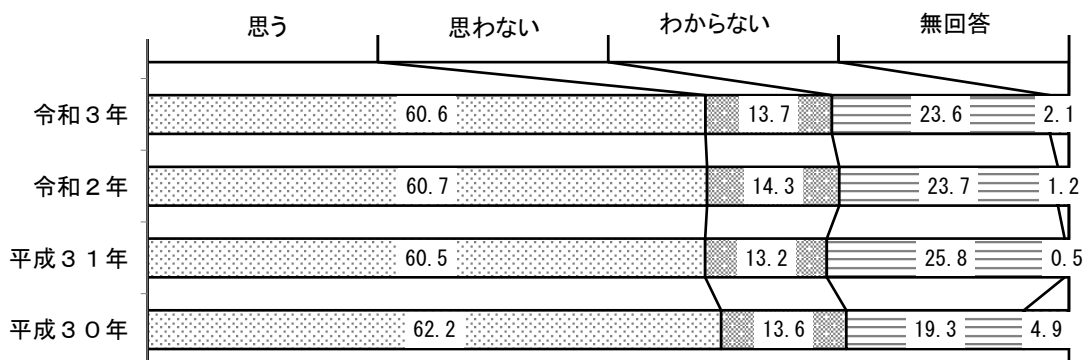
- 合志市内で働きたいと思っている割合は、正社員 59.6%、契約社員・派遣社員 73.9%、パート・アルバイト 76.2%となっており、非正規雇用で働いている人の方が市内で働きたいという意向を持つ人の割合が高くなっている。
- 実際に合志市内に勤務している割合は、パート・アルバイトが 41.8%と最も高く、契約社員・派遣社員 35.4%、正社員 24.3%である。



(2) 継続勤務意向 (問 1 1)

あなたは、今の職場で今後も継続して働きたいと思いますか？

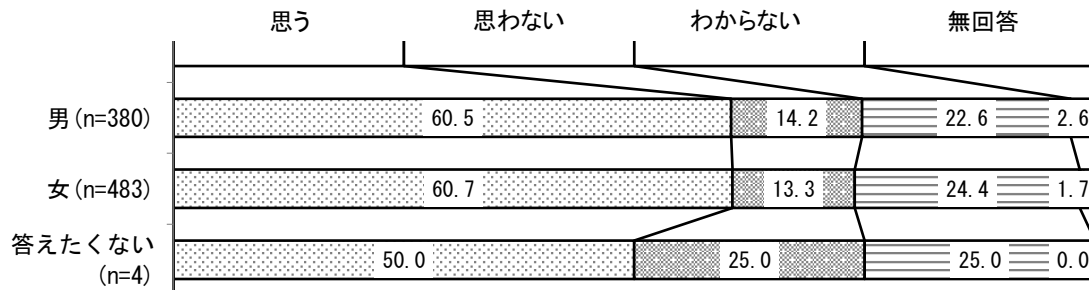
今の職場で今後も継続して働きたいと思っている人の割合は 60.6%となっている。働きたいと思わない人の割合は 13.7%で、わからないは 23.6%となっている。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	525	60.6	504	60.7	394	60.4	394	62.2
2 思わない	119	13.7	119	14.3	86	13.2	86	13.6
3 わからない	205	23.6	197	23.7	168	25.8	122	19.3
4 無回答	18	2.1	10	1.2	4	0.6	31	4.9
合計	867	100.0	830	100.0	652	100.0	633	100.0

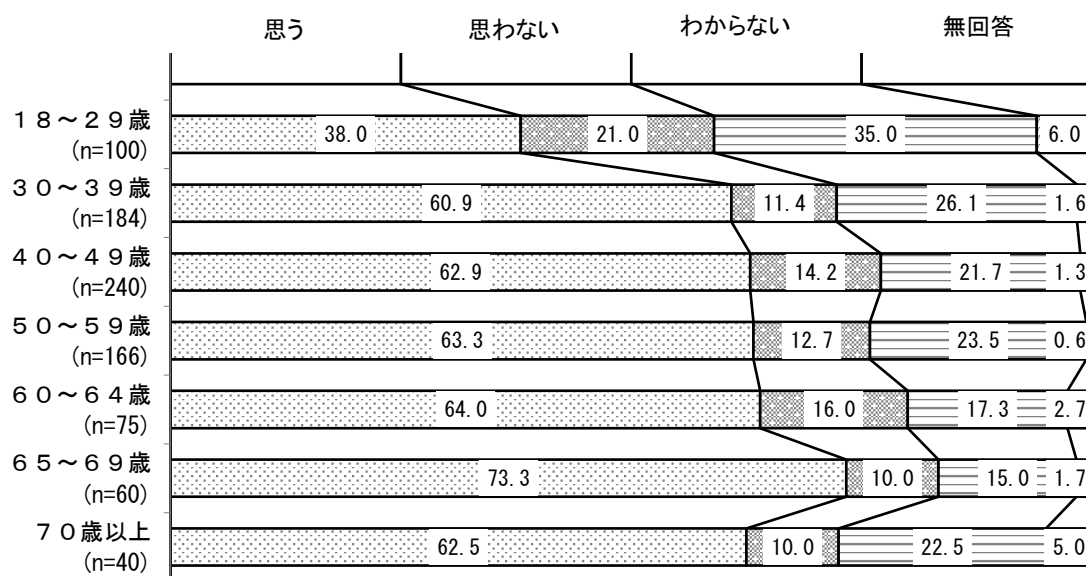
【性別】

- 今の職場で今後も継続して働きたいと思っている人の割合は、男性が 60.5%、女性が 60.7%となっており、男女で大きな違いはみられていない。



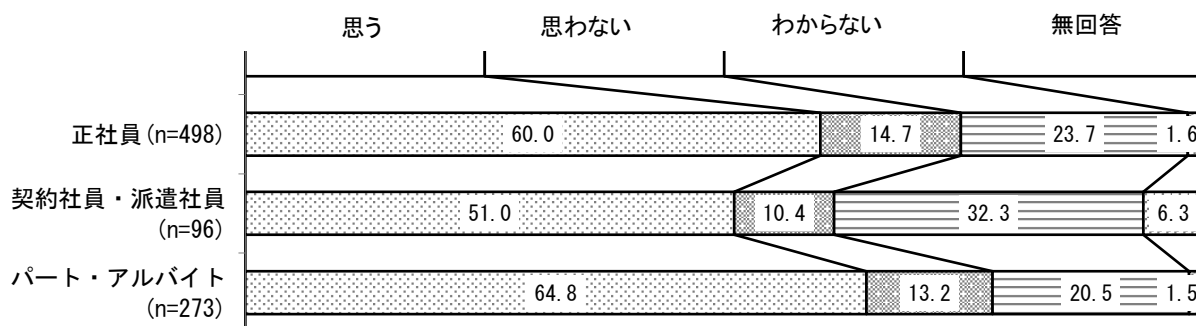
【年齢別】

- 今の職場で今後も継続して働きたいと思っている人の割合は、20代以下では38.0%と低くなっているが、他の全ての年代においては6割以上となっている。



【職業】

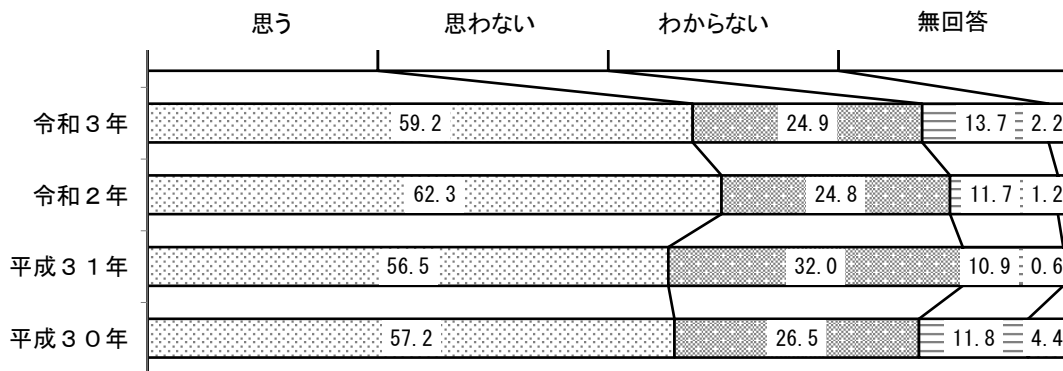
- 今の職場で今後も継続して働きたいと思っている人の割合は、正社員、パート・アルバイトと比較して契約社員・派遣社員が約10ポイント低い。



(3) 福利厚生（問 1 2）

あなたの職場の福利厚生は、十分だと思いますか？

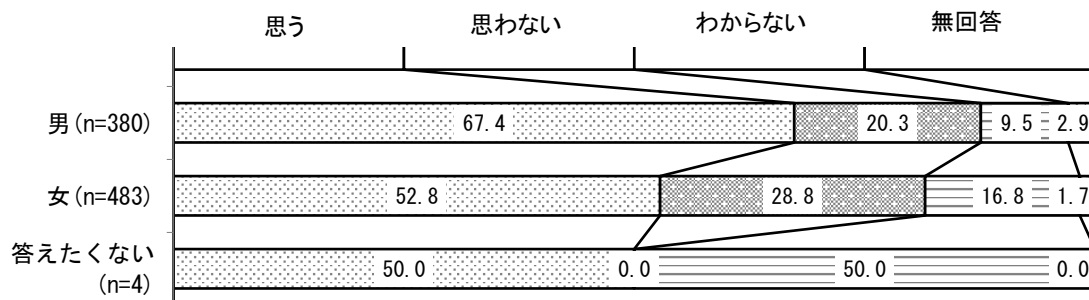
職場の福利厚生が十分だと思っている人の割合は 59.2%、思っていない人の割合は 24.9%となっている。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	513	59.2	517	62.3	368	56.4	362	57.2
2 思わない	216	24.9	206	24.8	208	31.9	168	26.5
3 わからない	119	13.7	97	11.7	71	10.9	75	11.8
4 無回答	19	2.2	10	1.2	5	0.8	28	4.4
合計	867	100.0	830	100.0	652	100.0	633	100.0

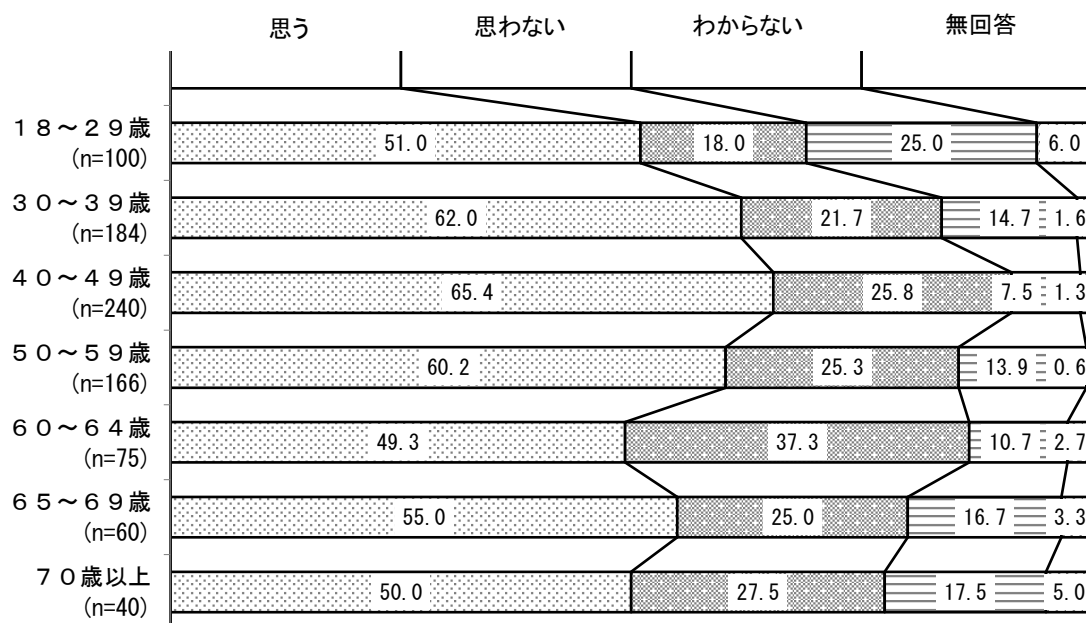
【性別】

- 職場の福利厚生が十分だと思っている人の割合は、男性 67.4%、女性 52.8%と男性の方が高く、男女で約 15 ポイントの差が見られる。女性では約 3 割が十分だと思っていない。



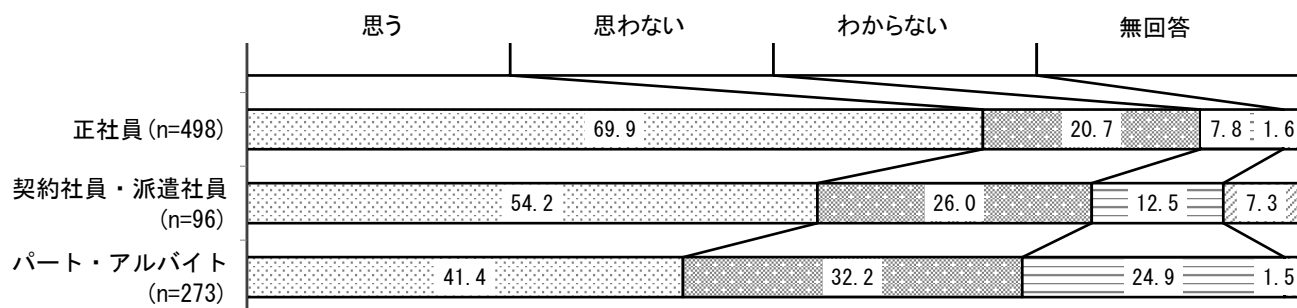
【年齢別】

- 職場の福利厚生が十分だと思っている人の割合は、30～50代では6割以上となっている。
- 昨年度と比較して20代以下では11.9ポイント、60代前半では19.1ポイント減少している。



【職業】

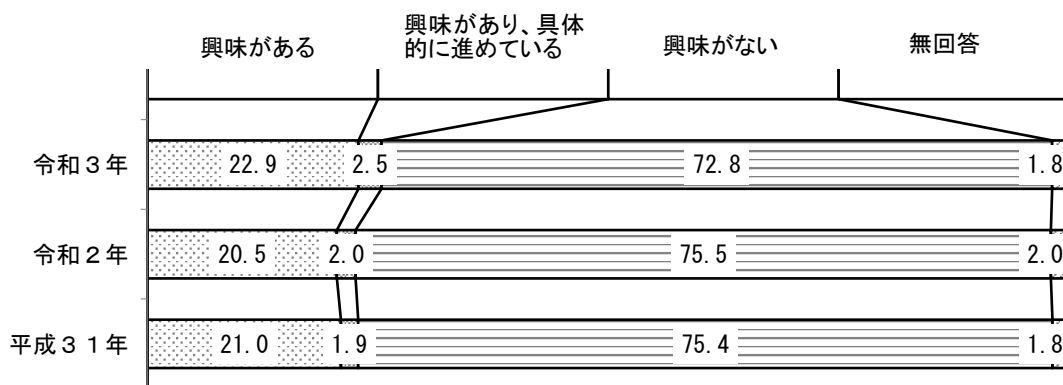
- 職場の福利厚生が十分だと思っている人の割合は、正社員では69.9%、契約社員・派遣社員では54.2%となっているが、パート・アルバイトでは41.4%と低くなっている。
- 昨年度と比較して、契約社員・派遣社員においては十分だと思っている人の割合は6.4ポイント減少している。



(4) 起業について（問9）

あなたは、起業に興味がありますか。

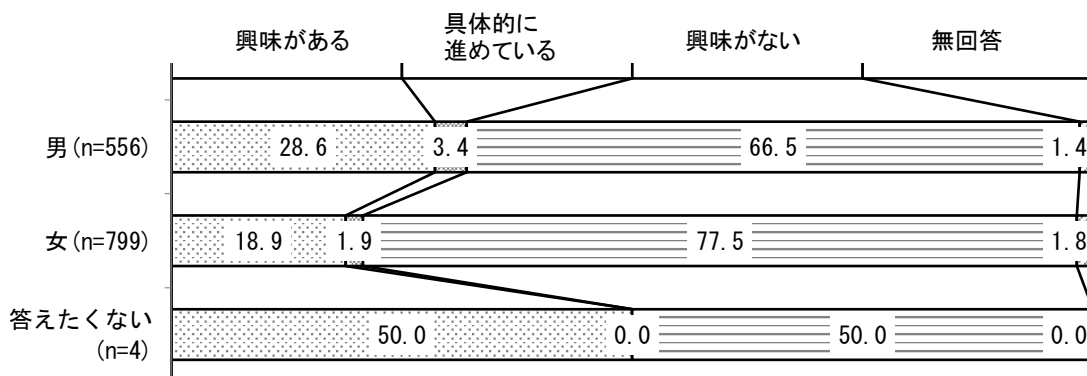
起業に興味がある人（「興味がある」＋「興味があり、具体的に進めている」）の割合は25.4%、興味がない人の割合は約7割となっている。興味がある、また興味があり具体的に進めているという人の割合は年々増加している。



	令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%
1 興味がある	312	22.9	273	20.5
2 興味があり、具体的に進めている	34	2.5	27	2.0
3 興味がない	992	72.8	1003	75.5
4 無回答	25	1.8	26	2.0
合計	1363	100.0	1329	100.0

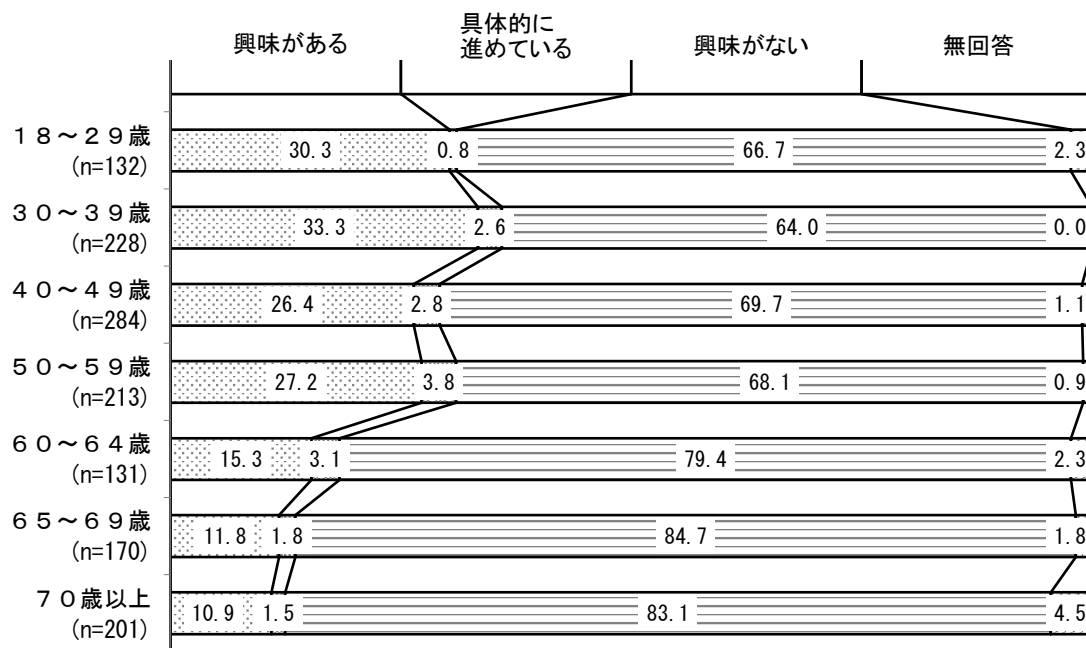
【性別】

- 起業に興味がある人の割合は、男性は32.0%、女性は20.8%と男性が女性を上回っている。



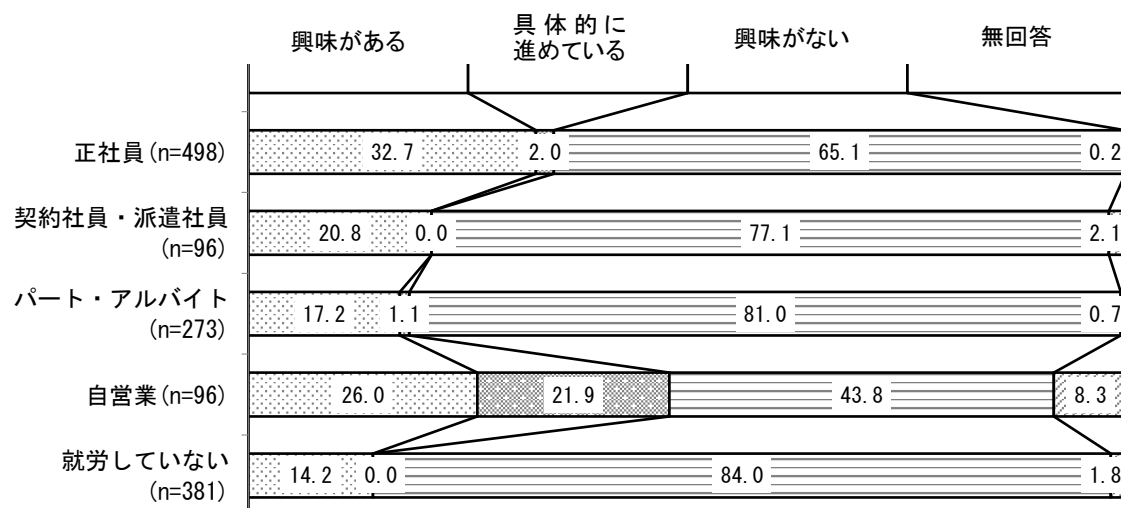
【年齢別】

- 起業に興味がある人の割合は30代で35.9%と最も高く、50代以下では3割前後となっている。
- 昨年度と比較して、興味がある人の割合は60代を除いた全ての年代で増加している。特に20代以下においては13.2ポイント増加している。



【職業別】

- 起業に興味がある人の割合は就労している人の方が高く、自営業では47.9%、正社員では34.7%が関心を持っている。特に自営業では具体的に進めている人の割合は21.9%と多くなっている。



2. 地域活動等への参加について

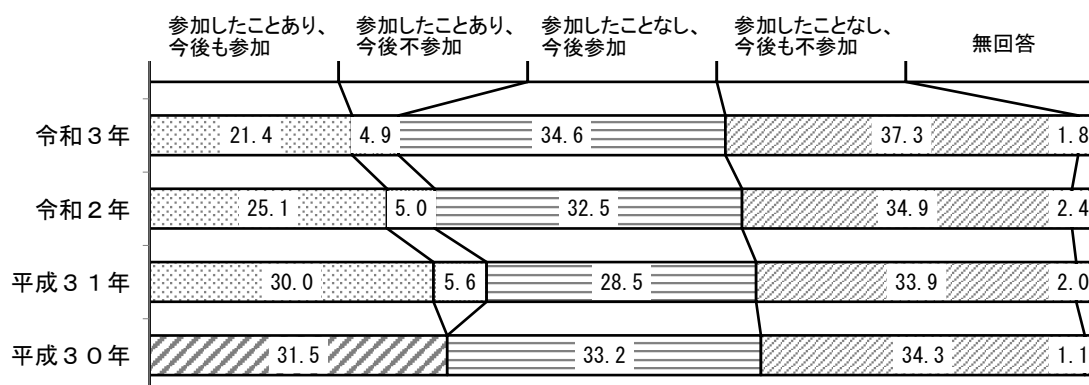
(1) 地域活動への参加（問16）

あなたは、過去1年間で地域の活動やボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、地域の活動やボランティア活動、NPO活動などに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は26.3%となっており、参加していない人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が71.9%と約7割を占めている。

しかしながら、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は56.0%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の42.2%を上回っている。

昨年度までと比較して参加した人の割合が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。

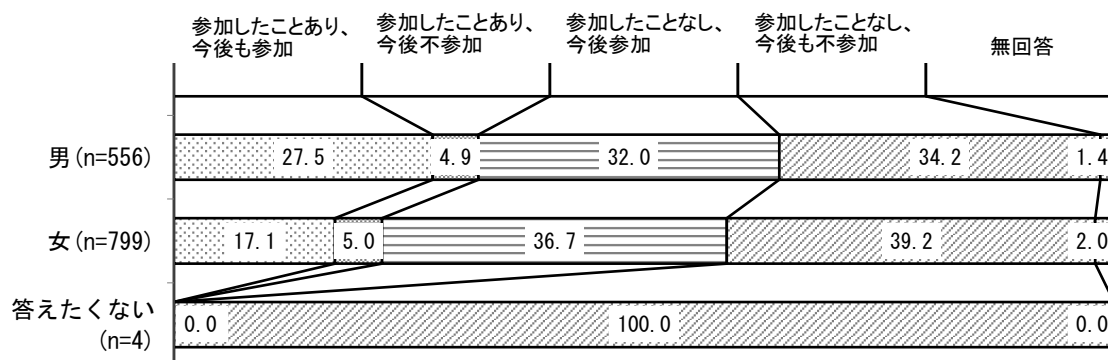


※平成30年までの選択肢は「参加したことがある、または現在参加している」「参加したことはないが、今後参加したい」「参加したこともなく、今後も参加したくない」であったため、今後の参加意向については比較に注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	292	21.4	334	25.1	335	30.0	294	31.5
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	67	4.9	67	5.0	63	5.6		
3 参加したことはないが、今後は参加したい	471	34.6	432	32.5	318	28.5	310	33.2
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	509	37.3	464	34.9	378	33.9	320	34.3
5 無回答	24	1.8	32	2.4	22	2.0	10	1.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

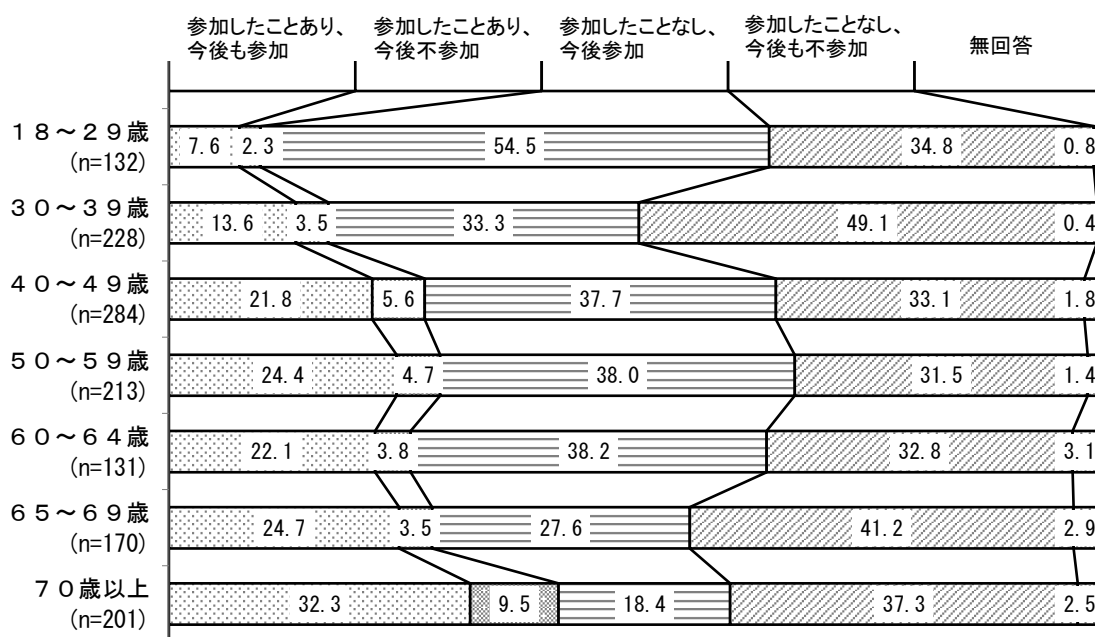
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 32.4%、女性 22.1%と男性の方が多い。男性は昨年度と変わらず、女性は平成 31 年度以降顕著に減少している。
- 今後の参加意向がある人の割合は男性 59.5%、女性 53.8%であり、昨年度はほぼ同率であったが、今年度は差が開いている。



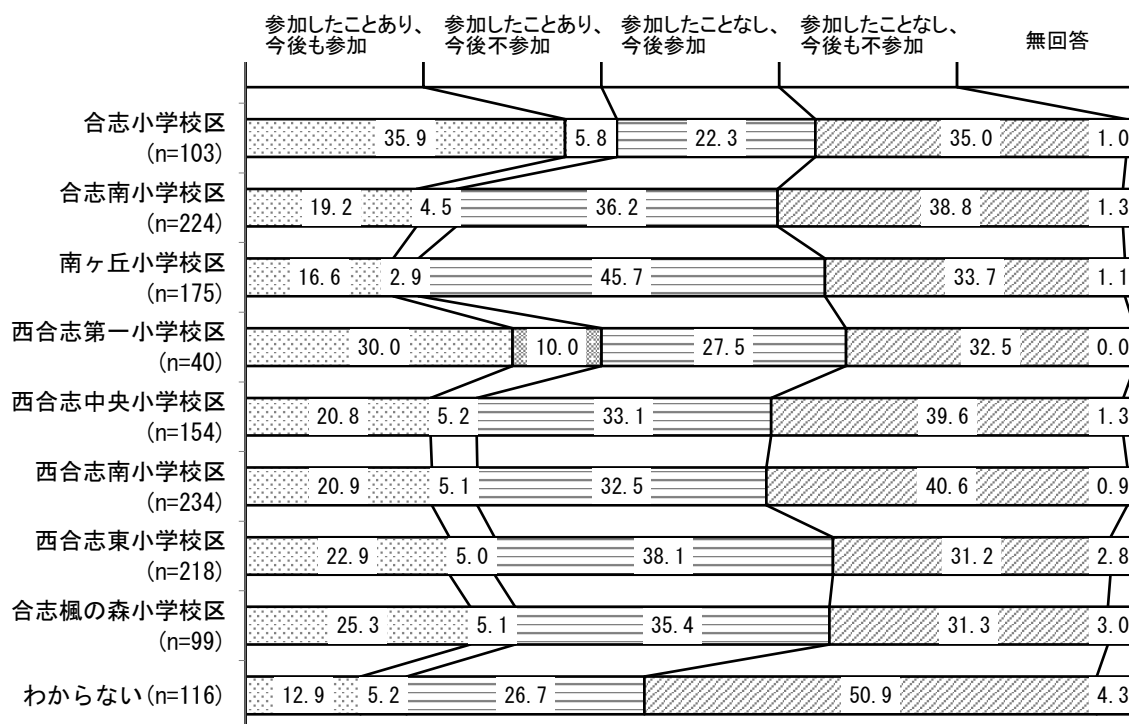
【年齢別】

- 参加した人の割合は年齢とともに増えている。20 代以下では 9.9%と 1 割に満たないが、70 歳以上の高齢者では 4 割を超えている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、参加した人の割合が低かった 20 代以下において昨年度より約 10 ポイント増加している。また 40 代以上のどの年代も、5 割以上の人が参加意向を示している。



【校区别】

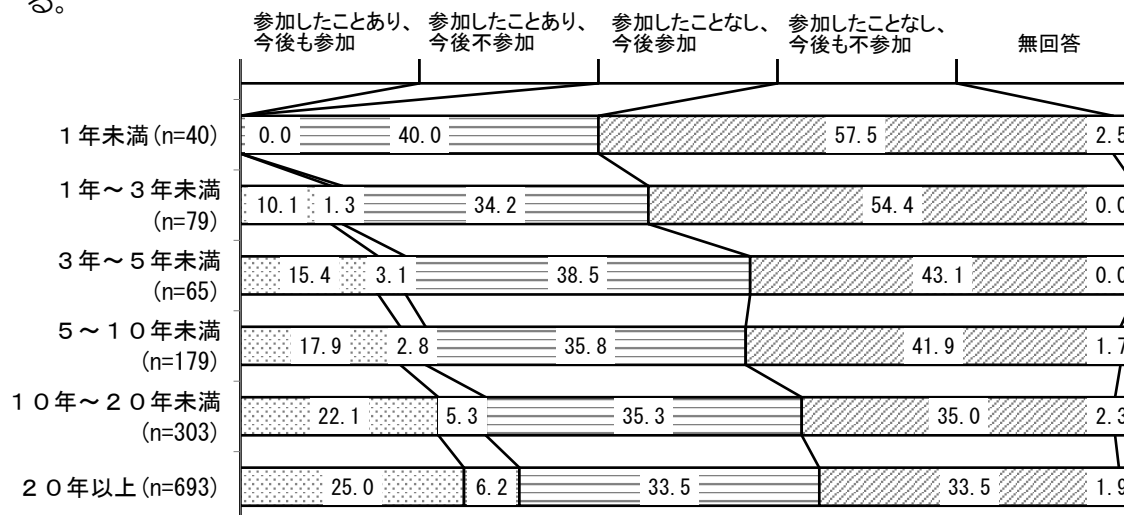
- 参加した人の割合は、合志小 41.7%、西合志第一中央小 40.0%と高く、他の多くの校区は3割以下である。
- 今後の参加意向がある人の割合はすべての校区で半数以上となっており、南ヶ丘小、西合志東小、合志楓の森小では6割を超えている。（「合志楓の森小学校区」は令和3年度より選択肢に追加された）



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 居住年数が高いほど参加経験者は増えており、居住年数20年以上では31.2%となっている。
- 今後の参加意向については、居住年数3年以上では5割以上の人が参加意向を示している。



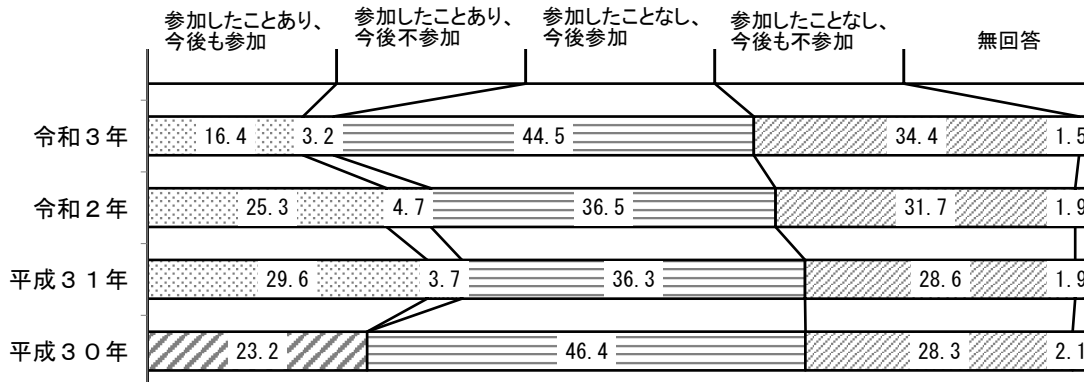
(2) 市のイベント等への参加（問17）

あなたは、過去1年間で市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加した人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）は19.6%となっており、参加したことがないという人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が78.9%と約8割を占めている。

しかしながら、今後参加したいと考えている人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）は60.9%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の37.6%を上回っている。

昨年度と比較して参加した人の割合が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染防止のための活動自粛が影響していると考えられる。

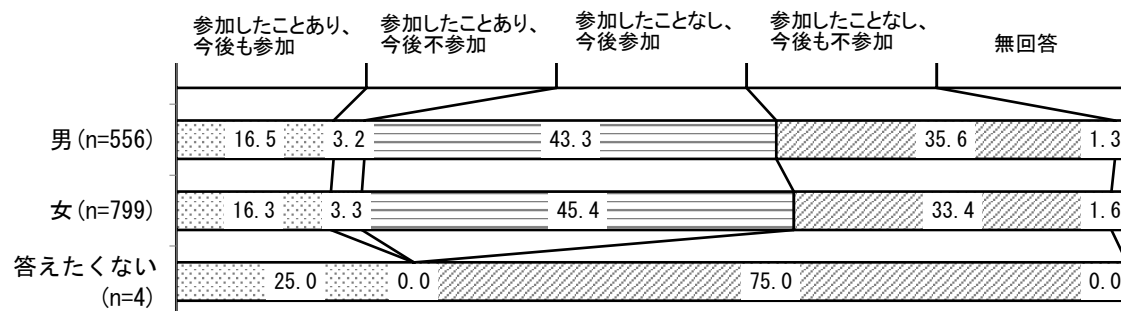


※昨年までの選択肢は「参加したことがある、または現在参加している」「参加したことはないが、今後参加したい」「参加したこともなく、今後も参加したくない」であったため、今後の参加意向については比較に注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあります、今後も参加したい	224	16.4	336	25.3	330	29.6	217	23.2
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	44	3.2	62	4.7	41	3.7		
3 参加したことはないが、今後は参加したい	606	44.5	485	36.5	405	36.3	433	46.4
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	469	34.4	421	31.7	319	28.6	264	28.3
5 無回答	20	1.5	25	1.9	21	1.9	20	2.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

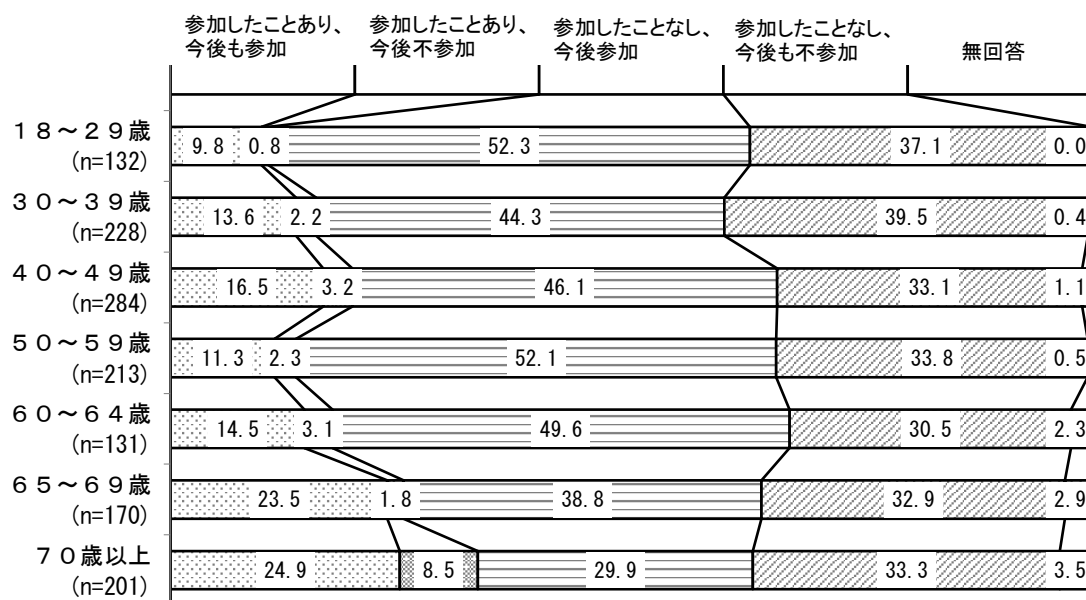
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 19.7%、女性 19.6%とほぼ同数となっている。男女ともに昨年度より減少している。



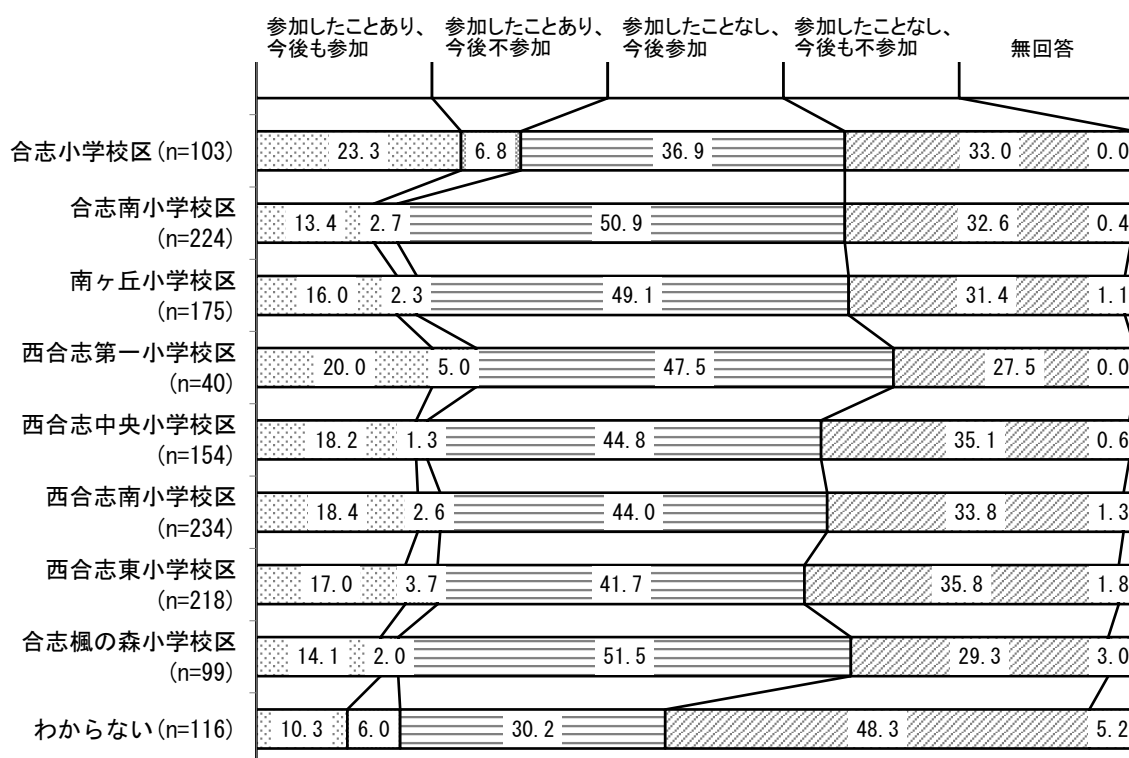
【年齢別】

- 参加した人の割合は 20 代以下では約 1 割と低く、70 歳以上を除いた他の年代は 3 割未満である。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの年代でも 5 割以上となっており、特に 20 代以下では昨年度よりも 15.8 ポイント増加している。



【校区别】

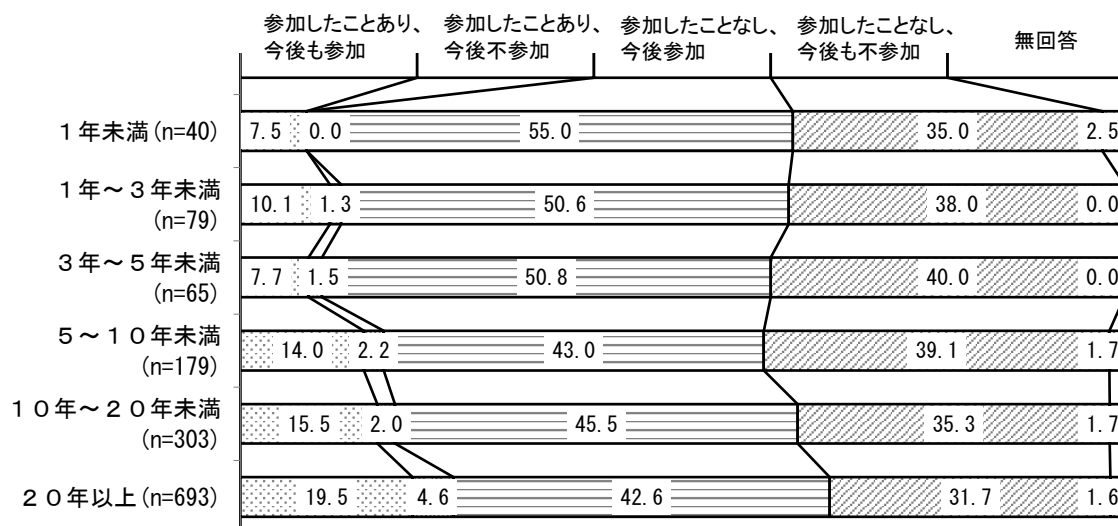
- 参加した人の割合は、合志小で約3割と最も多くなっており、その外の校区においては2割程度となっているである。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの校区でも5割以上となっており、特に西合志第一小では7割近くとなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 参加した人の割合は居住年数が長くなるにしたがって増えている。また居住年数3～20年未満の参加者数の割合は、昨年度と比較して10ポイント以上減少している。
- 今後の参加意向がある人の割合は、居住年数に関係なく、半数以上を占めている。



3. 子育てについて

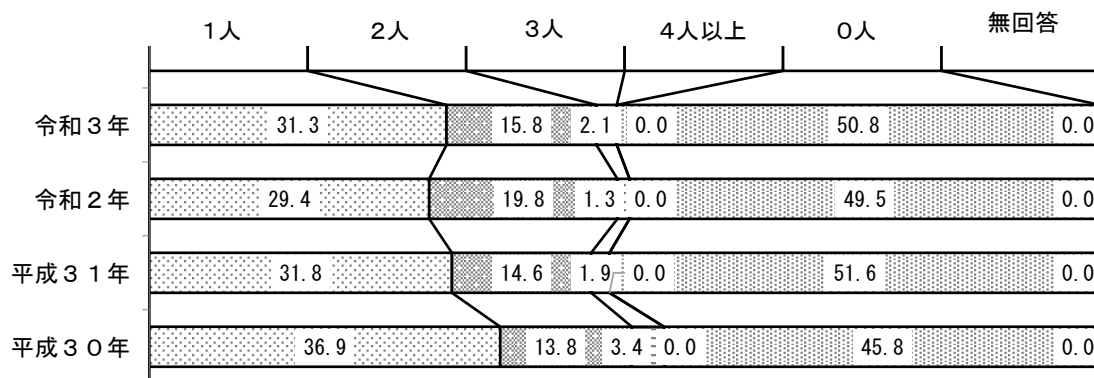
(1) 子どもの数（問13）

中学生以下のお子様は何人いますか？

中学生以下の子どもがいる419人のうち、就学前の子どもがいる人の割合は49.2%、小学生の子どもがいる人の割合は58.7%、中学生の子どもがいる人の割合は30.6%となっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

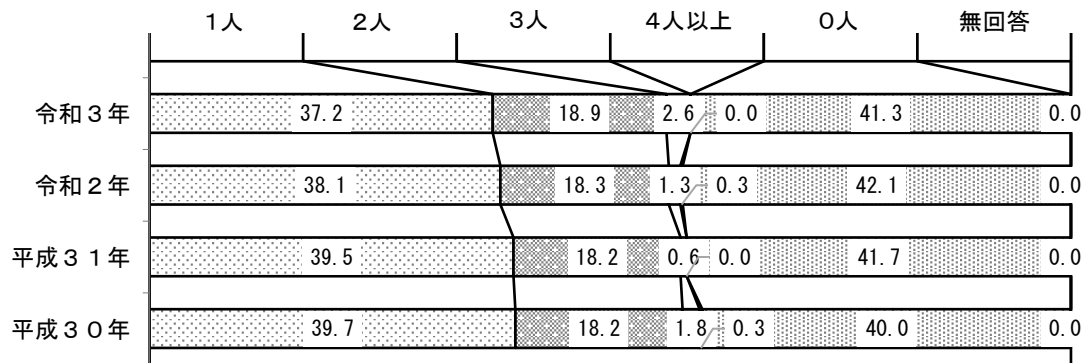
＜就学前の子ども＞



【就学前】

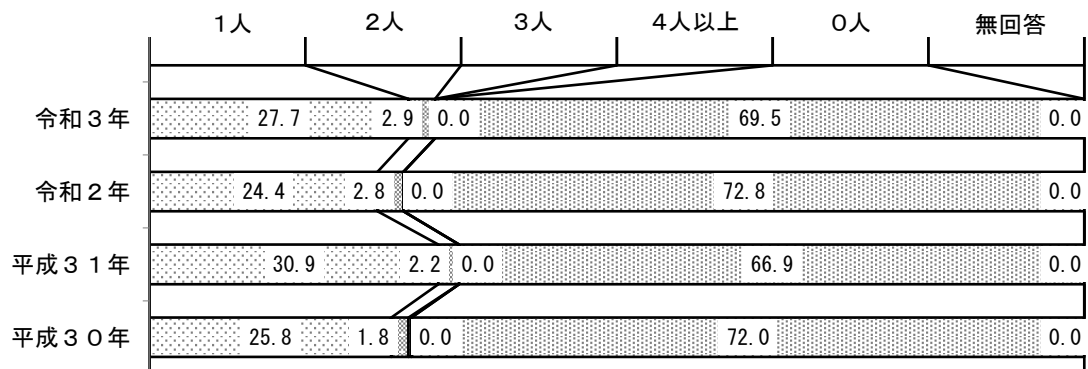
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	213	50.8	195	49.5	162	51.6	149	45.8
2 1人	131	31.3	116	29.4	100	31.8	120	36.9
3 2人	66	15.8	78	19.8	46	14.6	45	13.8
4 3人	9	2.1	5	1.3	6	1.9	11	3.4
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	419	100.0	394	100.0	314	100.0	325	100.0

<小学生の子ども>



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	173	41.3	166	42.1	131	41.7	130	40.0
2 1人	156	37.2	150	38.1	124	39.5	129	39.7
3 2人	79	18.9	72	18.3	57	18.2	59	18.2
4 3人	11	2.6	5	1.3	2	0.6	6	1.8
5 4人以上	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.3
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	419	100.0	394	100.0	314	100.0	325	100.0

<中学生の子ども>



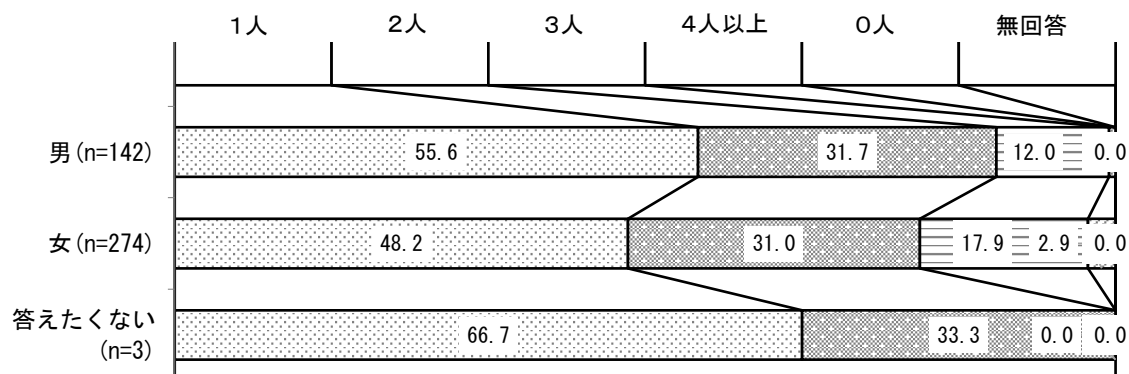
【中学生】

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	291	69.5	287	72.8	210	66.9	234	72.0
2 1人	116	27.7	96	24.4	97	30.9	84	25.8
3 2人	12	2.9	11	2.8	7	2.2	6	1.8
4 3人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	419	100.0	394	100.0	314	100.0	325	100.0

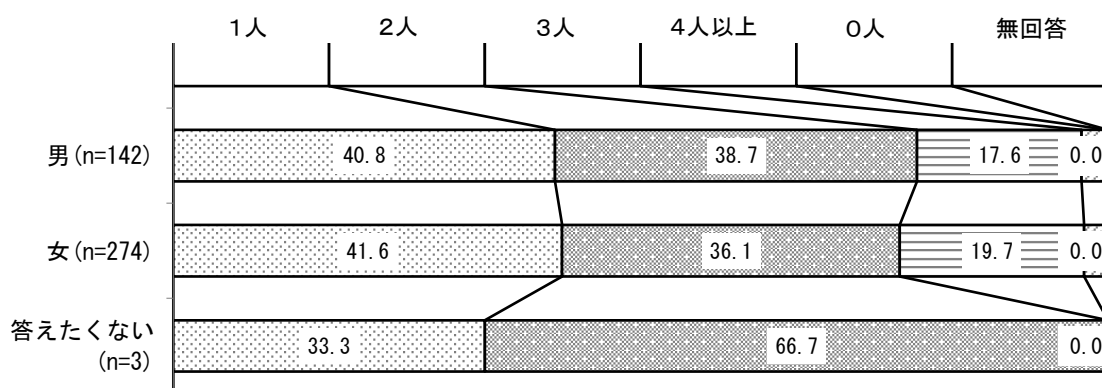
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。

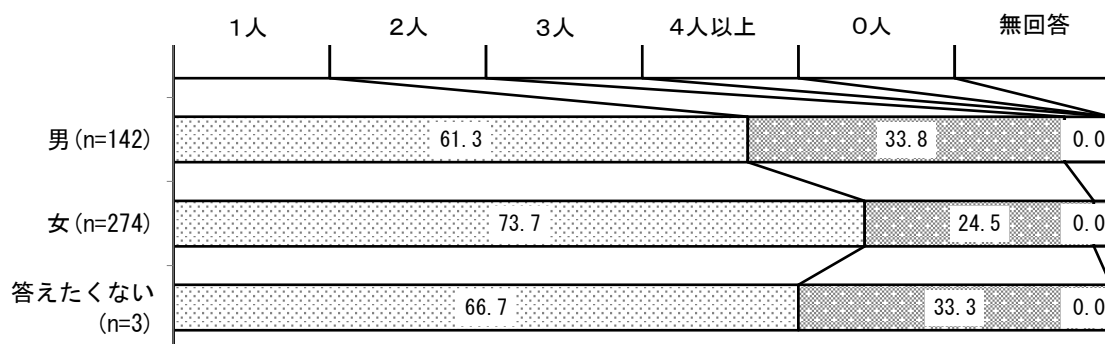
＜就学前の子ども＞



＜小学生の子ども＞



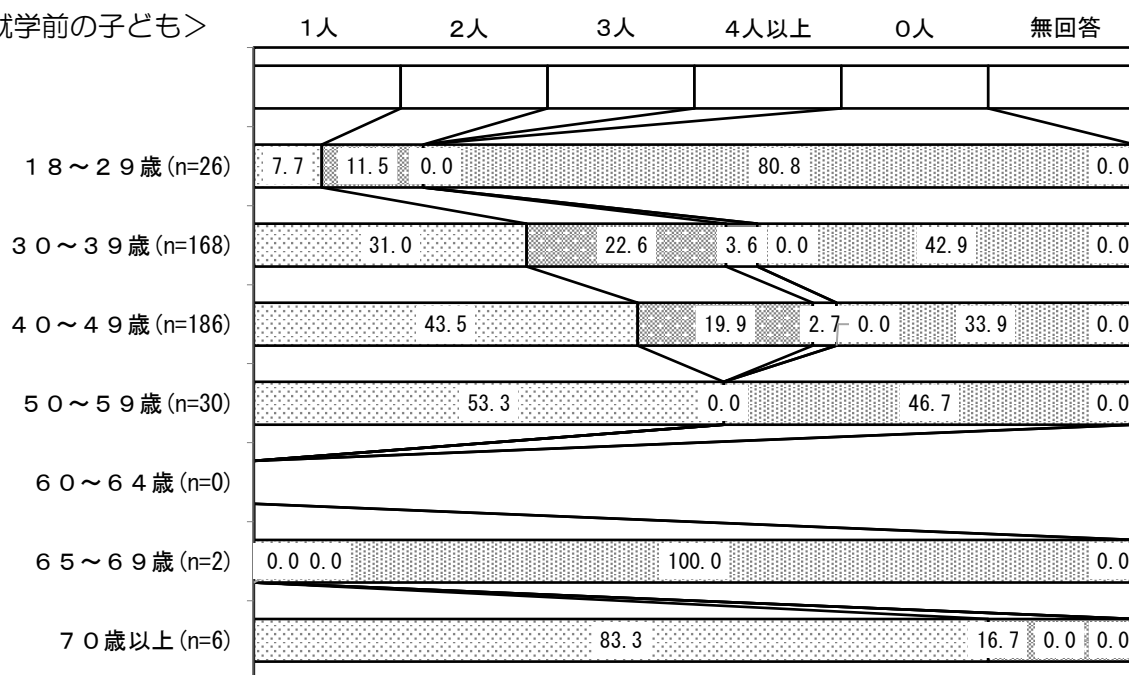
＜中学生の子ども＞



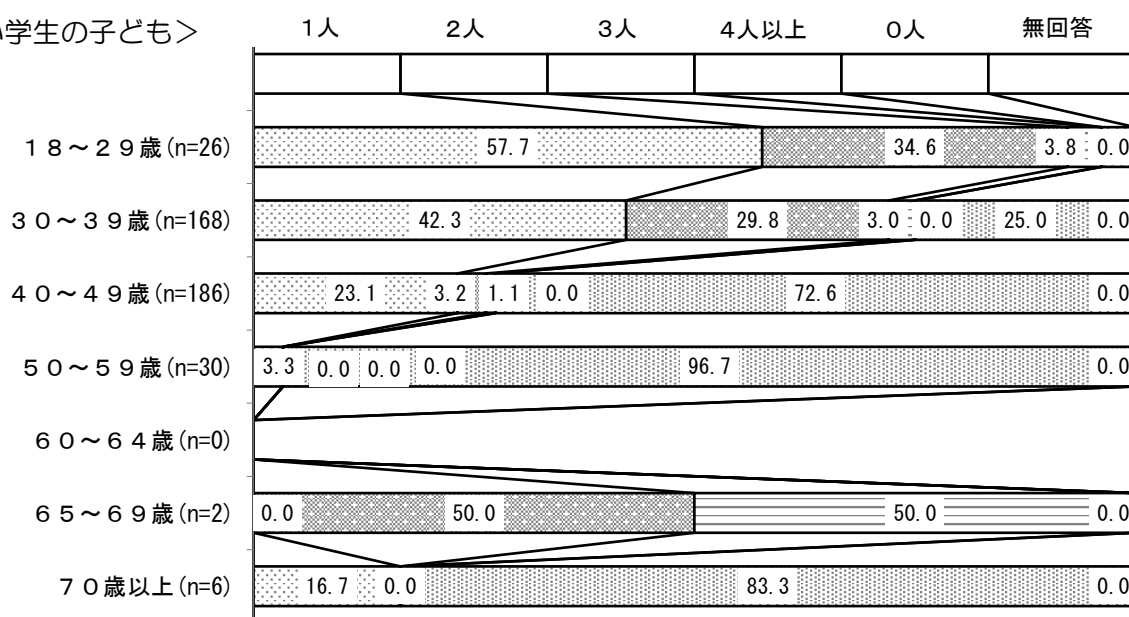
【年齢別】

- 就学前の子どもがいる人の割合は 20 代以下と 30 代が多く、20 代以下 96.1%、30 代 75.1%となっている。
- 小学生の子どもがいる人の割合は 40 代が 66.1%と最も高く、30 代 57.2%、50 代 53.3%と続く。
- 中学生の子どもがいる人の割合は 50 代が 63.3%と最も高く、40 代も 45.2%と高くなっている。

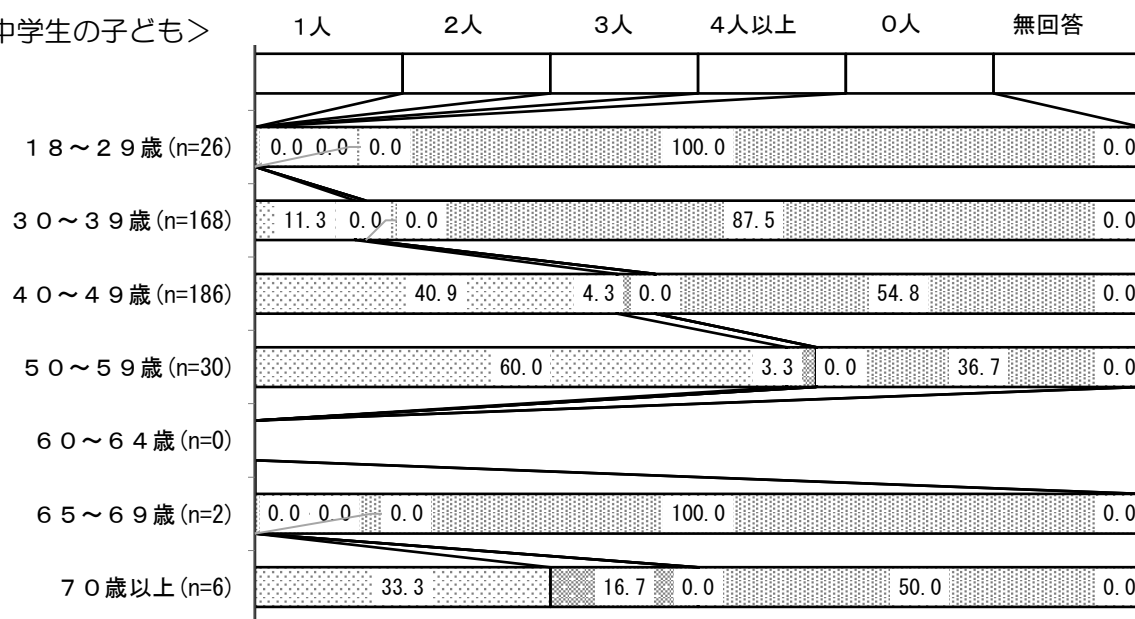
<就学前の子ども>



<小学生の子ども>



<中学生の子ども>



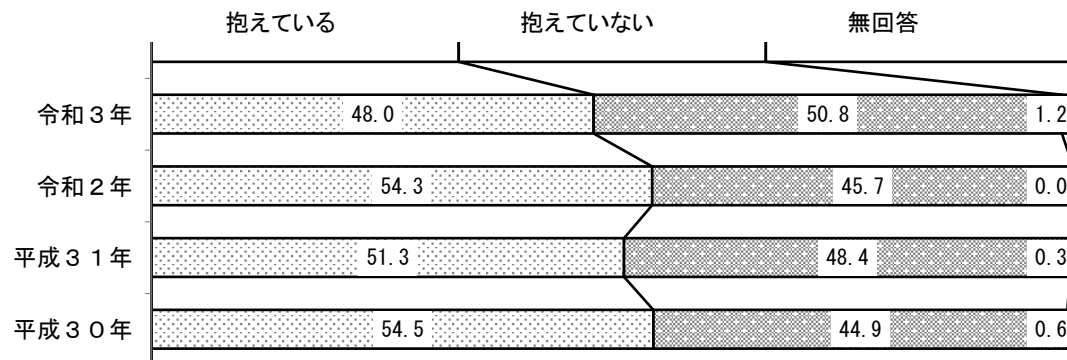
(2) 子育ての悩み (問 14)

①悩みの有無

あなたは、子育てに関する悩みを抱えていますか。

中学生以下の子どもがいる人で、子育ての悩みを「抱えている」人の割合は48.0%、「抱えていない」人の割合は50.8%となっている。

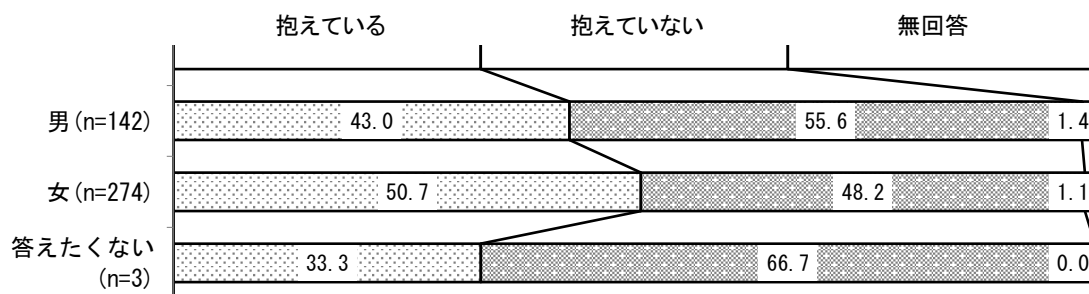
昨年度と比較して、悩みを「抱えている」人の割合は6.3ポイント減少している。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 抱えている	201	48.0	214	54.3	161	51.3	177	54.5
2 抱えていない	213	50.8	180	45.7	152	48.4	146	44.9
3 無回答	5	1.2	0	0.0	1	0.3	2	0.6
合計	419	100.0	394	100.0	314	100.0	325	100.0

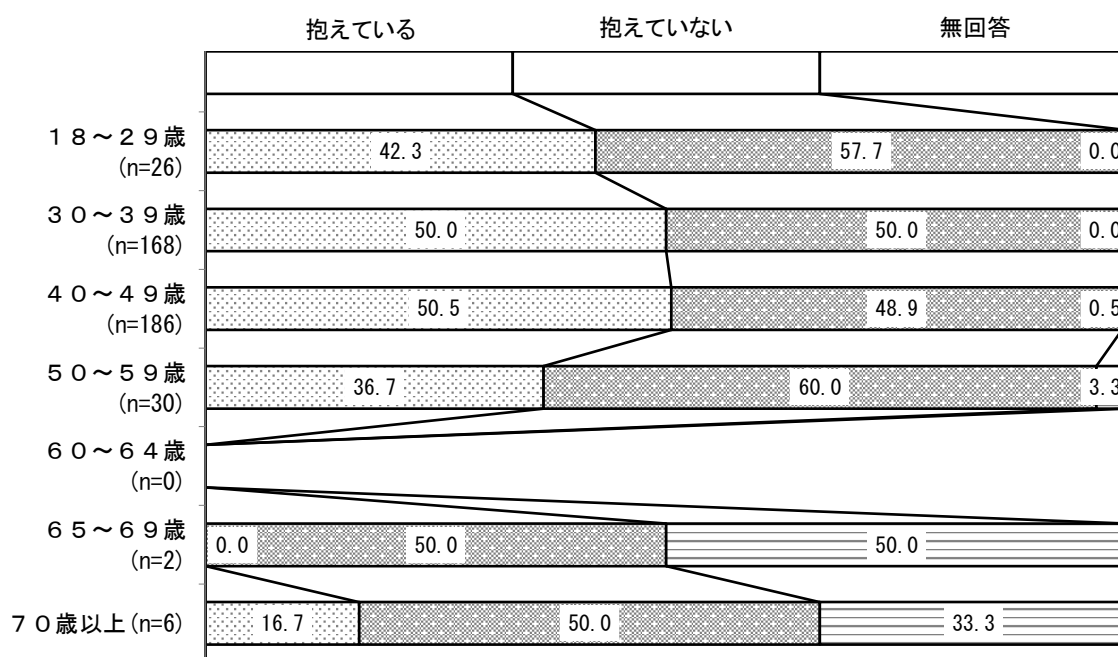
【性別】

- 悩みを抱えている人の割合は男性 43.0%、女性 55.6%と女性が上回っており、昨年度と逆の結果となっている。



【年齢別】

- 就学前や小学生の子どもがいる割合の高い30代、40代では、悩みを抱えている人の割合が5割となっている。また、就学前の子どもがいる割合の高い20代以下、中学生の子どもがいる割合の高い50代では悩みを抱えている人の割合は30代、40代と比較すると低くなっている。
- 昨年度と比較して30代と50代で悩みを抱えている割合が10ポイント以上減少している。



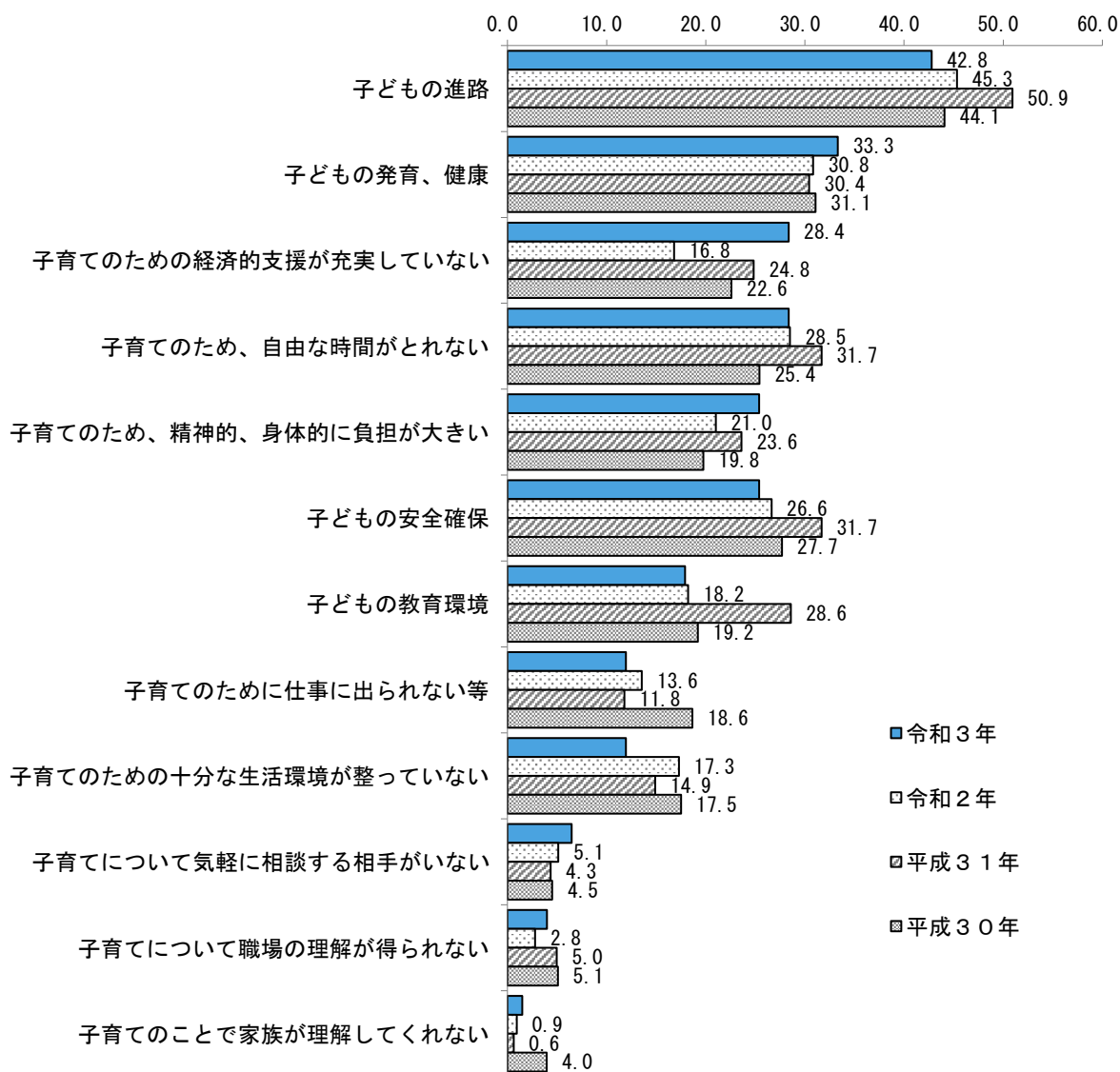
②具体的な悩み(問15)

問14で「1.抱えている」と答えた方にお尋ねします。

あなたが子育ての上で特に不安に思っていること、悩んでいることは何ですか。

子育ての悩みを抱えている201人の具体的な悩みとしては、「子どもの進路」が42.8%と最も多く、次いで「子どもの発育、健康」33.3%、「子育てのため、自由な時間がとれない」「経済的支援が充実していない」ともに28.4%となっている。

昨年度と比較して「経済的支援が充実していない」と答えた人の割合が11.6ポイント増加している。



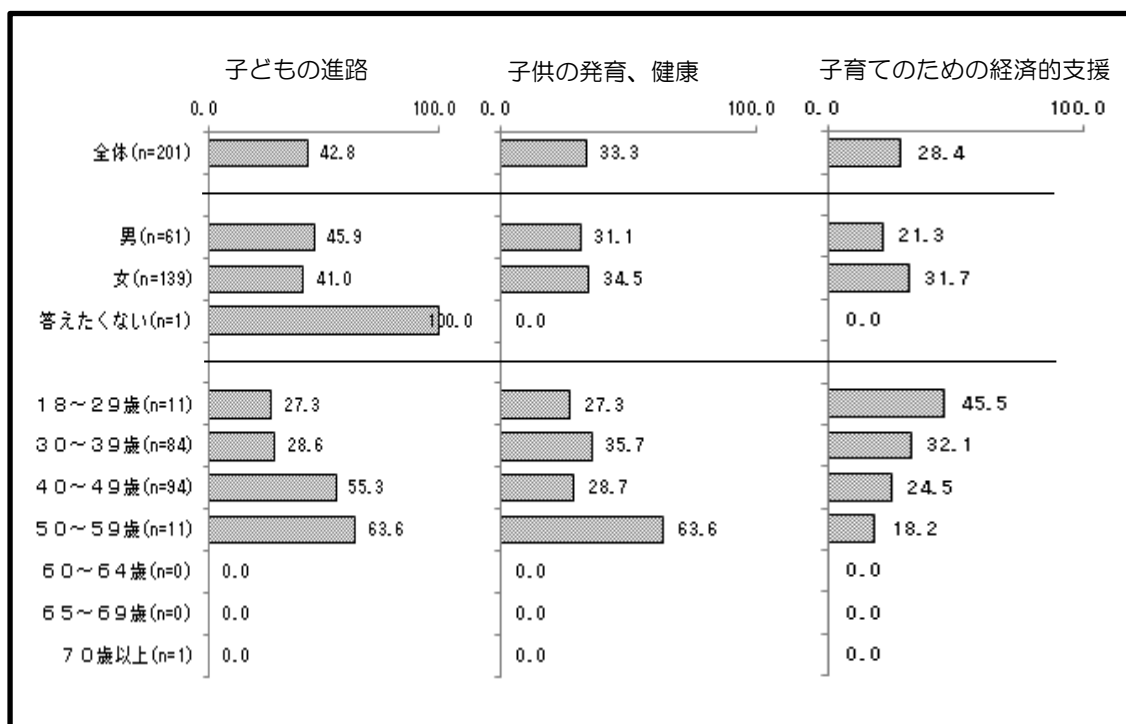
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	n=201		n=214		n=161		n=177		n=152	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 子育てのための経済的支援が充実していない	57	28.4	36	16.8	40	24.8	40	22.6	34	22.4
2 子育てのため、精神的、身体的負担が大きい	51	25.4	45	21.0	38	23.6	35	19.8	33	21.7
3 子育てのため、自由な時間がとれない	57	28.4	61	28.5	51	31.7	45	25.4	51	33.6
4 子育てのため仕事に出られない等	24	11.9	29	13.6	19	11.8	33	18.6	18	11.8
5 子育てのことで家族が理解してくれない	3	1.5	2	0.9	1	0.6	7	4.0	4	2.6
6 子育てのための十分な生活環境が整っていない	24	11.9	37	17.3	24	14.9	31	17.5	23	15.1
7 子育てについて職場の理解が得られない	8	4.0	6	2.8	8	5.0	9	5.1	4	2.6
8 子育てについて気軽に相談する相手がいない	13	6.5	11	5.1	7	4.3	8	4.5	11	7.2
9 子どもの進路	86	42.8	97	45.3	82	50.9	78	44.1	78	51.3
10 子どもの発育、健康	67	33.3	66	30.8	49	30.4	55	31.1	47	30.9
11 子どもの安全確保	51	25.4	57	26.6	51	31.7	50	28.2	48	31.6
12 子どもの教育環境	36	17.9	39	18.2	46	28.6	35	19.8	38	25.0

【性別】

- 男女ともに「子どもの進路」「子どもの発育、健康」が上位にあげられている。その他には、女性は「経済的支援が充実していない」「子育てのため自由な時間がとれない」、男性は「子どもの安全確保」「子どもの教育環境」への不安を感じている。
- 昨年度は女性よりも男性の、「経済的支援」に不安を抱いている割合が高かった。しかし今年度においては女性の割合の方が高く、22.0ポイント増加している。
- 女性の場合は、「精神的、身体的負担」「仕事に出られない等」といった子育てに伴う自身の負担をあげる割合が男性よりも高くなっている。

【年齢別】

- 20代以下では、「経済的支援が充実していない」をあげる人の割合が最も高く、昨年度より23.3ポイント増加している。
- 30代では、「子供の発育、健康」「子育てのため自由な時間がとれない」「精神的・身体的不安」が上位にあげられている他、「経済的支援」「子どもの進路」「子どもの安全確保」もあげる人が多く、不安は多岐にわたっている。
- 40代では5割以上が「子どもの進路」をあげており、「子どもの教育環境」も他の年代よりもあげる人の割合は高くなっている。
- 50代で悩みを抱えている人の割合は少ないものの、半数以上が「子どもの進路」「子どもの発育、健康」をあげている。



【子どもの年齢別】

- 就学前の子どもがいる人では、「子育てのため、自由な時間がとれない（趣味や学習活動、外出、遊興など）」「子育てのため、精神的、身体的に負担が大きい」が約 4 割と多くなっているほか、「子どもの発育、健康」「子育てのための経済的支援が充実していない」も 3 割を超えている。
- 小学生の子どもがいる人では、「子どもの進路」が 4 割を超えており、「子育てのための経済的支援が充実していない」「子どもの発育、健康」も 3 割を超え、多くなっている。
- 中学生の子どもがいる人では、「子どもの進路」が 6 割を超えている。

就学前 (n=105)		小学生 (n=111)		中学生 (n=64)	
自由な時間がとれない	41.0	子どもの進路	43.2	子どもの進路	64.1
精神的、身体的負担	37.1	経済的支援が充実していない	32.4	経済的支援が充実していない	29.7
子どもの発育、健康	35.2	子どもの発育、健康	31.5	子どもの安全確保	25.0
経済的支援が充実していない	31.4	精神的、身体的負担	25.2	子どもの発育、健康	21.9
子どもの安全確保	26.7	子どもの安全確保	25.2	子どもの教育環境	20.3
子どもの進路	25.7	自由な時間がとれない	24.3	精神的、身体的負担	17.2
仕事にでられない等	17.1	子どもの教育環境	12.6	自由な時間がとれない	12.5
十分な生活環境が整っていない	16.2	十分な生活環境が整っていない	9.9	十分な生活環境が整っていない	10.9
子どもの教育環境	15.2	仕事にでられない等	9.0	仕事にでられない等	9.4
気軽に相談する相手がいない	8.6	職場の理解	3.6	気軽に相談する相手がいない	6.3
職場の理解	4.8	気軽に相談する相手がいない	3.6	職場の理解	3.1
家族が理解してくれない	1.9	家族が理解してくれない	0.9	家族が理解してくれない	1.6

◆健康づくりについて

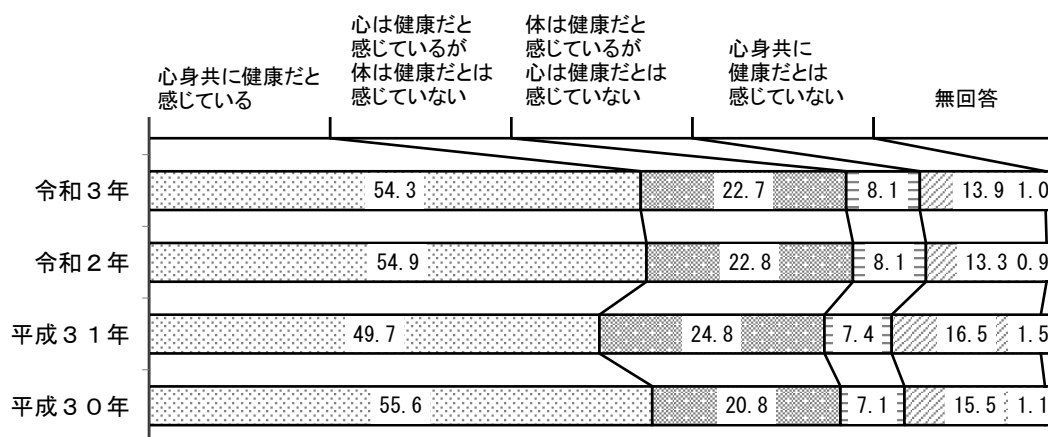
1. 自身の健康状態（問18）

あなたは、心身共に健康だと感じていますか。

「心身共に健康だと感じている」人の割合は54.3%と半数を超え、「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合は22.7%となっている。

体が健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」）の割合は全体の62.4%、心は健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「心は健康だが体は健康だとは感じていない」）の割合は全体の77.0%となっている。「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は13.9%となっている。

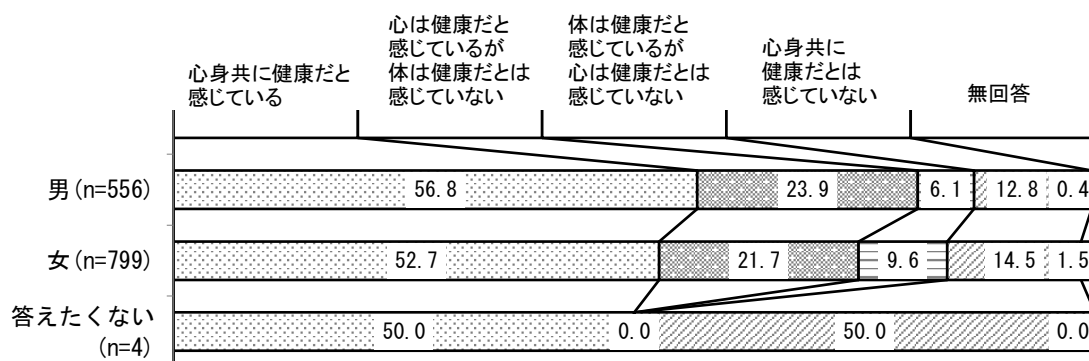
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 心身共に健康だと感じている	740	54.3	730	54.9	555	49.7	519	55.6
2 心は健康だと感じているが、体は健康とは感じていない	309	22.7	303	22.8	277	24.8	194	20.8
3 体は健康だと感じているが、心は健康とは感じていない	111	8.1	107	8.1	83	7.4	66	7.1
4 心身共に健康だとは感じていない	189	13.9	177	13.3	184	16.5	145	15.5
5 無回答	14	1.0	12	0.9	17	1.5	10	1.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

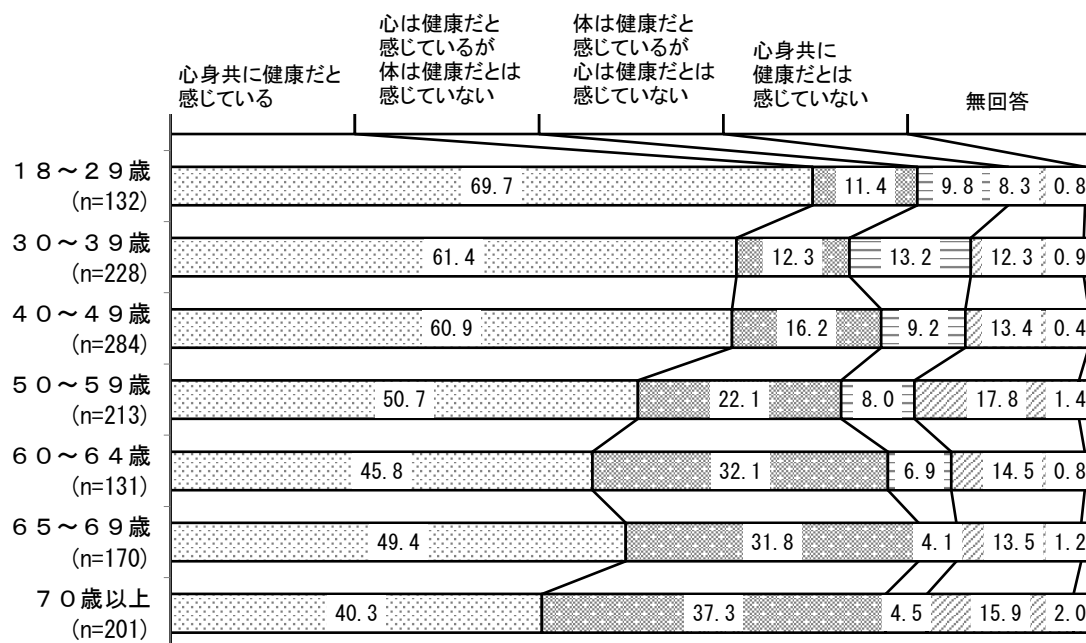
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



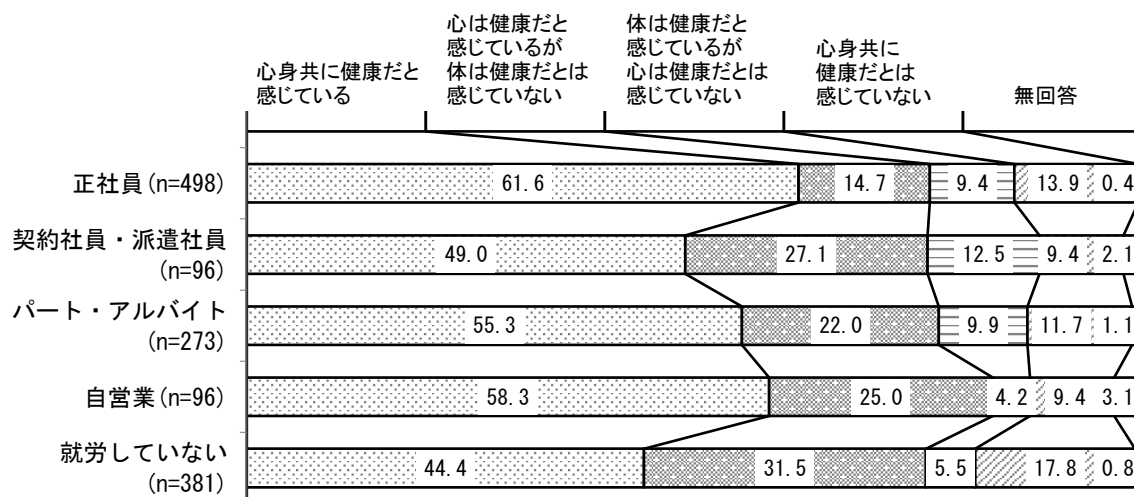
【年齢別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は年齢が若いほど高く、20代以下では約7割となっている、60代以上では半数を下回っている。「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合も60代以上では3割を超えている。



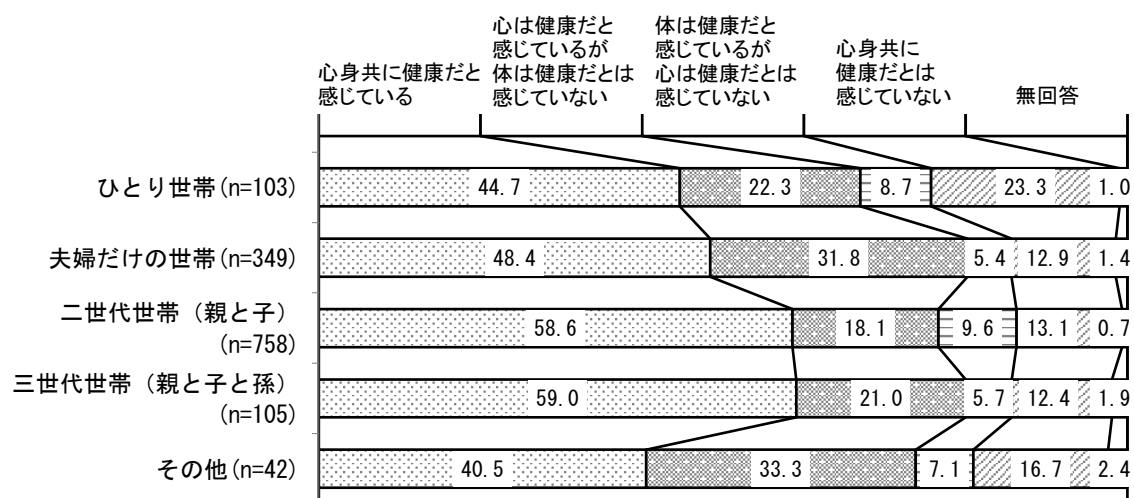
【職業別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は正社員で 61.6%と高く、就労していない人では 44.4%と最も低くなっている。
- 「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、就労していない人で 17.8%と最も高くなっている。



【家族構成別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は、二世帯、三世帯世帯において約6割となっている。
- 「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、ひとり世帯では 23.3%と、昨年と同様高くなっている。



2. 健康づくりの取組みについて

(1) 健康づくりへの取組み状況

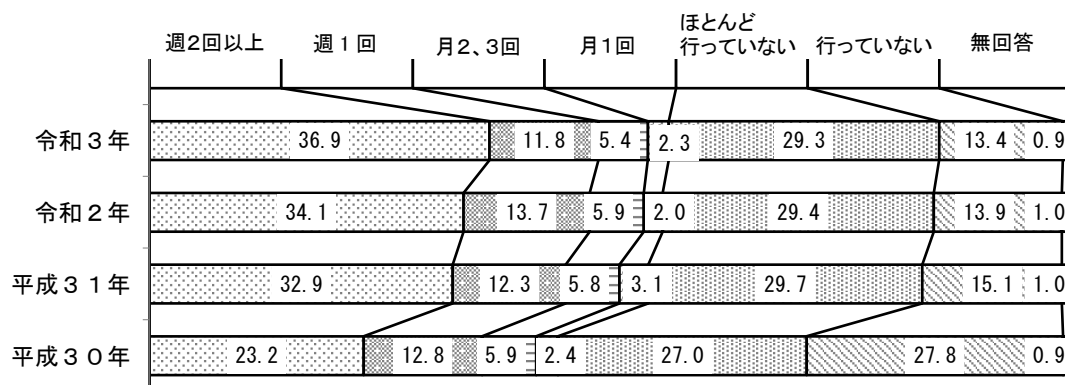
①健康づくりの取組み頻度(問19)

あなたは、日頃から、体を動かすことに取り組んでいますか。

日頃から体を動かすことに取り組んでいる人(月1回以上)の割合は全体の56.4%と半数を超え、取り組んでいない(「ほとんど行っていない」+「行っていない」)人の割合は42.7%となっている。

取り組んでいる場合の頻度では、「週2回以上」36.9%が最も多く、次いで「週1回」が11.8%となっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

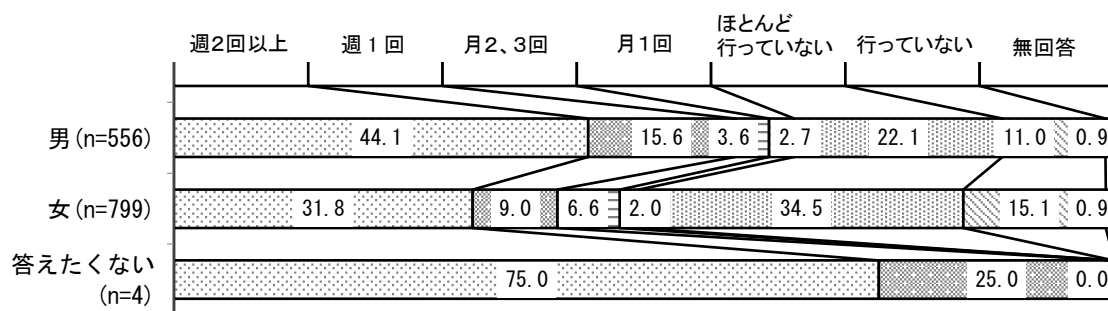


※平成30年までは「健康づくりに取り組んでいるか」という設問であったので、比較するには注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	503	36.9	453	34.1	367	32.9	217	23.2
2 週に1回行っている	161	11.8	182	13.7	137	12.3	120	12.8
3 月に2,3回行っている	73	5.4	78	5.9	65	5.8	55	5.9
4 月に1回行っている	31	2.3	27	2.0	35	3.1	22	2.4
5 ほとんど行っていない	400	29.3	391	29.4	332	29.7	252	27.0
6 行っていない	183	13.4	185	13.9	169	15.1	260	27.8
7 無回答	12	0.9	13	1.0	11	1.0	8	0.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

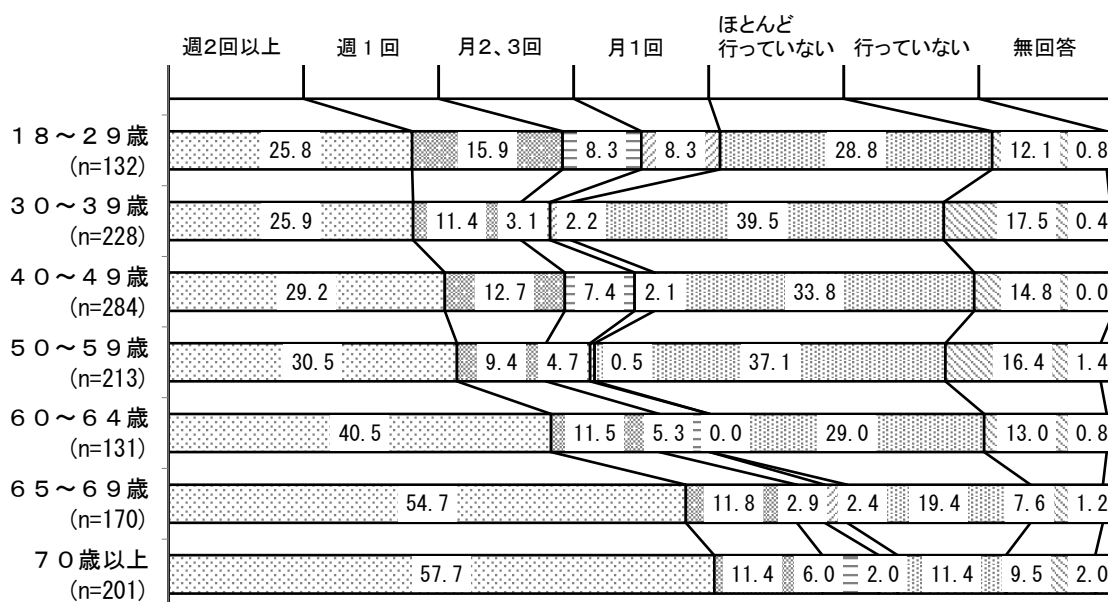
【性別】

- 日ごろから体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、男性 66.0%、女性 49.4%となっており、男性が女性を上回っている。特に男性は「週2回以上」が 44.1%となっており、「週1回」15.6%と合わせると半数以上が高頻度で行っている。
- 一方、女性の場合はほぼ半数の 49.6%が取り組んでいない。



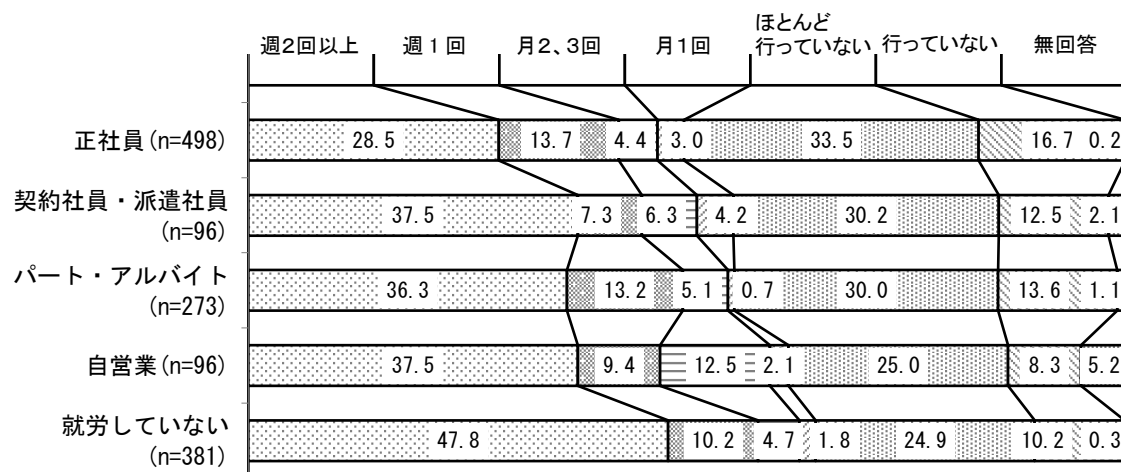
【年齢別】

- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、20代以下では約6割となっている。30代では42.6%、50代45.1%では低く、その後は年齢とともに取り組む人の割合は増え、65歳以上では7割を超えている。特に65歳以上では半数以上が週2回以上となっている。



【職業別】

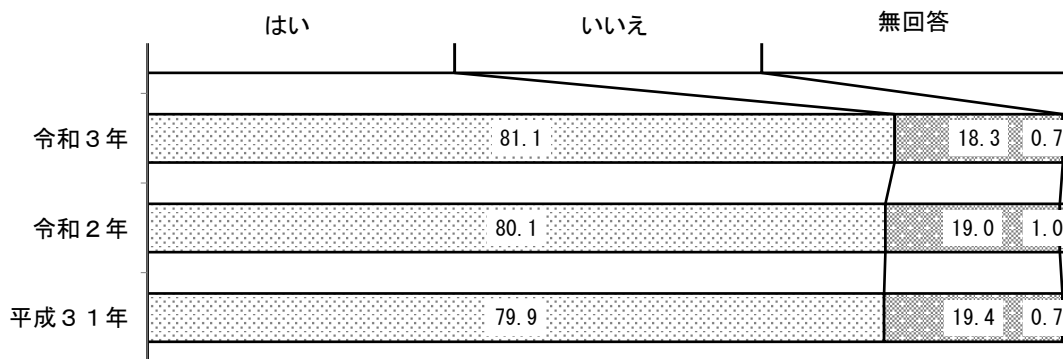
- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、正社員では約5割、就労していない人では 64.5%となっており、自営業 61.5%、パート・アルバイト 55.3%においても半数を超えている。
- 就労していない人においては半数近くの人が週2回以上行っている。



(2) ストレス解消法 (問20)

自分なりのストレス解消法を持っていますか。

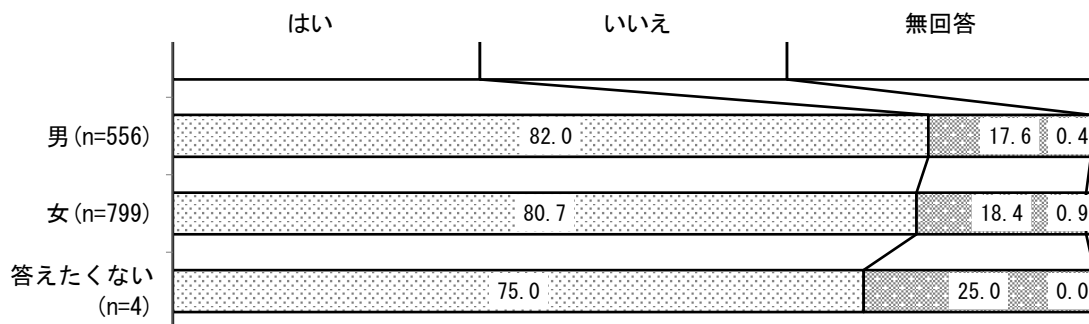
ストレス解消法を持っている人の割合は、80.1%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%
1 はい	1105	81.1	1064	80.1	892	79.9
2 いいえ	249	18.3	252	19.0	216	19.4
3 無回答	9	0.7	13	1.0	8	0.7
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

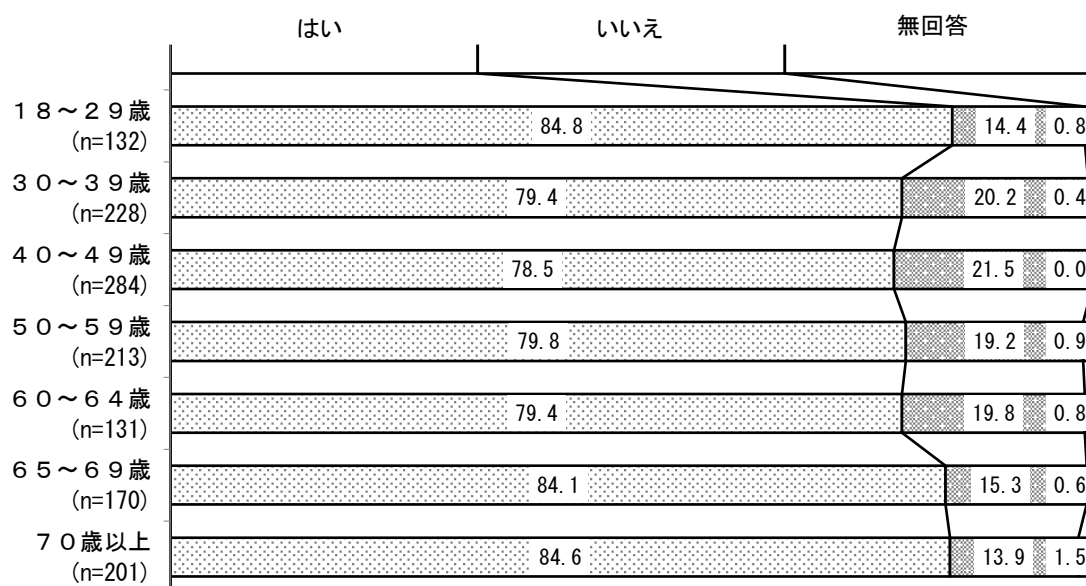
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



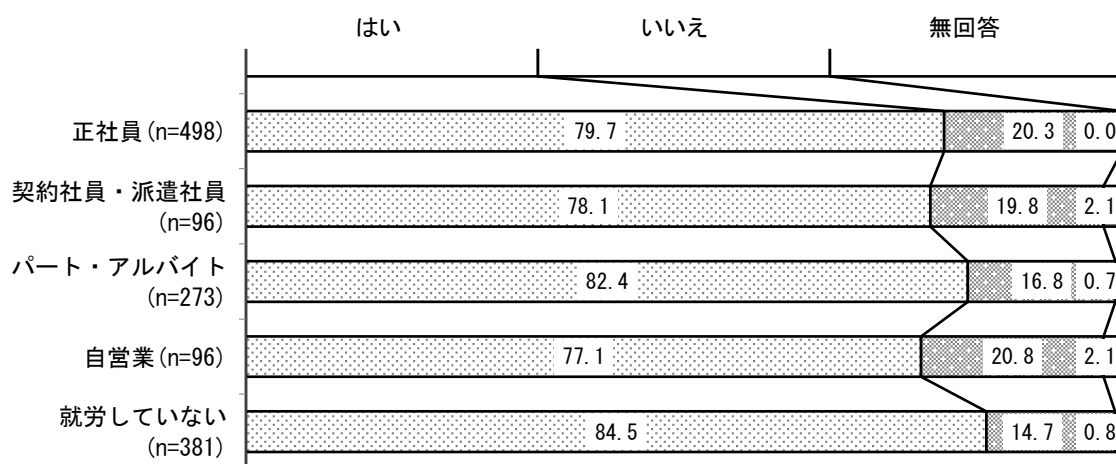
【年齢別】

- ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての年代で8割前後となっている。



【職業別】

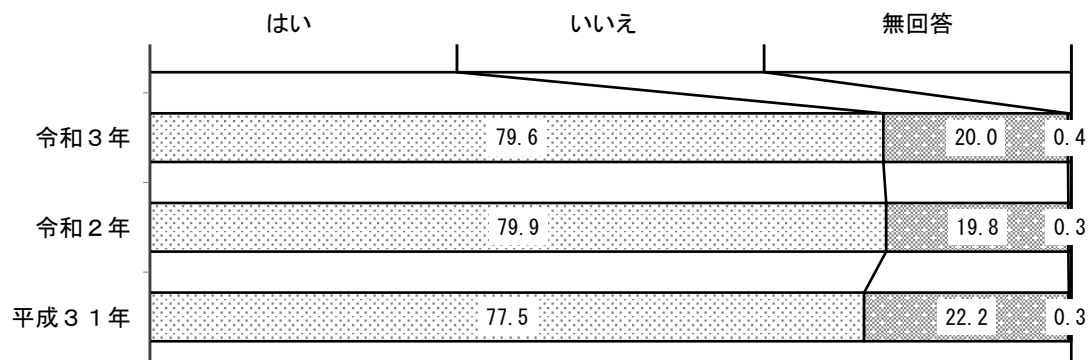
- ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての職業で8割前後となっている。



(3) 規則正しい食生活 (問 2 1)

食事は1日3回(朝・昼・晩)規則正しく食べていますか。

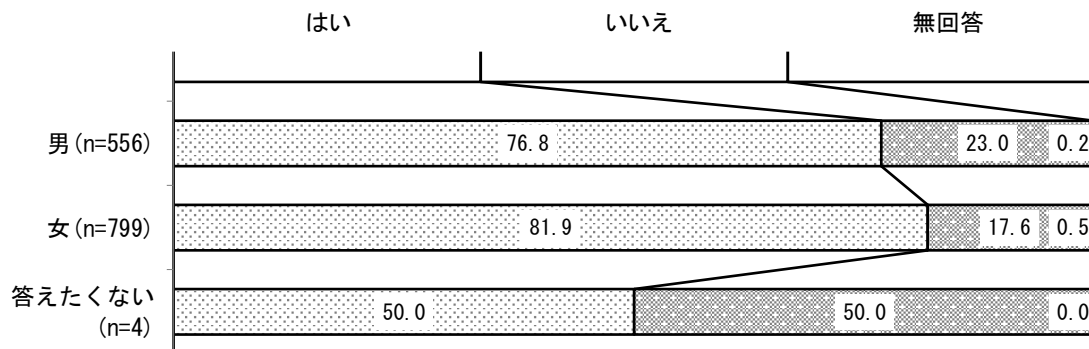
規則正しく食事をとっている人の割合は79.6%、規則正しく食事をとっていない人の割合は20.0%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%
1 はい	1085	79.6	1062	79.9	865	77.5
2 いいえ	273	20.0	263	19.8	248	22.2
3 無回答	5	0.4	4	0.3	3	0.3
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

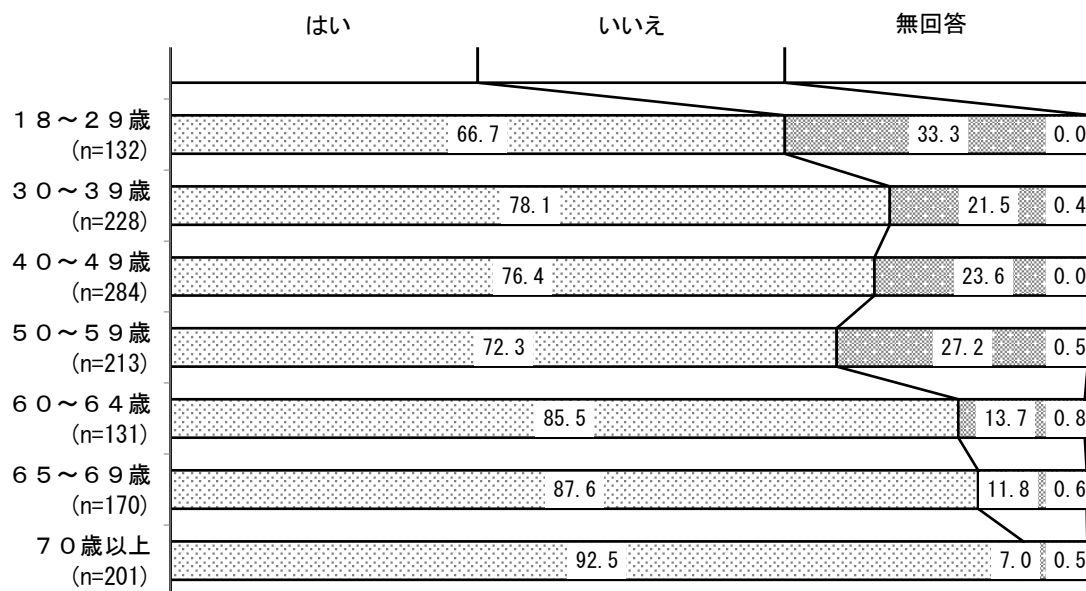
【性別】

- 規則正しく食事をとっている人の割合は、男性76.8%、女性81.9%となっており、女性が男性を上回っている。男性では4人に1人が規則正しく食事をとっていない。



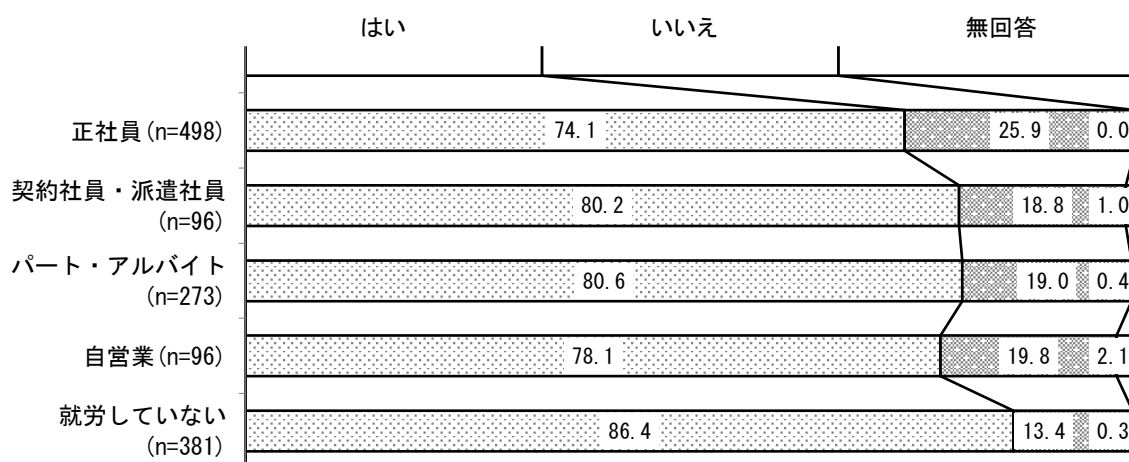
【年齢別】

- 規則正しく食事をとっている人の割合は、20代以下で66.7%と7割を下回っているが、その他の年代では7割以上となっている。特に60代以上では8割以上と高くなっている。



【職業別】

- 規則正しく食事をとっている人の割合は、正社員では他の職業に比べてやや低く、約4分の1が規則正しく食事をとっていない。

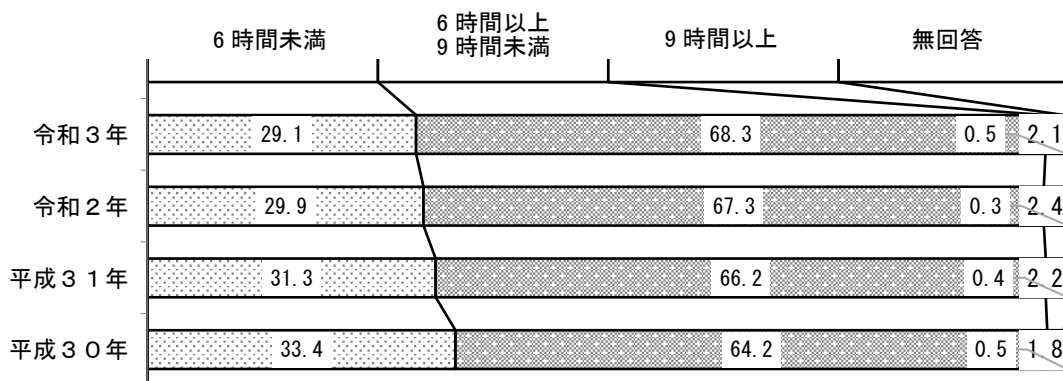


(4) 睡眠時間(問22)

昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか。

1日の睡眠時間は、6時間以上9時間未満の人の割合が68.3%と最も高くなっている。

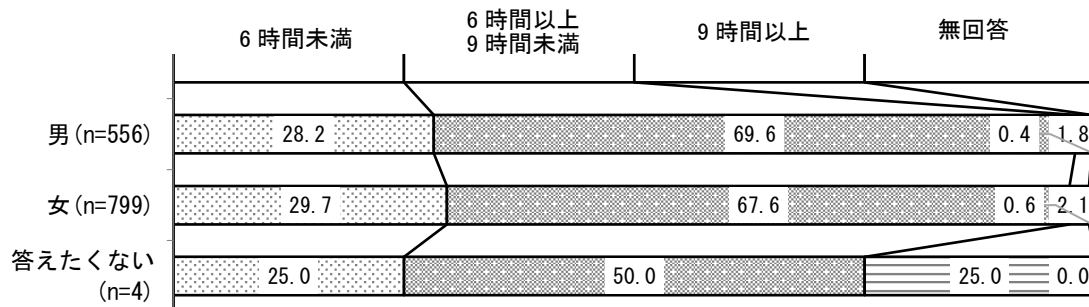
昨年度と比較して大きな違いはみられていないが、睡眠時間が6時間以上9時間未満の人の割合は、平成30年度以降微増している。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 6時間未満	397	29.1	398	29.9	349	31.3	312	33.4	348	30.7
2 6時間以上9時間未満	931	68.3	895	67.3	739	66.2	600	64.2	745	65.6
3 9時間以上	28	2.1	32	2.4	24	2.2	17	1.8	33	2.9
4 無回答	7	0.5	4	0.3	4	0.4	5	0.5	9	0.8
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

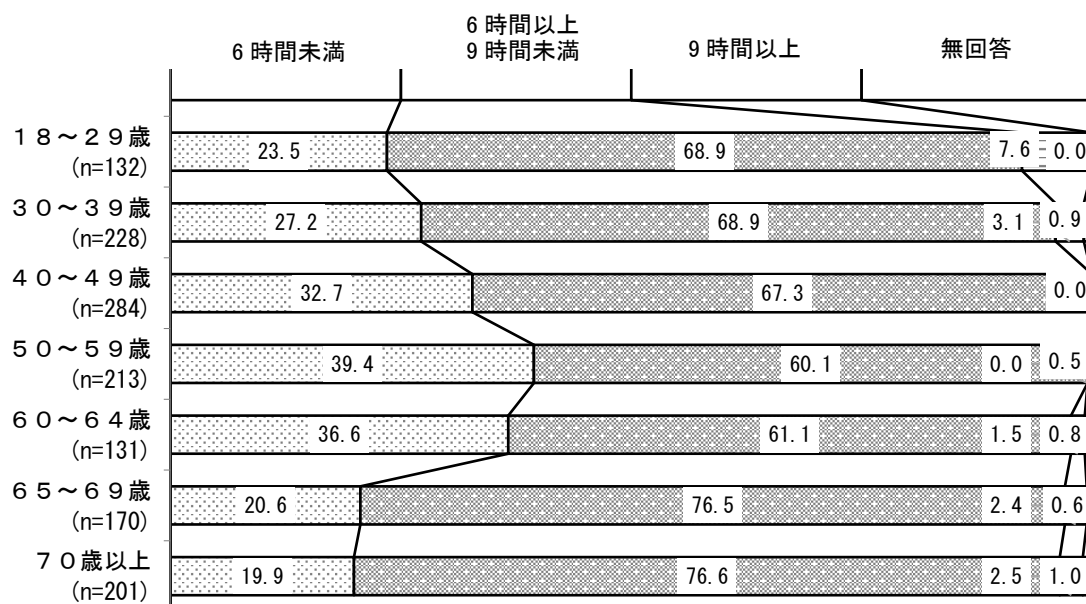
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



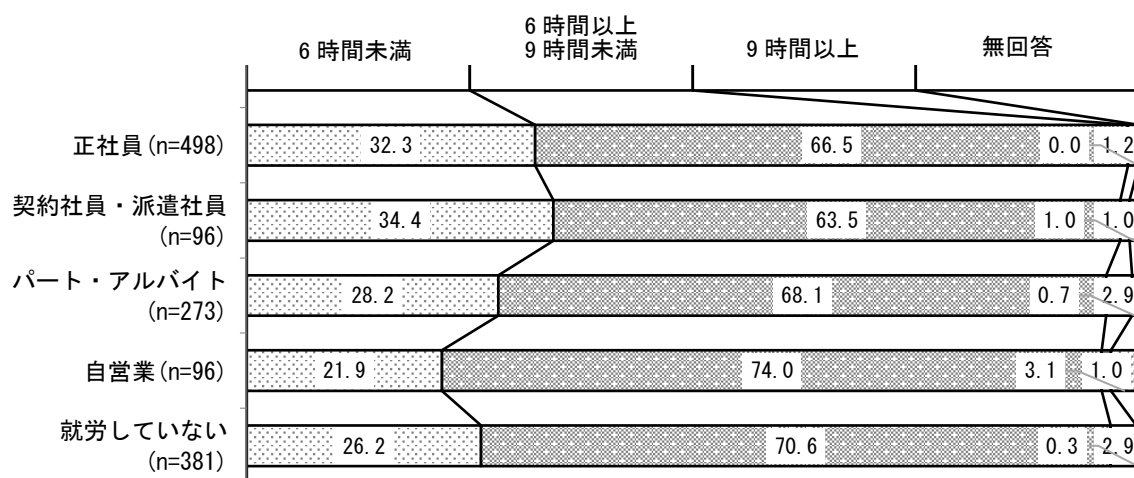
【年齢別】

- 生産年齢人口の中でも40代～60代では睡眠時間が短くなっており、6時間未満の人の割合が3割を超えている。



【職業別】

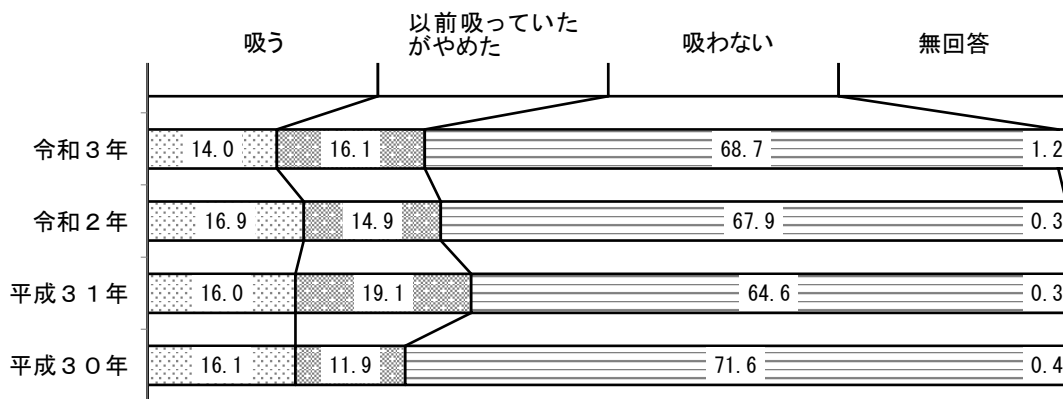
- 睡眠時間6時間未満の人の割合が、正社員や契約社員・派遣社員では34.4%と高く、他の職業に比べて睡眠時間が短くなっている。



(3) 喫煙（問23）

タバコを吸いますか。（電子タバコを含む）

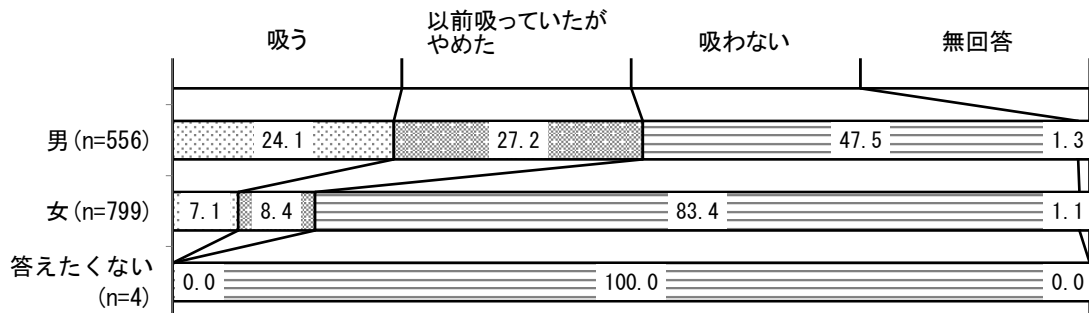
タバコを吸わない人が68.7%と最も多く、以前吸っていたがやめた人の16.1%と合わせると非喫煙者が8割以上を占めており、喫煙者は14.0%となっている。
昨年度と比較して、喫煙者の割合は2.9ポイント減少している。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 吸う	191	14.0	225	16.9	179	16.0	150	16.1
2 以前吸っていたがやめた	219	16.1	198	14.9	213	19.1	111	11.9
3 吸わない	937	68.7	902	67.9	721	64.6	669	71.6
4 無回答	16	1.2	4	0.3	3	0.3	4	0.4
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

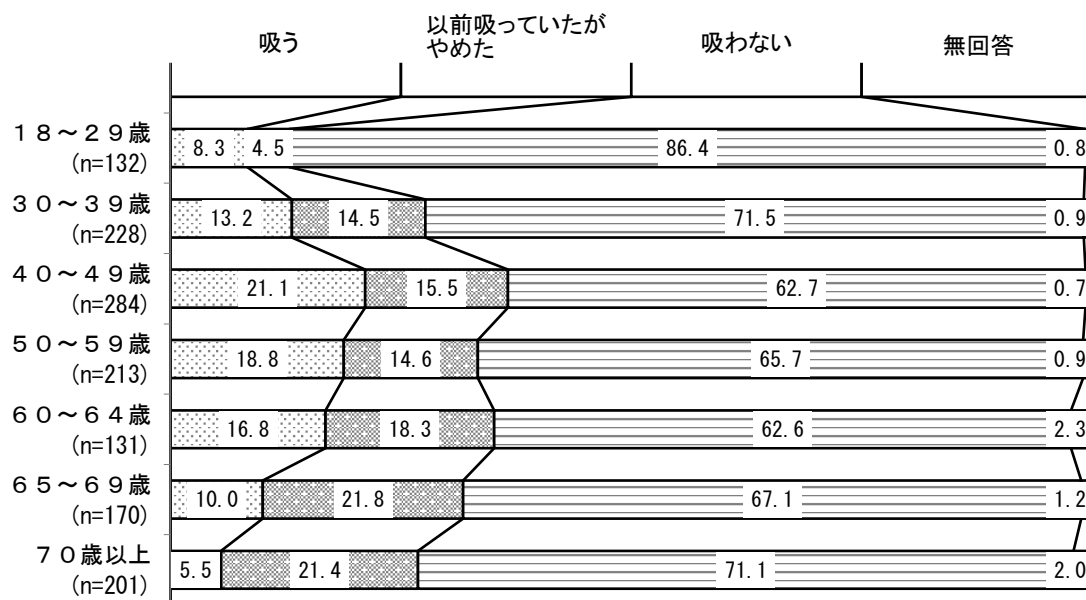
【性別】

- 喫煙者の割合は、男性が24.1%、女性が7.1%と男性が女性を上回っている。
- 男性では約3割が、以前吸っていたがやめたとしている。



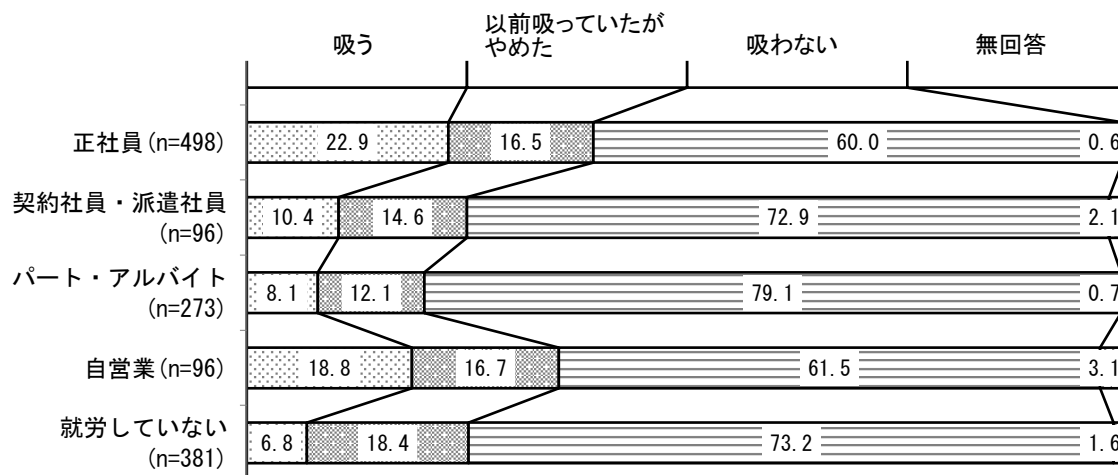
【年齢別】

- 喫煙者の割合は、40代、50代では2割前後とほかの世代に比べて高くなっている。
- 65歳以上では2割以上が以前吸っていたがやめたとしている。



【職業別】

- 喫煙者の割合は、正社員、自営業では約2割となっており、他の職業と比較して高くなっている。

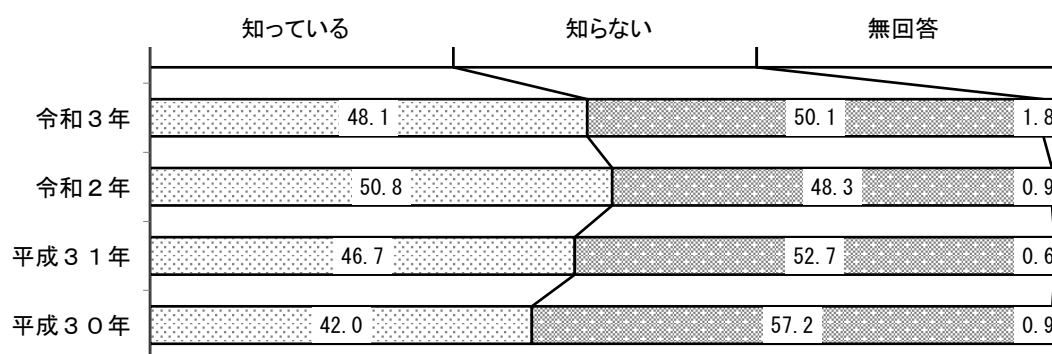


3. 健康知識について

(1) 飲酒量(問24)

生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか

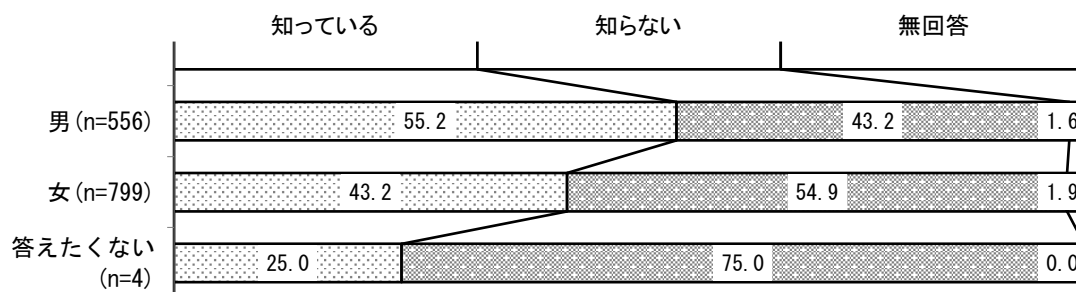
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は48.1%となっており、ほぼ半数を占めている。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	655	48.1	675	50.8	521	46.7	392	42.0
2 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	683	50.1	642	48.3	588	52.7	534	57.2
3 無回答	25	1.8	12	0.9	7	0.6	8	0.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

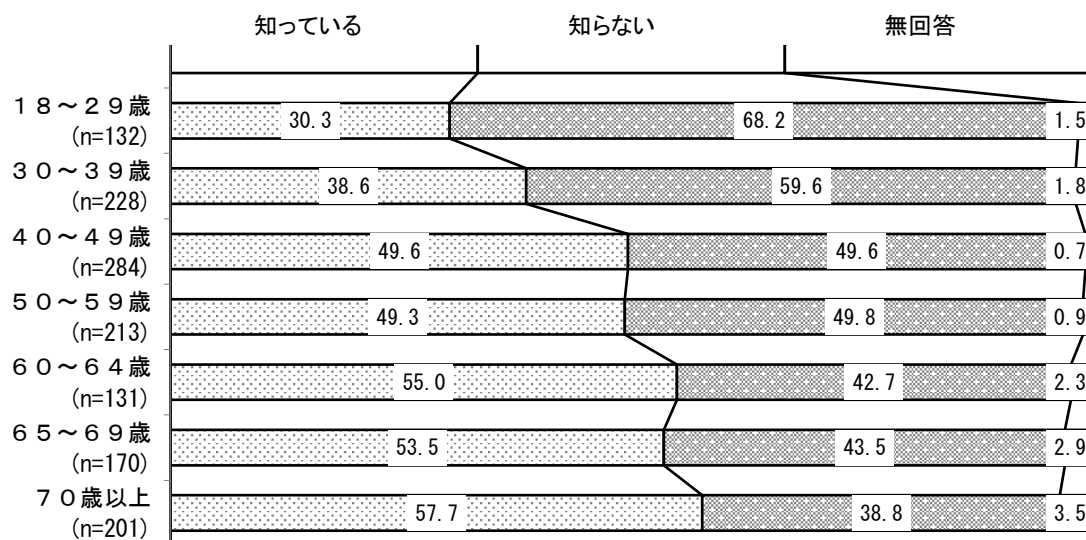
【性別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知っている人の割合は、男性 55.2%、女性 43.2%と男性が女性を 10 ポイント以上上回っている。



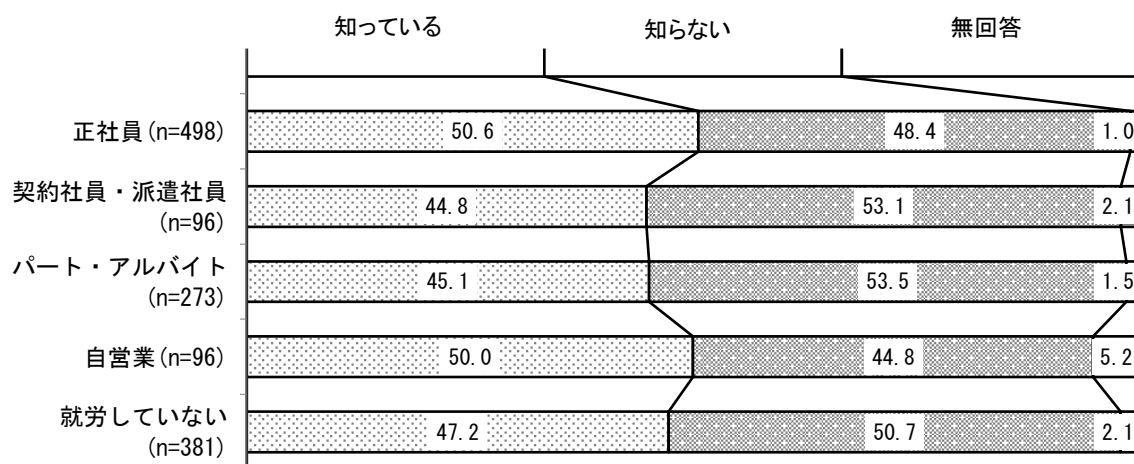
【年齢別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知らない人の割合は30代以下で約6割以上となっている。



【職業別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量に知っている人の割合は、正社員や自営業が約半数を占めているが、他の職業では知らない人が上回っている。



4. 生涯学習等について

(1) 生きがいを持った生活（問26）

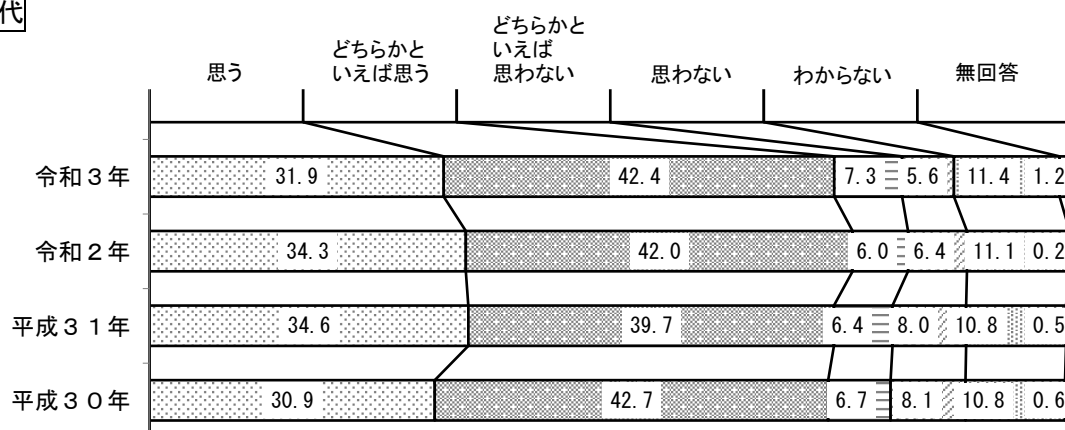
あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか。

生きがいを持って生活していると思う人（「思う」＋「どちらかといえば思う」）の割合は74.3%と7割以上を占めている。思わない人（「思わない」＋「どちらかといえば思わない」）は13.0%、「わからない」は11.4%となっている。

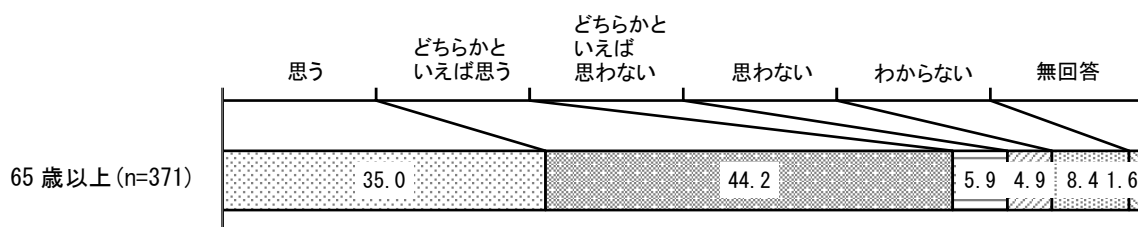
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

なお、65歳以上のみで集計した場合も、全世代の集計結果と大きな違いはみられていない。

全世代

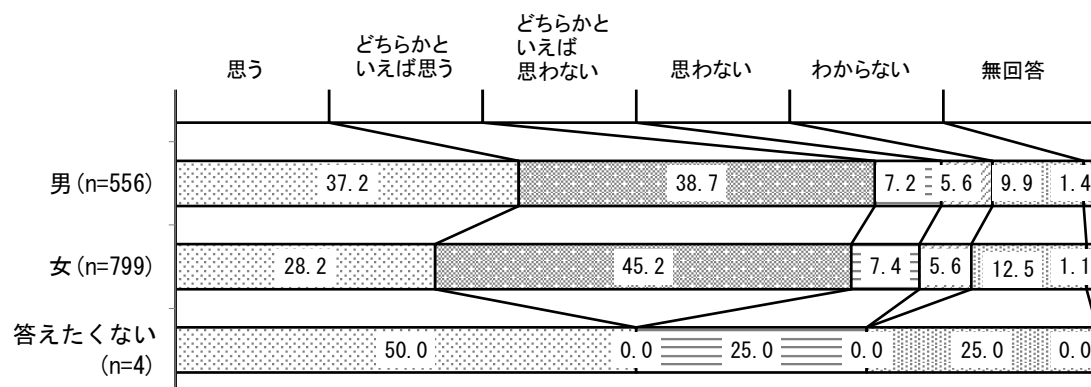


65歳以上



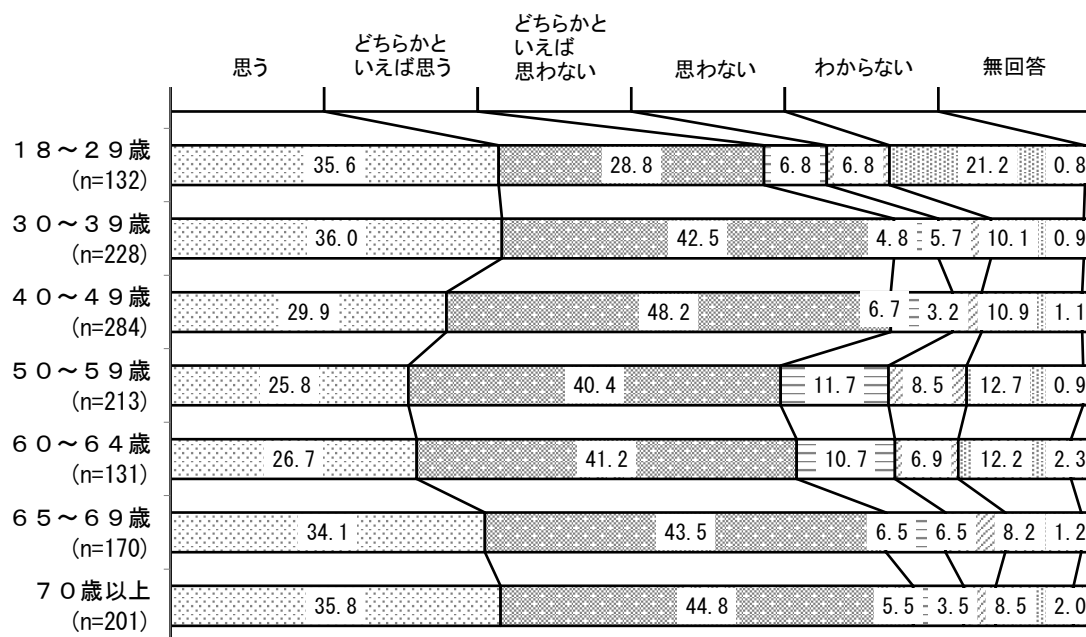
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



【年齢別】

- 生きがいをもって生活していると思う人の割合は、いずれの年代でも6～7割前後であり、特に70歳以上では8割を超えている。

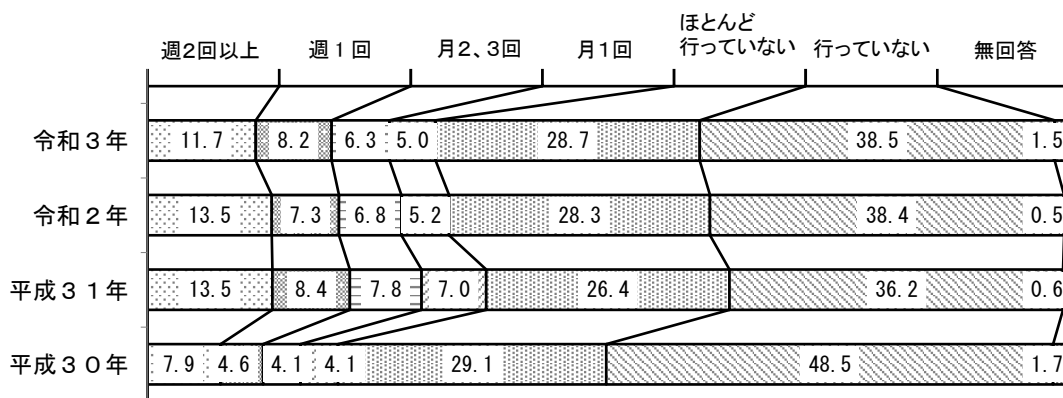


(2) 生涯学習について

①生涯学習の実施（問27）

あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

生涯学習を行っている人（月1回以上）の割合は31.2%、行っていない人（「ほとんど行っていない」＋「行っていない」）の割合は67.2%となっている。
 なお、行っている頻度では、「週2回以上」が11.7%で最も高くなっている。
 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

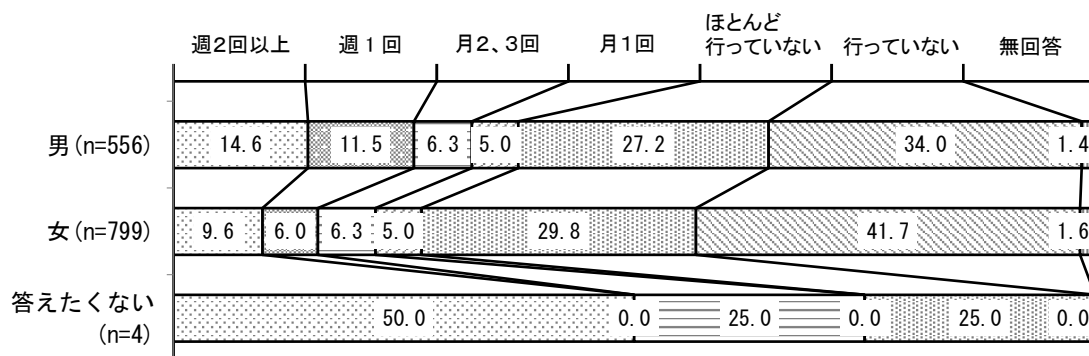


※平成30年度までは「目標・目的を持って生涯学習を行っているか」との設問であったため比較には注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	435	31.9	456	34.3	386	34.6	289	30.9
2 どちらかといえば思う	578	42.4	558	42.0	443	39.7	399	42.7
3 どちらかといえば思わない	100	7.3	80	6.0	71	6.4	63	6.7
4 思わない	77	5.6	85	6.4	89	8.0	76	8.1
5 わからない	156	11.4	148	11.1	121	10.8	101	10.8
6 無回答	17	1.2	2	0.2	6	0.5	6	0.6
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

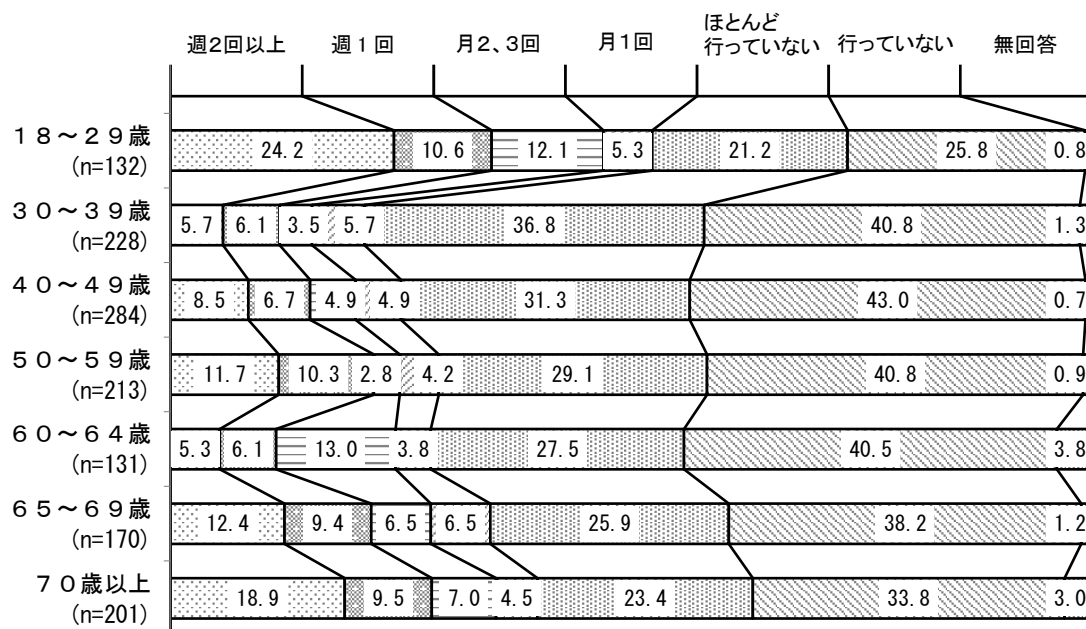
【性別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、男性 37.4%、女性 26.9%と男性が女性より 10 ポイント以上上回っている。



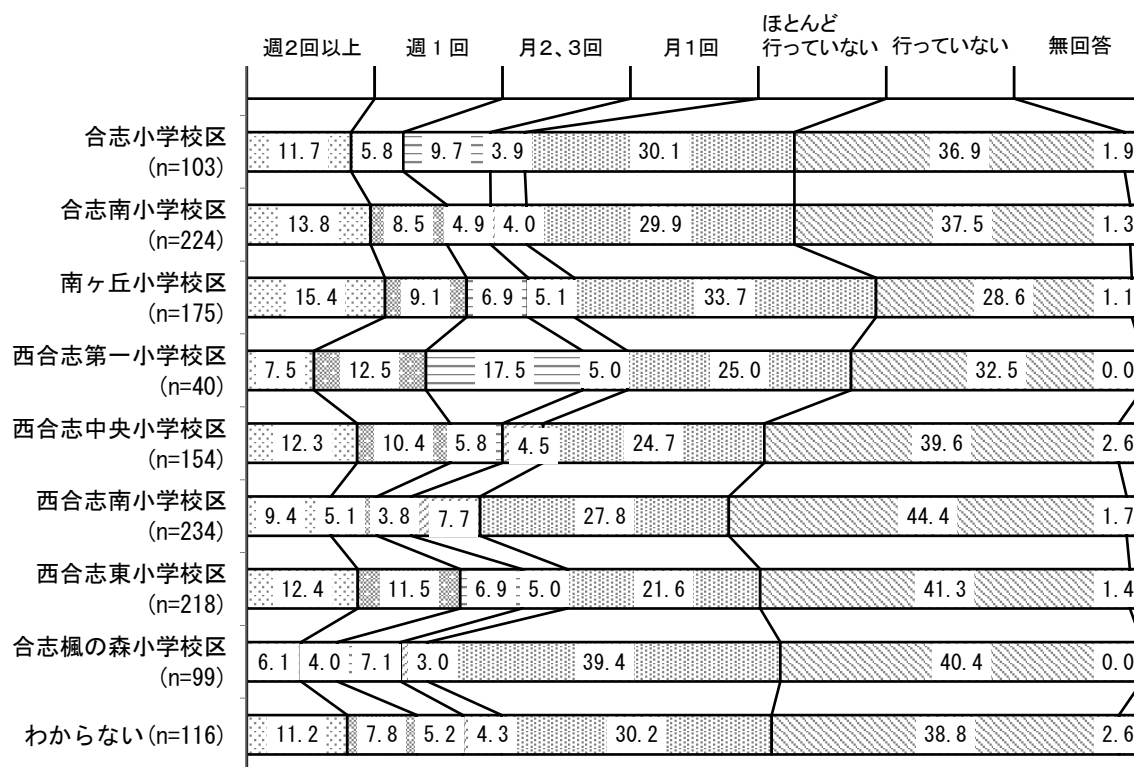
【年齢別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、30代で 21.0%、40代で 25.0%と他の年代に比べてやや低くなっている。また、20代以下で、生涯学習を行っている人の割合は半数以上となっているが、30代で急激に減少し、その後年代が上がるにしたがって増えている。



【校区别】

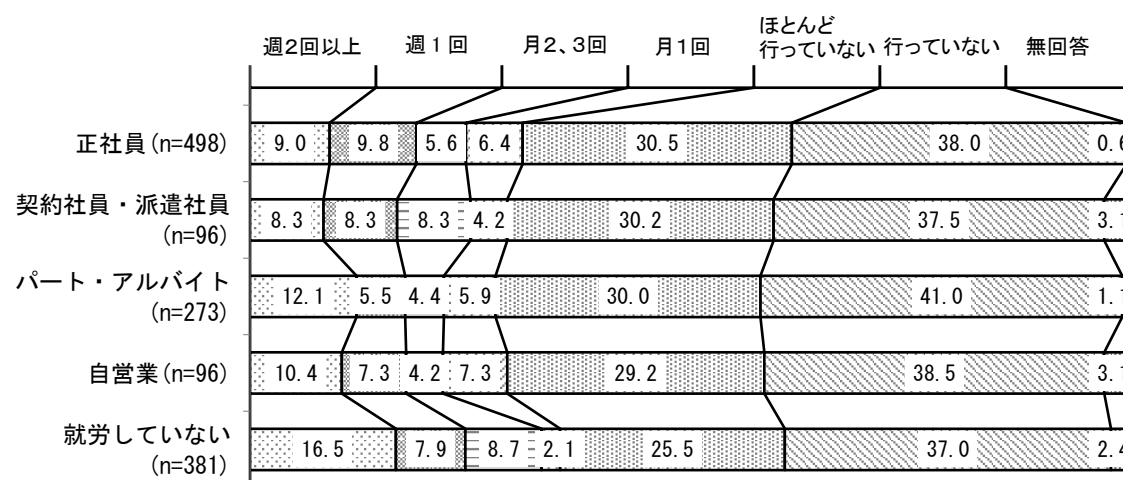
- 生涯学習を行っている人の割合は、西合志南小学校区で26.0%、合志楓の森小学校区20.2%であり、他校区より若干低い。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、就労していない場合と正社員で3割を超えている。
- パート・アルバイトでは約7割が行っていない。



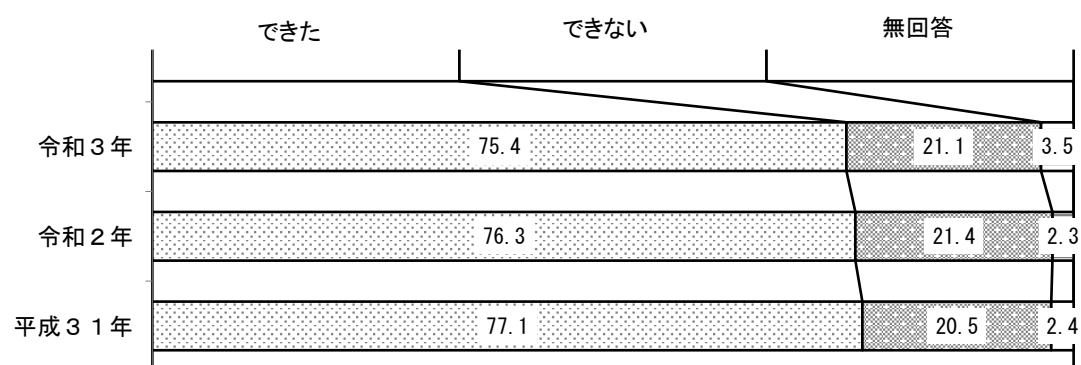
②生涯学習を通じた仲間づくり（問２８）

問２７で１～４と答えた方にお尋ねします。

あなたは、生涯学習を通じて仲間ができましたか。

生涯学習を行っている４２６人に生涯学習を通じて仲間ができたかを尋ねたところ、７５．４％が「できた」としている。

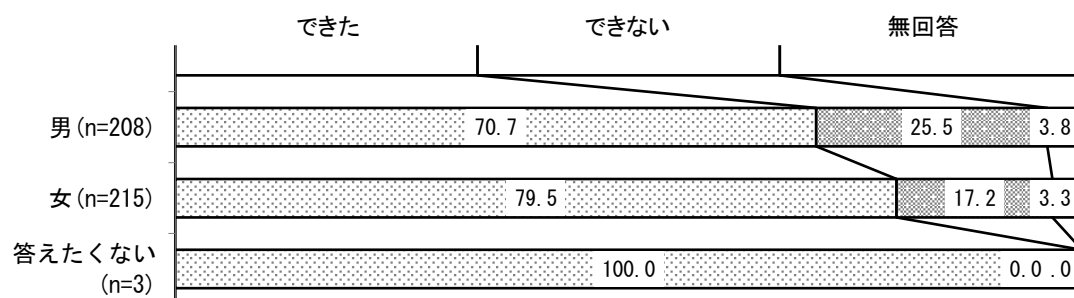
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和３年度		令和２年度	
	人	%	人	%
１ できた	321	75.4	332	76.3
２ できない	90	21.1	93	21.4
３ 無回答	15	3.5	10	2.3
合計	426	100.0	435	100.0

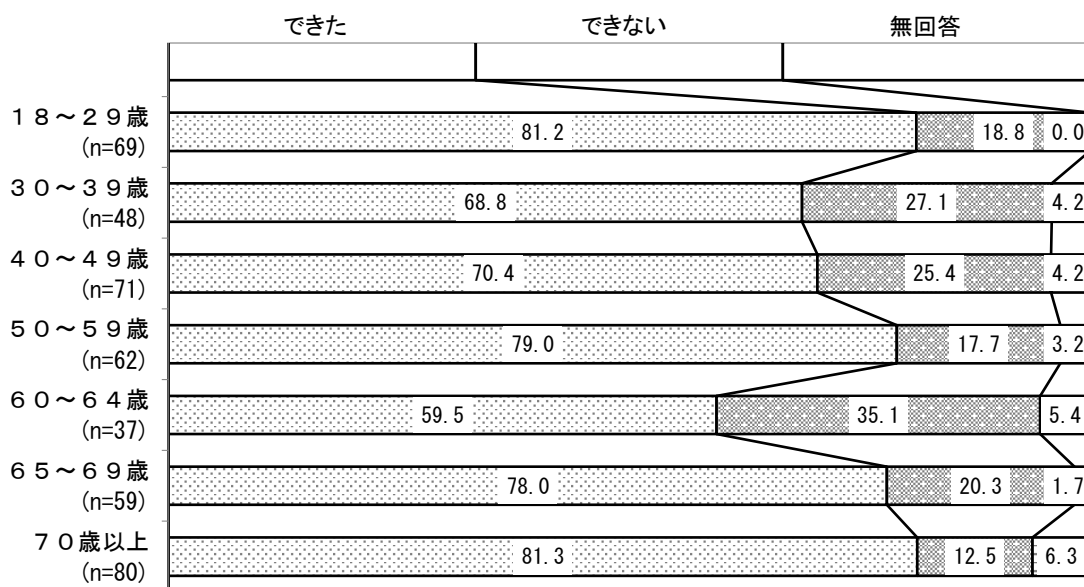
【性別】

- 仲間ができた人の割合は、男性が 70.7%、女性が 79.5%で、女性が男性を上回っている。



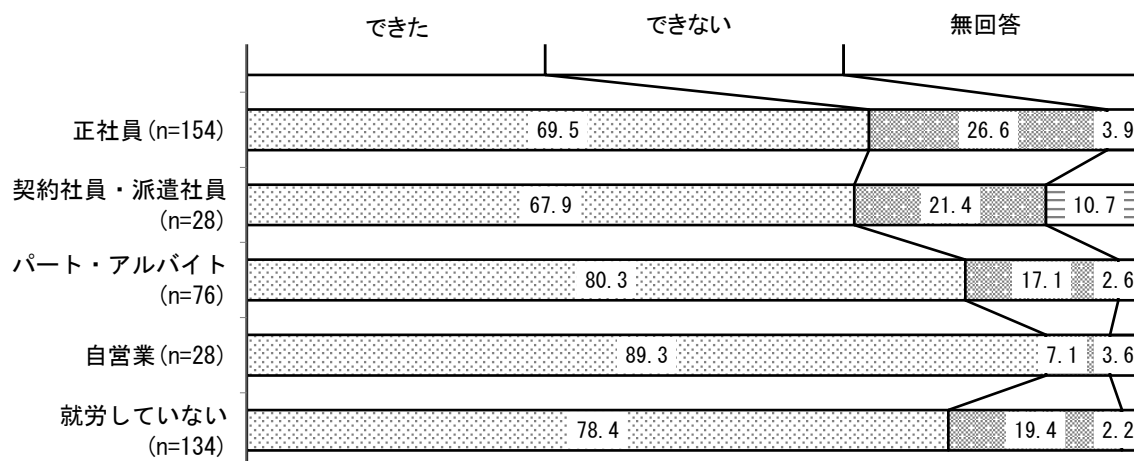
【年齢別】

- 仲間ができた人の割合は、20代以下、50代、60代後半以上で約8割以上と高くなっている。



【職業別】

- 仲間ができた人の割合は正社員や契約社員・派遣社員では約7割と他の職業より低くなっている。

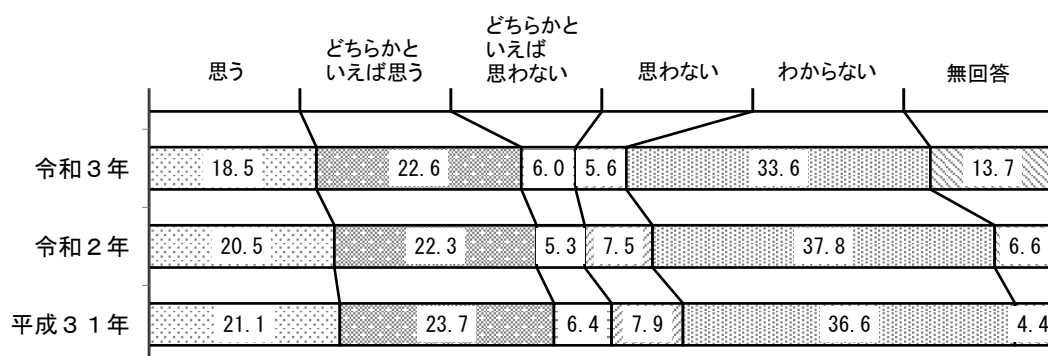


③生涯学習の機会（問 29）

あなたは、合志市には生涯学習に親しむ機会があると思いますか。

生涯学習に親しむ機会があると思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）人の割合は41.1%、思わない（「思わない」＋「どちらかといえば思わない」）人の割合11.6%となっている。なお「わからない」は33.6%である。

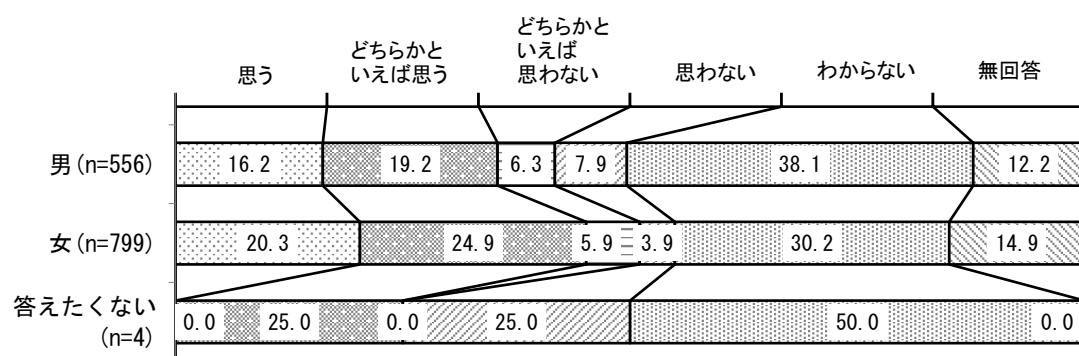
機会があると思う人の割合は年々減少している。



	令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%
1 思う	252	18.5	272	20.5
2 どちらかといえば思う	308	22.6	297	22.3
3 どちらかといえば思わない	82	6.0	70	5.3
4 思わない	76	5.6	100	7.5
5 わからない	458	33.6	502	37.8
6 無回答	187	13.7	88	6.6
合計	1363	100.0	1329	100.0

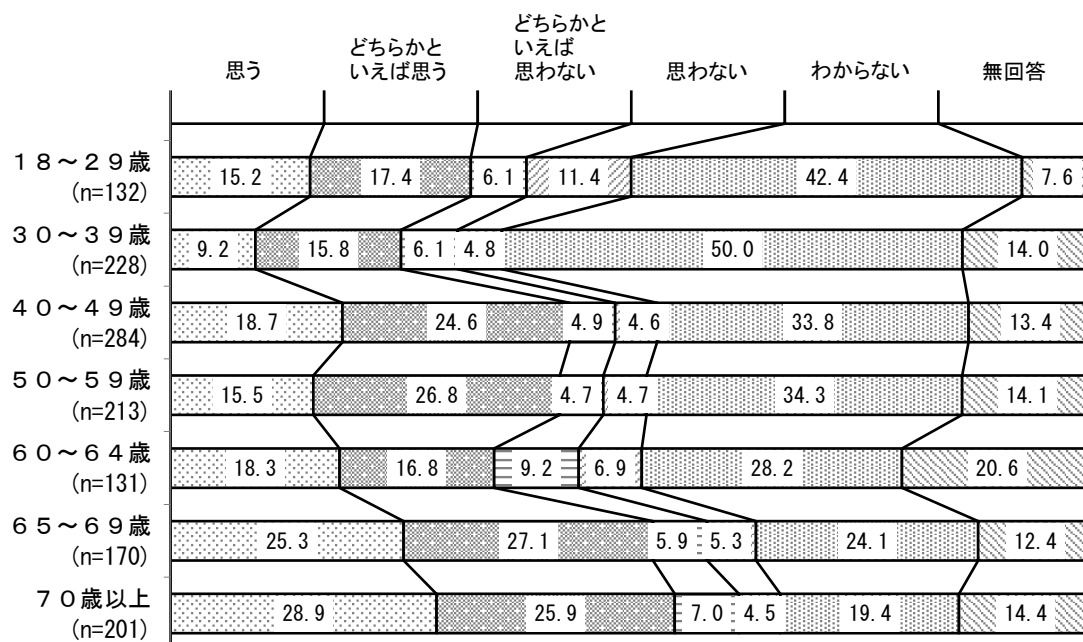
【性別】

- 生涯学習に親しむ機会があると思う人の割合は、男性35.4%、女性45.2%と女性が男性を上回っている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



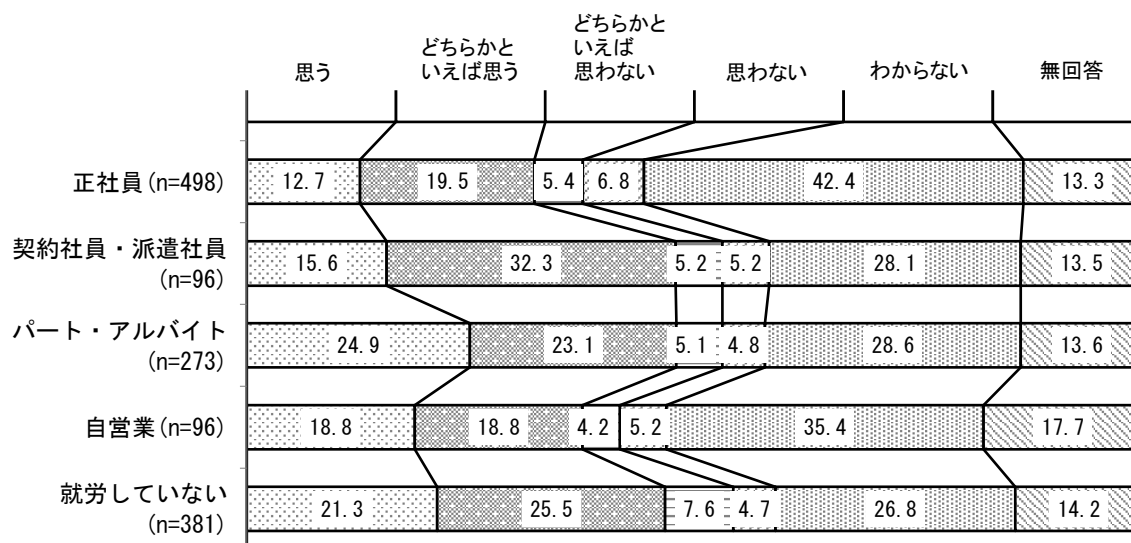
【年齢別】

- 30代以下の年代では「わからない」が50.0%と半数を占めている。
- 生涯学習に親しむ機会があると思う人の割合は、20代以下と40代で昨年度より増加している。



【職業別】

- 生涯学習に親しむ機会があると思う人の割合は、正社員が最も低く32.2%となっている。

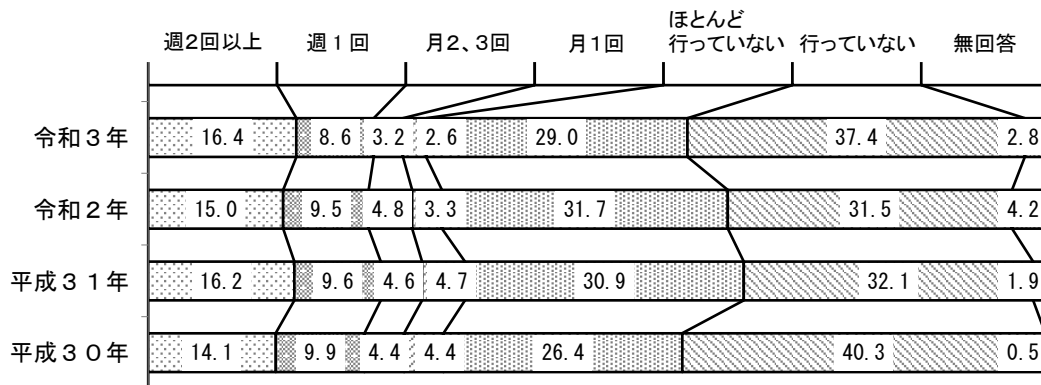


(3) スポーツについて

①スポーツの実施（問30）

あなたは、スポーツをどのくらい行っていますか。

スポーツを行っている人（月1回以上）の割合は30.8%、行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は66.4%となっている。
 なお、行っている人の頻度では、「週2回以上」が16.4%と最も高くなっている。
 スポーツを行っている人の割合は平成31年度以降徐々に減少している。

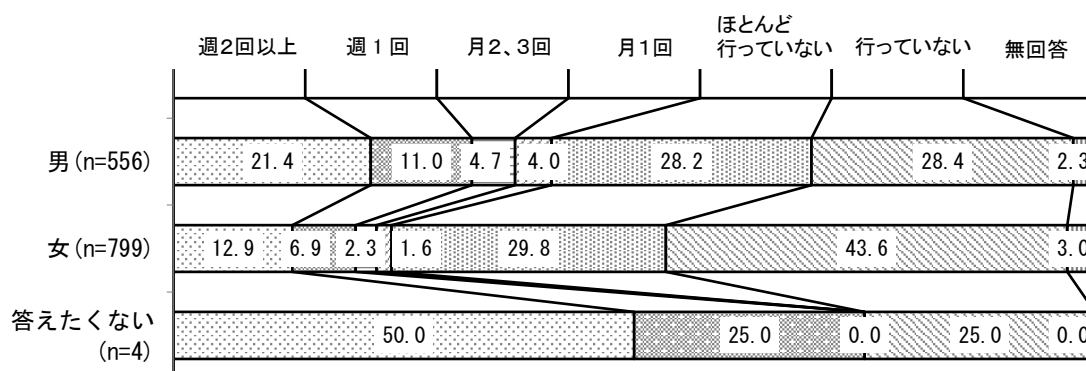


※平成30年度までは「目標・目的を持ってスポーツを行っているか」との設問であったため比較には注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	224	16.4	199	15.0	181	16.2	132	14.1
2 週1回行っている	117	8.6	126	9.5	107	9.6	92	9.9
3 月2、3回行っている	44	3.2	64	4.8	51	4.6	41	4.4
4 月1回行っている	35	2.6	44	3.3	53	4.7	41	4.4
5 ほとんど行っていない	395	29.0	421	31.7	345	30.9	247	26.4
6 行っていない	510	37.4	419	31.5	358	32.1	376	40.3
7 無回答	38	2.8	56	4.2	21	1.9	5	0.5
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

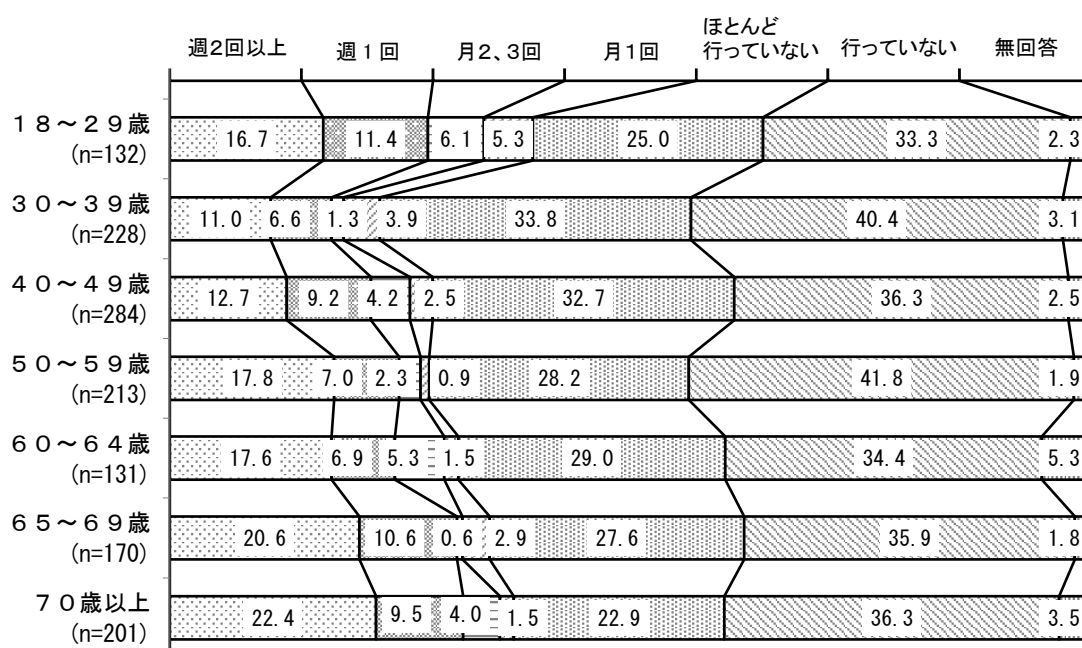
【性別】

- スポーツを行っている人の割合は、男性 41.0%、女性 23.7%と男性が上回っている。
特に男性は「週2回以上」の高頻度の割合が 21.4%となっている。
- 昨年度と比較してスポーツを行っている人の割合は、男性でわずかに増加しているが、女性では約 5 ポイント減少している。



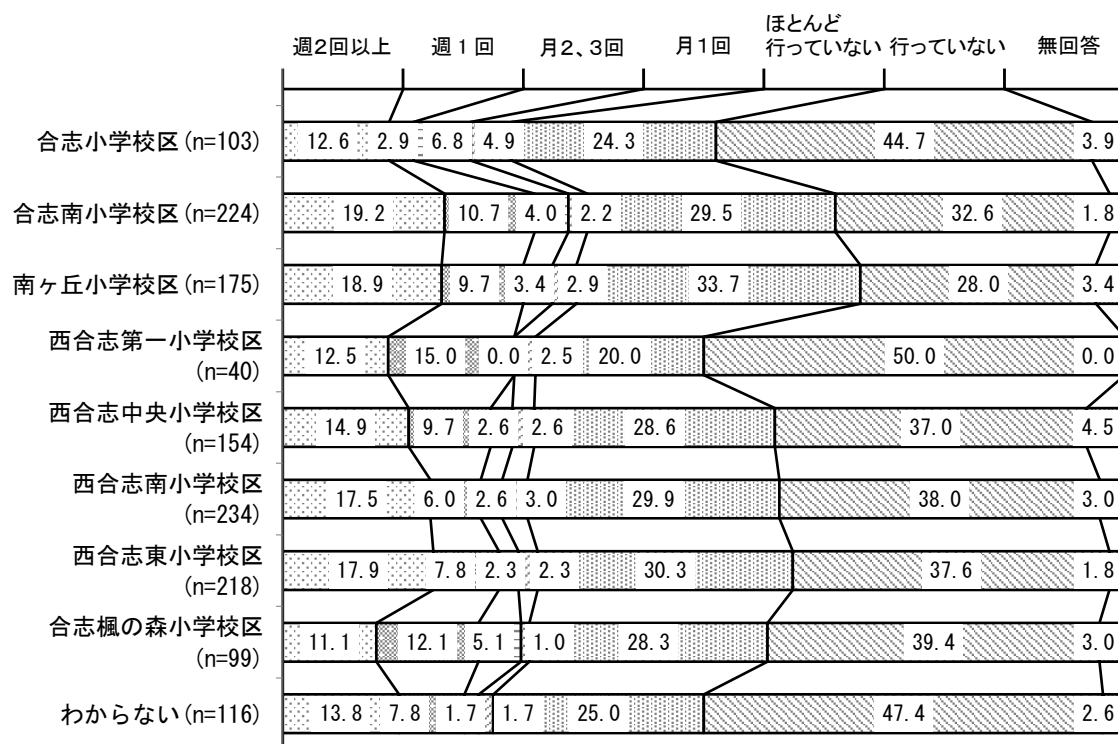
【年齢別】

- スポーツを行っている割合は、20 代以下では 39.5%と高くなっているが、30 代で 22.8%に減少、その後は年齢とともに増加となり、70 歳以上では 37.4%となっている。
- 30 代～50 代では約 7 割がスポーツを行っていない状況となっている。



【校区别】

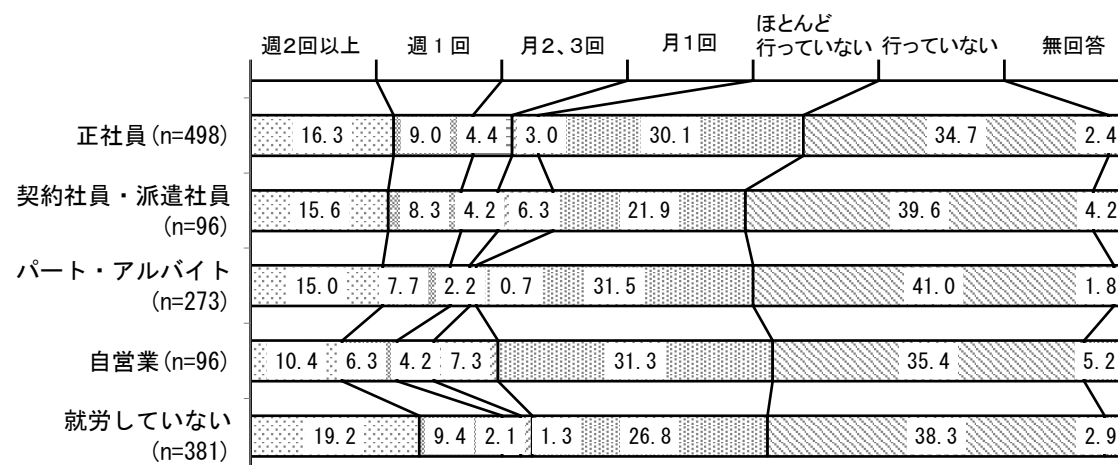
- スポーツを行っている割合は、合志南小が36.1%、南ヶ丘小が34.9%と他の校区に比べて高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

- スポーツを行っている割合は、パート・アルバイト、自営業では3割未満と他の職業に比べて低くなっている。



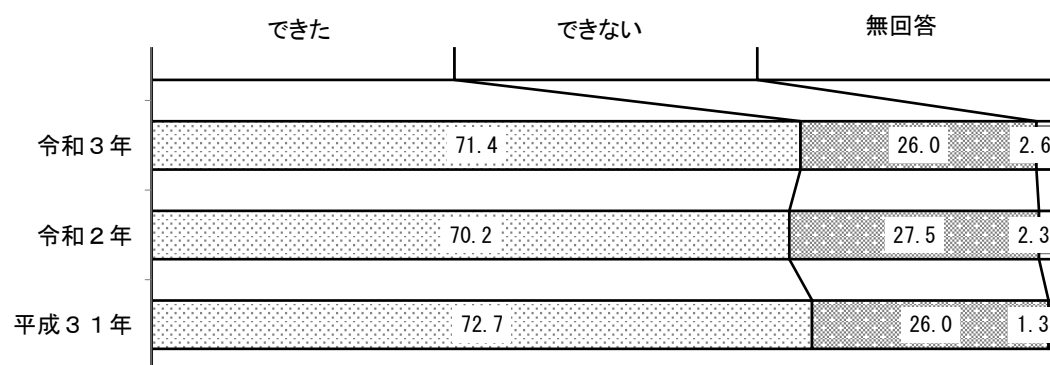
②スポーツを通じた仲間づくり（問31）

問30で1～4と答えた方に。

あなたは、スポーツを通じて仲間ができましたか。

スポーツを行っている420人についてスポーツを通じて仲間ができたかを尋ねたところ、71.4%が「できた」としている。

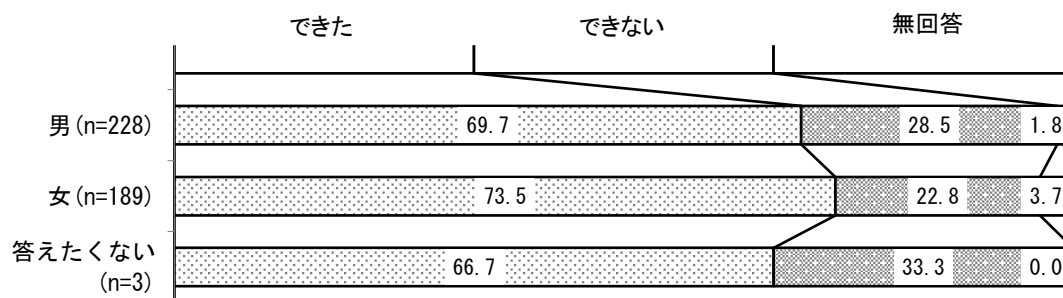
昨年度と比較して大きな違いは見られていない。



	令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%
1 できた	300	71.4	304	70.2
2 できない	109	26.0	119	27.5
3 無回答	11	2.6	10	2.3
合計	420	100.0	433	100.0

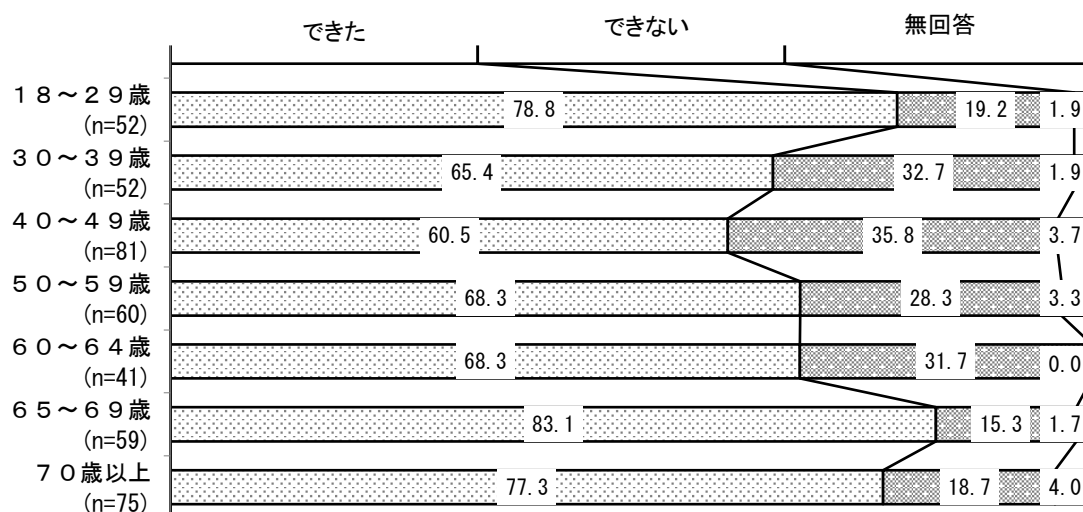
【性別】

- スポーツを通じて仲間ができた人の割合は、男性が69.7%、女性が73.5%と女性が男性を上回っている。



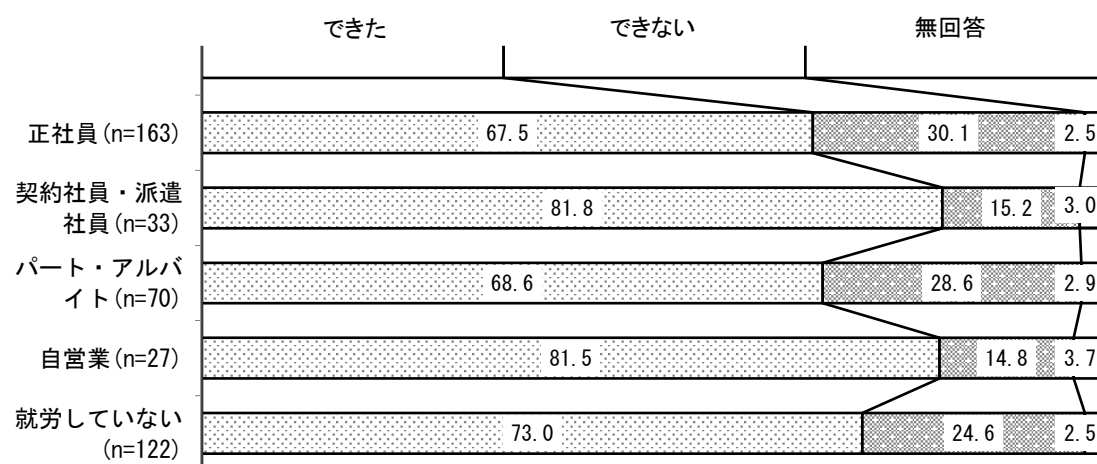
【年齢別】

- スポーツを通じて仲間ができた人の割合は、20代以下と60代後半以上で約8割以上と多くなっている。



【職業別】

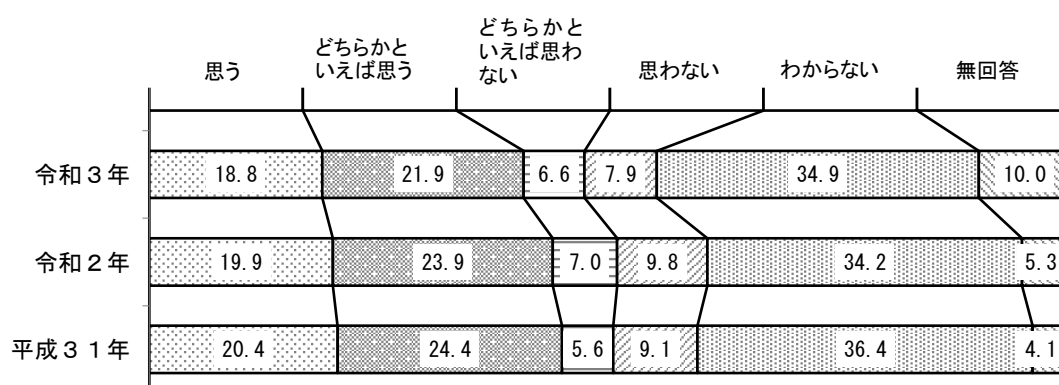
- スポーツを通じて仲間ができた人の割合は、契約社員・派遣社員や自営業で8割を超え高くなっている。



③スポーツの機会（問３２）

あなたは、合志市にはスポーツに親しむ機会があると思いますか。

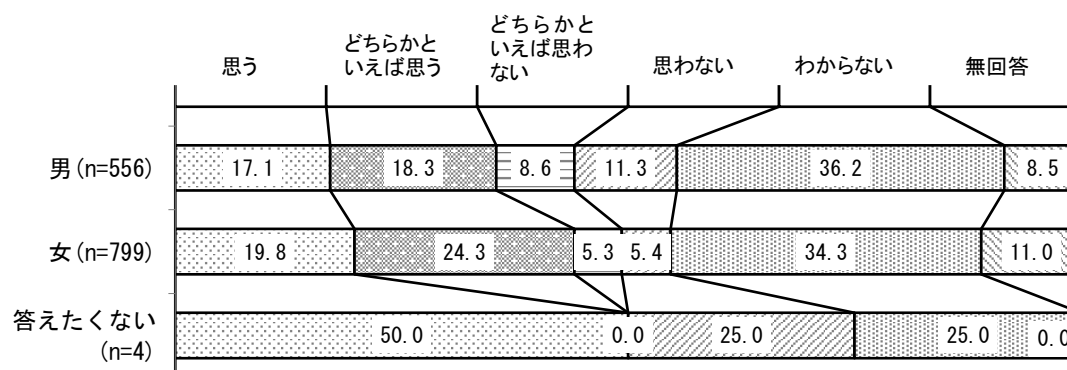
スポーツに親しむ機会があると思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）人の割合は40.7%、思わない（「思わない」＋「どちらかといえば思わない」）人の割合は14.5%となっており、「わからない」は34.9%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和３年度		令和２年度	
	人	%	人	%
１ 思う	256	18.8	265	19.9
２ どちらかといえば思う	298	21.9	317	23.9
３ どちらかといえば思わない	90	6.6	93	7.0
４ 思わない	107	7.9	130	9.8
５ わからない	476	34.9	454	34.2
６ 無回答	136	10.0	70	5.3
合計	1363	100.0	1329	100.0

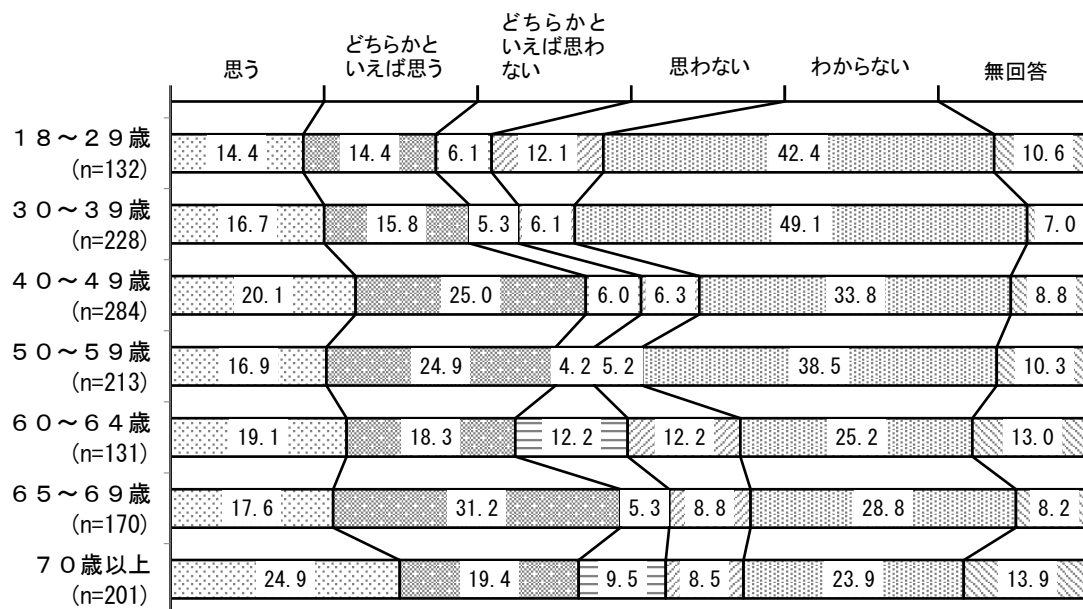
【性別】

- スポーツに親しむ機会があると思う人の割合は、男性 35.4%、女性 44.1%と女性が男性を上回っている。



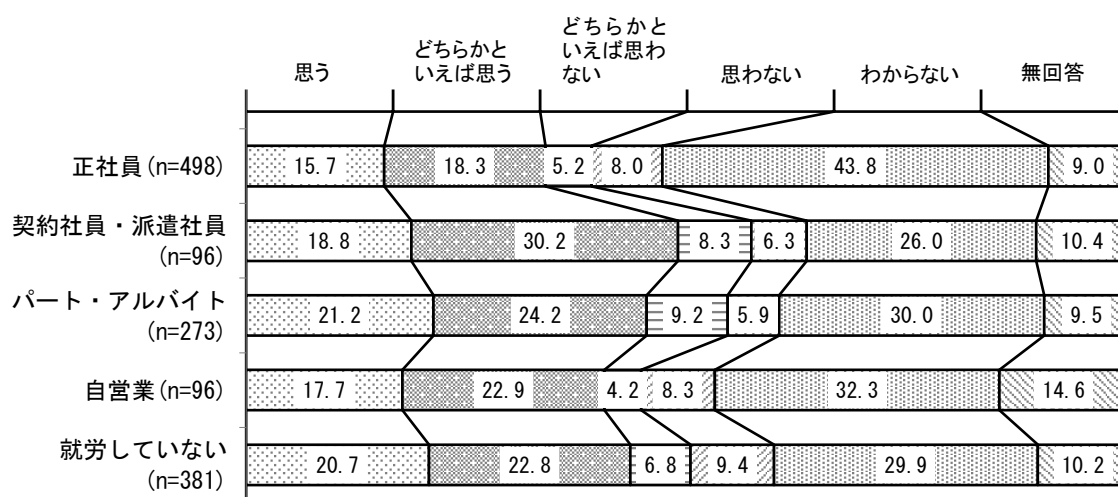
【年齢別】

- スポーツに親しむ機会があると思う人の割合は、60代後半で約5割となっている。



【職業別】

- スポーツに親しむ機会があると思う人の割合は、正社員で34.0%と低く、約4割の人はわからないとしている。

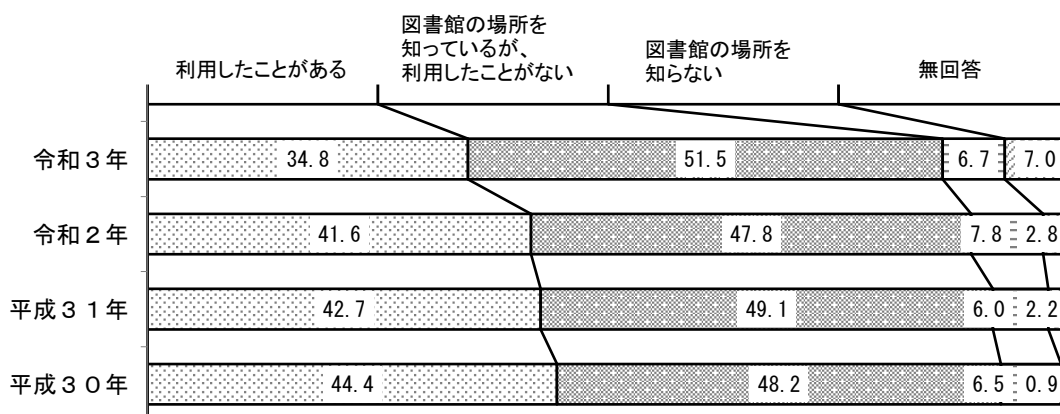


(4) 図書館の利用(問33)

あなたは、過去1年間で図書館を利用したことがありますか？

過去1年間に図書館を利用したことがある人の割合は34.8%となっている。場所を知っているが利用しことがない人は51.5%、「図書館の場所を知らない」人は6.7%となっている。

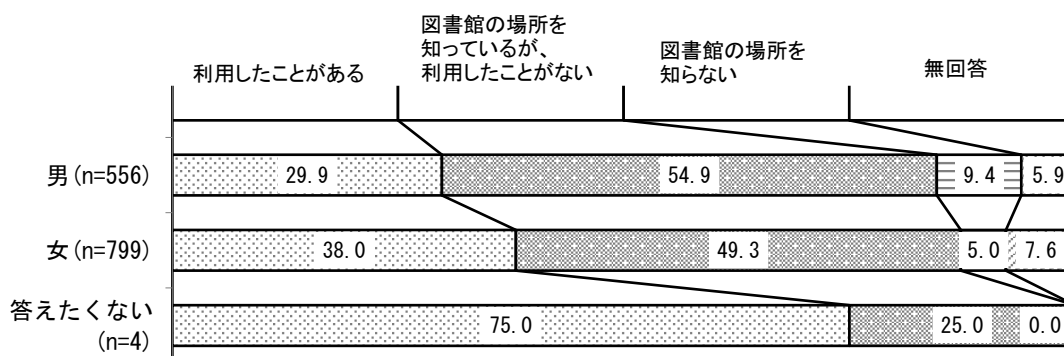
平成30年度以降利用した人の割合が徐々に減少しており、昨年度と比較して5ポイント以上減少しているが、今年度に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 利用したことがある	474	34.8	553	41.6	476	42.7	415	44.4
2 図書館の場所は知っているが利用したことがない	702	51.5	635	47.8	548	49.1	450	48.2
3 図書館の場所を知らない	92	6.7	104	7.8	67	6.0	61	6.5
4 無回答	95	7.0	37	2.8	25	2.2	8	0.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

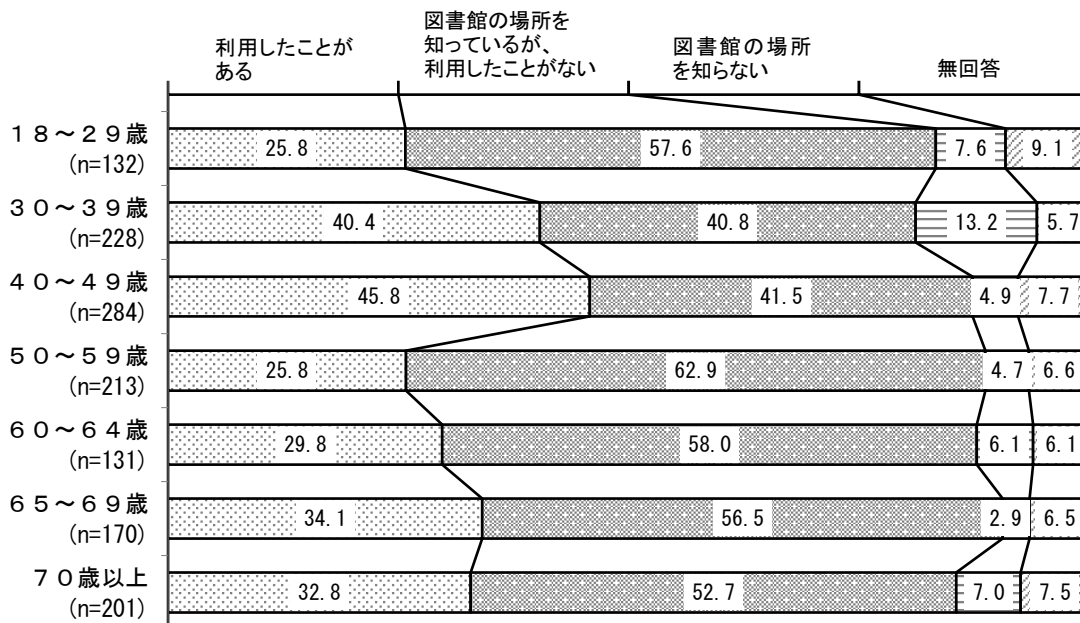
【性別】

- 過去1年間に図書館を利用したことがある人の割合は、男性が29.9%、女性が38.0%と女性が男性を上回っている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



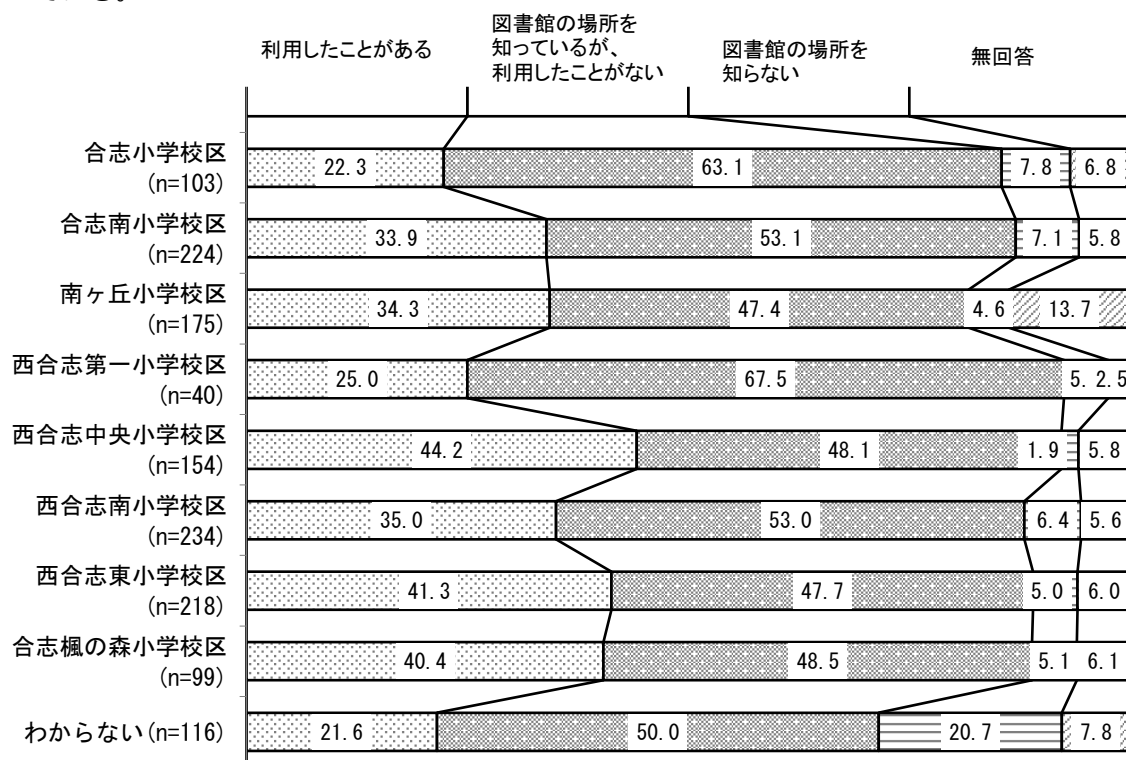
【年齢別】

- 過去1年間に図書館を利用したことのある人の割合は、30代、40代で4割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。



【校区别】

- 過去1年間に図書館を利用したことのある人の割合は、合志小、西合志第一小で約2割となっており一方、西合志中央小、西合志東小、合志楓の森小で4割を超え、高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

◆生活環境について

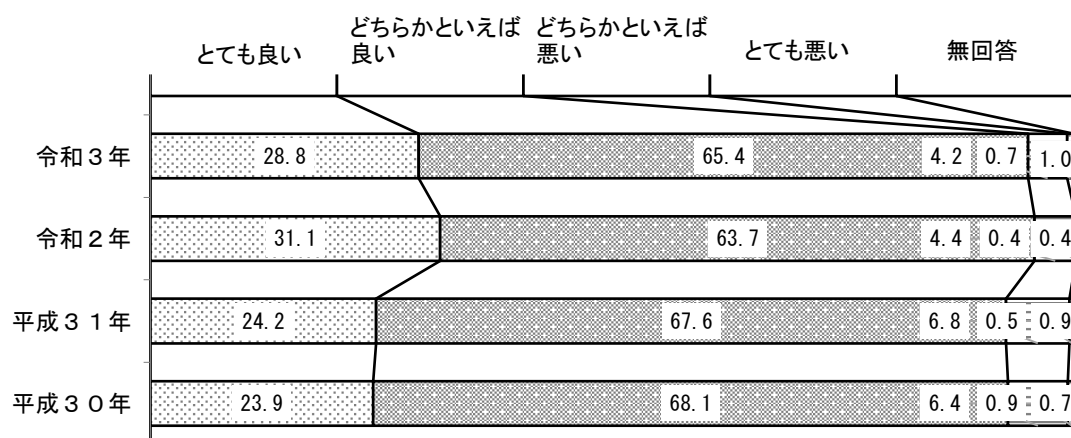
1. 住環境の評価

(1) 住環境評価（問47）

あなたの住んでいるところは、良い住環境だと思いますか？

住環境について、良い（「とても良い」＋「どちらかといえば良い」）とする人の割合は94.2%となっており、悪い（「とても悪い」＋「どちらかといえば悪い」）とする人の割合は4.9%となっている。

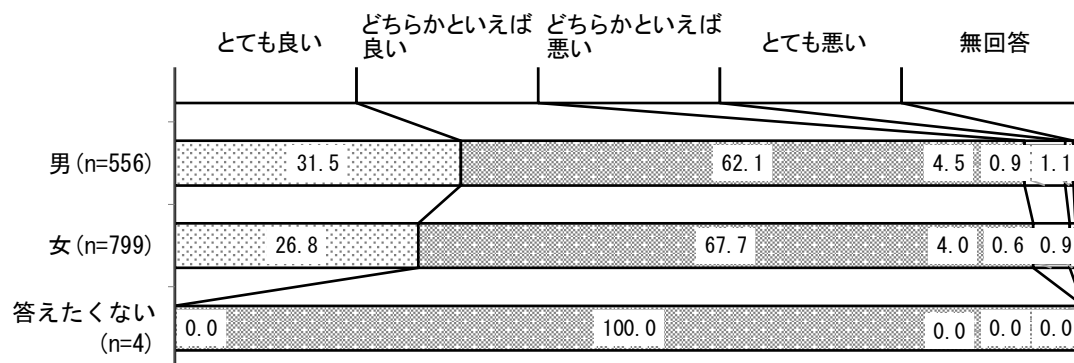
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても良いと思う	392	28.8	413	31.1	270	24.2	223	23.9
2 どちらかといえば良いと思う	891	65.4	847	63.7	754	67.6	636	68.1
3 どちらかといえば悪いと思う	57	4.2	59	4.4	76	6.8	60	6.4
4 とても悪いと思う	10	0.7	5	0.4	6	0.5	8	0.9
5 無回答	13	1.0	5	0.4	10	0.9	7	0.7
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

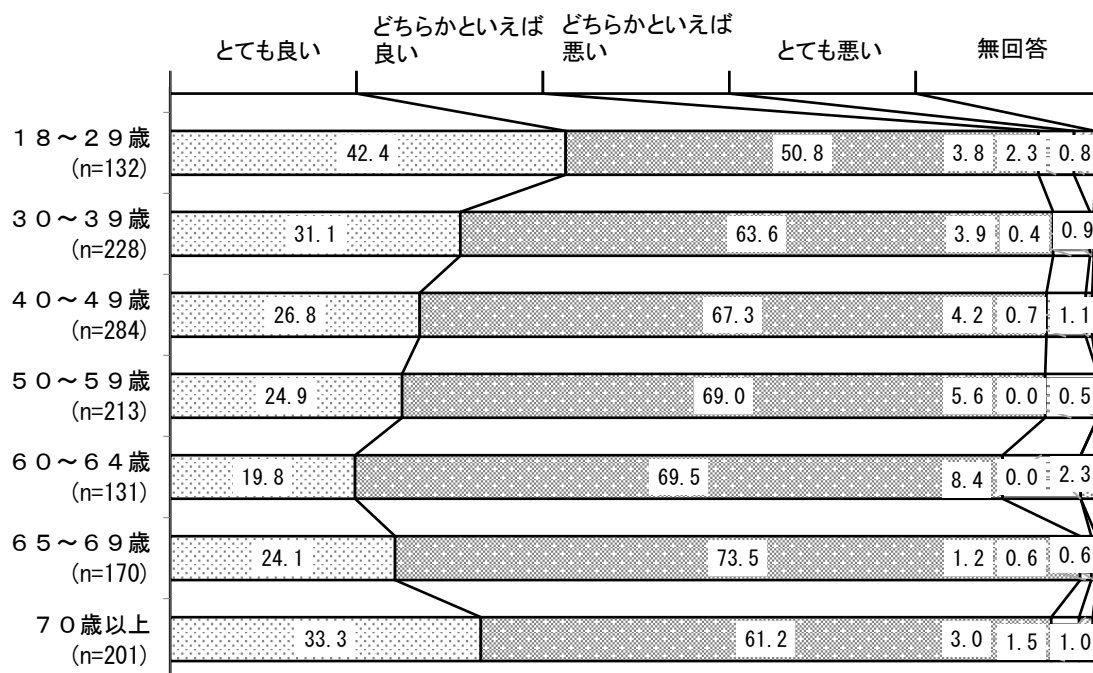
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



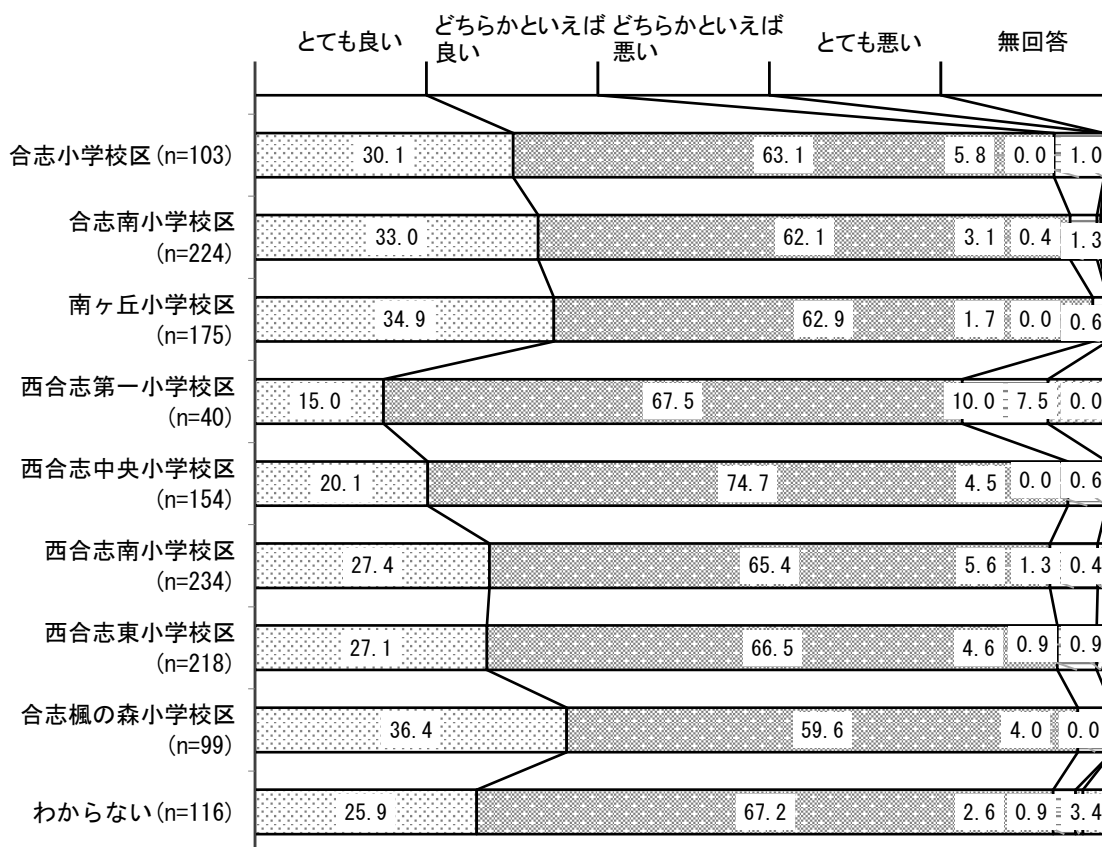
【年齢別】

- 住環境について、良いとする割合に年代による大きな違いはみられていないが、「とても良い」の割合は、60代前半で約2割と少なくなっている。
- 昨年度と比較して、「とても良い」の割合は20代以下で5ポイント以上増加しているが、60代前半では5ポイント以上減少している。



【校区别】

- 住環境について良いとする割合は、ほとんどの校区で約 9 割となっているが、西合志第一小では約 8 割と他の校区と比べて低くなっている。



※西合志第一小は回答者数他よりも少ないので注意が必要

(2) 住み慣れた地域（問25）

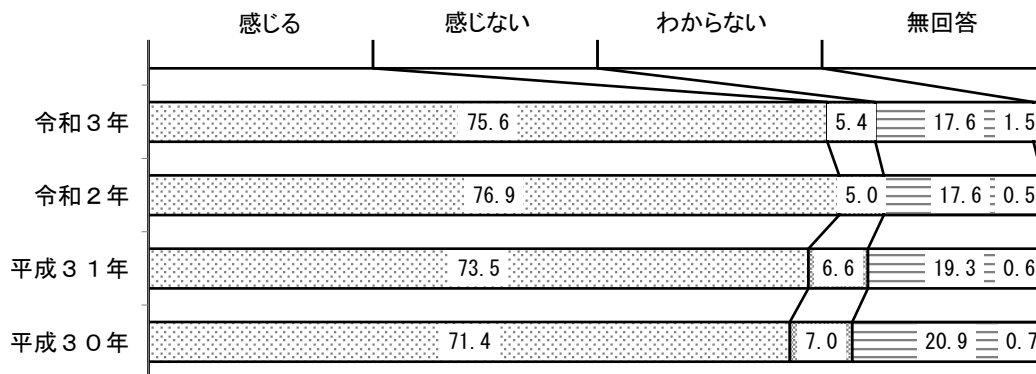
あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか？

住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は75.6%となっており、「感じない」は5.4%、「わからない」は17.6%となっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

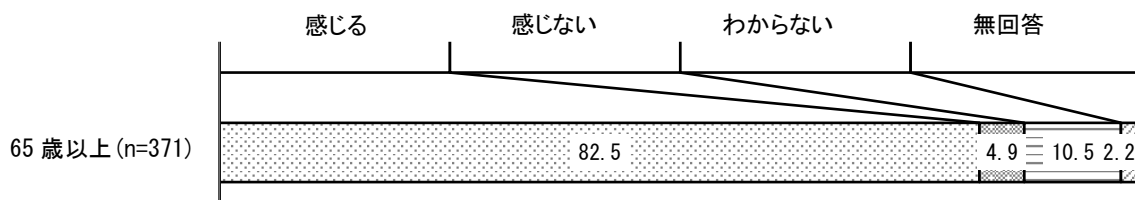
なお、65歳以上のみで集計した場合、全世代の集計結果よりも、「感じる」人の割合が5ポイント以上高くなっている。

全世代



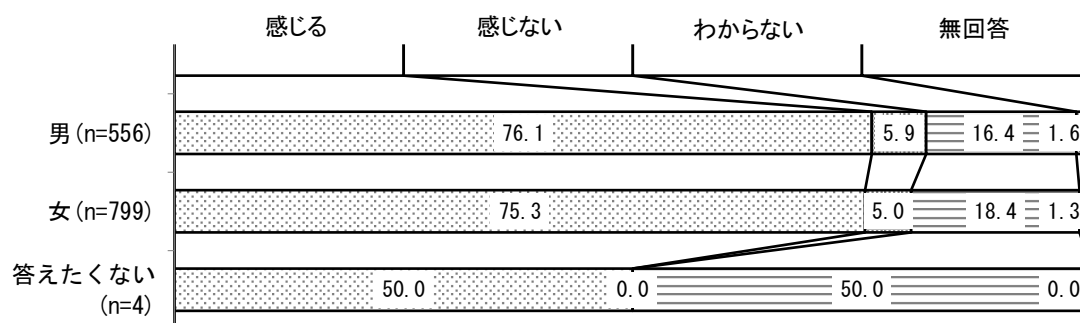
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 感じる	1030	75.6	1022	76.9	820	73.5	667	71.4
2 感じない	73	5.4	66	5.0	74	6.6	65	7.0
3 わからない	240	17.6	234	17.6	215	19.3	195	20.9
4 無回答	20	1.5	7	0.5	7	0.6	7	0.7
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

65歳以上



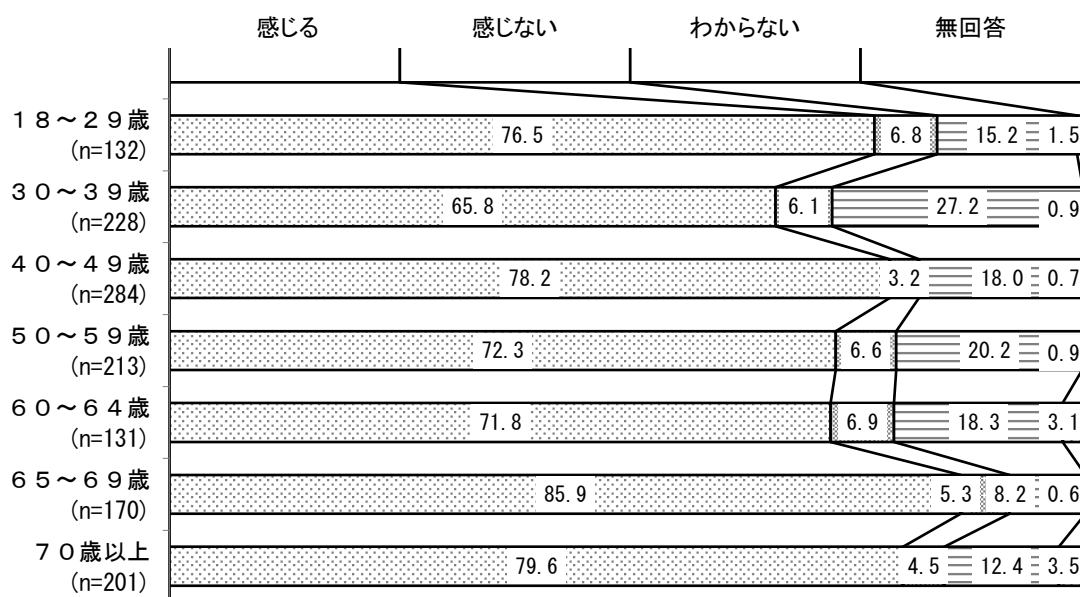
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



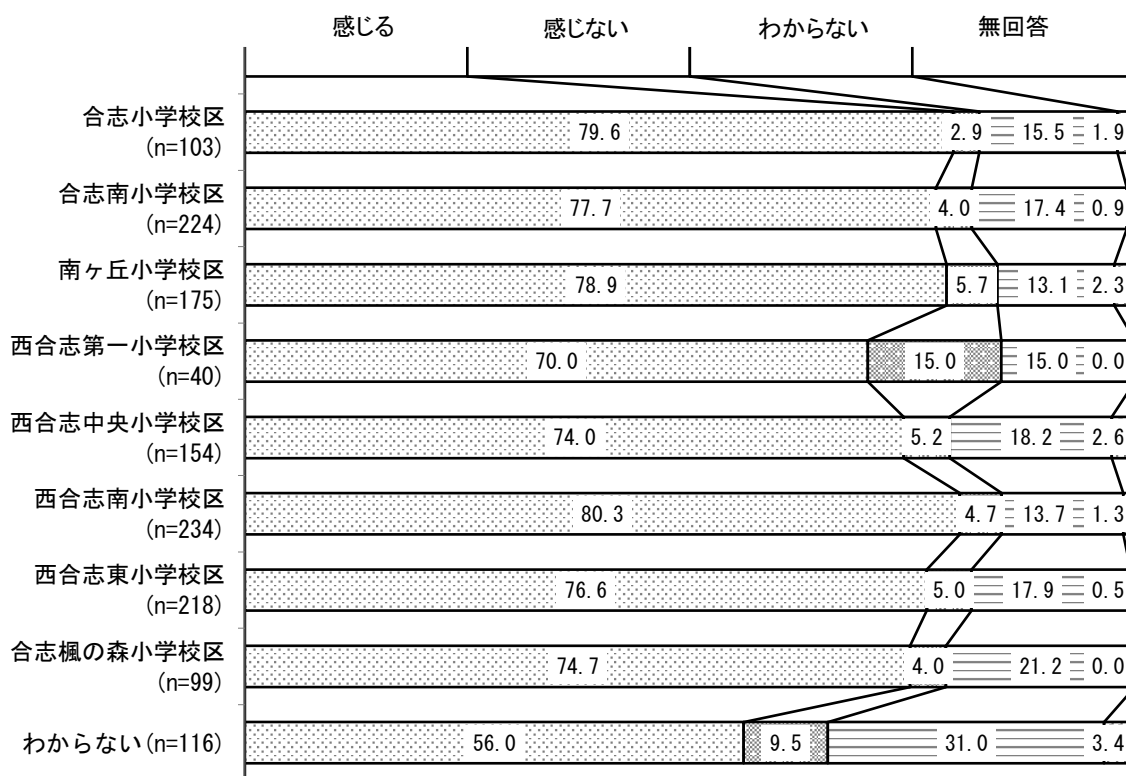
【年齢別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、ほとんどの年代で 7～9 割となっているが、30 代では 65.8%と他の年代と比較して低くなっている。



【校区别】

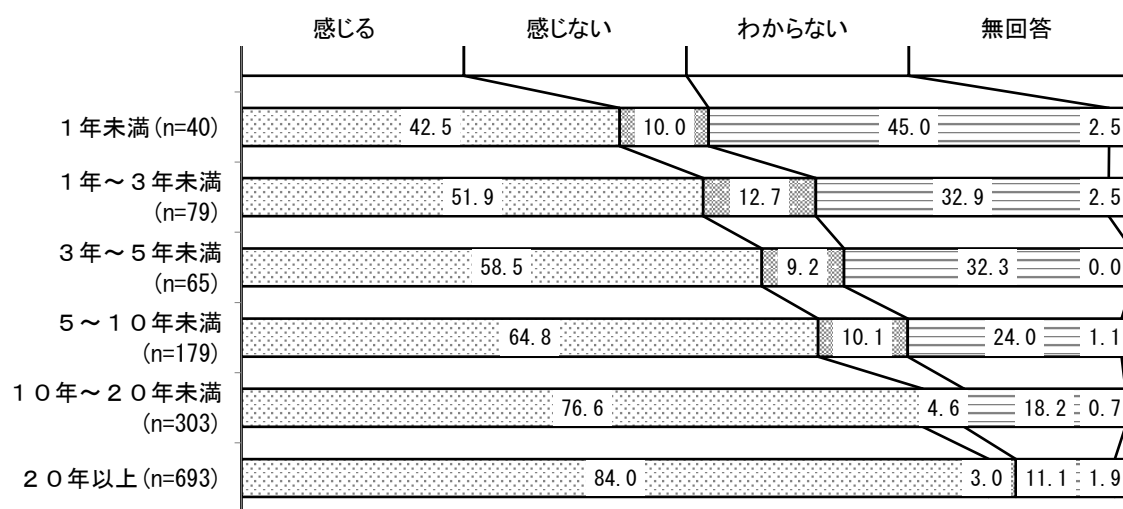
- 校区别で大きな違いはみられていない。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

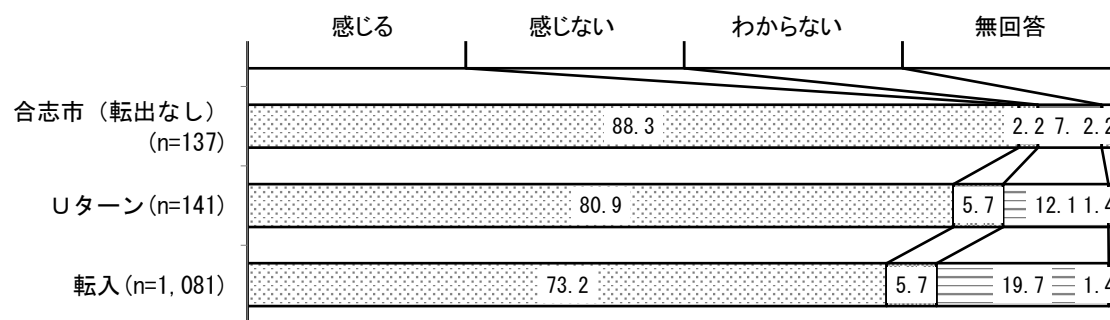
【居住年数別】

- 居住年数が長くなるにつれ、住み慣れた地域で生活できていると感じている人の割合は高くなっている。居住年数が 1 年以上になると、5 割以上が住み慣れた地域と感じている。



【出身地別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、転出なく合志市に住んでいる人では 88.3%、U ターンして住んでいる人は 80.9%、転入で住んでいる人では 73.2%となっている。

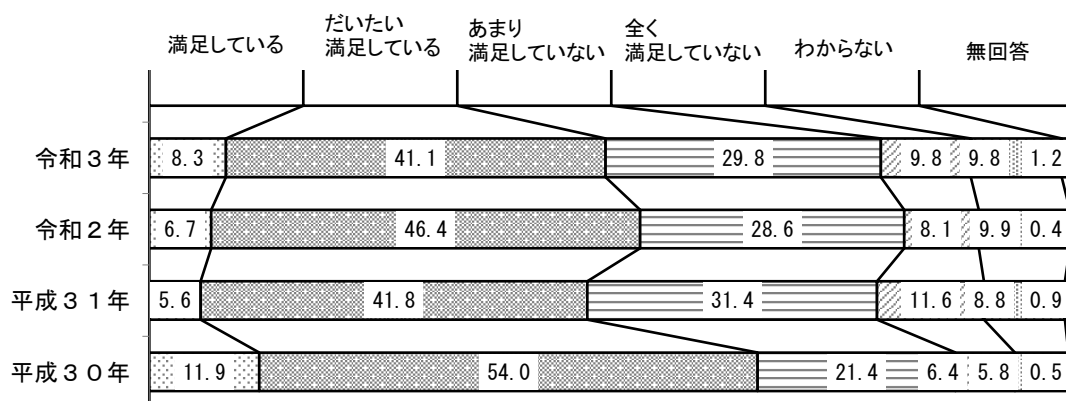


2. 交通について

(1) 道路移動の満足度 (問 4 9)

あなたは、合志市内の道路の利用に満足していますか？

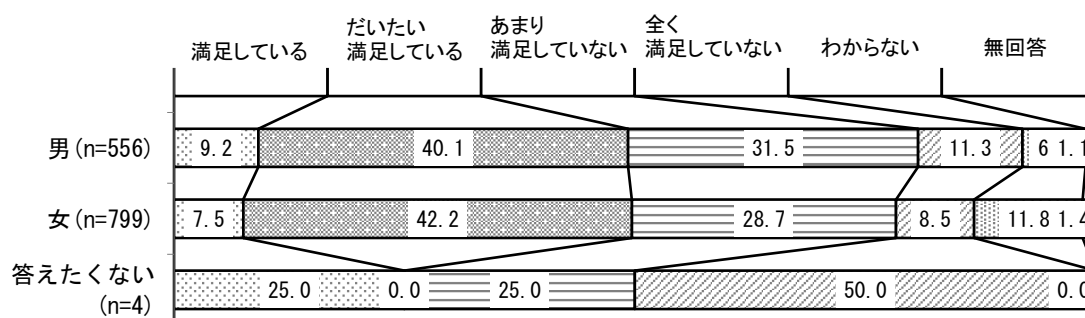
合志市内の道路の利用に満足している（「満足している」＋「だいたい満足している」）人の割合は49.4%となっており、満足していない（「全く満足していない」＋「あまり満足していない」）人の割合の39.6%を上回っている。
昨年度と比較して満足している人の割合が3.7ポイント減少している。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%
1 満足している	113	8.3	89	6.7	62	5.6
2 だいたい満足している	560	41.1	617	46.4	467	41.8
3 あまり満足していない	406	29.8	380	28.6	350	31.4
4 全く満足していない	133	9.8	107	8.1	129	11.6
5 わからない	134	9.8	131	9.9	98	8.8
6 無回答	17	1.2	5	0.4	10	0.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

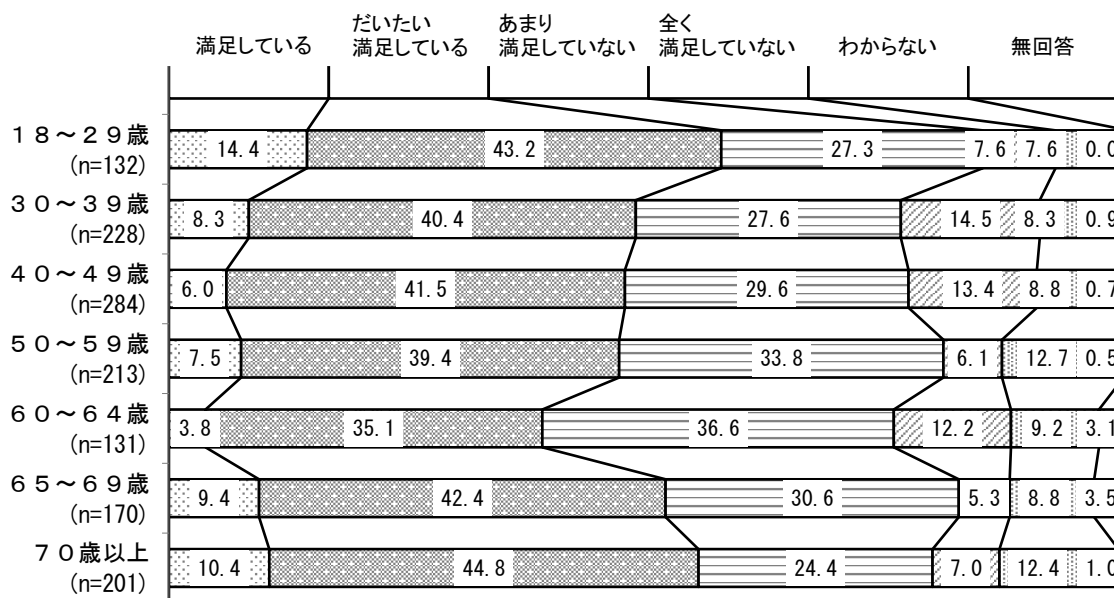
【性別】

- 男女による大きな差はみられていない。



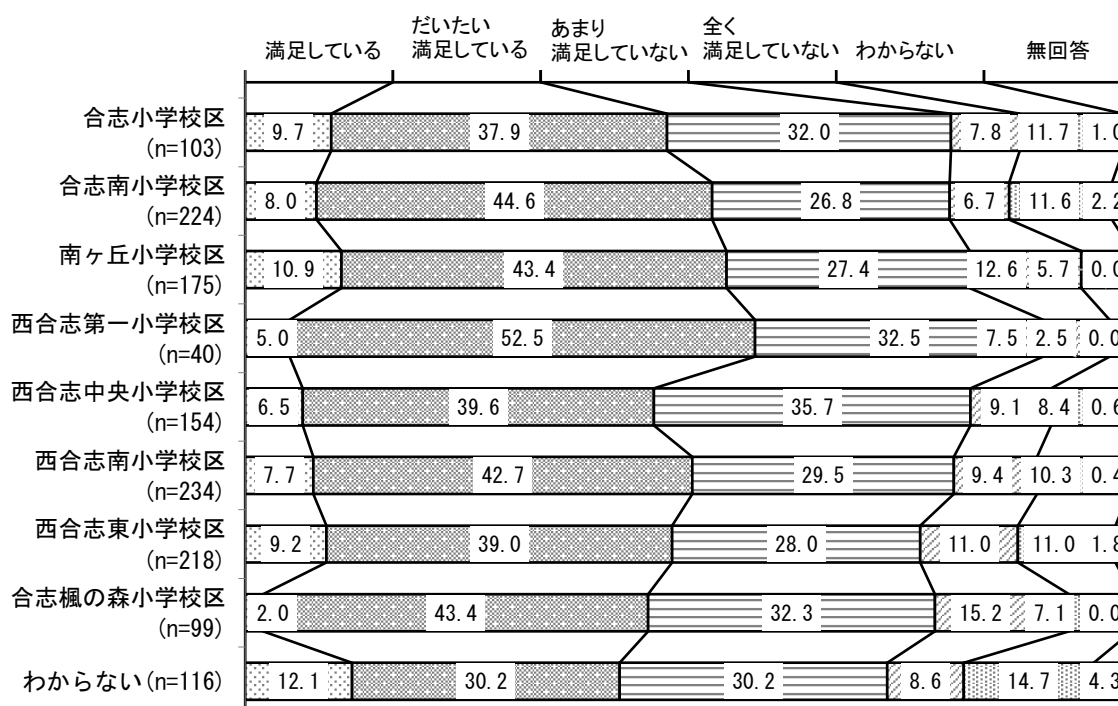
【年齢別】

- 合志市内の道路の利用に満足している人の割合は、30代から50代と、60代前半で5割未満と低くなっている。



【校区别】

- 合志市内の道路の利用に満足している人の割合は、合志南小、南ヶ丘小、西合志第一小では5～6割と高く、その他の校区では半数以下となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

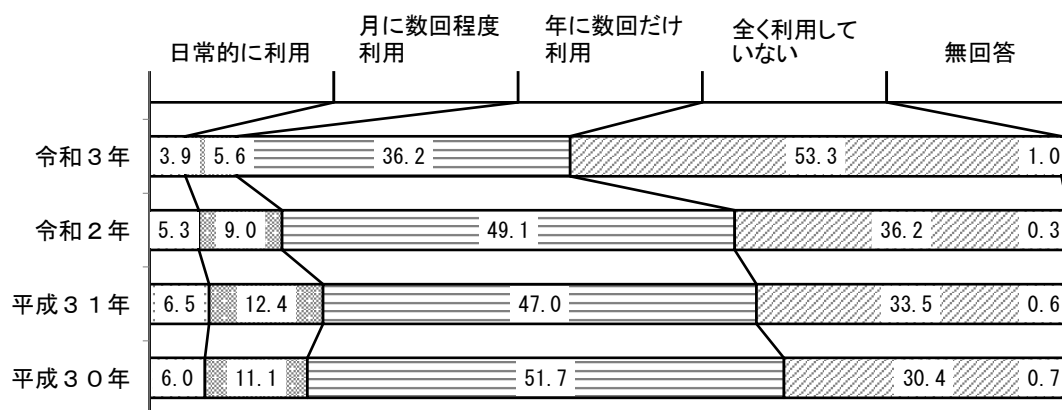
(2) 公共交通の利用について

①公共交通の利用状況(問50)

あなたは、どの程度公共交通機関(JR、バス、電車)を利用していますか？

公共交通機関を「日常的に利用している」人の割合は3.9%、「月に数回程度利用している」が5.6%、「年に数回だけ利用している」が36.2%、「全く利用していない」が53.3%となっており、半数以上の人公共交通機関を利用していない。

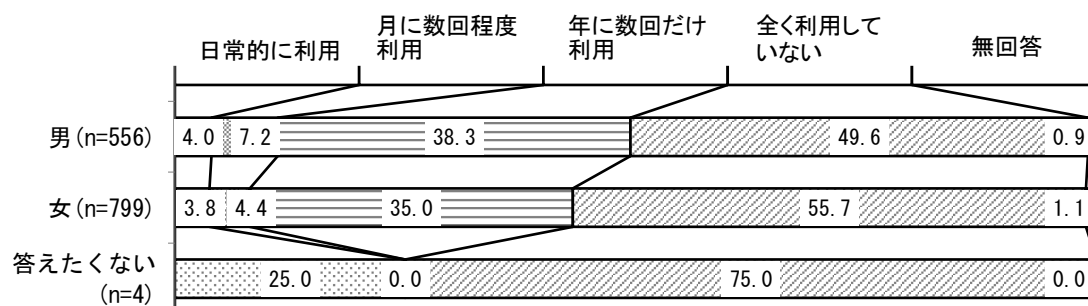
昨年度と比較すると全く利用していない人の割合が17.1ポイント増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 日常的に利用している	53	3.9	71	5.3	72	6.5	56	6.0
2 月に数回程度利用している	76	5.6	120	9.0	138	12.4	104	11.1
3 年に数回だけ利用している	493	36.2	653	49.1	525	47.0	483	51.7
4 全く利用していない	727	53.3	481	36.2	374	33.5	284	30.4
5 無回答	14	1.0	4	0.3	7	0.6	7	0.7
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

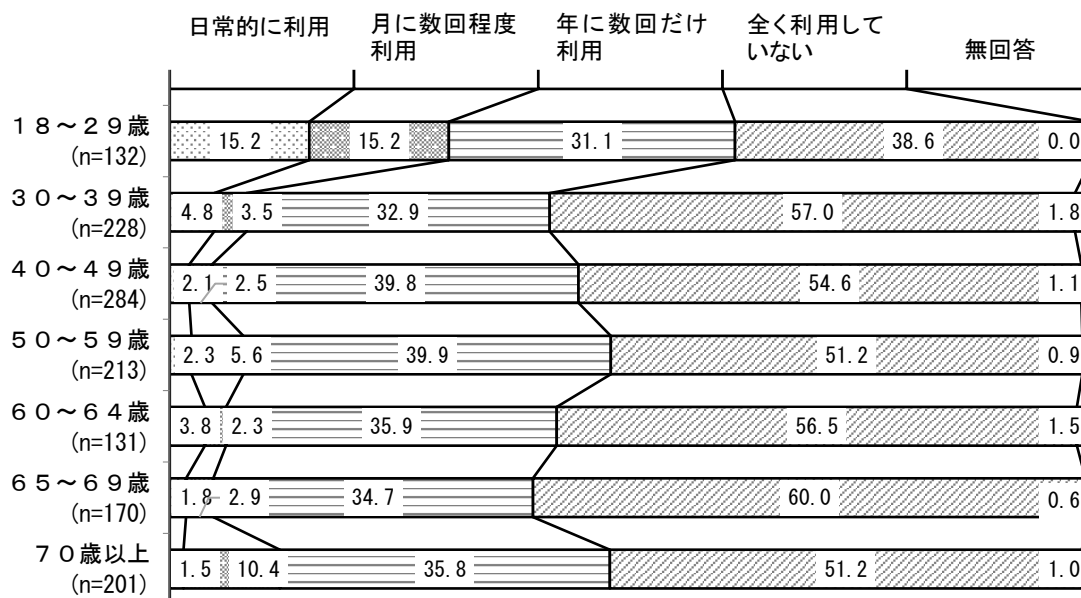
【性別】

- 公共交通機関を利用している人の割合は、男性 49.5%、女性 43.2%となっており、男性が女性を上回っている。



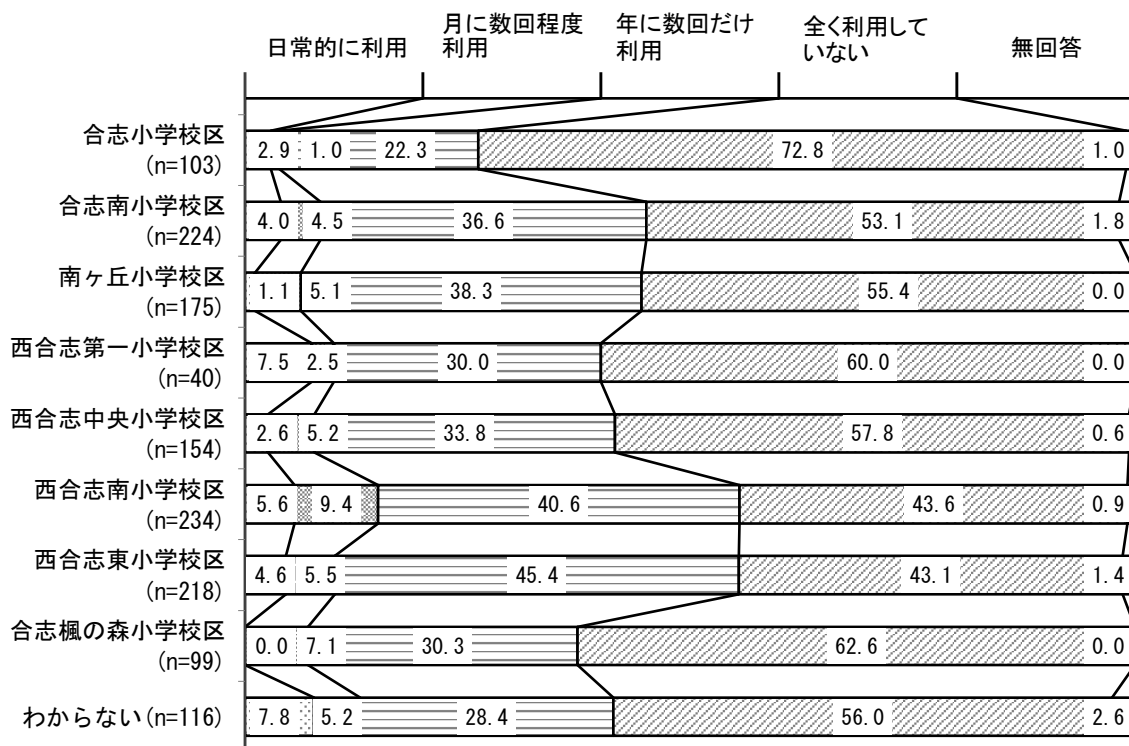
【年齢別】

- 20 代以下では、公共交通機関を「日常的に利用している」人の割合は 15.2%、「月に数回程度利用している」が 15.2%と他の年代と比べて利用している人の頻度が高くなっている。



【校区别】

- 公共交通を利用している人の割合は、西合志南小、西合志東小では半数以上と他の校区よりも高くなっている。
- 一方、合志小では約7割が全く利用していない。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

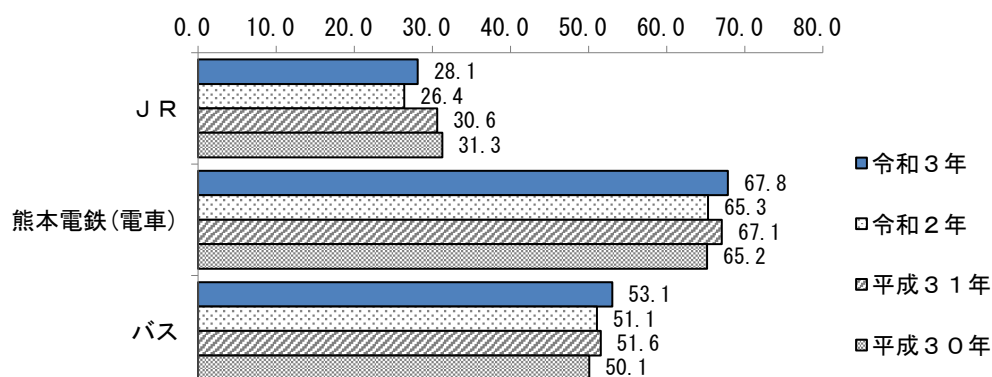
②利用機関（問51）

問50で1～3と答えた方にお尋ねします。

あなたは、どの公共交通機関を利用していますか？

公共交通機関を利用している622人が利用している交通機関としては、「熊本電鉄（電車）」が67.8%、「バス」53.1%、「JR」28.1%となっている。

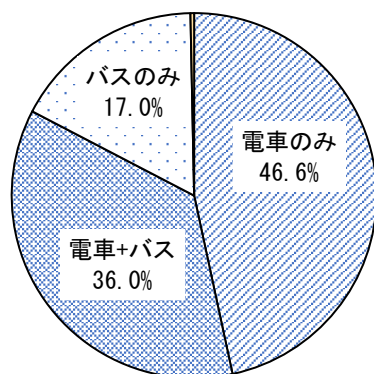
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	n=622		n=844		n=735		n=643	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 JRを利用している	175	28.1	223	26.4	225	30.6	201	31.3
2 熊本電鉄(電車)を利用している	422	67.8	551	65.3	493	67.1	419	65.2
3 バスを利用している	330	53.1	431	51.1	379	51.6	322	50.1

（参考）利用公共交通機関の組み合わせ

無回答 0.3%



参考までに622人の公共交通機関の利用組み合わせを見ると、JRや熊本電鉄の「電車のみ」を利用している人の割合は46.6%と最も多く、「電車とバス」を利用している人の割合は36.0%、「バスのみ」を利用している人の割合は17.0%となっている。昨年度と比較して大きな違いはみられない。

【性別】

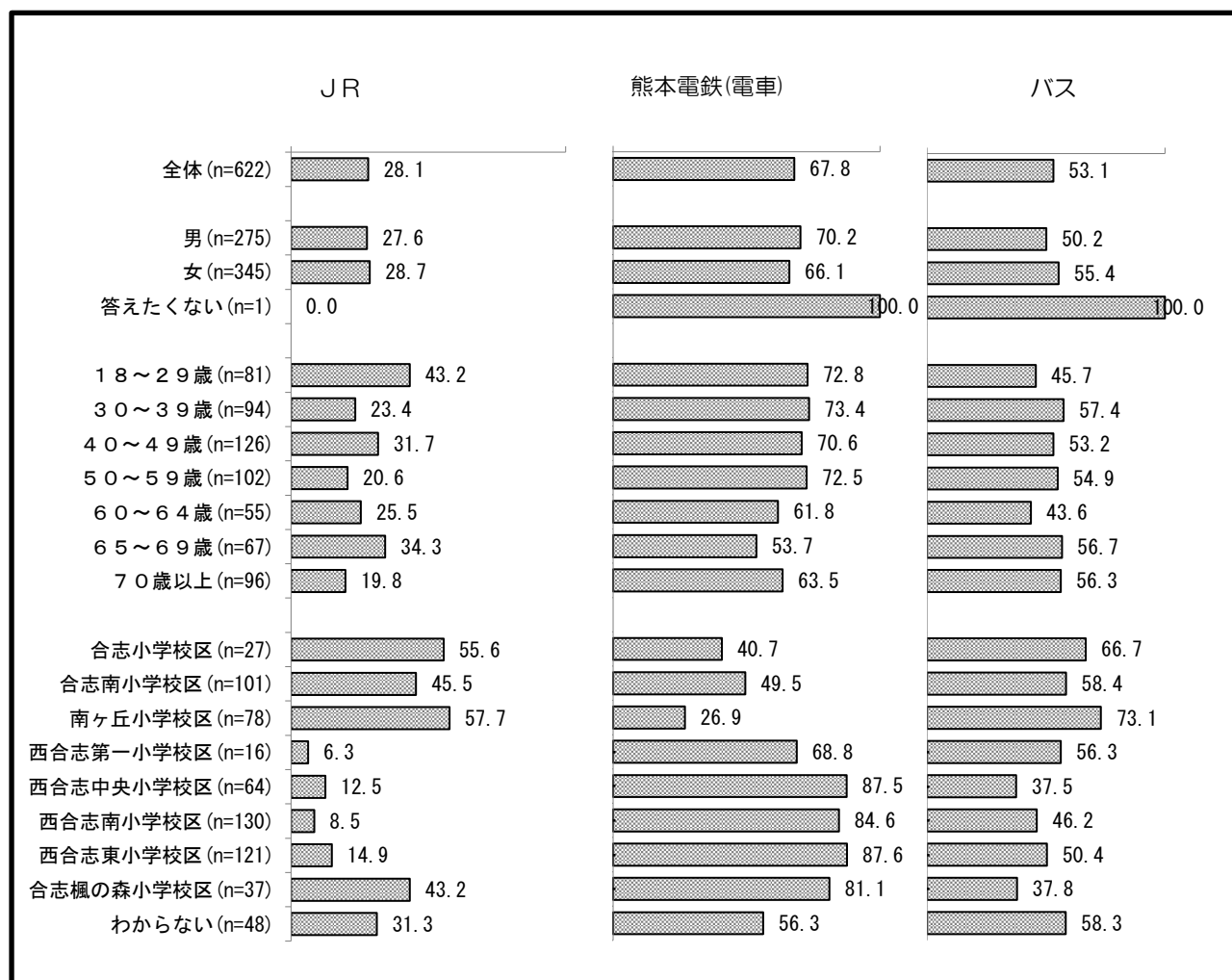
- 男性は熊本電鉄（電車）を利用している人が 70.2%と女性よりも多く、女性はバスを利用している人が 55.4%と男性よりも多い。

【年齢別】

- 年齢別にみると、70 歳以上の高齢者はバスの利用は多いものの、JR の利用は少ない。
- 50 代以下の年代では、熊本電鉄の利用が 7 割以上と高く、また 20 代以下の JR の利用は他の年代よりも高くなっている。

【校区别】

- 校区别では、「JR」は南ヶ丘小、合志小で5割以上が利用している。「熊本電鉄」は西合志中央小、西合志南小、西合志東小、合志楓の森小で 8 割以上が利用している。「バス」は合志小、南ヶ丘小で6割以上が利用しているが。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

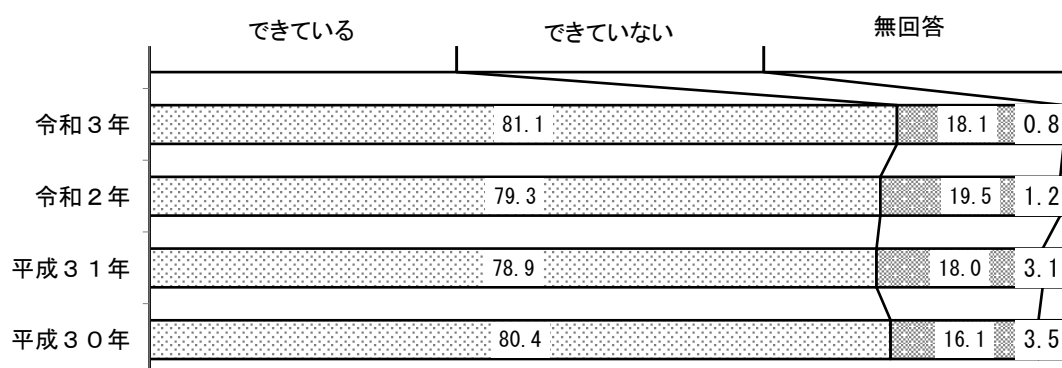
③電車での円滑移動(問52)

問51で「1.JRを利用している」「2.熊本電鉄(電車)を利用している」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、電車を使って円滑に移動できていますか？

JRまたは熊本電鉄を利用している514人に電車での移動が円滑にできているかを尋ねたところ、「円滑にできている」が81.1%と高く、「できていない」は18.1%となっている。

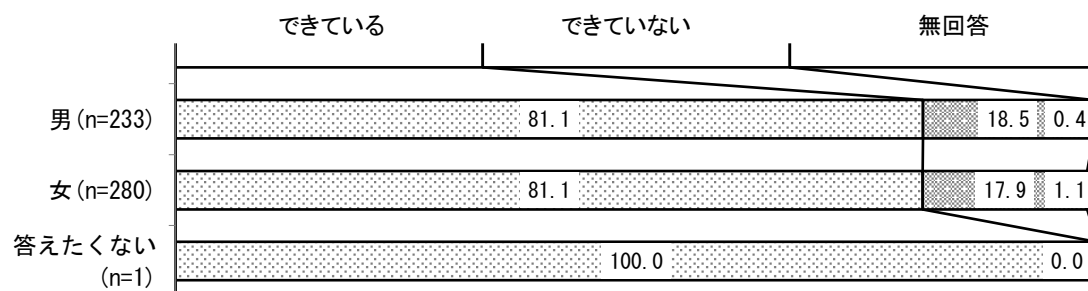
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できている	417	81.1	548	79.3	490	78.9	435	80.4
2 できていない	93	18.1	135	19.5	112	18.0	87	16.1
3 無回答	4	0.8	8	1.2	19	3.1	19	3.5
合計	514	100.0	691	100.0	621	100.0	541	100.0

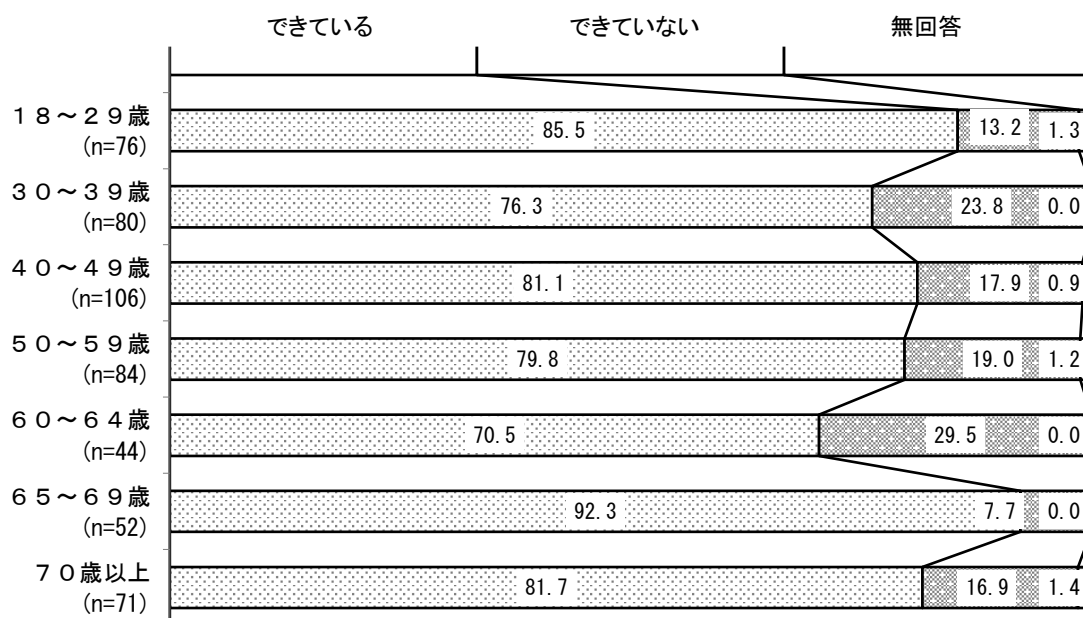
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



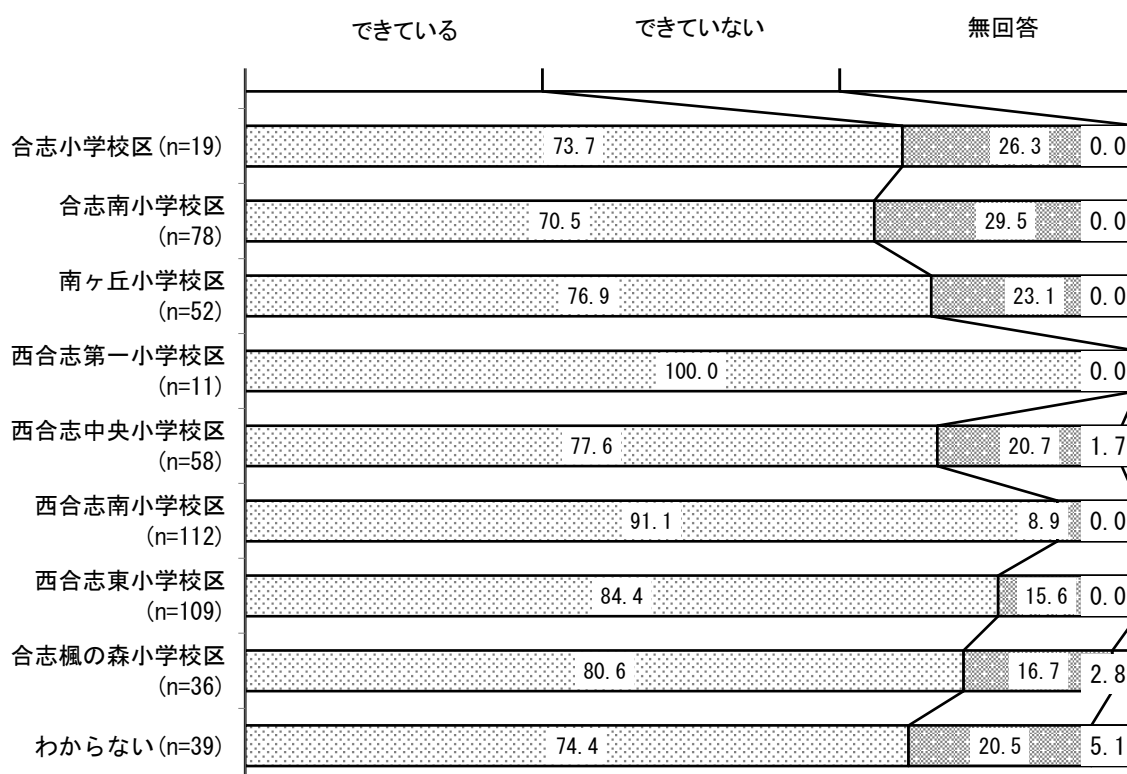
【年齢別】

- 年代による大きな違いはみられていない。



【校区别】

- 電車で円滑に移動できている割合は西合志第一小、また熊本電鉄の利用が多かった西合志南小、西合志東小、合志楓の森小では8割以上が円滑に移動できており、他の校区よりも高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

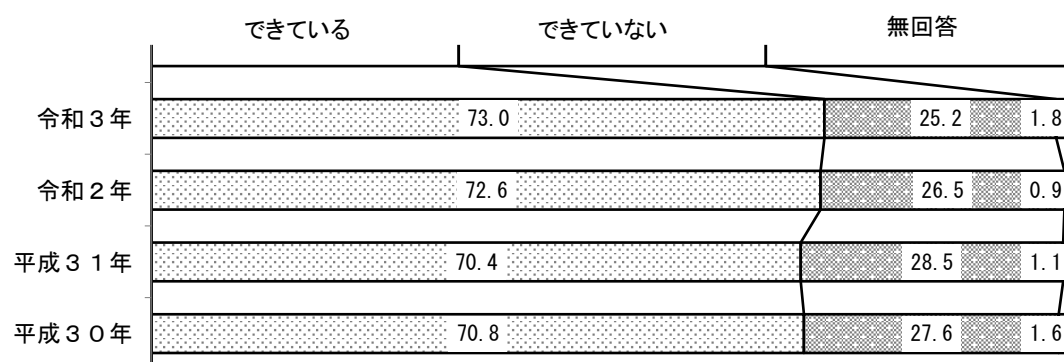
④バスでの円滑移動(問53)

問51で「3.バスを利用している」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、バスを使って円滑に移動できていますか？

バスを利用している330人について、バスでの移動が円滑にできているかを尋ねたところ、「円滑にできている」が73.0%と、「できていない」が25.2%となっている。

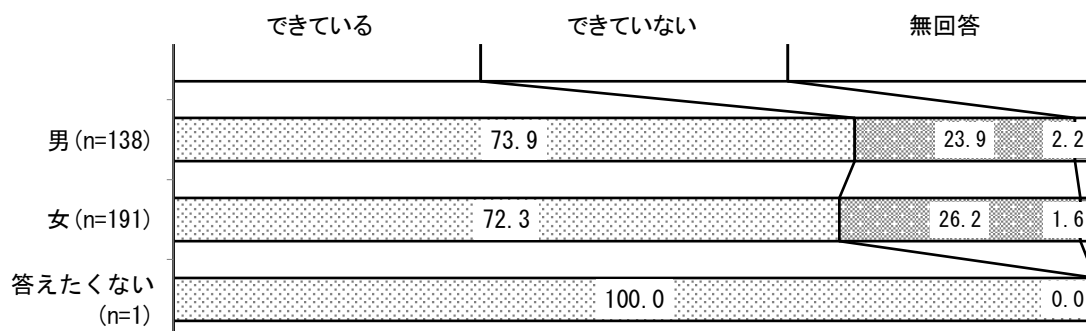
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できている	241	73.0	313	72.6	267	70.4	228	70.8
2 できていない	83	25.2	114	26.5	108	28.5	89	27.6
3 無回答	6	1.8	4	0.9	4	1.1	5	1.6
合計	330	100.0	431	100.0	379	100.0	322	100.0

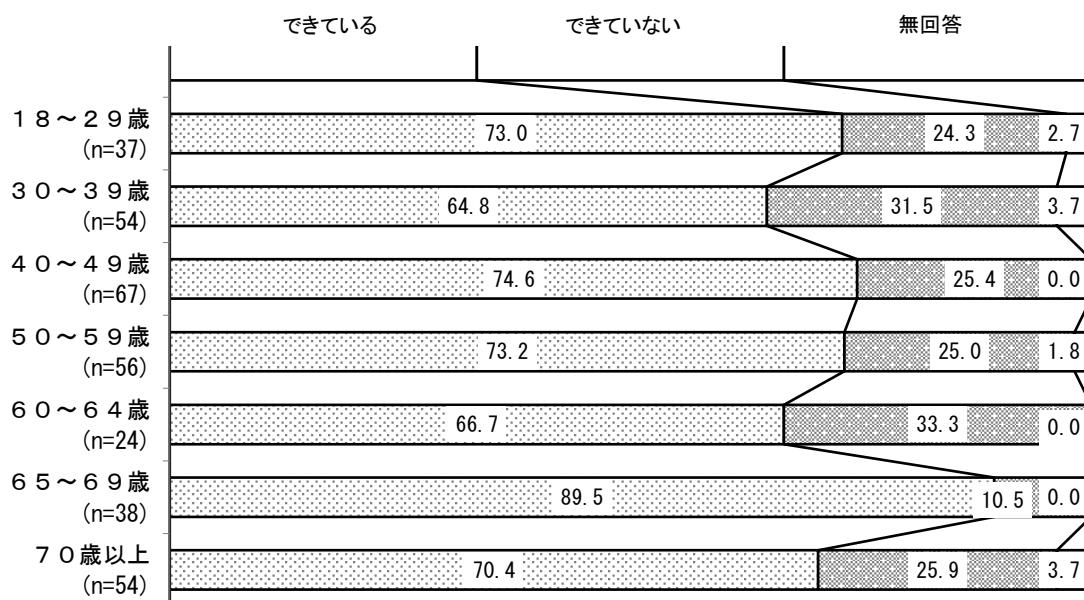
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



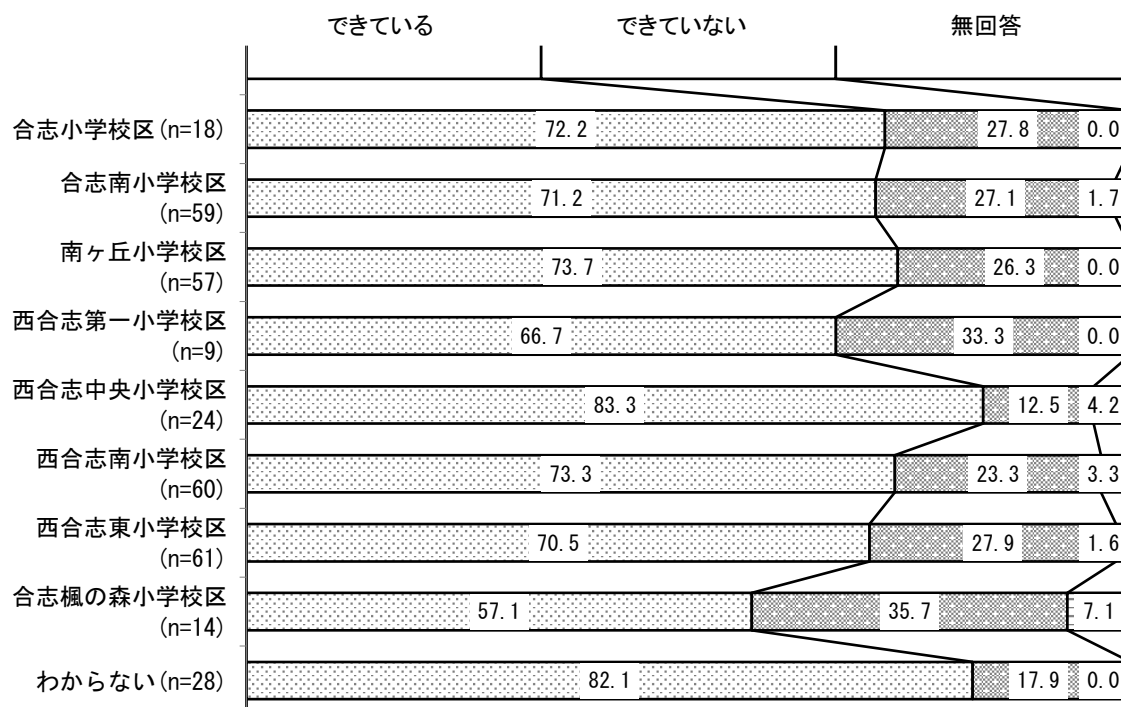
【年齢別】

- 円滑に移動できているとする人の割合は 65 代後半以上では7割以上と高くなっている。また、円滑に移動できていないとする人の割合は、30代と60代前半で3割を超えている。



【校区分別】

- 円滑に移動できているとする人の割合は合志楓の森小で 57.1%と他の校区分と比較して低くなっている。



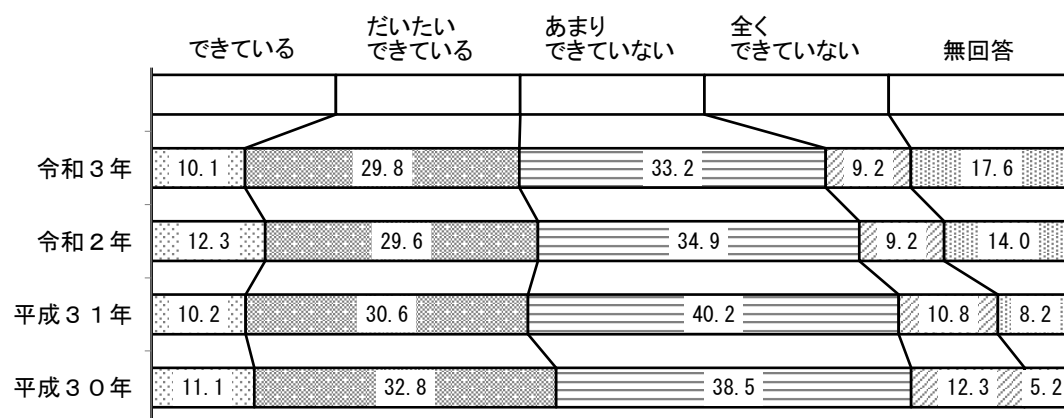
※合志小、西合志第一小及び合志楓の森小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

⑤公共交通の乗り継ぎの評価（問５４）

あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか？

公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできている（「できている」＋「だいたいできている」）人の割合は39.9%、「あまりできていない」は33.2%、「全くできていない」は9.2%となっている。

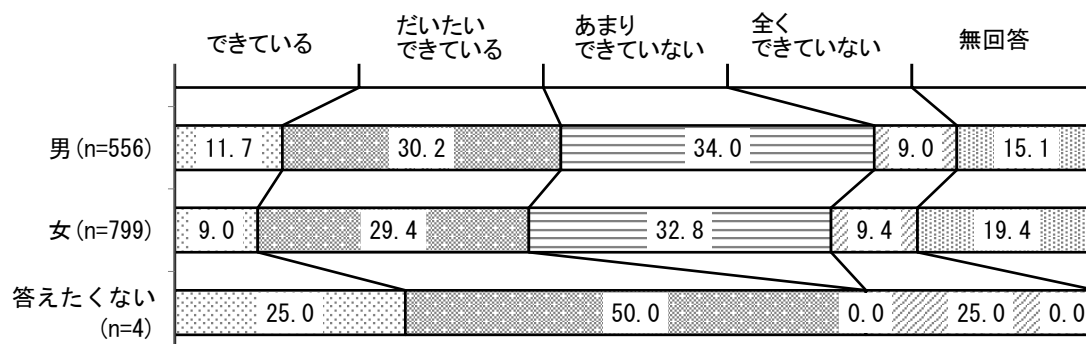
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和３年度		令和２年度		平成３１年度		平成３０年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
１ できていると思う	138	10.1	164	12.3	114	10.2	104	11.1
２ だいたいできていると思う	406	29.8	393	29.6	342	30.6	306	32.8
３ あまりできていないと思う	453	33.2	464	34.9	449	40.2	360	38.5
４ 全くできていないと思う	126	9.2	122	9.2	120	10.8	115	12.3
５ 無回答	240	17.6	186	14.0	91	8.2	49	5.2
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

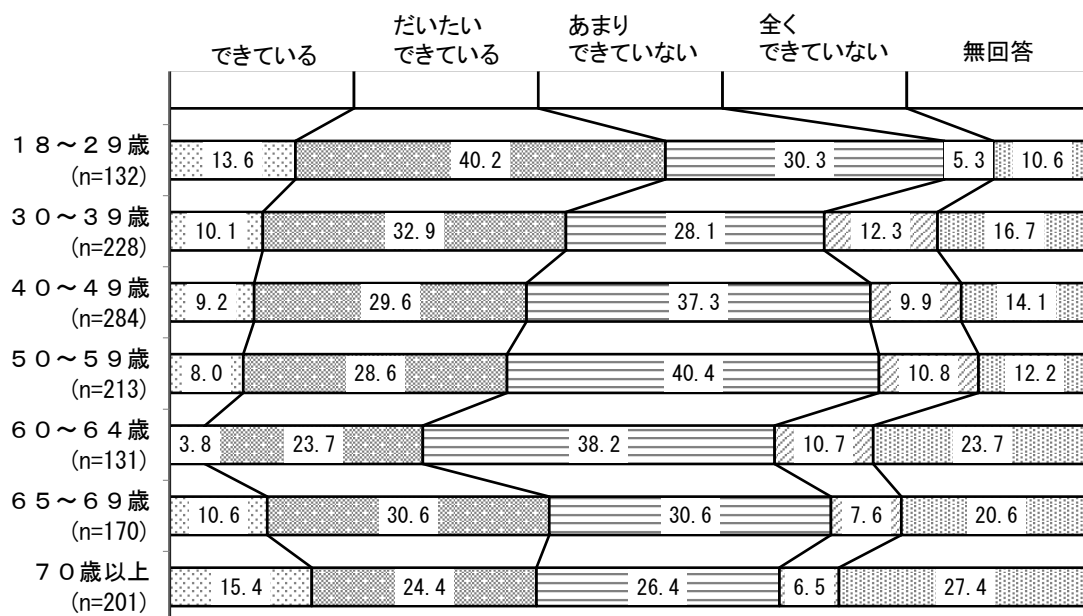
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



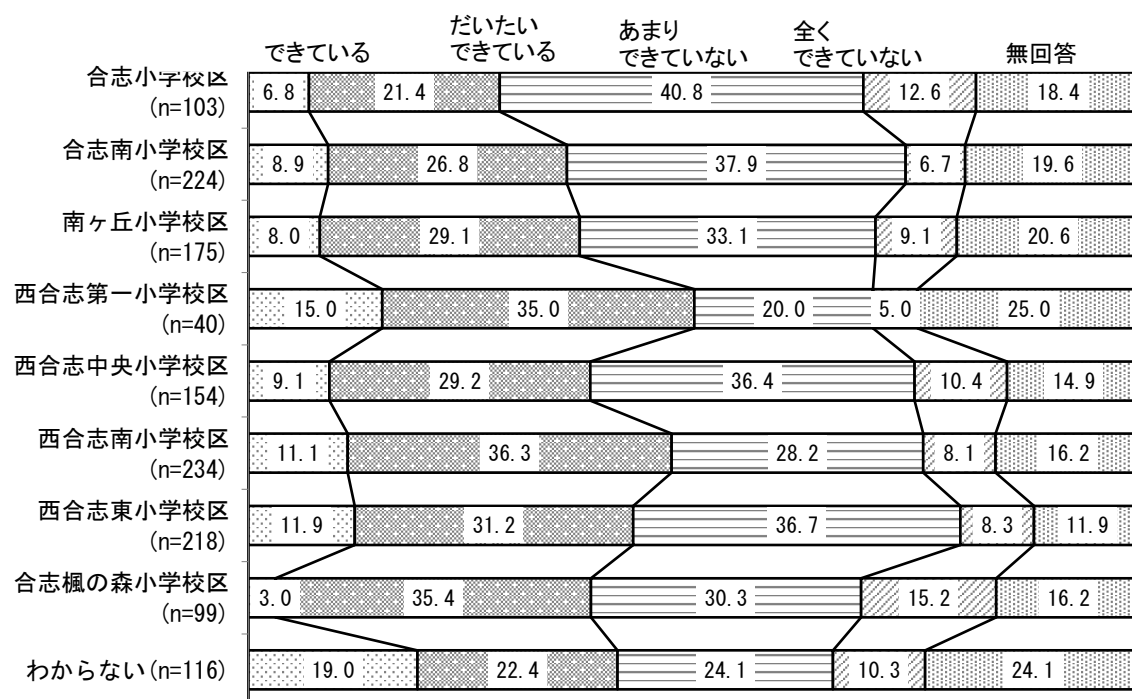
【年齢別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、20代以下では半数以上となっているが、他の年代では4割前後であり、60代前半では3割を下回っている。



【校区别】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、西合志第一小、西合志南小では約半数がとなっているが、合志小では半数以上が円滑にできていないとしている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

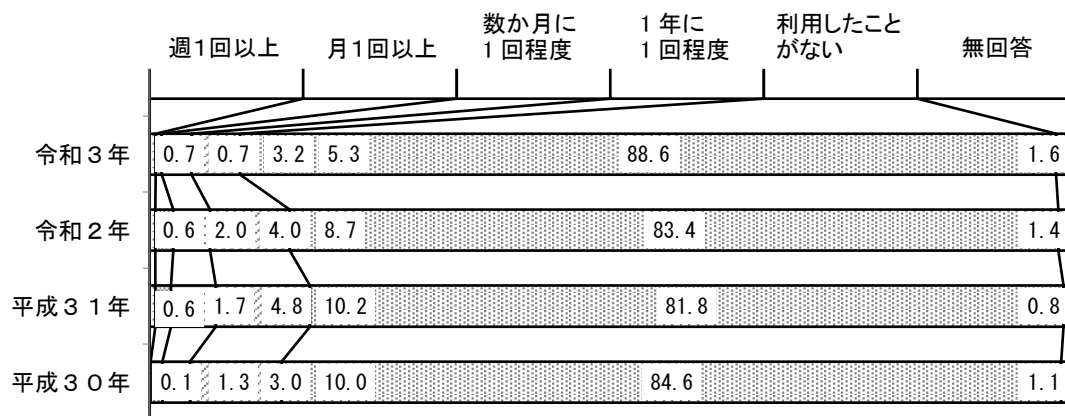
(3) 合志市が委託しているバスについて

①利用経験（問55）

あなたは、過去1年間で合志市が委託しているレターバスや乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがありますか？

レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は9.9%となっており、8割以上の方は「利用したことがない」となっている。

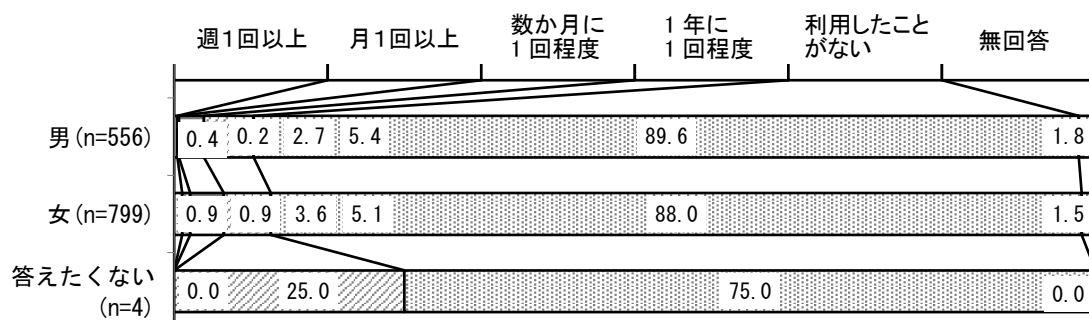
昨年度と比較して利用したことがある人の割合が減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用する	9	0.7	8	0.6	7	0.6	1	0.1
2 月に1回以上利用する	9	0.7	26	2.0	19	1.7	12	1.3
3 数か月に1回程度利用する	44	3.2	53	4.0	54	4.8	28	3.0
4 1年に1回程度利用する	72	5.3	115	8.7	114	10.2	93	10.0
5 利用したことがない	1207	88.6	1109	83.4	913	81.8	790	84.6
6 無回答	22	1.6	18	1.4	9	0.8	10	1.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

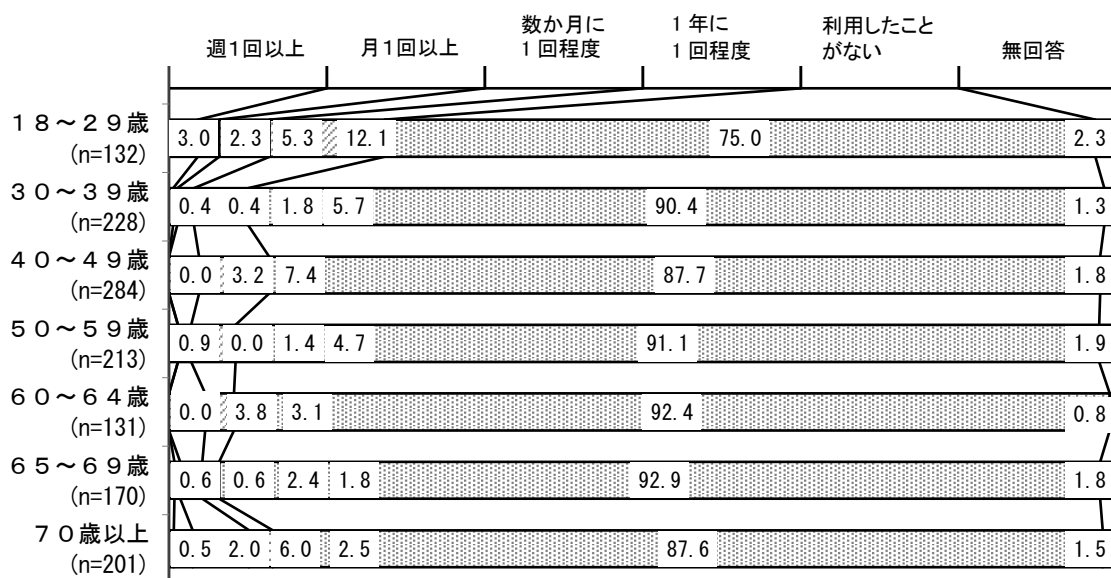
【性別】

- 男女で大きな差はみられていない。



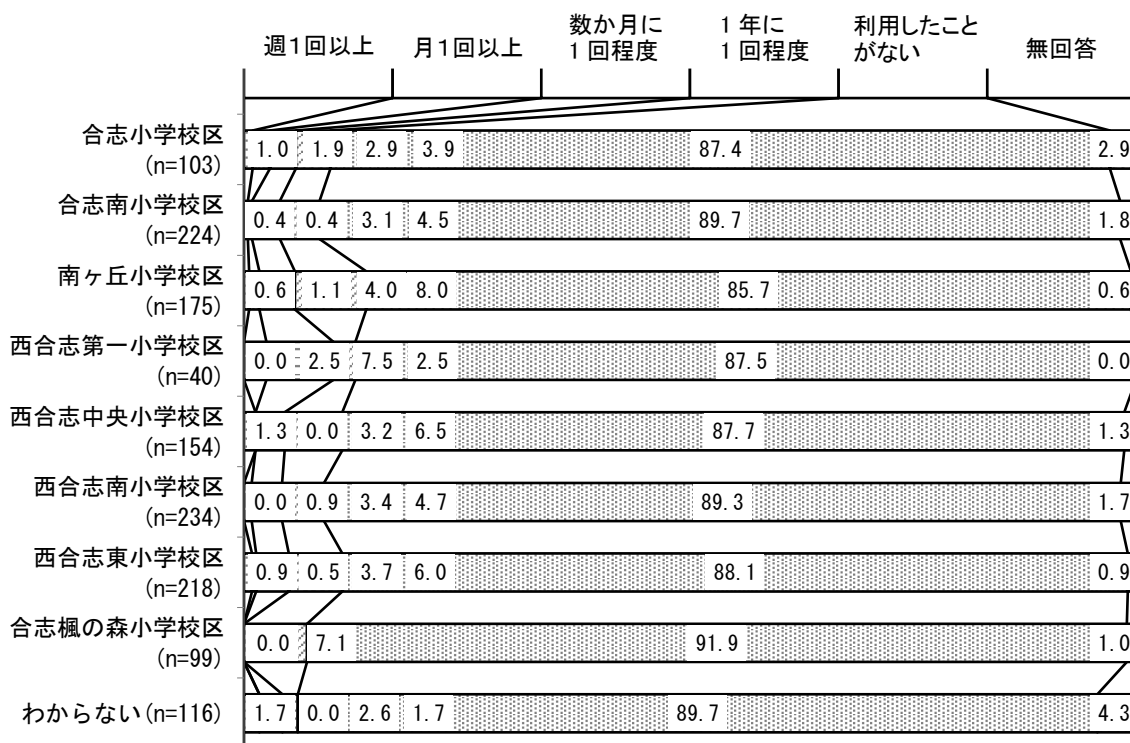
【年齢別】

- レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は20代以下では22.7%となっており、その他の年代では1割前後と低くなっている。



【校区别】

- 校区别で大きな違いはみられていない。



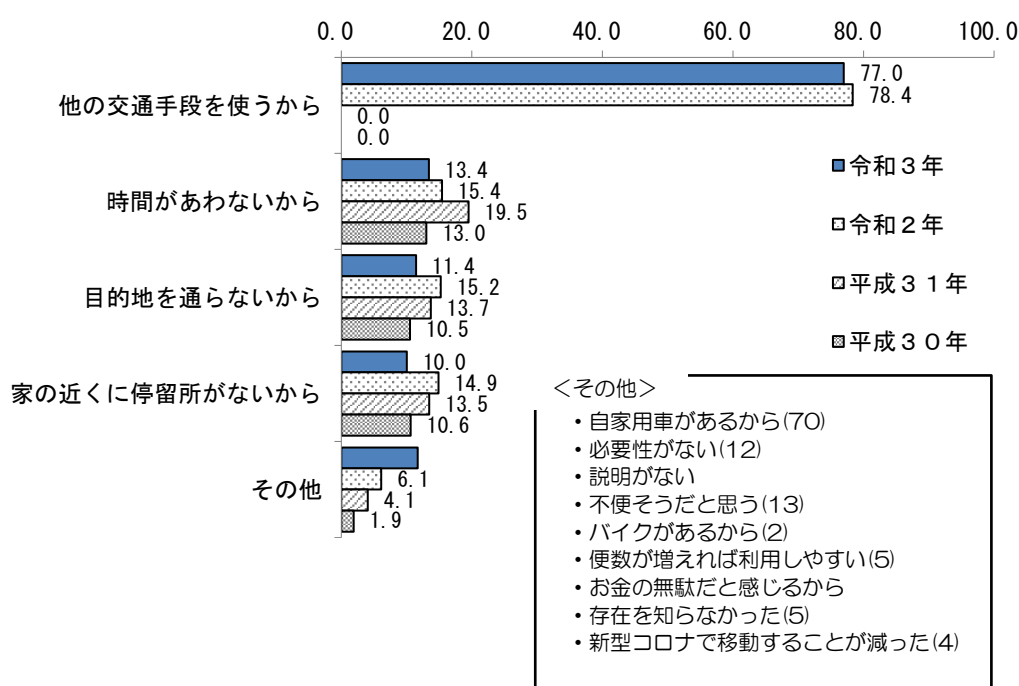
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

②利用しない理由（問56）

問55で「5.利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。

それはなぜですか？

レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがない1207人について、利用しない理由を尋ねたところ、「他の交通手段を使うから」が77.0%と最も多く、次いで「時間が合わないから」が13.4%、「目的地を通らないから」が11.4%、「家の近くに停留所がないから」が10.0%となっている。



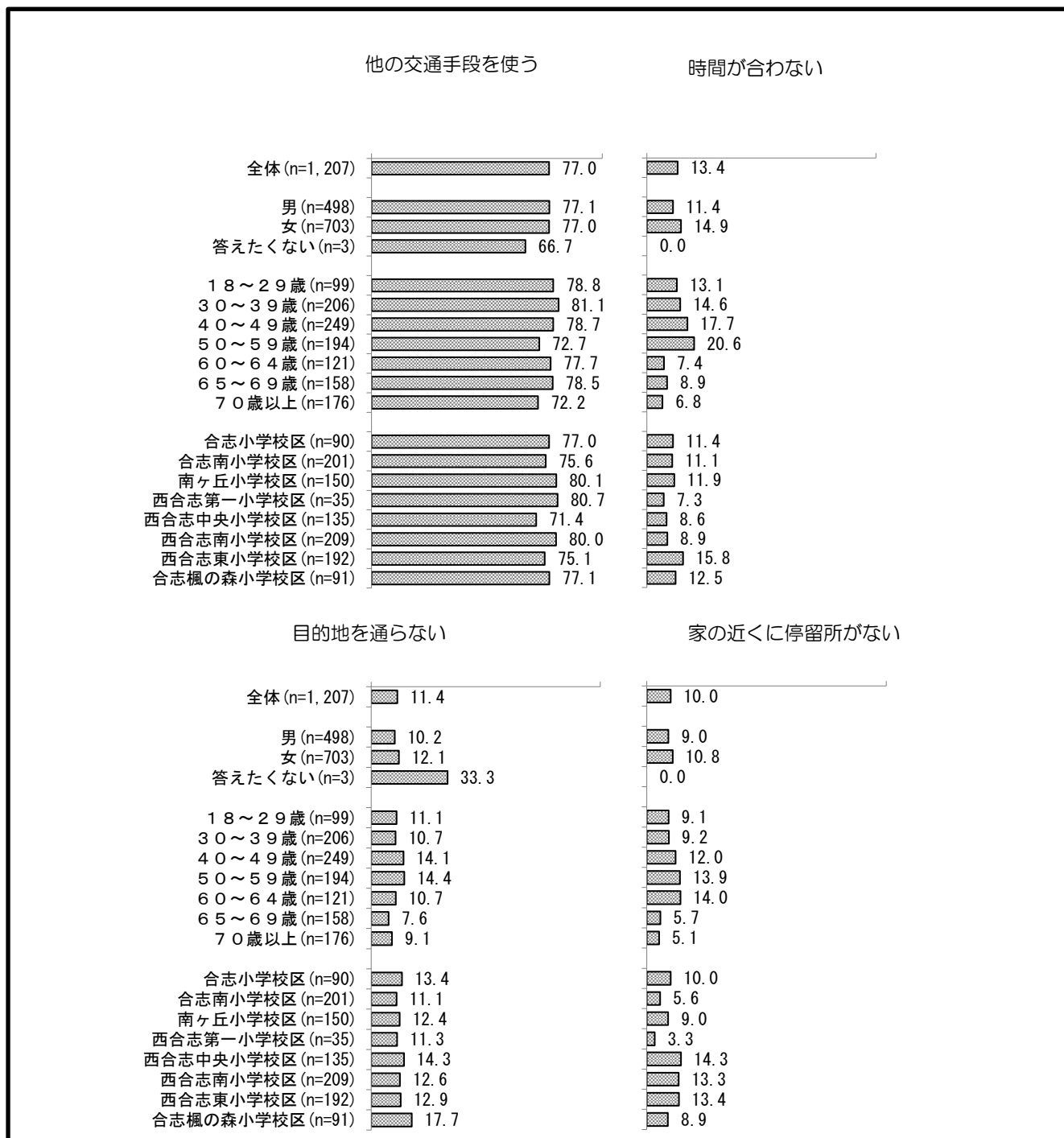
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	n=1207		n=1109		n=913		n=790	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 時間があわないから	162	13.4	171	15.4	178	19.5	103	13.0
2 家の近くに停留所がないから	121	10.0	165	14.9	123	13.5	84	10.6
3 目的地を通らないから	138	11.4	169	15.2	125	13.7	83	10.5
4 他の交通手段を使うから	929	77.0	869	78.4				
8 その他	141	11.7	68	6.1	37	4.1	15	1.9

※参考

	平成31年度		平成30年度	
自転車を利用するから	38	4.2	24	3.0
自分で自動車やバイクを運転するから	709	77.7	592	74.9
家族が送迎してくれるから	71	7.8		
レターバス、循環バス、乗り合いタクシーがあるのを知らなかった	35	3.8	26	3.3

【性別、年齢別、校区别】

- 男女別で大きな違いはみられていない。
- 年齢別では20代以下では「家の近くに停留所がない」を2割があげている。
- 校区别では西合志第一小、西合志南小、西合志東小で「家の近くに停留所がない」をあげる割合が他の校区と比べてわずかに高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

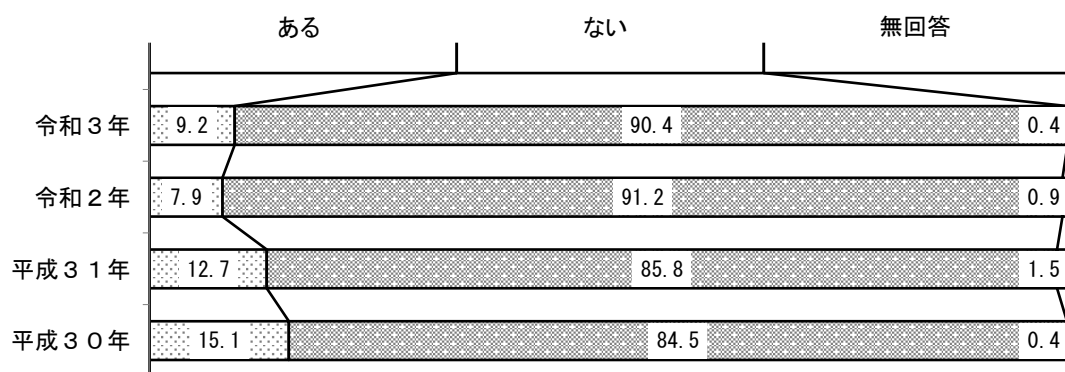
3. 人権侵害について

(1) 人権が侵害された経験 (問34)

あなたは、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか？

過去1年間で自分の人権が侵害されたことが「ある」人の割合は9.2%でとなっている。

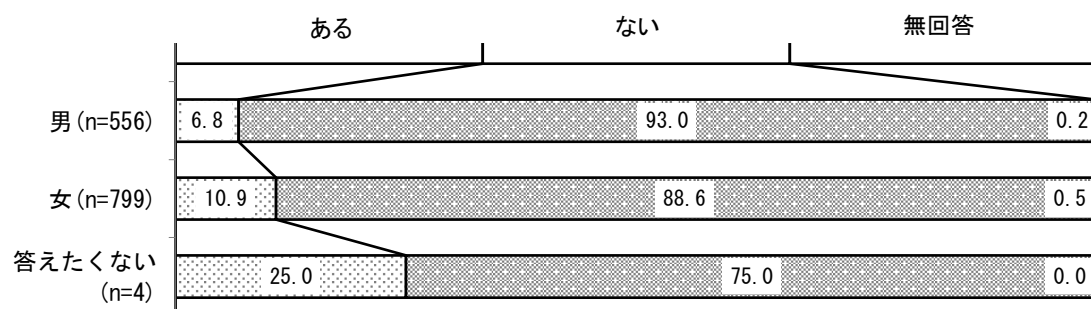
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	126	9.2	105	7.9	142	12.7	141	15.1
2 ない	1232	90.4	1212	91.2	957	85.8	789	84.5
3 無回答	5	0.4	12	0.9	17	1.5	4	0.4
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

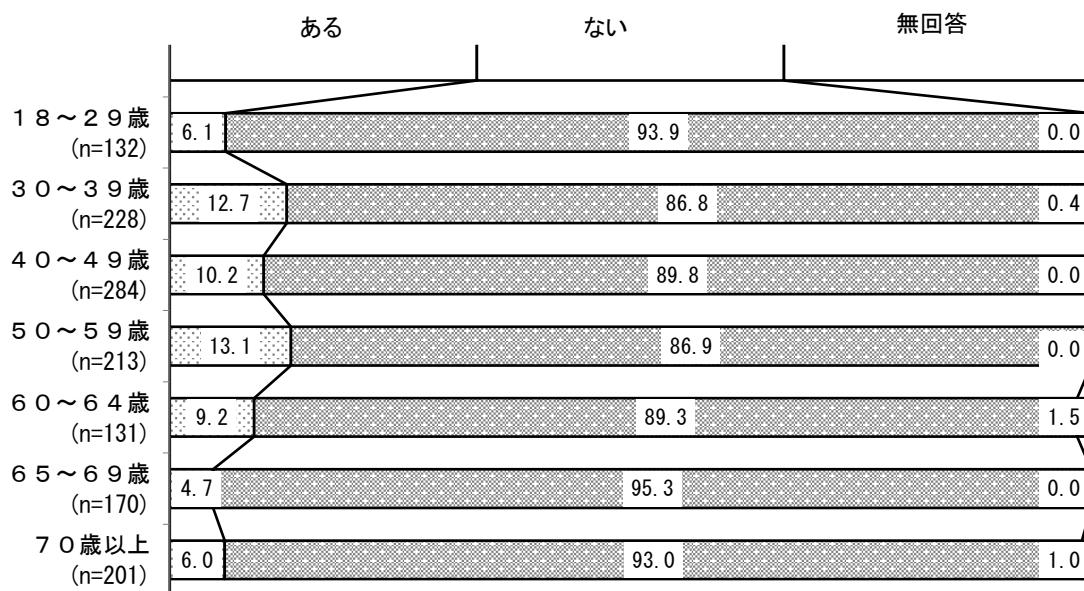
【性別】

- 人権が侵害されたことが「ある」人の割合は、男性が6.8%、女性が10.9%と女性が男性よりも4.1ポイント高くなっている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



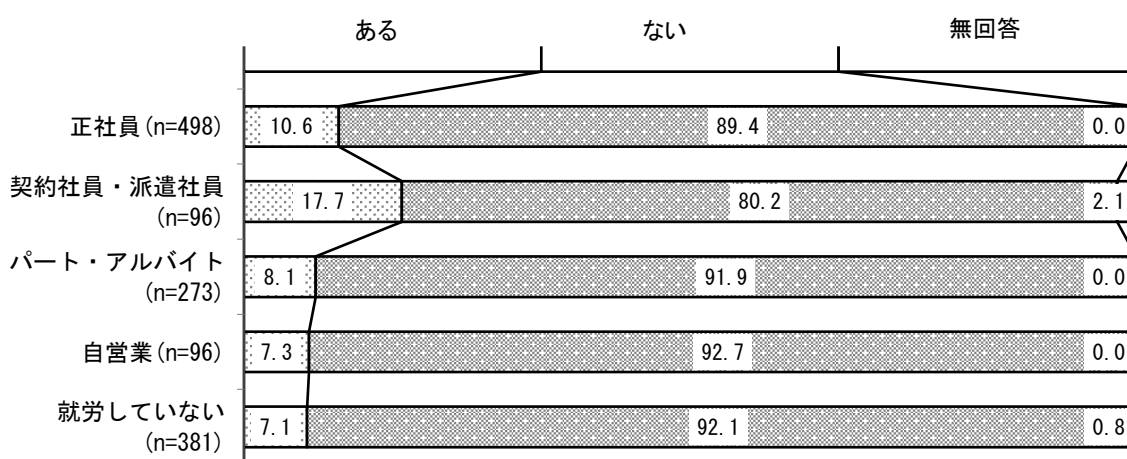
【年齢別】

- 人権を侵害されたことがある人の割合は、30～50 代において1 割を超えており、昨年度よりも増加している。



【職業別】

- 人権を侵害されたことがある人の割合は、契約社員・派遣社員において 17.7%と最も高くなっている。

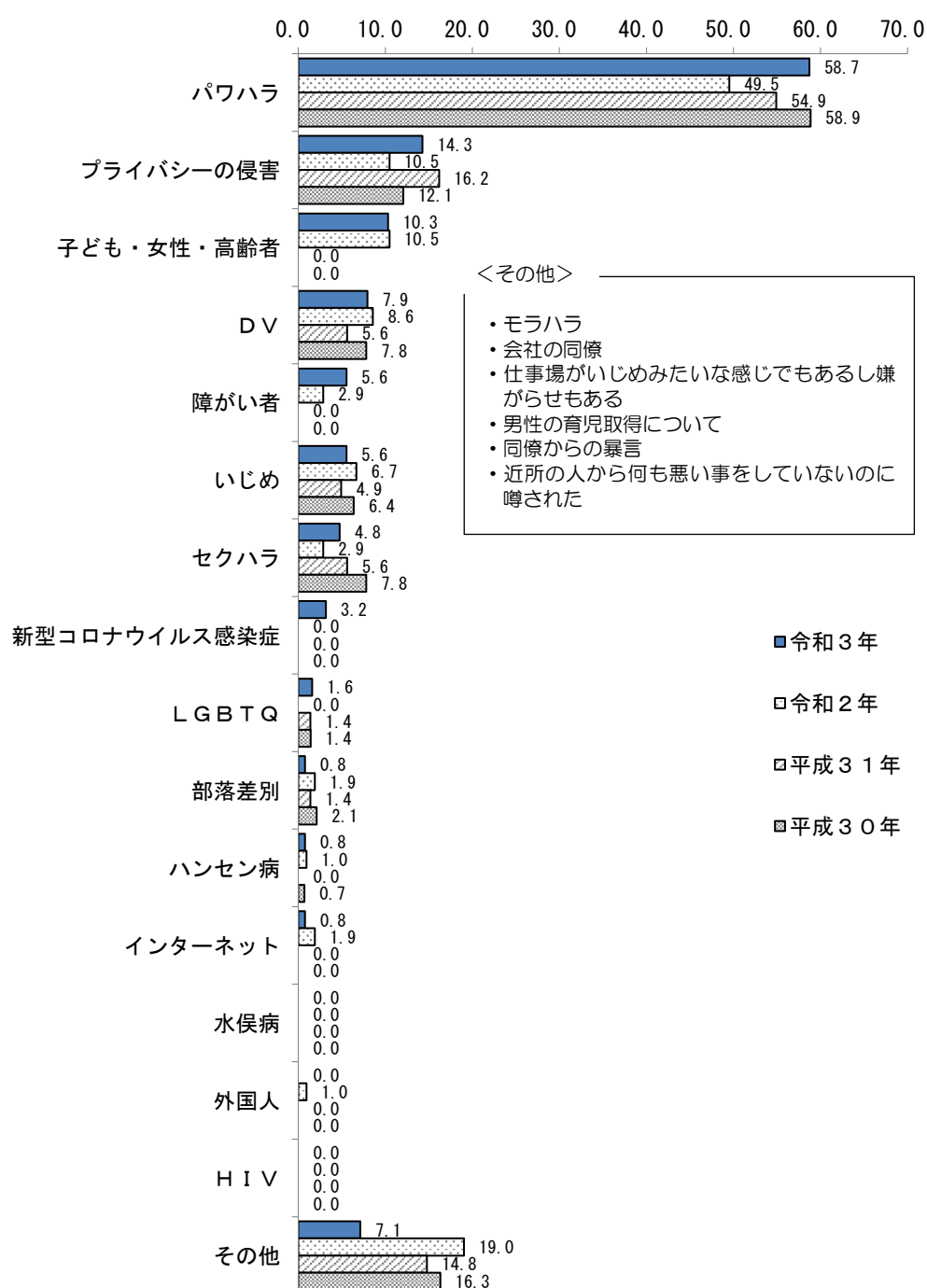


(2) 侵害された内容(問35)

問34で「1.ある」と答えた方にお尋ねします。

それはどのような場合ですか？差支えなければお聞かせください。

この1年間に人権が侵害されたことがある126人に、侵害された具体的な内容を尋ねたところ、「パワハラ」が58.7%と最も多く、次いで「プライバシーの侵害」が14.3%となっている。



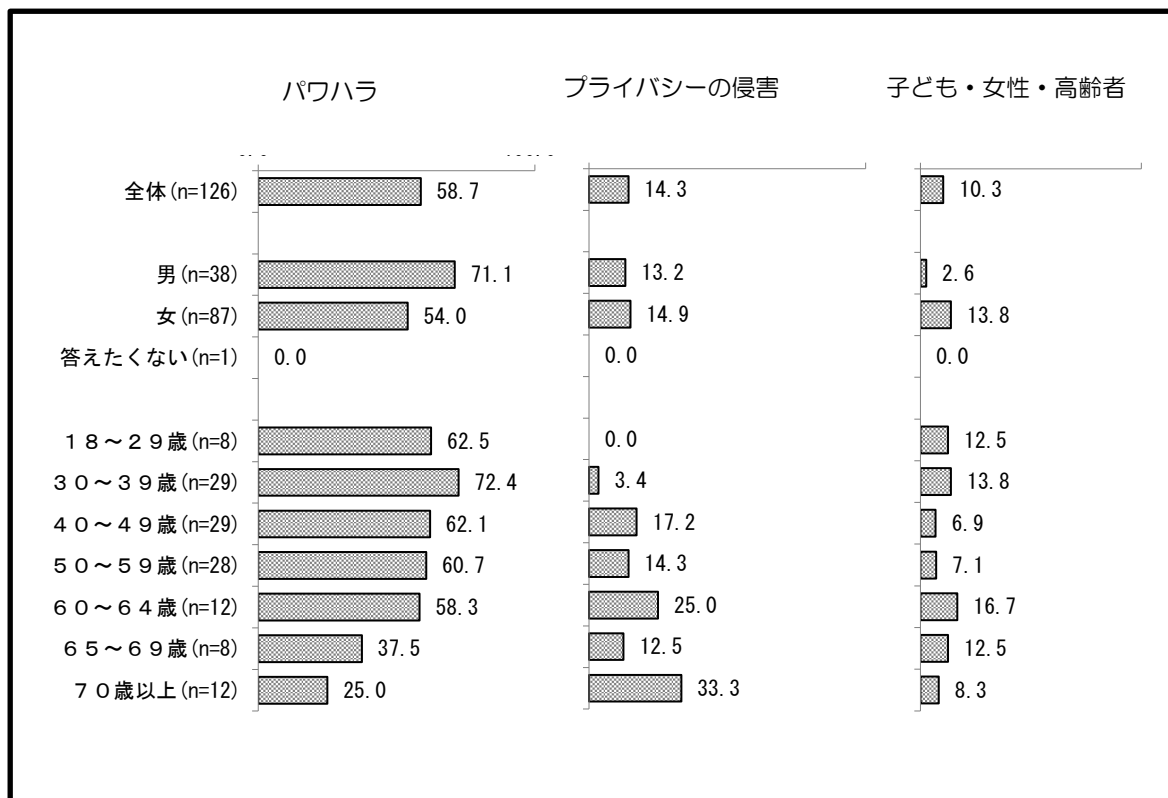
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	n=126		n=105		n=142		n=141	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 部落差別	1	0.8	2	1.9	2	1.4	3	2.1
2 ハンセン病	1	0.8	1	1.0	0	0.0	1	0.7
3 水俣病	0	0.0	0	0.0				
4 LGBTQ	2	1.6	0	0.0	2	1.4	2	1.4
5 子ども・女性・高齢者	13	10.3	11	10.5				
6 障がい者	7	5.6	3	2.9				
7 インターネット	1	0.8	2	1.9				
8 外国人	0	0.0	1	1.0				
9 HIV	0	0.0	0	0.0				
10 DV(ドメスティックバイオレンス)	10	7.9	9	8.6	8	5.6	11	7.8
11 セクハラ(セクシャルハラスメント)	6	4.8	3	2.9	8	5.6	11	7.8
12 パワハラ(パワーハラスメント)	74	58.7	52	49.5	78	54.9	83	58.9
13 いじめ	7	5.6	7	6.7	7	4.9	9	6.4
14 プライバシーの侵害	18	14.3	11	10.5	23	16.2	17	12.1
15 新型コロナウイルス感染症	4	3.2						
16 その他	9	7.1	20	19.0	21	14.8	23	16.3

【性別】

- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は男性で 71.1%、女性で 54.0%と男性での割合が高くなっている。

【年齢別】

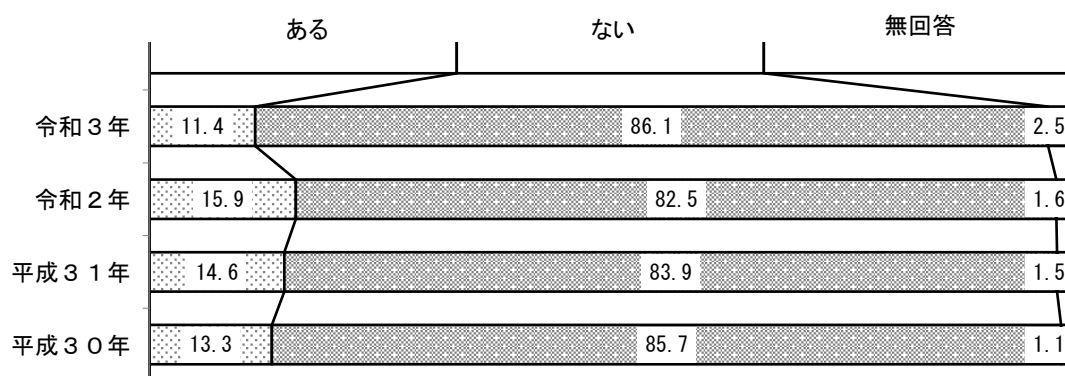
- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は 30 代で 7 割以上となっている。



(3) 人権問題研修会への参加 (問36)

過去1年間で人権問題（部落差別、ハンセン病問題、水俣病、LGBTQ、子ども・女性・高齢者、障がい者、インターネット、外国人、HIV、DV、セクハラ、パワハラ、いじめ、プライバシーの侵害、新型コロナウイルス感染症等）の研修会、学習会等へ参加したことがありますか？

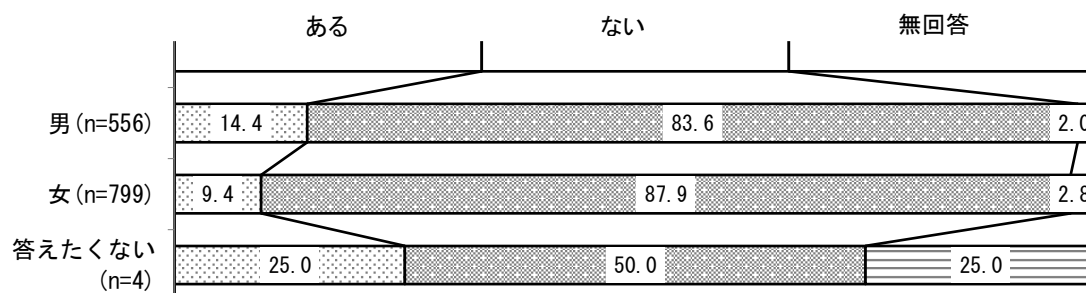
過去1年間に人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は11.4%となっており、昨年度と比較して減少している。平成30年度以降微増傾向にあったが今年度減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	156	11.4	211	15.9	163	14.6	124	13.3
2 ない	1173	86.1	1097	82.5	936	83.9	800	85.7
3 無回答	34	2.5	21	1.6	17	1.5	10	1.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

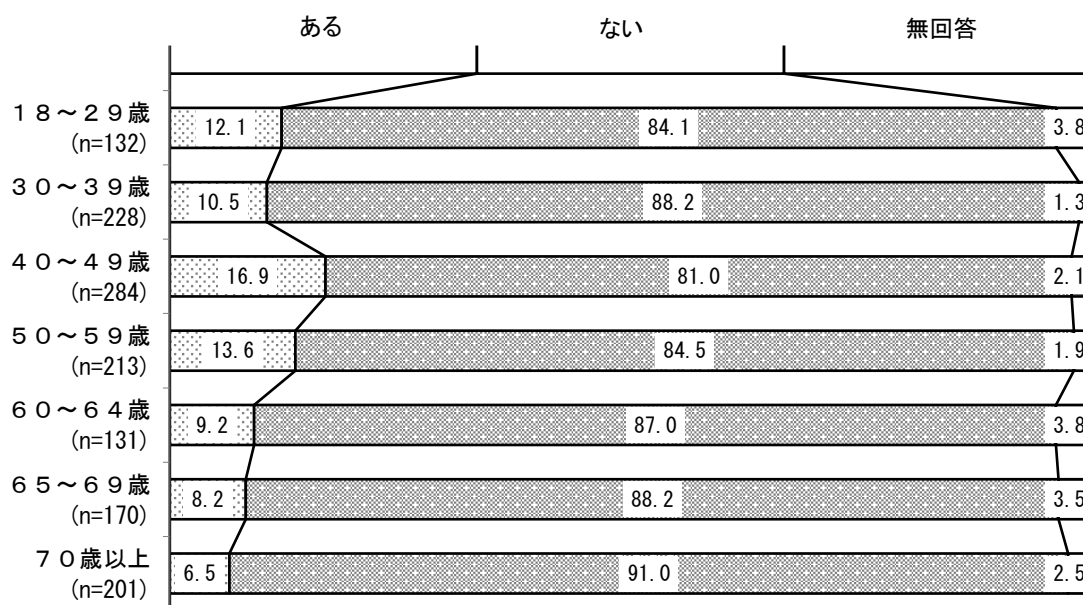
【性別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は、男性が14.4%、女性が9.4%となっており、男性が女性を上回っている。



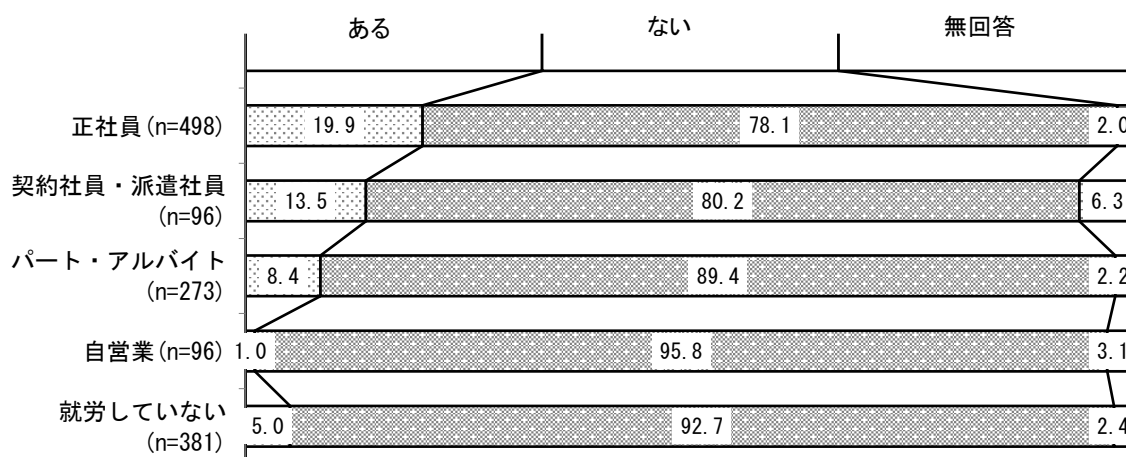
【年齢別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は、40代が16.9%と最も高くなっている。



【職業別】

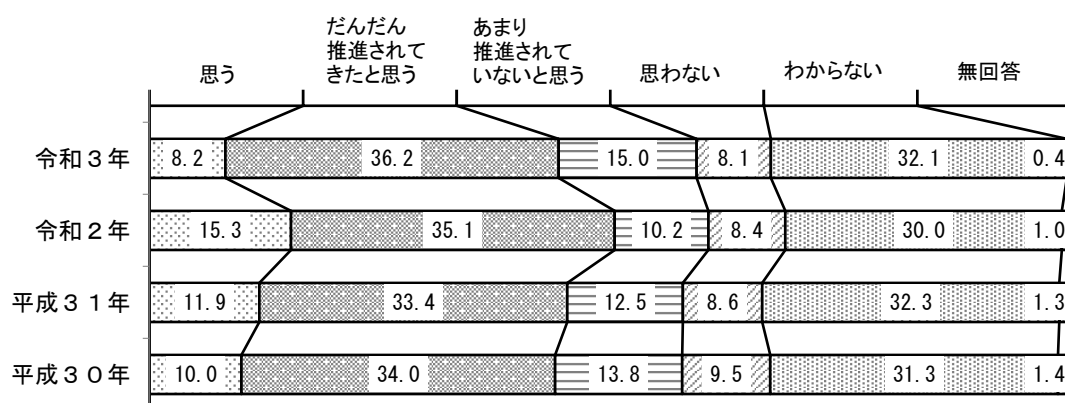
- 人権問題についての研修会等に参加したことがある人の割合は、正社員及び契約社員・派遣社員で1割を超えており、他の職業よりもやや高くなっている。



4. 男女共同参画社会の推進について（問37）

あなたは、男女共同参画社会が推進されてきたと思いますか。

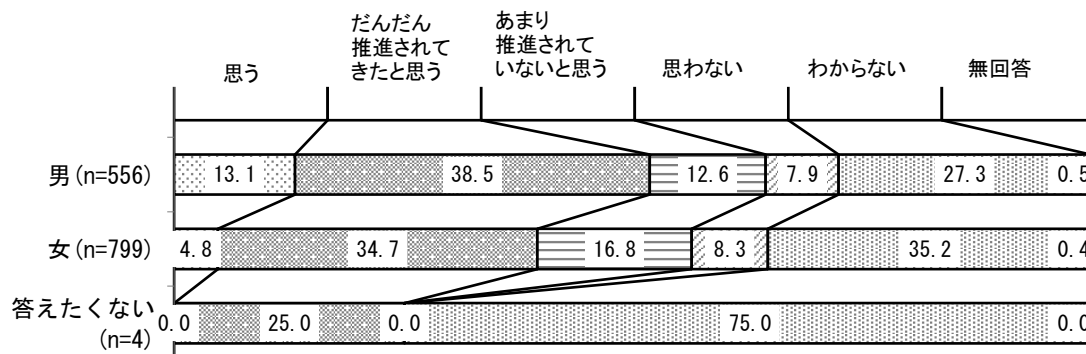
男女共同参画社会が推進されてきたと思う（「思う」＋「だんだん推進されてきたと思う」）割合は44.4%と半数を下回り、思わない「あまり推進されていないと思う」＋「思わない」は23.1%、「わからない」は32.1%となっている。
昨年度と比較して、推進されてきたと思う割合が6.0ポイント減少している。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	112	8.2	204	15.3	133	11.9	93	10.0
2 だんだん推進されてきたと思う	493	36.2	467	35.1	373	33.4	318	34.0
3 あまり推進されていないと思う	204	15.0	135	10.2	140	12.5	129	13.8
4 思わない	110	8.1	111	8.4	96	8.6	89	9.5
5 わからない	438	32.1	399	30.0	360	32.3	292	31.3
6 無回答	6	0.4	13	1.0	14	1.3	13	1.4
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

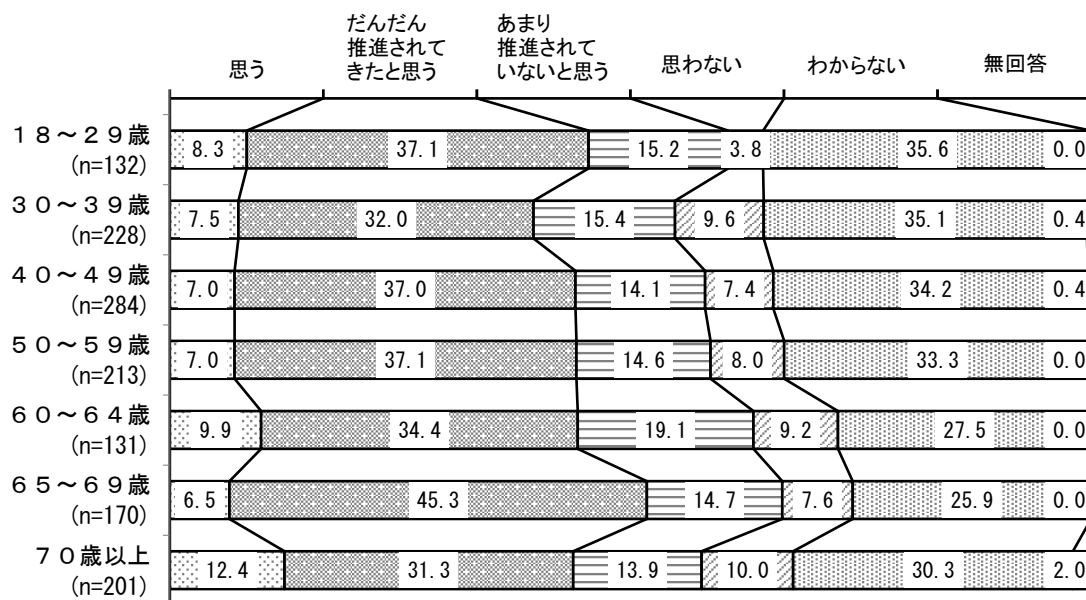
【性別】

- 男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、男性 51.6%、女性 39.5%となっており、男性が女性を 10 ポイント以上上回っており、女性では「わからない」とする割合が 35.2%と最も高くなっている。



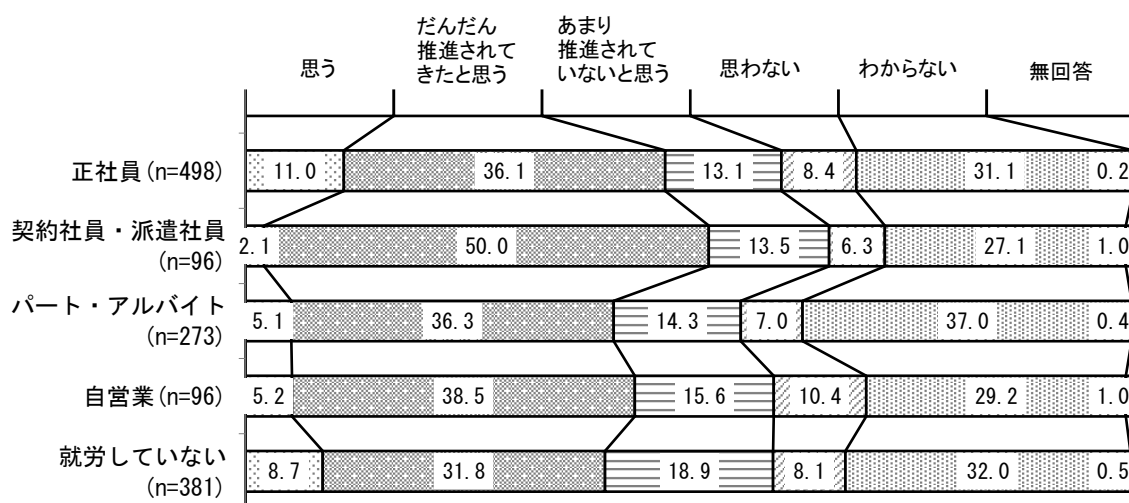
【年齢別】

- 男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、30代では4割以下となっている。



【職業別】

- 正社員、契約社員・派遣社員では、男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は5割前後となっているが、就労していない人では27.0%、自営業では26.0%の人が思わないとしている。

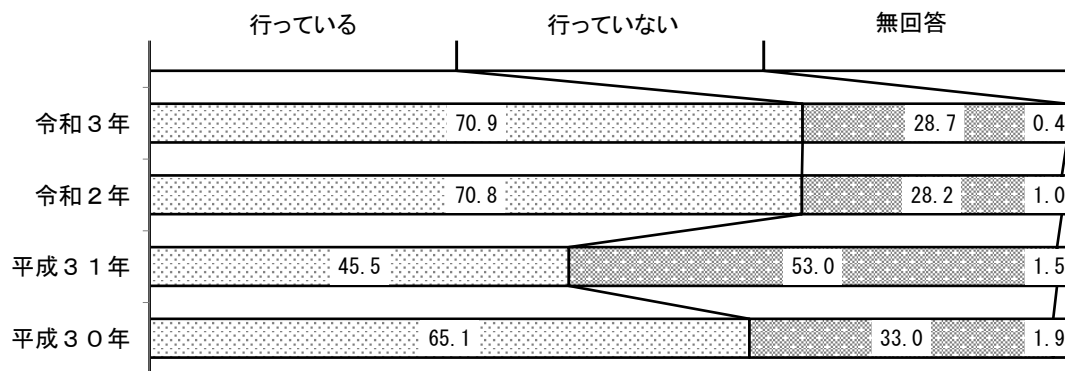


◆危機管理について

1. 健康危機への備え（問42）

あなたは、新型インフルエンザ等に関して、日頃から情報収集を行っていますか。

新型インフルエンザなどの健康危機に備え、日頃から情報収集を行っている人の割合は70.9%、行っていない人は28.7%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

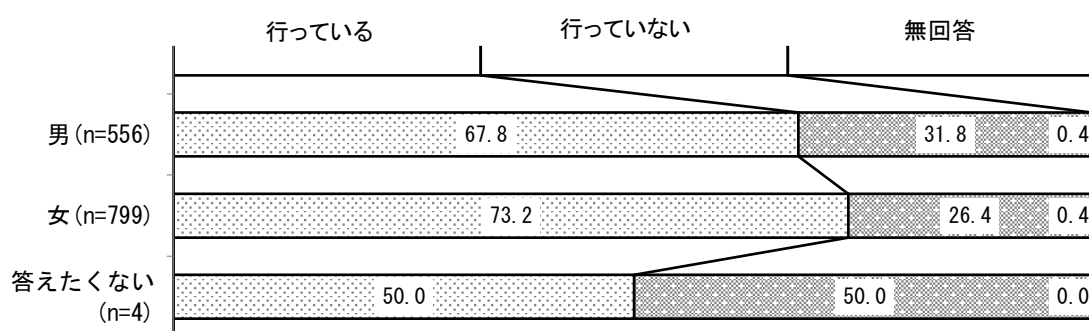


※平成30年までは、「健康危機に備えて日頃からメディアなどを通じて情報収集に努めているか」という設問であったため、比較には注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	966	70.9	941	70.8	508	45.5	608	65.1
2 行っていない	391	28.7	375	28.2	591	53.0	308	33.0
3 無回答	6	0.4	13	1.0	17	1.5	18	1.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

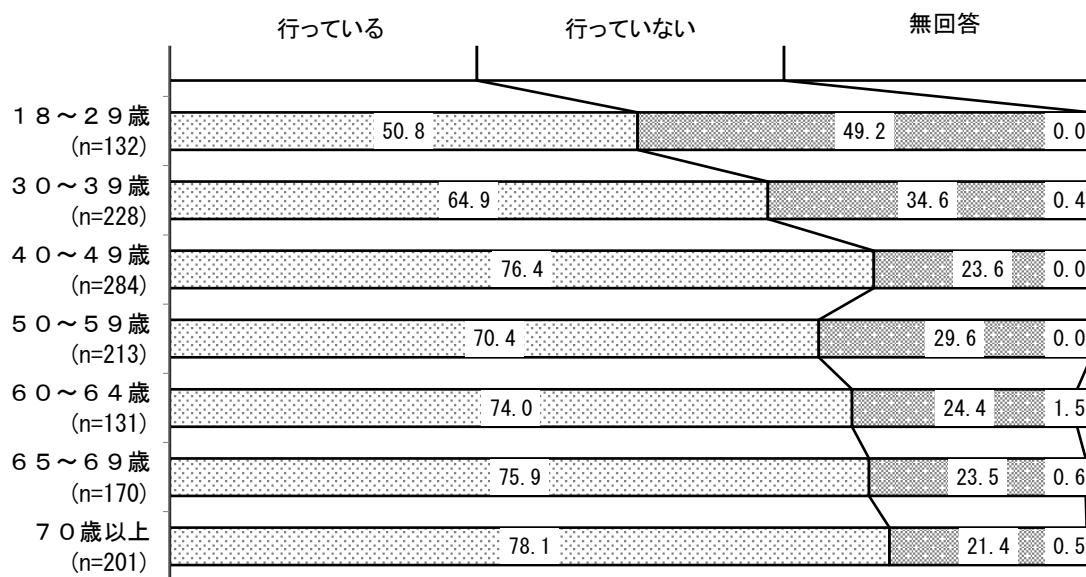
【性別】

- 日頃から情報収集を行っている人の割合は、男性が 67.8%、女性が 73.2%と女性が男性をわずかに上回っている。



【年齢別】

- 日頃から情報収集を行っている人の割合は、年代が上がるにつれ高くなっており、40代以上では7割以上となっている。
- 昨年度と比較して、いずれの年代においても昨年度より情報収集は行っている割合が増えている。
- 20代以下では、情報収集を行っている割合は 50.8%、行っていない割合が 49.2%と行っていない人の方がやや多くなっている。



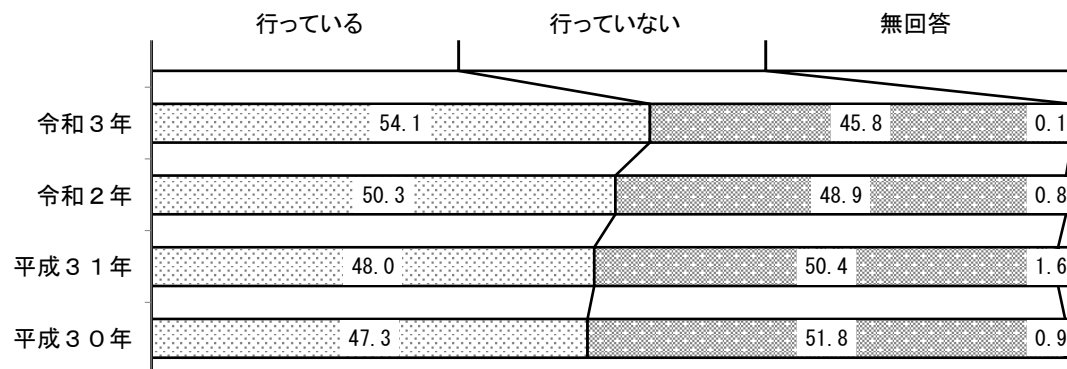
2. 防災の取組み

(1) 家庭内防災（問43）

あなたは、家庭内で防災に対する取組み（非常持ち出し袋の準備、家族での話し合い等）を行っていますか？

家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合は54.1%、行っていない人の割合は45.8%となっている。

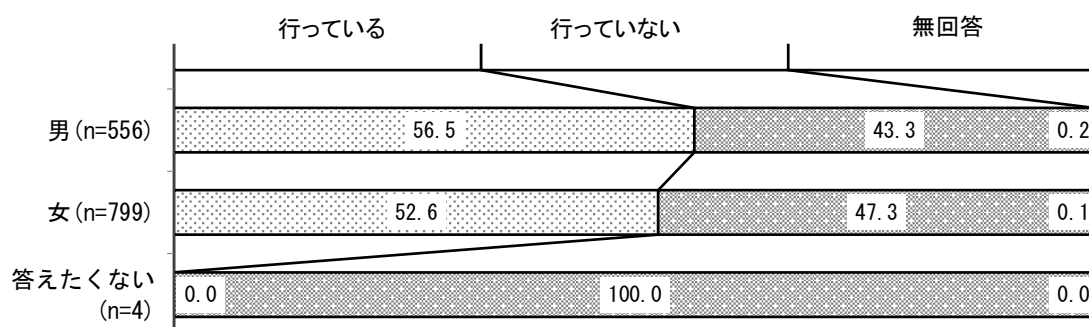
平成30年度以降、行っている人の割合は年々増加している。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	737	54.1	669	50.3	536	48.0	442	47.3
2 行っていない	624	45.8	650	48.9	562	50.4	484	51.8
3 無回答	2	0.1	10	0.8	18	1.6	8	0.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

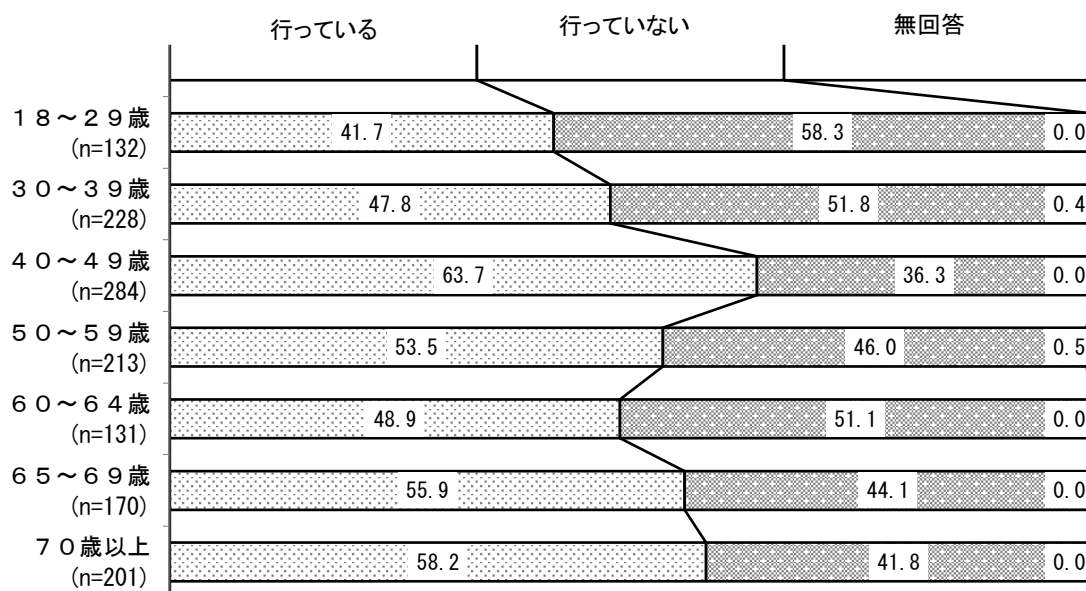
【性別】

- 家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合は、男性が56.5%、女性が52.6%と男性が女性をわずかに上回っている。



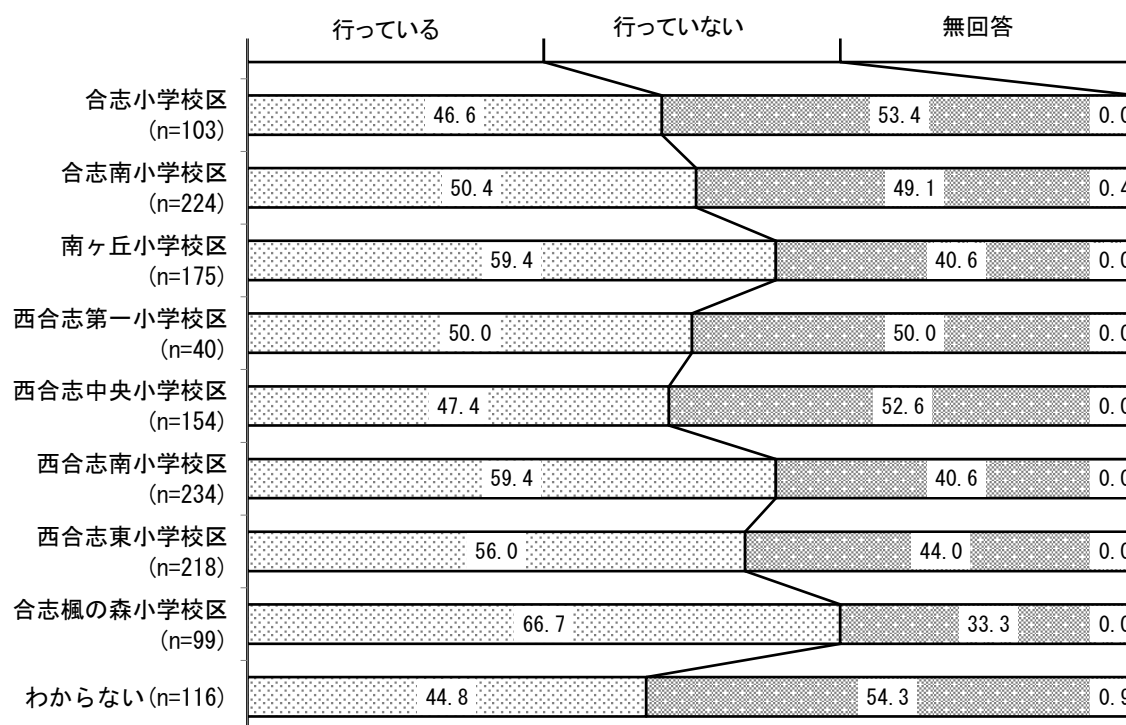
【年齢別】

- 家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、すべての年代で4割を超えており、特に40代では6割以上となっている。



【校区别】

- 家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、南ヶ丘小、西合志南小、合志楓の森小で約6割以上と多くなっている。



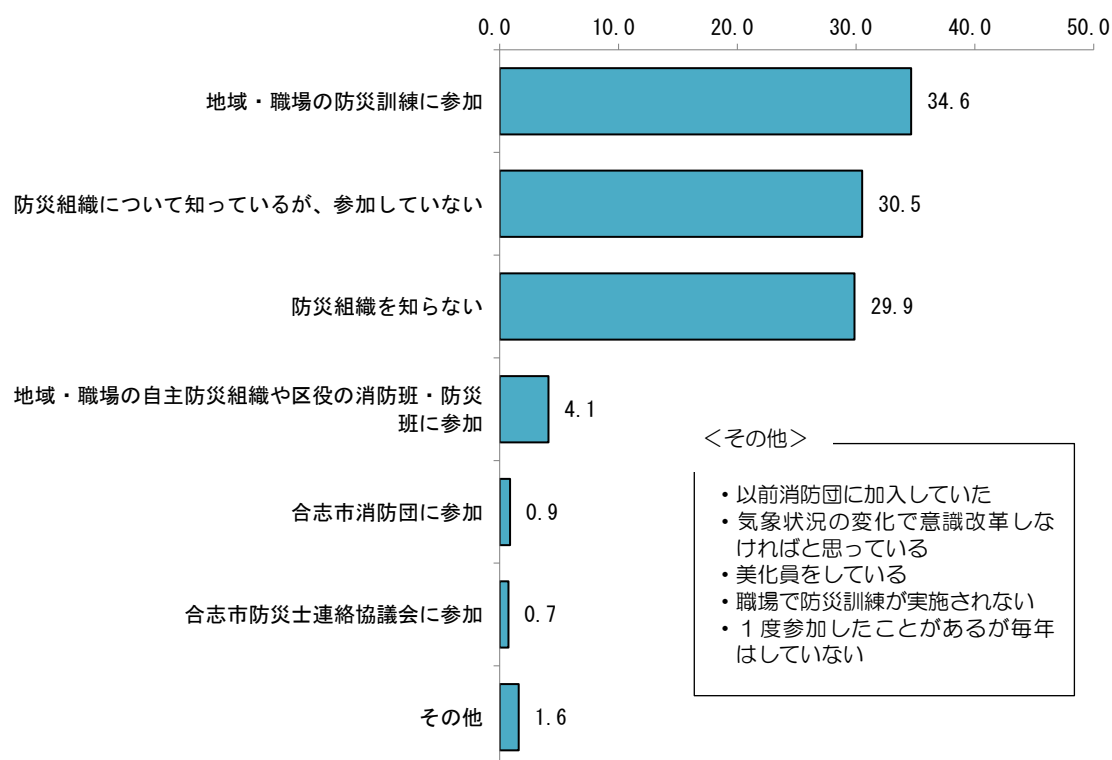
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(2) 地域防災 (問 4 4)

あなたは、地域・職場内で防災に対する取組み（防災訓練の参加、自主防災組織・消防団への参加等）を行っていますか？

地域・職場内での防災に対する取組みについては、「地域・職場の防災訓練に参加」している人の割合が34.6%と最も高く、次いで「防災組織について知っているが、参加していない」が30.5%、「防災組織を知らない」が29.9%となっている。

防災に取り組んでいる人（「地域・職場の防災訓練に参加」＋「地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している」＋「合志市消防団に参加している」＋「合志市防災士連絡協議会に参加している」）の割合は40.3%となっており、昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



【性別】

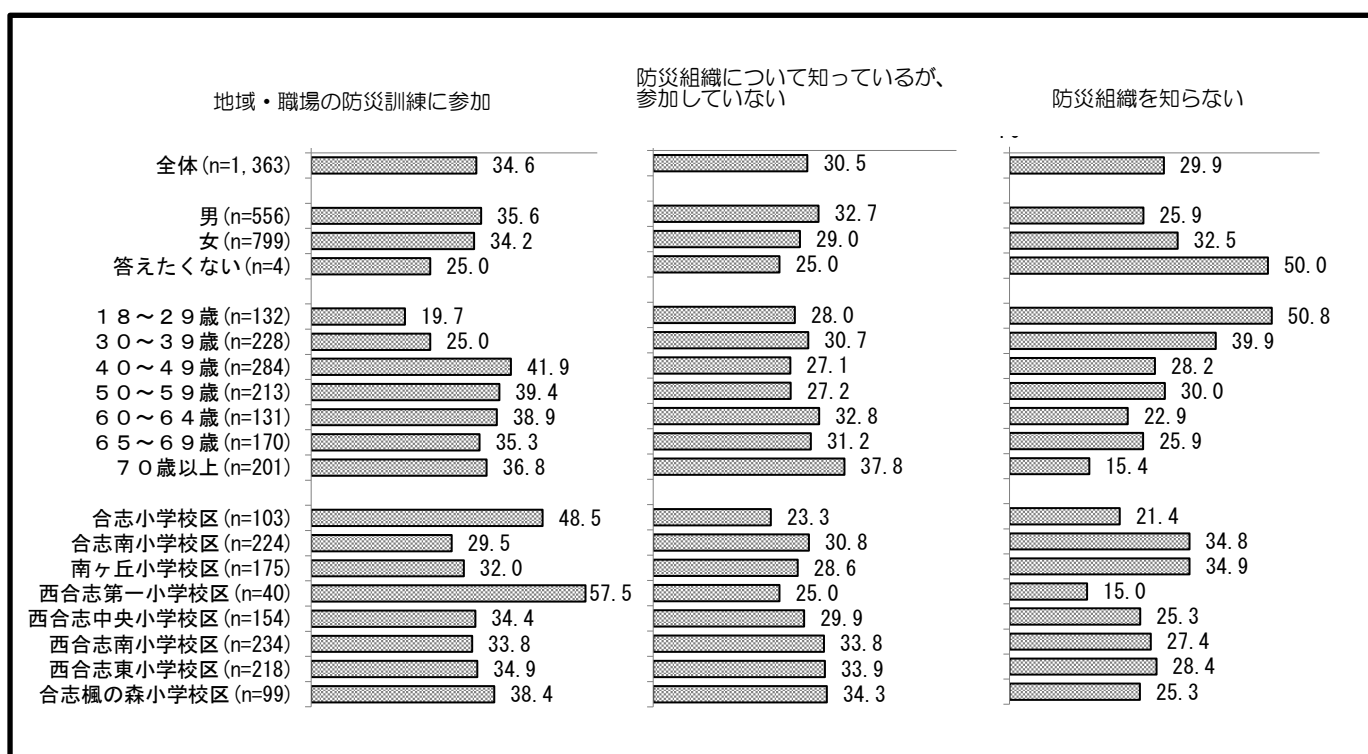
- 地域・職場内で防災に対する取り組みを「行っている」割合は、男性 35.6%、女性 34.2%と男女で大きな違いは見られていない。

【年齢別】

- 地域・職場で防災に取り組んでいる割合は、40代以上では約4割となっている。

【校区别】

- 地域・職場で防災に取り組んでいる割合は西合志第一小で57.5%と多くなっている。

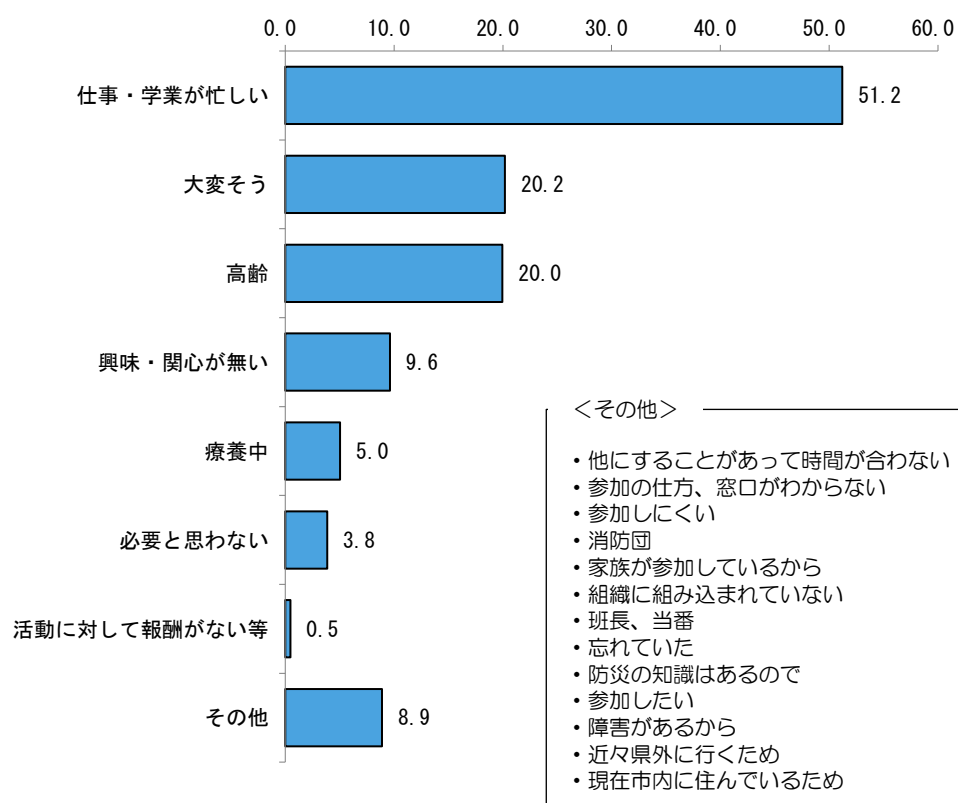


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(3) 防災への取り組みに参加しない理由（問45）

問44で「5. 防災組織について知っているが、参加していない」と答えた方にお尋ねします。それはなぜですか。

防災組織について知っているが、参加していない416人について、参加していない理由を尋ねたところ、「仕事・学業が忙しい」の割合が51.2%と最も高く、次いで「大変そう」が20.2%、高齢が20.0%となっている。



【性別】

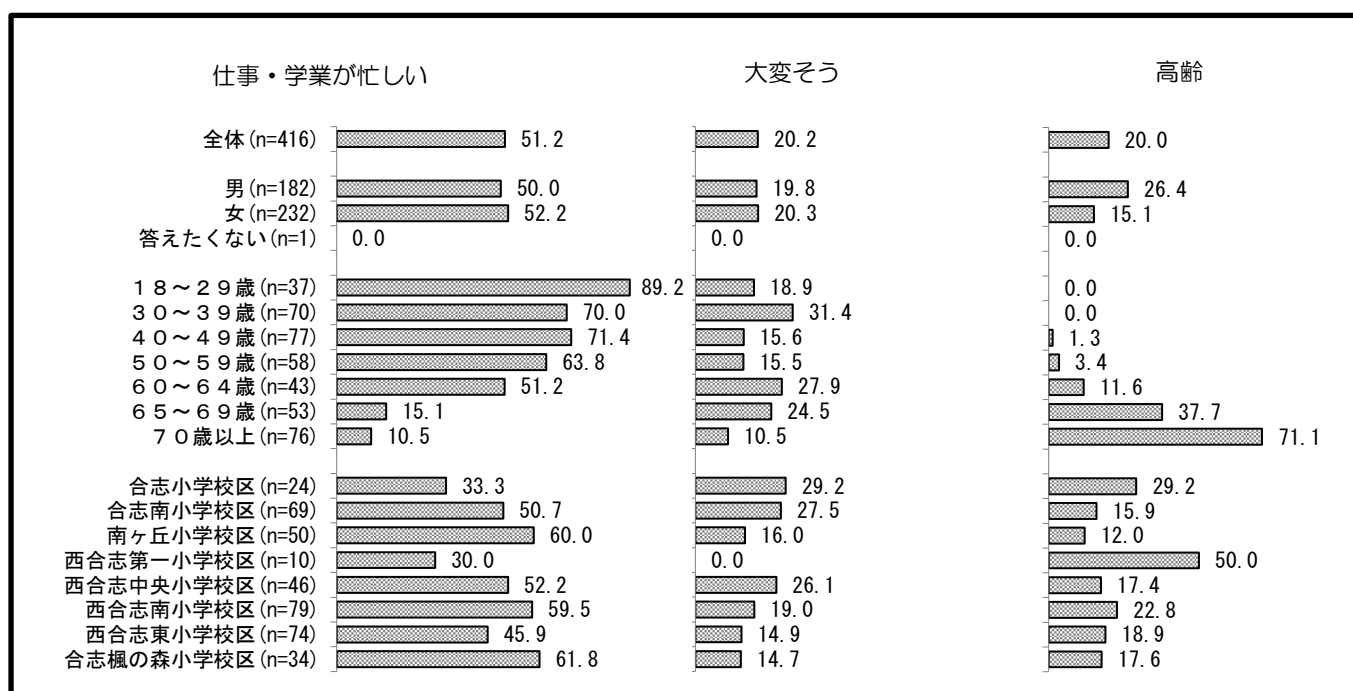
- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は男性で 26.4%、女性で 15.1%と男性が女性より 10 ポイント以上高くなっている。

【年齢別】

- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は年代が上がるにつれ高くなっている。また、「仕事・学業が忙しい」あげている人の割合は、年代が下がるにつれ高くなっている。

【校区别】

- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、南ヶ丘小、西合志南小、合志楓の森小では約 6 割が家庭で取り組んでいる割合が低かった合志小では、地域・職場で防災に取り組んでいる割合は「仕事・学業が忙しい」、西合志第一小では 5 割が「高齢」をあげている。



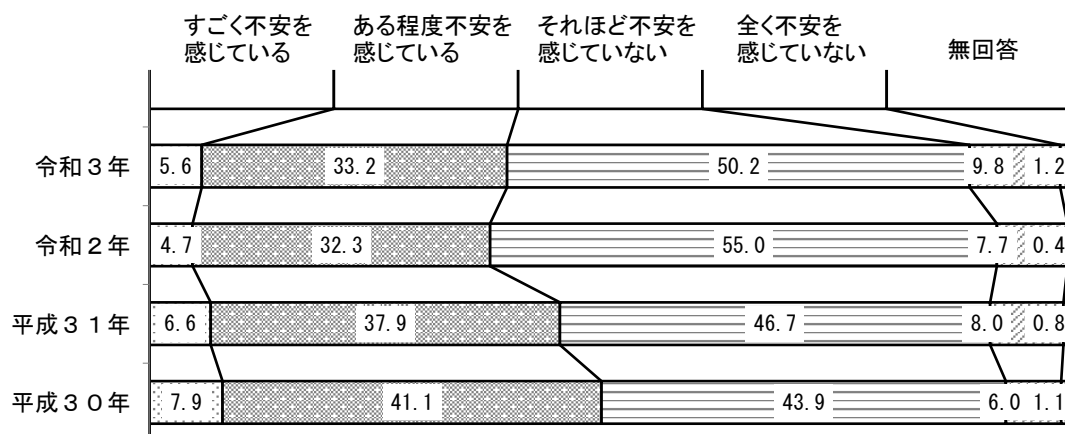
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

3. 犯罪被害に合う不安（問46）

あなたやあなたの家族が、合志市内において犯罪被害（詐欺、窃盗、痴漢等）などに不安を感じていますか。

合志市内で犯罪被害にあう不安を感じている（「すごく不安を感じている」＋「ある程度不安を感じている」）人の割合は38.8%となっており、不安を感じていない（「全く不安を感じていない」＋「それほど不安を感じていない」）が60.0%となっている。

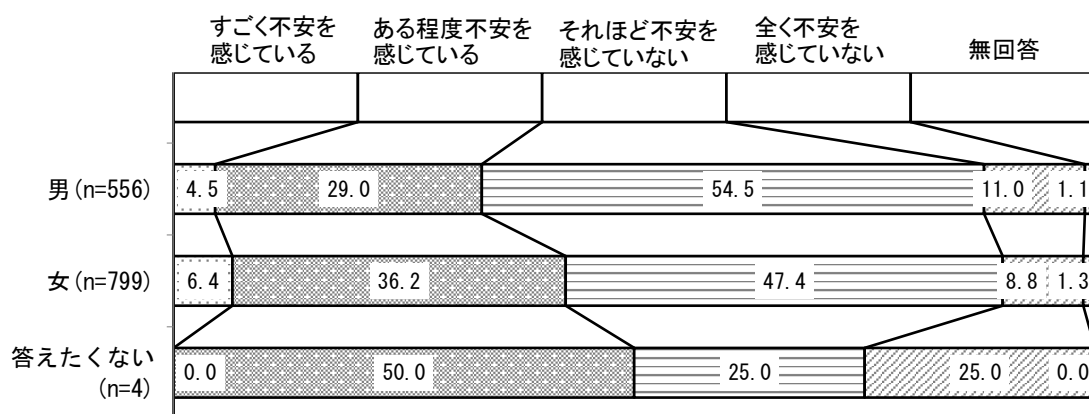
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 すごく不安を感じている	77	5.6	62	4.7	74	6.6	74	7.9
2 ある程度不安を感じている	452	33.2	429	32.3	423	37.9	384	41.1
3 それほど不安を感じていない	684	50.2	731	55.0	521	46.7	410	43.9
4 全く不安を感じていない	134	9.8	102	7.7	89	8.0	56	6.0
5 無回答	16	1.2	5	0.4	9	0.8	10	1.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

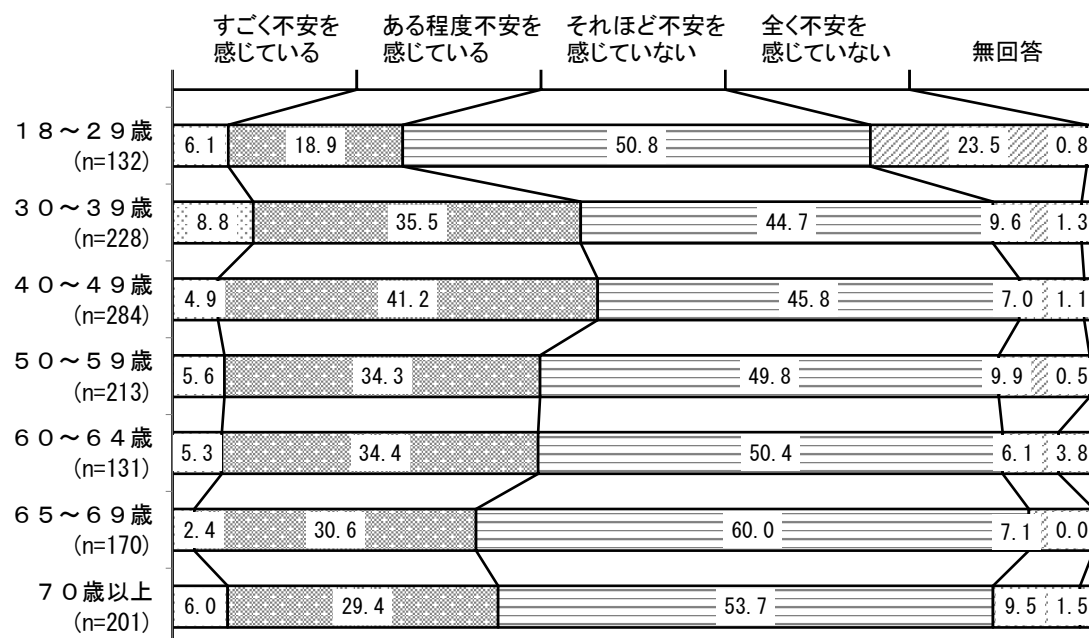
【性別】

- 犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、男性が 33.5%、女性が 42.6%と女性の男性を約 10 ポイント上回っている。



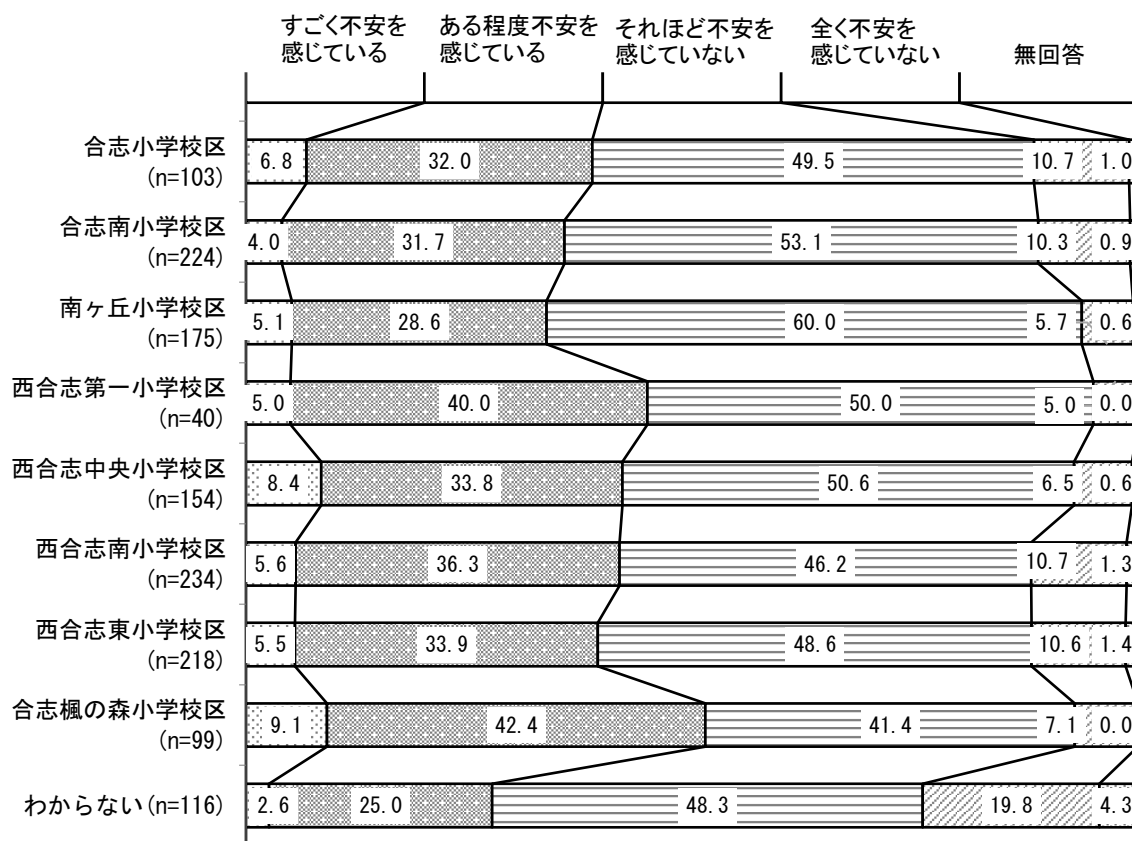
【年齢別】

- 犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、30、40 代では 4 割を超えており、他の年代と比較して高くなっている。20 代以下では犯罪被害にあう不安を感じていない人が 7 割を超えている。



【校区别】

- 犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、合志楓の森小学校で 5 割を超えており、他の校区と比較して高くなっている。

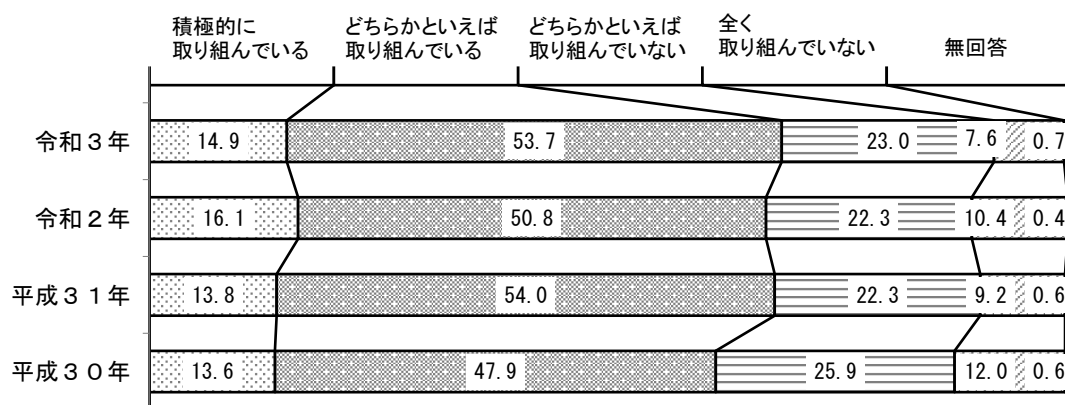


4. 地球温暖化防止への取組み（問48）

あなたの世帯では、何らかの地球温暖化防止対策（太陽光発電、太陽熱温水器、低燃費車両、LED化等の省エネ家電、節電等）に取り組んでいますか。

地球温暖化防止対策に取り組んでいる（「積極的に取り組んでいる」＋「どちらかといえば取り組んでいる」）人の割合は68.6%となっており、取り組んでいない（「全く取り組んでいない」＋「どちらかといえば取り組んでいない」）人の割合は30.6%となっている。

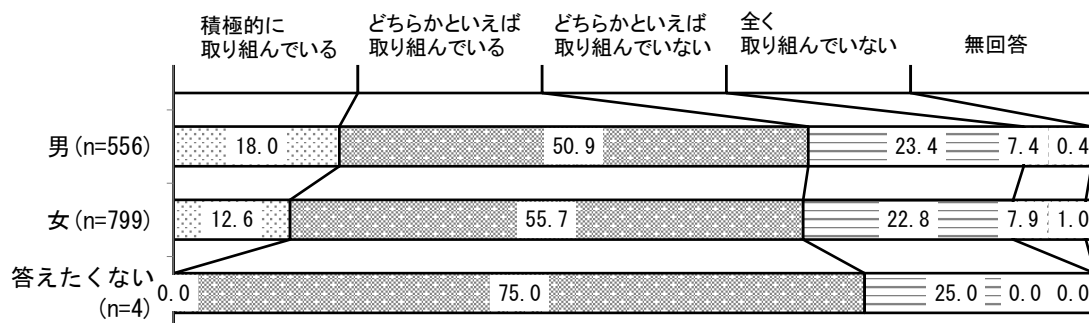
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 積極的に取り組んでいる	203	14.9	214	16.1	154	13.8	127	13.6
2 どちらかといえば取り組んでいる	732	53.7	675	50.8	603	54.0	447	47.9
3 どちらかといえば取り組んでいない	314	23.0	297	22.3	249	22.3	242	25.9
4 全く取り組んでいない	104	7.6	138	10.4	103	9.2	112	12.0
5 無回答	10	0.7	5	0.4	7	0.6	6	0.6
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

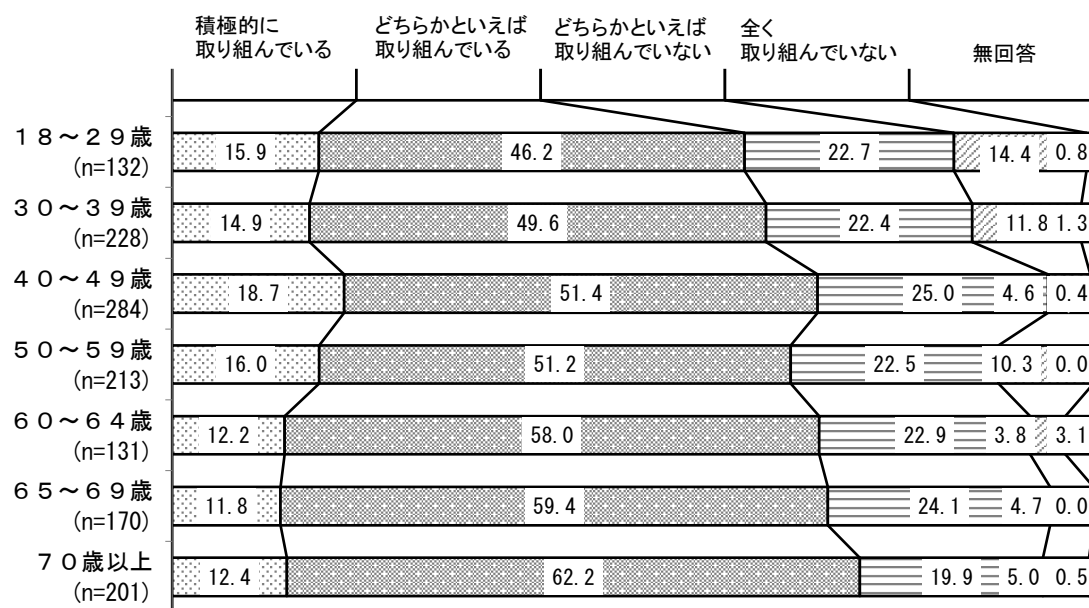
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



【年齢別】

- 地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、年代に関係なく半数を超えており、特に40代及び60代以上では7割を超えている。



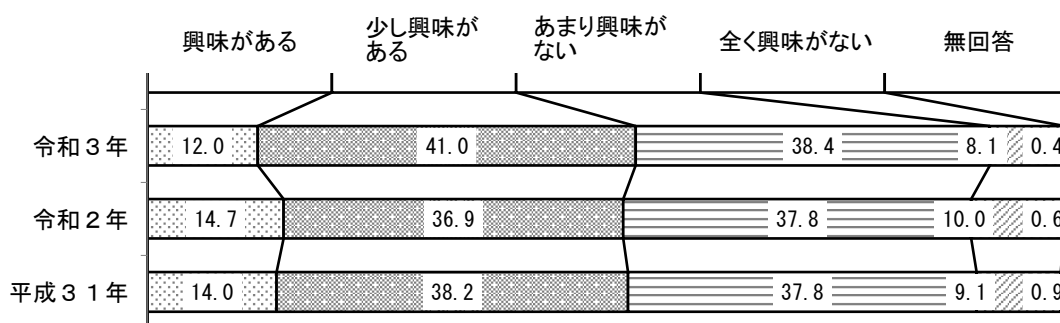
◆郷土意識について

1. 合志市の歴史・伝統文化への関心（問38）

あなたは、合志の歴史・伝統文化に興味がありますか。

合志の歴史・伝統文化に興味がある人（「興味がある」＋「少し興味がある」）の割合は53.0%、興味がない人（「まったく興味がない」＋「あまり興味がない」）の割合は46.5%となっている。

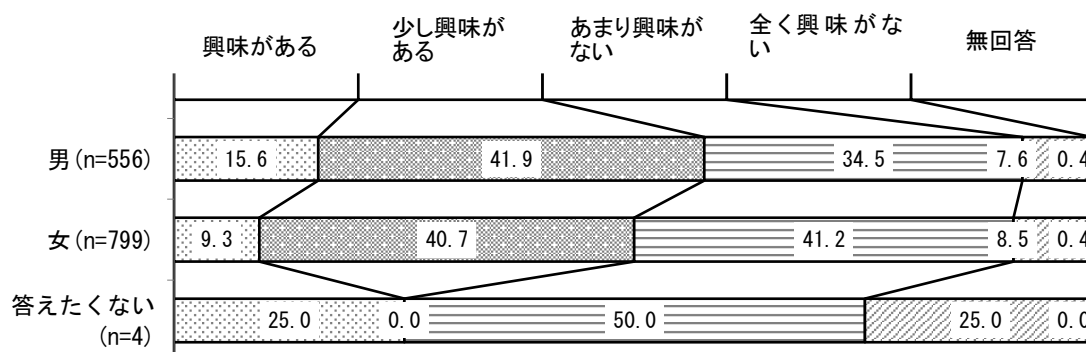
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%
1 興味がある	163	12.0	196	14.7
2 少し興味がある	559	41.0	490	36.9
3 あまり興味がない	524	38.4	502	37.8
4 まったく興味がない	111	8.1	133	10.0
5 無回答	6	0.4	8	0.6
合計	1363	100.0	1329	100.0

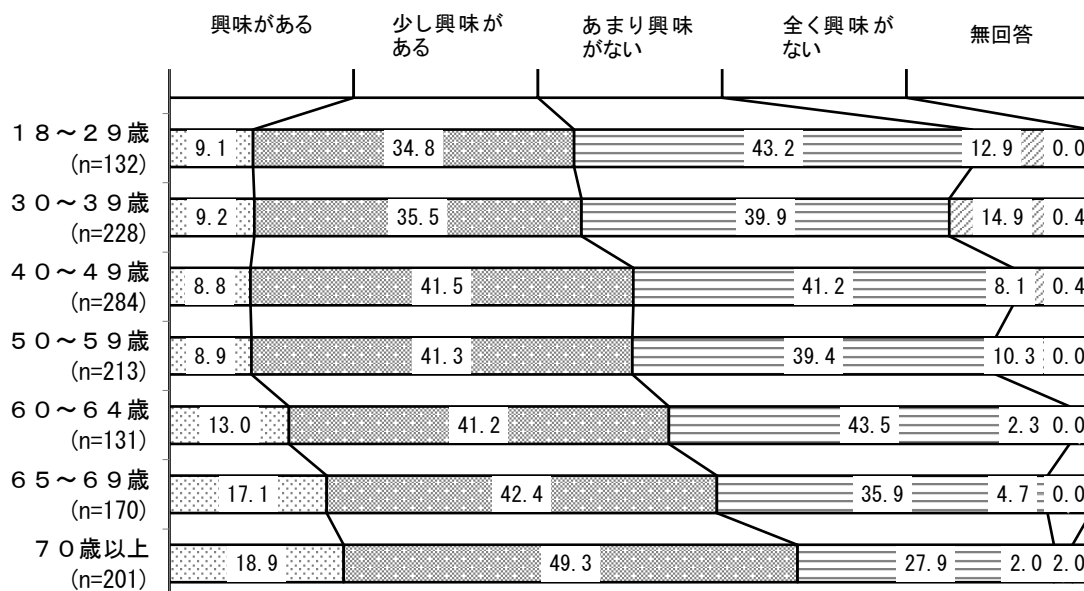
【性別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、男性が57.5%、女性が50.0%と男性が女性を7.5ポイント上回っている。



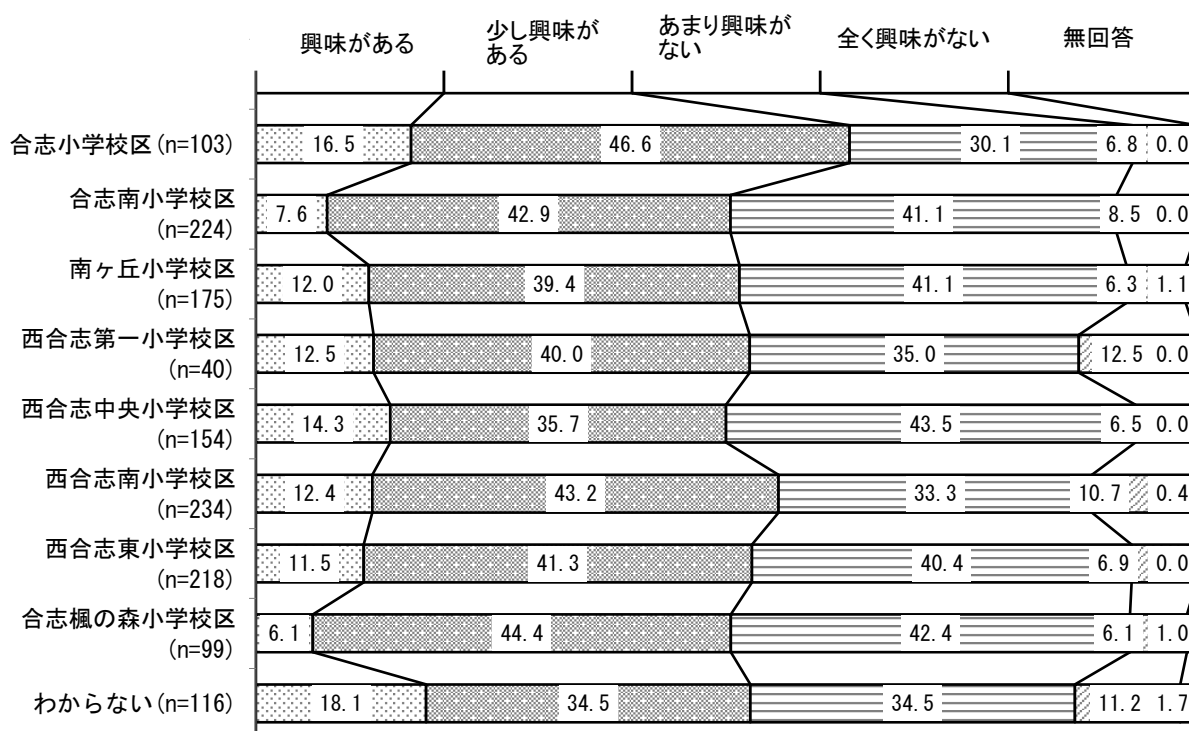
【年齢別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、年代があがるにつれ高くなっており、70歳以上では6割を超えている。
- 昨年度と比較して20代以下で興味がある割合は12ポイント増加している。



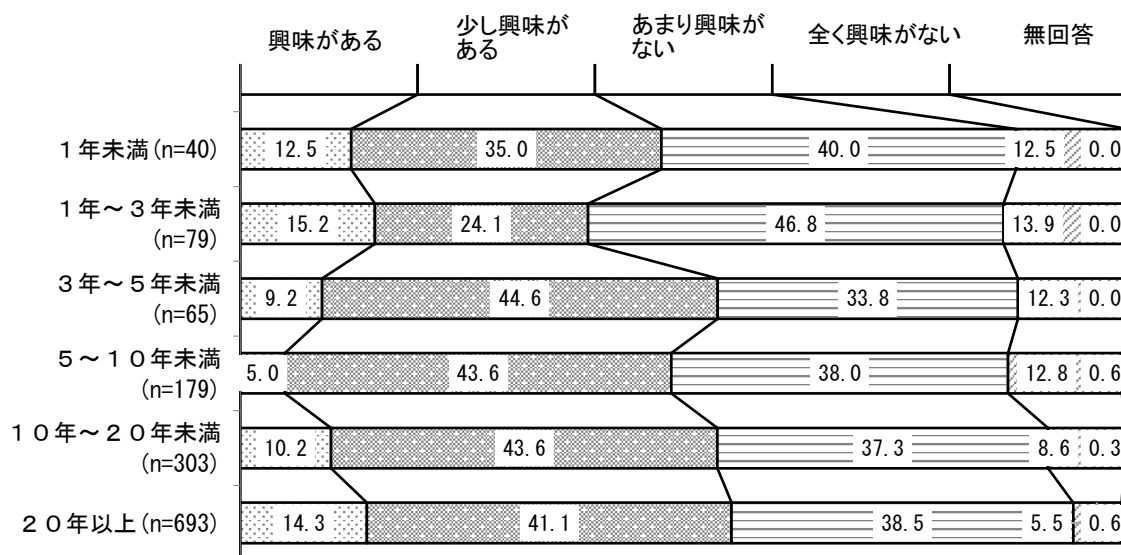
【校区别】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、すべての校区で半数を超えており、最も高い合志小では63.1%となっている。



【居住年数別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、居住年数3～5年未満及び10年以上において、5割以上となっている。



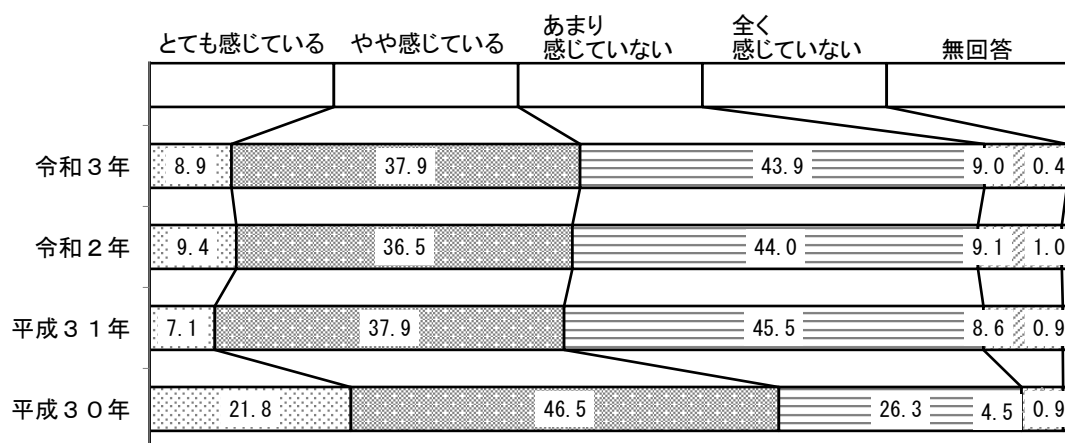
2. 郷土としての合志市への意識

(1) 愛着（問39）

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じていますか

歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている（「とても感じている」＋「やや感じている」）人の割合は46.8%、感じていない人（「あまり感じていない」＋「全く感じていない」）人の割合は52.9%となっている。

昨年度と比較して大きな違いは見られていない。

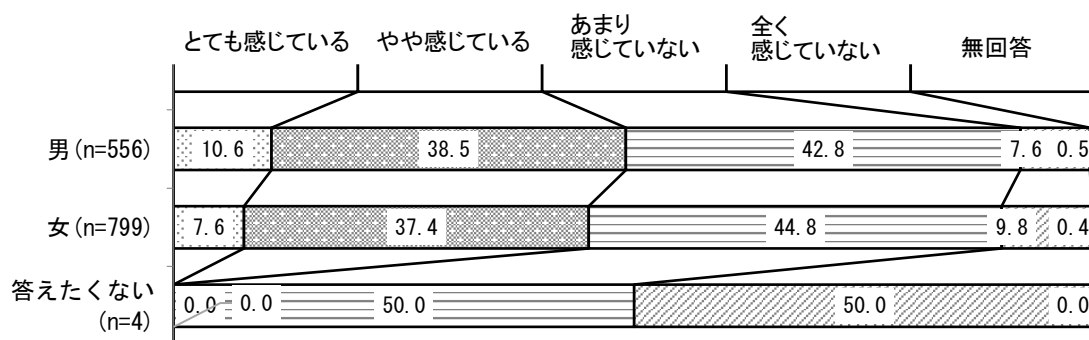


※平成30年度までは「郷土としての合志市に愛着を感じるか」という設問であったため、比較には注意が必要である。

	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても感じている	121	8.9	125	9.4	79	7.1	204	21.8
2 やや感じている	516	37.9	485	36.5	423	37.9	434	46.5
3 あまり感じていない	598	43.9	585	44.0	508	45.5	246	26.3
4 全く感じていない	122	9.0	121	9.1	96	8.6	42	4.5
5 無回答	6	0.4	13	1.0	10	0.9	8	0.9
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

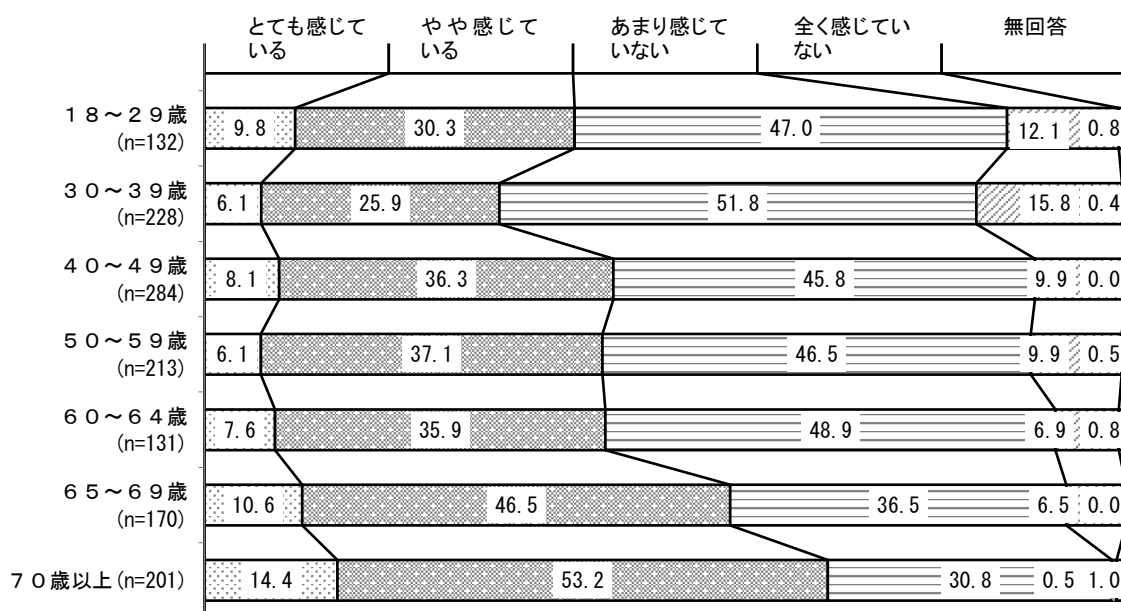
【性別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、男性が 49.1%、女性が 45.1%と男性の女性を 4.0 ポイント上回っている。



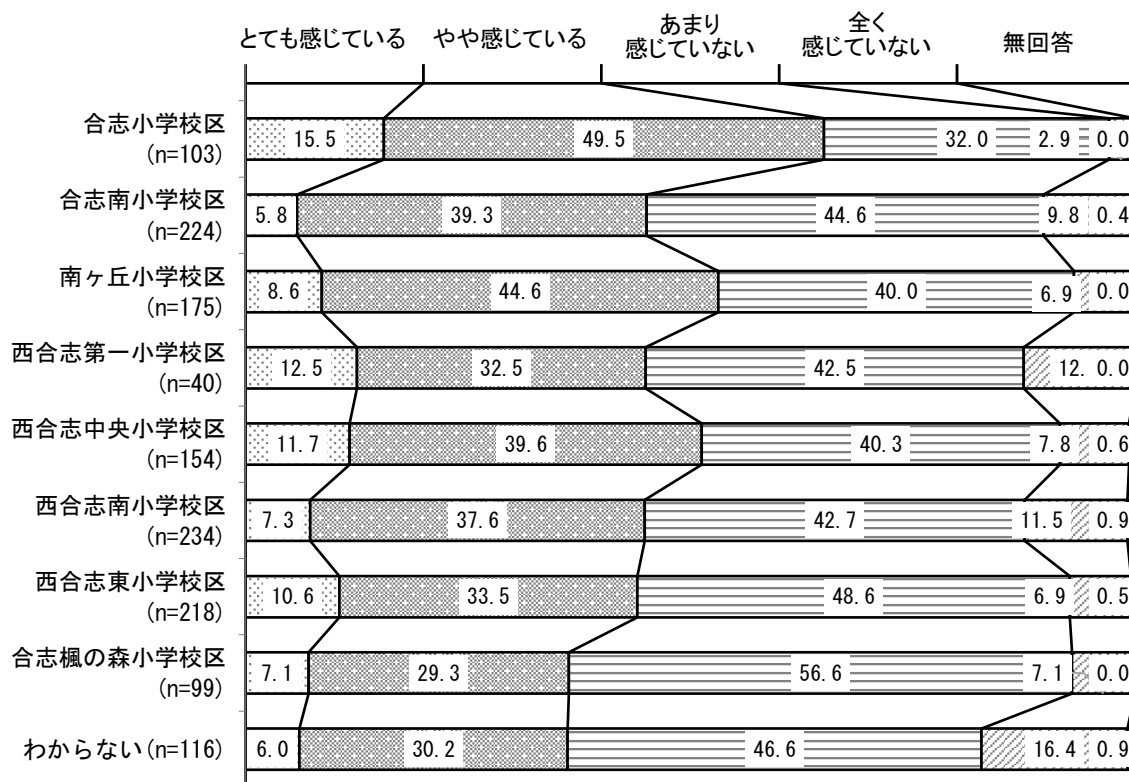
【年齢別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、30 代以降、年齢が上がるほど高くなっており、30 代では約 3 割だが、70 歳以上では 6 割を超えている。
- 昨年度と比較して、20 代以下の愛着を感じている割合が 5 ポイント以上増加している。



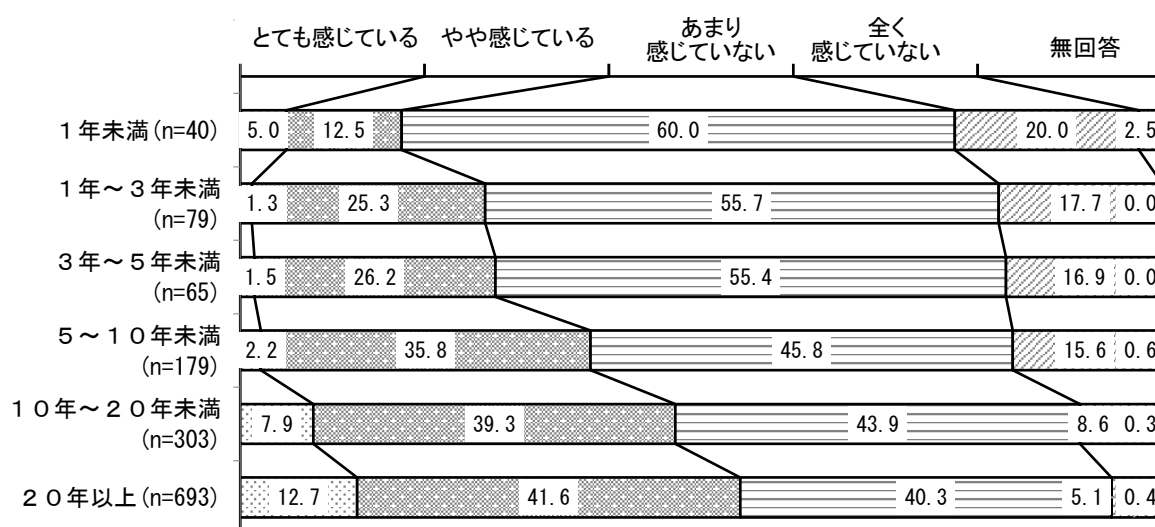
【校区别】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、合志小で 65.0%と最も高く、南ヶ丘小、西合志中央小においても 5 割を超えている。



【居住年数別】

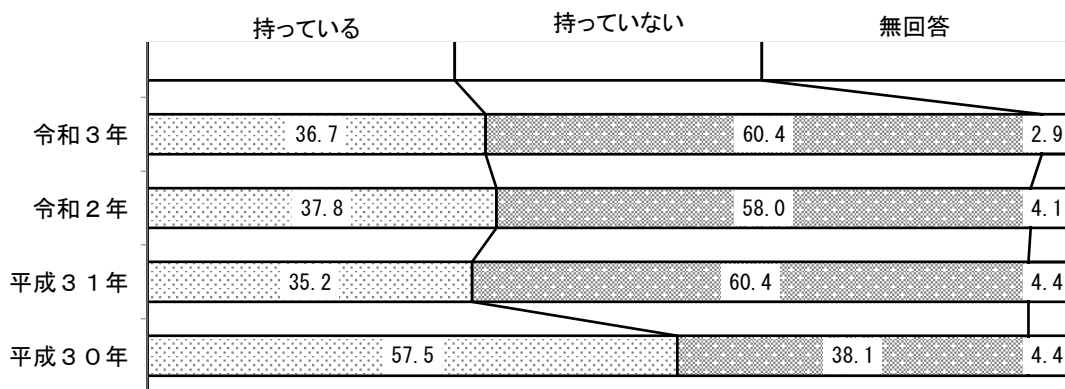
- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、居住年数が長くなるほど高くなっており、5年未満では3割以下だが、20年以上では5割を超えている。



(2) 誇り (問40)

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを持っていますか。

歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを「持っている」人の割合は36.7%となっており、「持っていない」人の割合は60.4%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

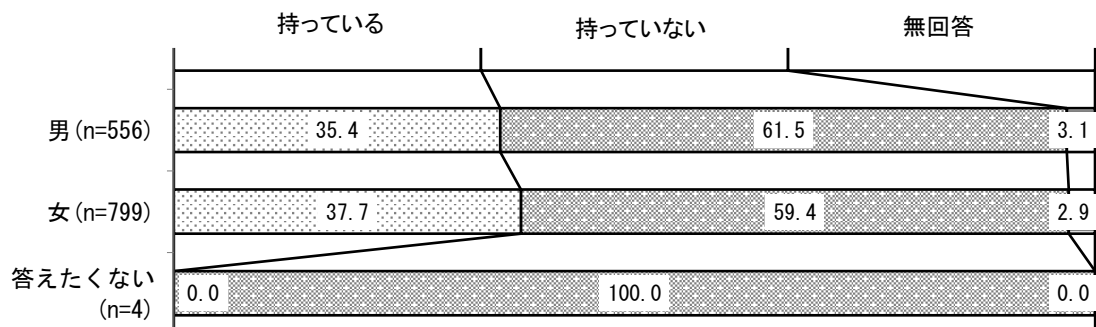


	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 持っている	500	36.7	503	37.8	393	35.2	537	57.5
2 持っていない	823	60.4	771	58.0	674	60.4	356	38.1
3 無回答	40	2.9	55	4.1	49	4.4	41	4.4
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

※平成30年度までは「郷土としての合志市に誇りを持っているか」という設問であったため、比較には注意が必要である。

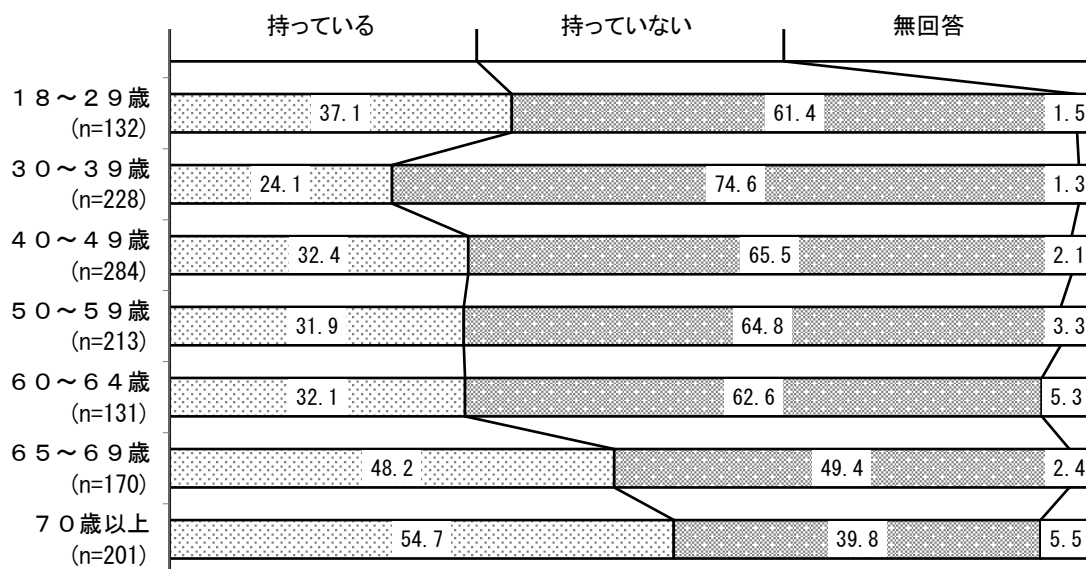
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



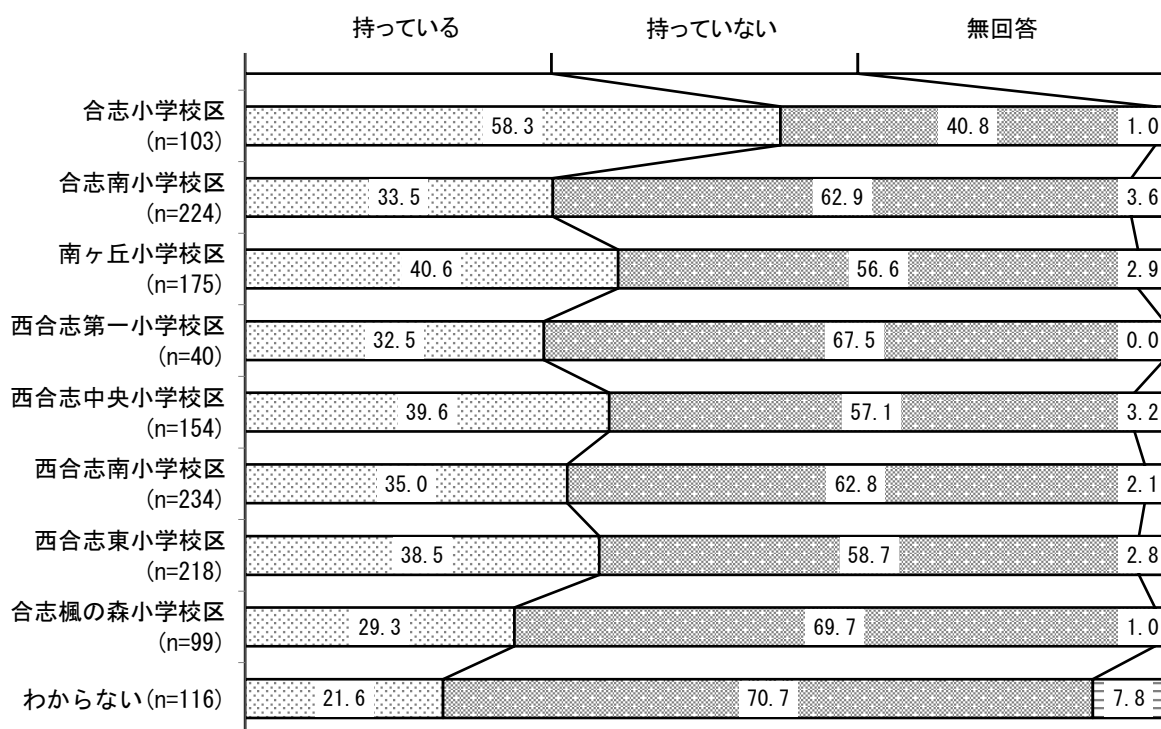
【年齢別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを「持っている」人の割合は 60 代前半までは 4 割以下となっているが、60 代後半以上では約 5 割以上となっている。



【校区别】

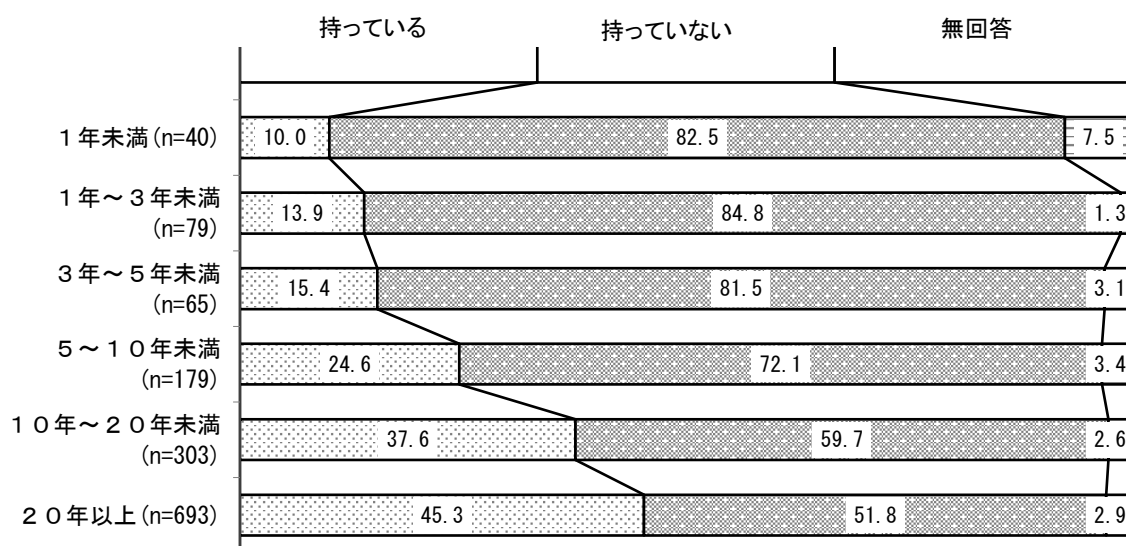
- 歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを「持っている」人の割合は、合志小では 5 割を超えている一方、合志楓の森小では約 3 割となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを「持っている」人の割合は、居住年数が長くなるにつれ高くなっており、5年未満では2割以下だが、20年以上では4割を超えている。

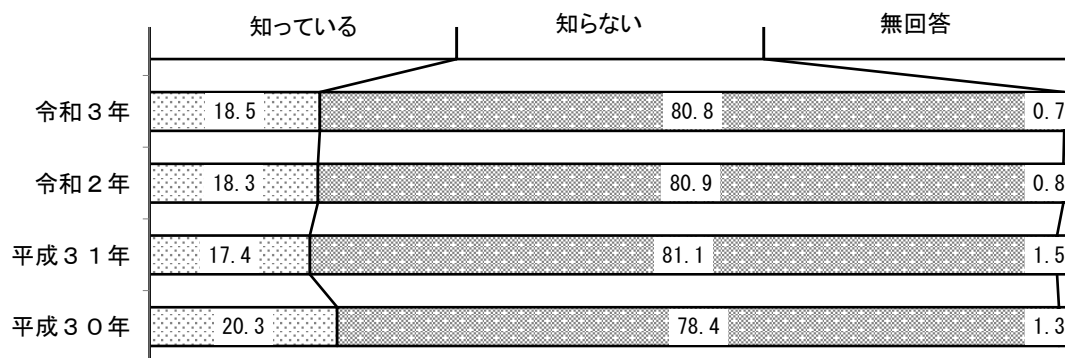


3. 合志市ブランド認証品の認知（問４１）

あなたは、合志市のブランド認証品を知っていますか？

合志市のブランド認証品を「知っている」人の割合は 18.5%、「知らない」が 80.8%となっている。

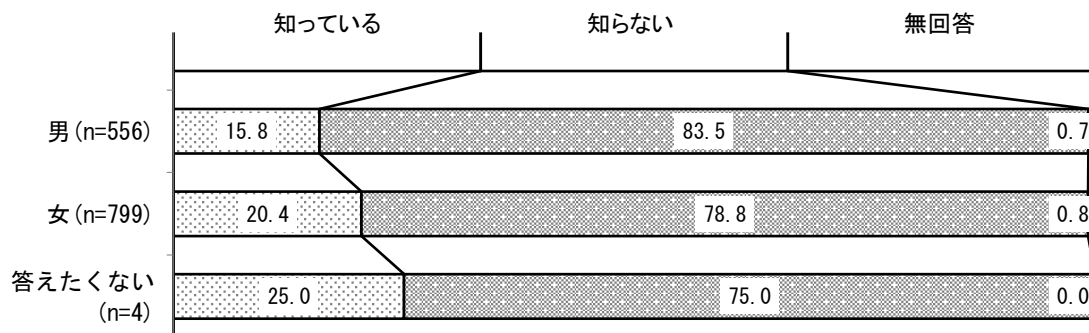
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	252	18.5	243	18.3	194	17.4	190	20.3
2 知らない	1101	80.8	1075	80.9	905	81.1	732	78.4
3 無回答	10	0.7	11	0.8	17	1.5	12	1.3
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

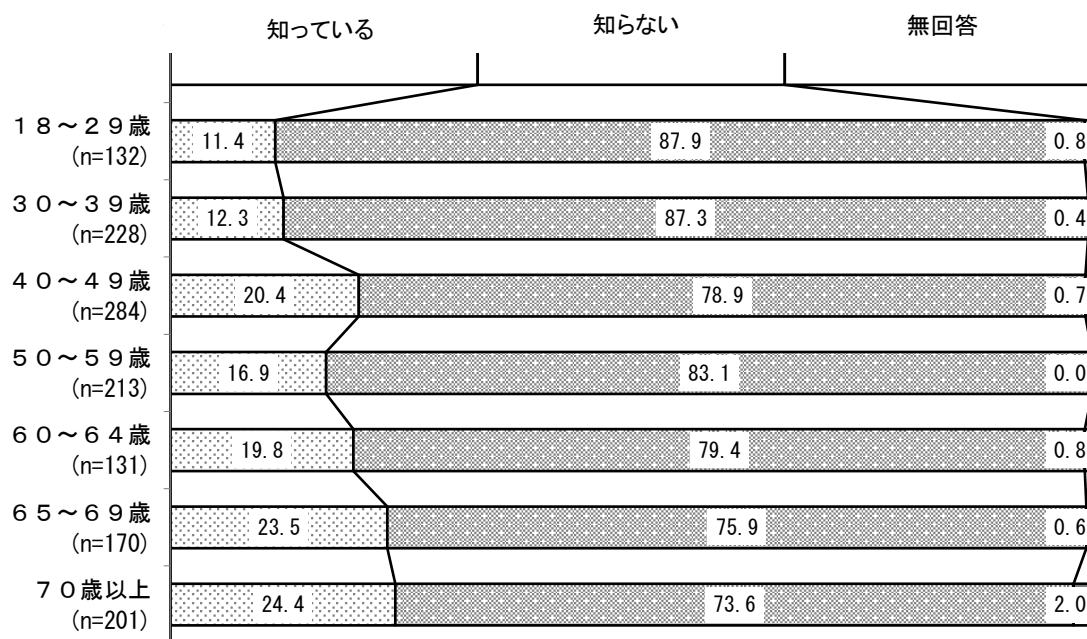
【性別】

- 合志市ブランド認証品を「知っている」人の割合は、男性が 15.8%、女性が 20.4%と女性が男性を 4.6 ポイント上回っている。



【年齢別】

- 合志市のブランド認証品を「知っている」人の割合は、40代と60代後半以上で2割を超えている。
- 昨年度と比較して、20代以下では「知っている」人の割合が5ポイント以上増加している。



◆市政について

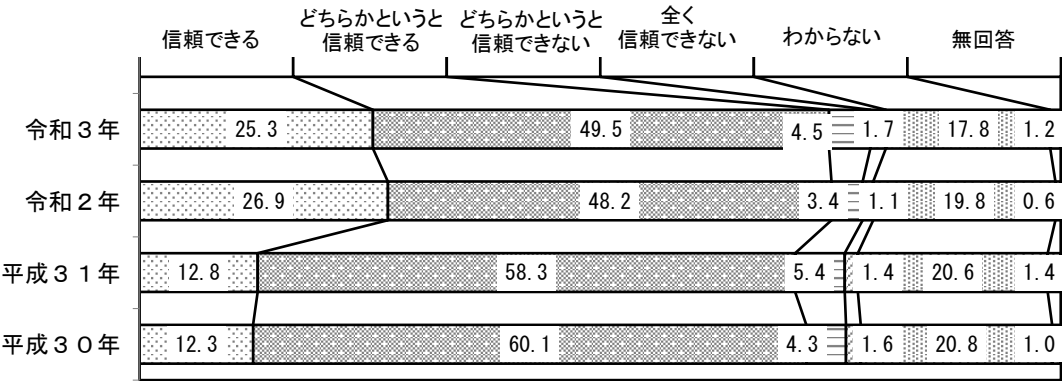
1. 市役所について

(1) 市役所への信頼（問57）

あなたにとって市役所は信頼できる存在ですか？

市役所が信頼できる（「信頼できる」＋「どちらかという信頼できる」）人の割合は74.8%と全体の4分の3を占めており、信頼できない（「全く信頼できない」＋「どちらかという信頼できない」）は6.2%となっている。

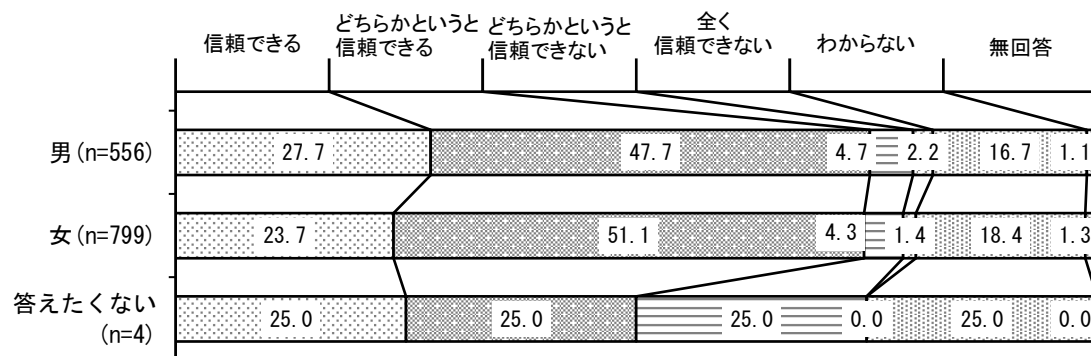
昨年度と比較して、大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 信頼できる	345	25.3	358	26.9	143	12.8	115	12.3
2 どちらかという信頼できる	675	49.5	640	48.2	651	58.3	561	60.1
3 どちらかという信頼できない	61	4.5	45	3.4	60	5.4	40	4.3
4 全く信頼できない	23	1.7	15	1.1	16	1.4	15	1.6
5 わからない	243	17.8	263	19.8	230	20.6	194	20.8
6 無回答	16	1.2	8	0.6	16	1.4	9	1.0
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

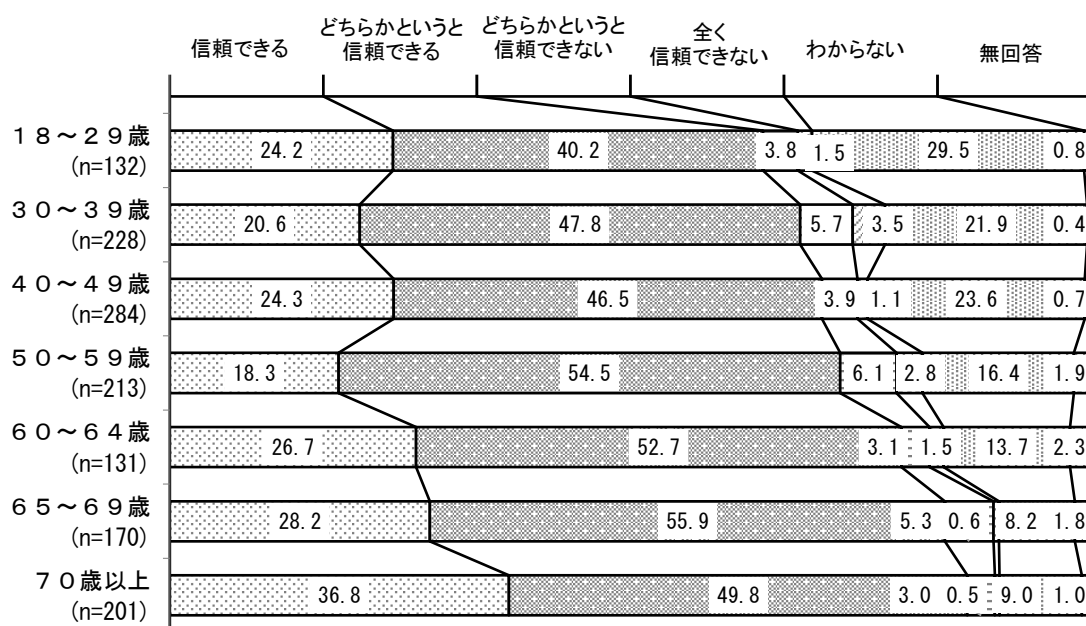
【性別】

- 男女で大きな違いはみられていない。



【年齢別】

- 市役所が信頼できる人の割合は、最も低い20代以下では64.4%となっている。また年代が上がるにつれ高くなっており、60代以上では約8割以上となっている。

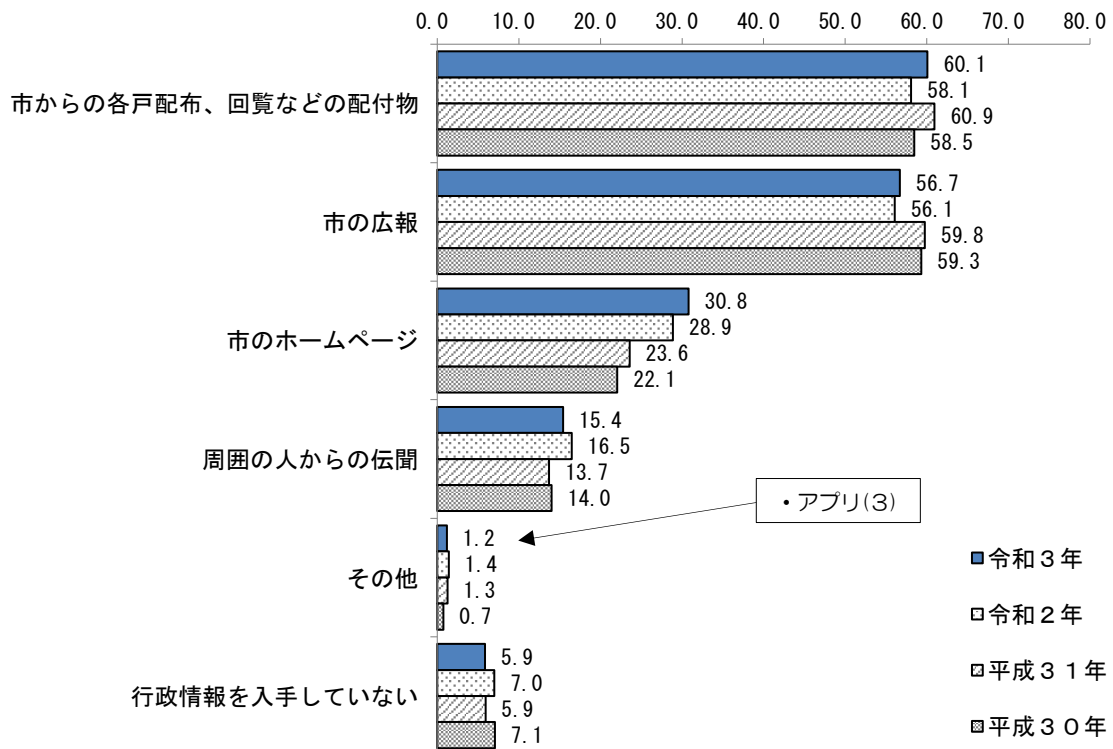


(2) 行政情報の入手 (問58)

あなたは、どのように行政情報を入手していますか？

行政情報の入手方法については、「市からの各戸配布、回覧などの配布物」が60.1%、次いで「市の広報」が56.7%、「市のホームページ」が30.8%となっている。「行政情報を入手していない」人の割合は5.9%となっており、ほとんどの人が情報を入手している。

昨年度と比較して上位の項目に違いは見られないが、市のホームページは増加している。



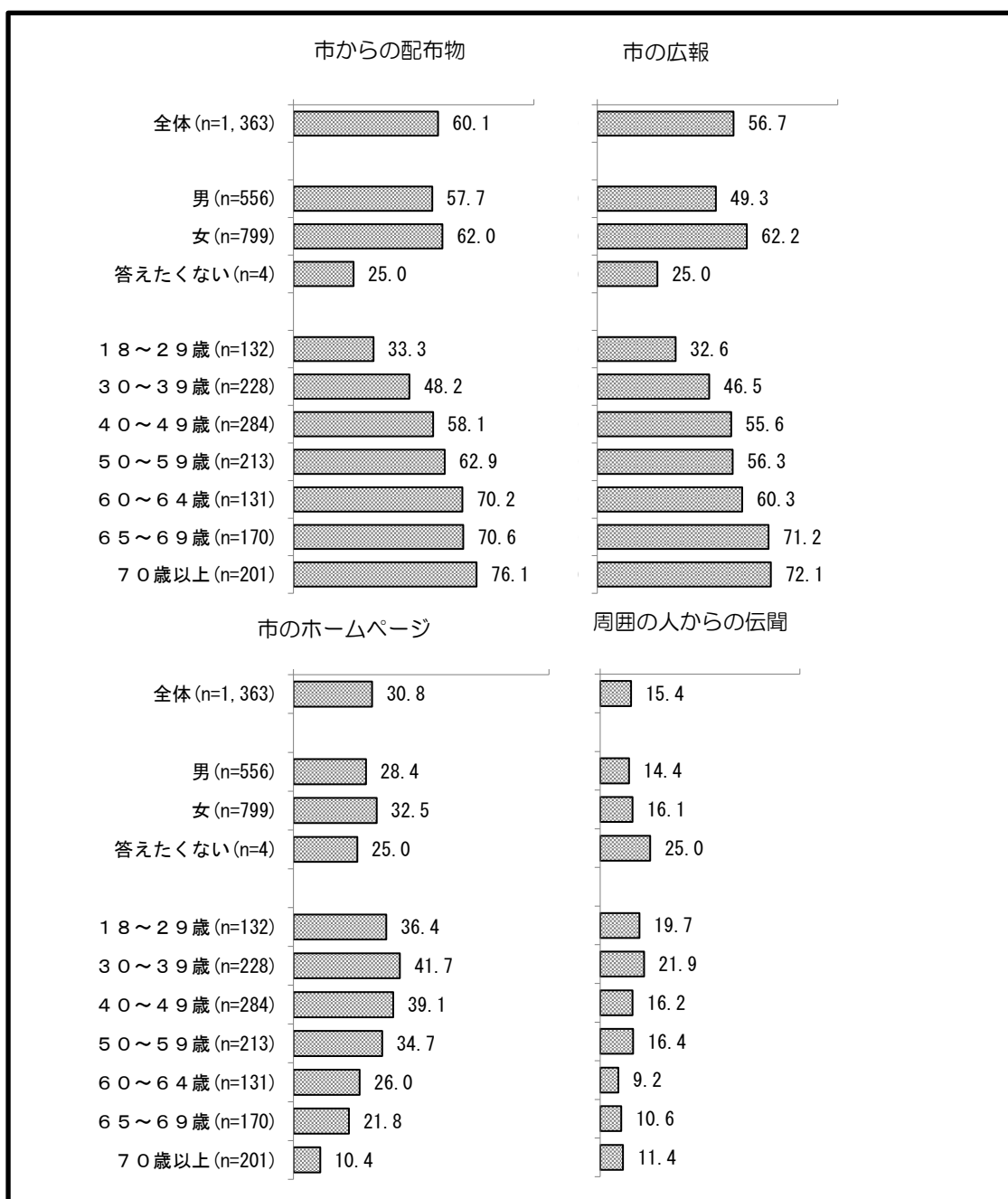
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	n=1363		n=1329		n=1116		n=934	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 市の広報	773	56.7	745	56.1	667	59.8	554	59.3
2 市のホームページ	420	30.8	384	28.9	263	23.6	206	22.1
3 市からの各戸配布、回覧などの配布物	819	60.1	772	58.1	680	60.9	546	58.5
4 周囲の人からの伝聞	210	15.4	219	16.5	153	13.7	131	14.0
5 その他	16	1.2	19	1.4	14	1.3	7	0.7
6 行政情報を入手していない	80	5.9	93	7.0	66	5.9	66	7.1

【性別】

- 男女で入手方法に大きな違いはみられていないが、「市の広報」では女性が男性より 10 ポイント以上多くなっている。いずれの方法についても女性が男性を上回っている。

【年齢別】

- 行政情報の入手方法については、「市の広報」「市からの配布物」は年齢が高くなるほど利用している人が多くなっている。30代、40代では4割前後が「市のホームページ」で情報を入手している。
- 昨年度と比較すると「行政情報を入手していない」人の割合が20代以下で約10ポイント減少している。

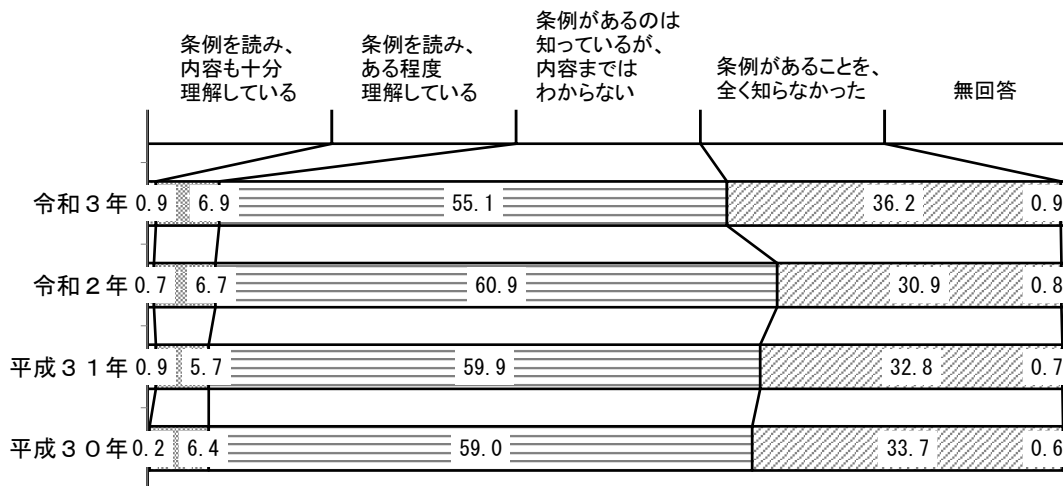


(3) 合志市自治基本条例の認知(問59)

あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか？

合志市の自治基本条例を知っている（「条例を読み、内容も十分理解している」＋「条例を読み、ある程度理解している」＋「条例があるのは知っているが、内容まではわからない」）人の割合は約6割となっているものの、内容まで理解している人（「内容も十分理解している」＋「ある程度理解している」）は1割に満たず、条例の存在は知っていても内容までは理解していない割合が半数を超えている。また、「条例があることを全く知らなかった」は36.2%となっている。

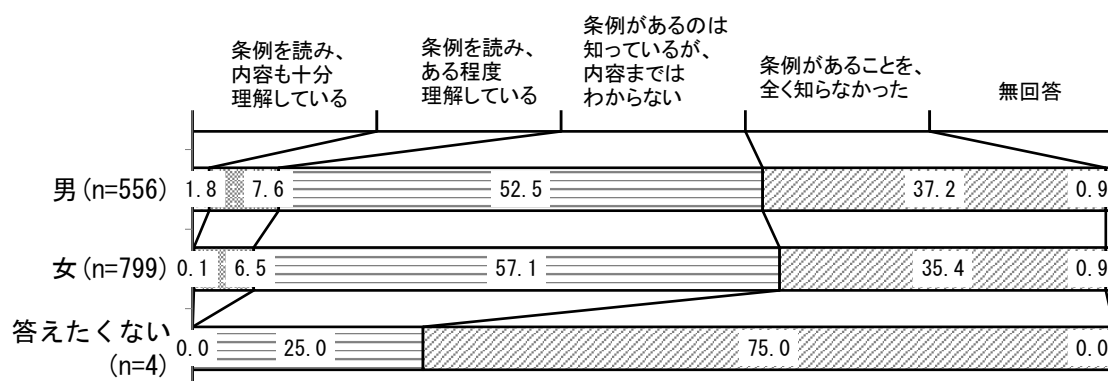
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 条例を読み、内容も十分理解している	12	0.9	9	0.7	10	0.9	2	0.2
2 条例を読み、ある程度理解している	94	6.9	89	6.7	64	5.7	60	6.4
3 条例があるのは知っているが、内容までは分からない	751	55.1	810	60.9	668	59.9	551	59.0
4 条例があることを、全く知らなかった	494	36.2	410	30.9	366	32.8	315	33.7
5 無回答	12	0.9	11	0.8	8	0.7	6	0.6
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

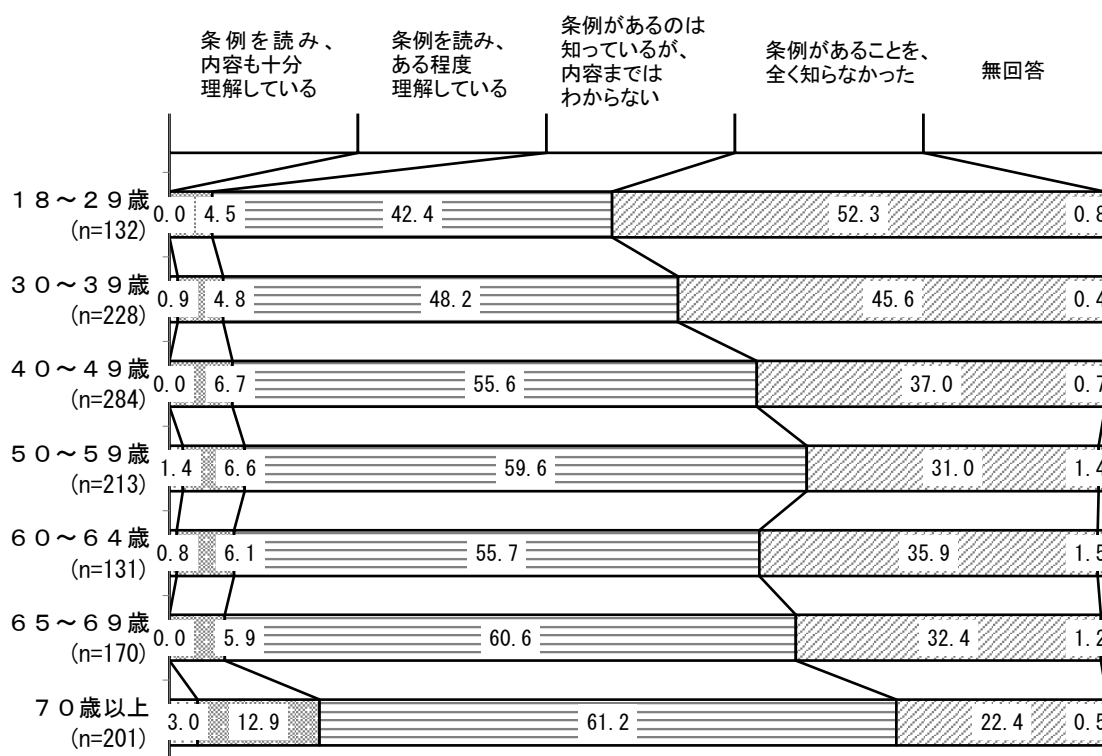
【性別】

- 男女による大きな違いはみられていない。



【年齢別】

- 年代が上がるにつれ条例を知っている人の割合も高くなっており、20代以下では46.9%となっているが、60代後半以上では7～8割となっている。一方、内容をある程度理解している割合は最も高い70歳以上においても15.9%となっている。

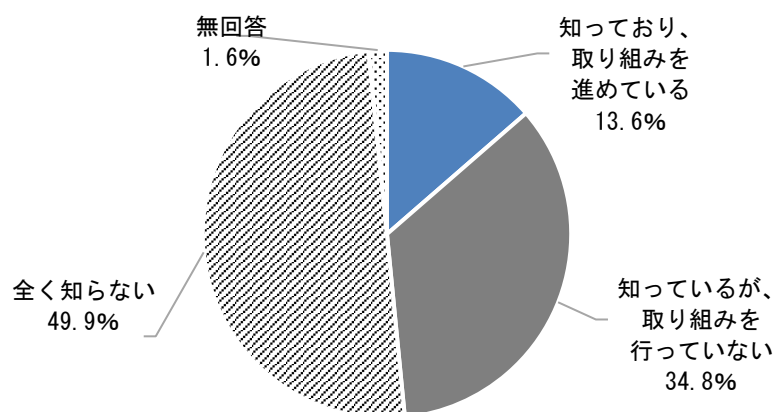


(4) SDGsの認知(問60)

あなたは、SDGs（エスディー・ジーズ）を知っていますか

SDGsを知っている人（「知っており、取り組みを進めている」＋「知っているが、取り組みを行っていない」）の割合は48.4%、「全く知らない」は49.9%となっている。

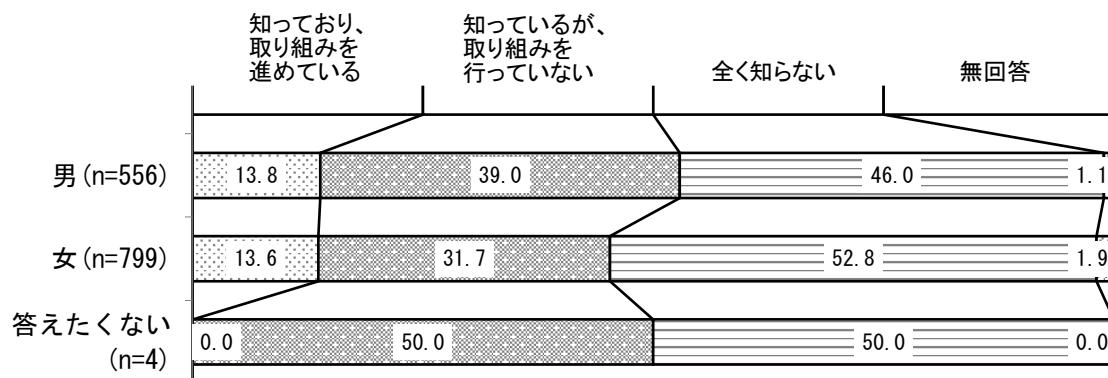
昨年度と比較して大幅に変化し認知度が高くなっているが、実際に取り組んでいる人の割合は13.6%となっている。



	令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%
1 知っており、取り組みを進めている	186	13.6	67	5.0
2 知っているが、取り組みを行っていない	475	34.8	192	14.4
3 全く知らない	680	49.9	1048	78.9
5 無回答	22	1.6	22	1.7
合計	1363	100.0	1329	100.0

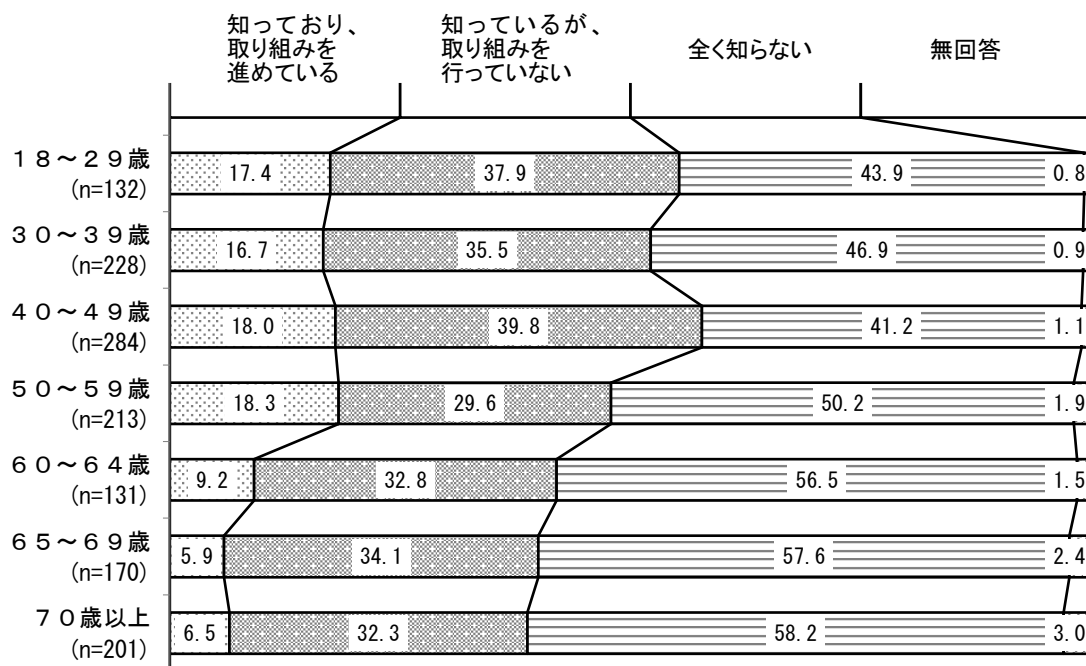
【性別】

- SDGsを知っている人の割合は、男性 52.8%、女性 45.3%と男性が女性より 7.5 ポイント高くなっている。



【年齢別】

- SDGsを知っている人の割合は、50代以下では5割前後となっており、最も低い70歳以上でも38.8%となっている。

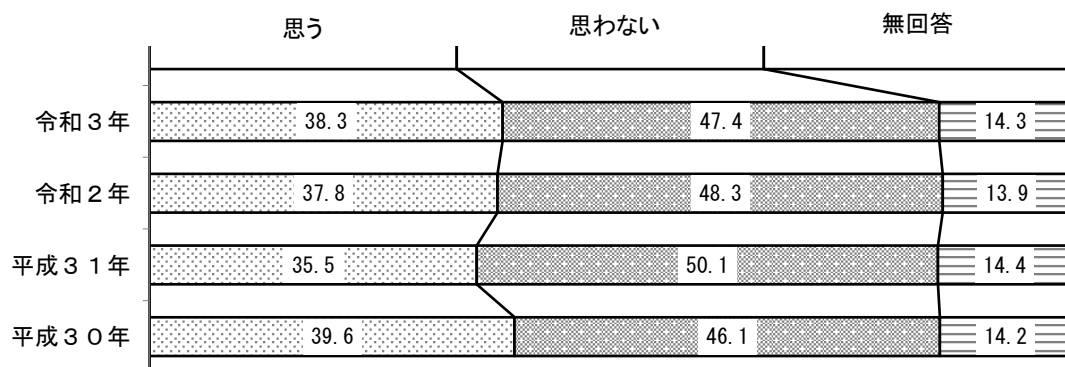


2. 市議会の活動について

(1) 市議会の運営（問61）

あなたは、市議会が市民の意見を反映した運営になっていると思いますか？

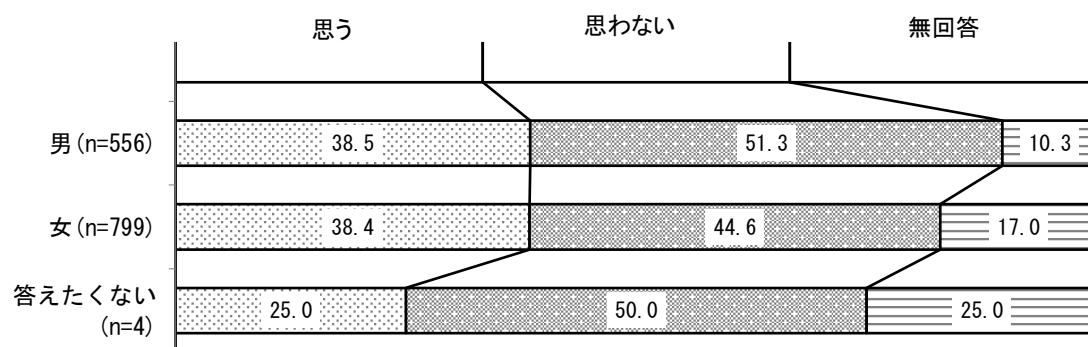
市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思う」人の割合は38.3%、「思わない」が47.4%となっている。
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	522	38.3	502	37.8	396	35.5	370	39.6
2 思わない	646	47.4	642	48.3	559	50.1	431	46.1
3 無回答	195	14.3	185	13.9	161	14.4	133	14.2
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

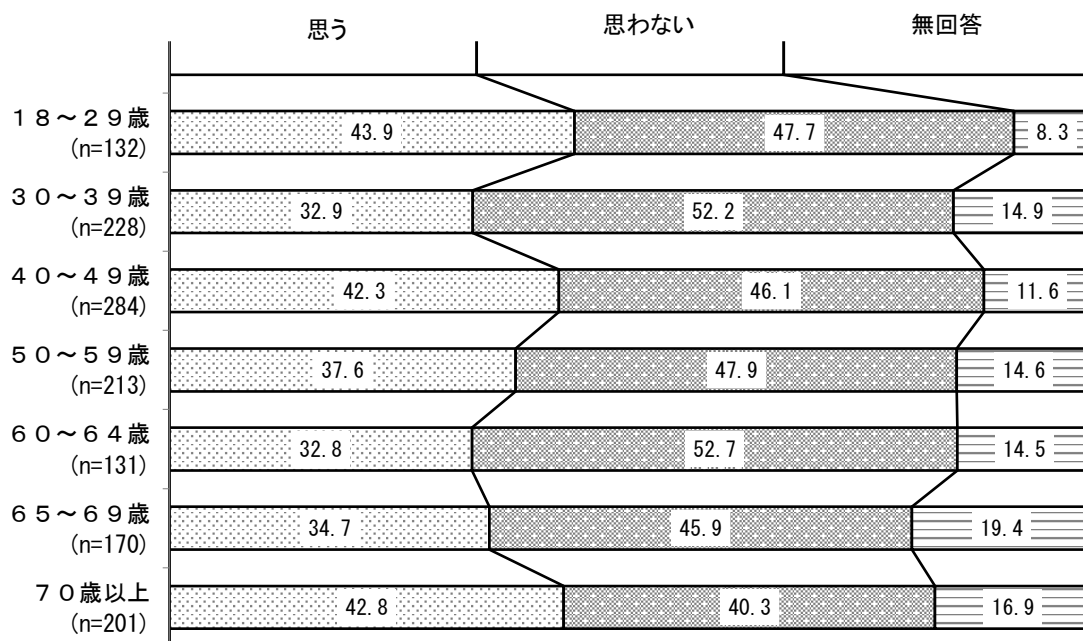
【性別】

- 市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、男性が51.3%、女性が44.6%と女性では男性より6.7ポイント低くなっている。



【年齢別】

- 市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、30代、60代で半数を超えており、他の年代と比較して高くなっている。
- 20代以下では「思わない」の割合が43.9%となっており、10ポイント以上増加している。

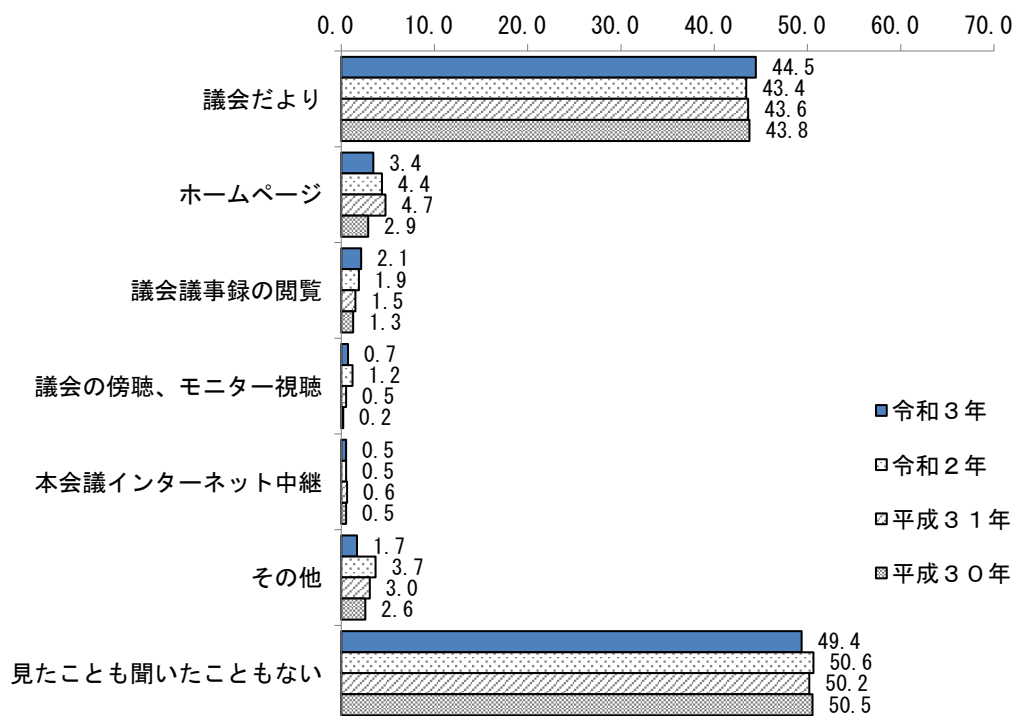


(2) 市議会情報への接触 (問62)

あなたは、過去1年間で市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか？

過去1年以内の市議会での議論について、「見たことも聞いたこともない」人の割合は49.4%と約半数を占めている。市議会の情報を入手している人の情報入手方法としては、「議会だよりを読んだ」が44.5%と最も多く、他は5%未満と少なくなっている。

昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



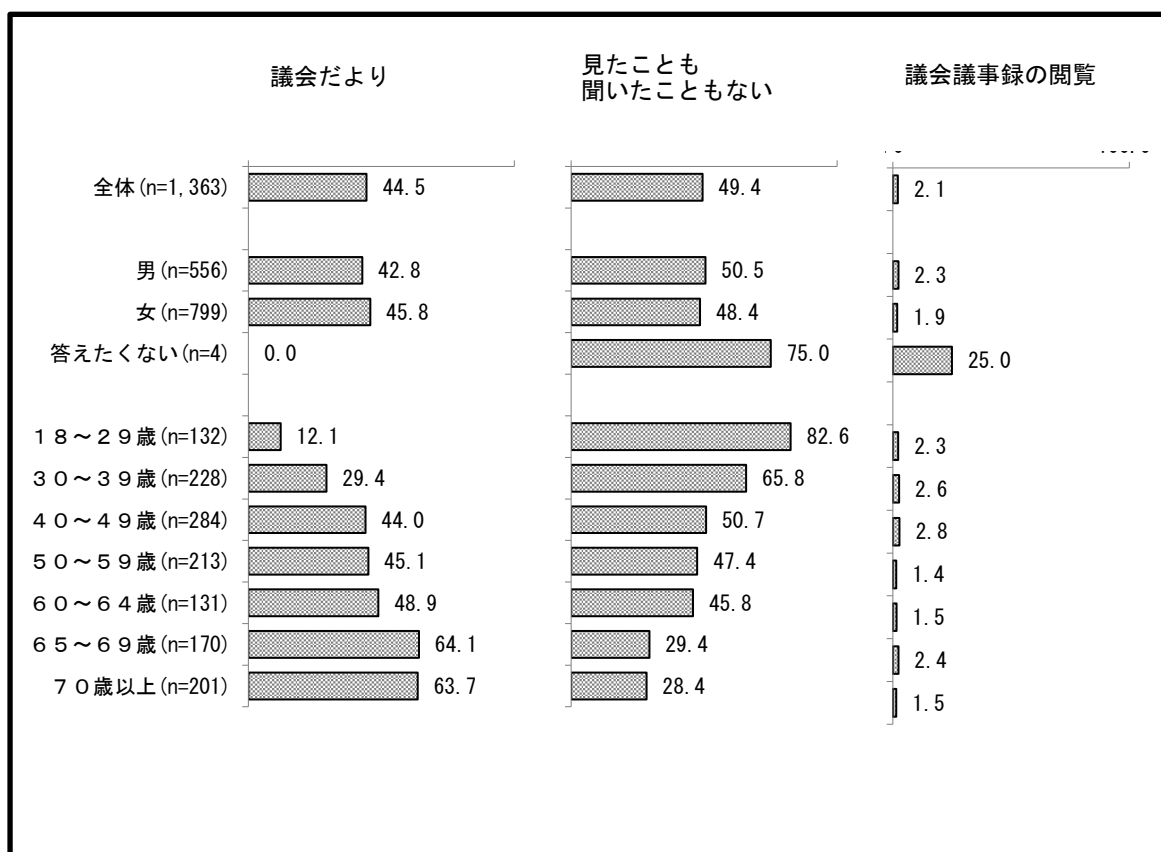
	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	n=1363		n=1329		n=1116		n=934	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ホームページで公開されている議会情報を見た	47	3.4	58	4.4	53	4.7	27	2.9
2 本会議インターネット中継を見た	7	0.5	7	0.5	7	0.6	5	0.5
3 議会だよりを読んだ	606	44.5	577	43.4	487	43.6	409	43.8
4 議会の傍聴、モニター視聴を行った	10	0.7	16	1.2	6	0.5	2	0.2
5 議会議事録を閲覧した	29	2.1	25	1.9	17	1.5	12	1.3
6 その他(議員や会派が行っている説明会などへの参加等)	23	1.7	49	3.7	34	3.0	24	2.6
7 見たことも聞いたこともない	673	49.4	673	50.6	560	50.2	472	50.5

【性別】

- 男女による大きな違いはみられていない。

【年齢別】

- 年代別に見ると、市議会での議論を「見たことも聞いたこともない」割合は年代が上がるにつれ減少しており、20 代以下はで 82.6%となっているが、50 代以上では半数以下となっている。
- 「議会だより」で議論を知った人の割合は、年齢とともに高くなり、20 代以下では 12.1%だが、60 代後半以上では読んでいる人が半数を超えている。
- 昨年度と比較して大きな違いはみられていない。

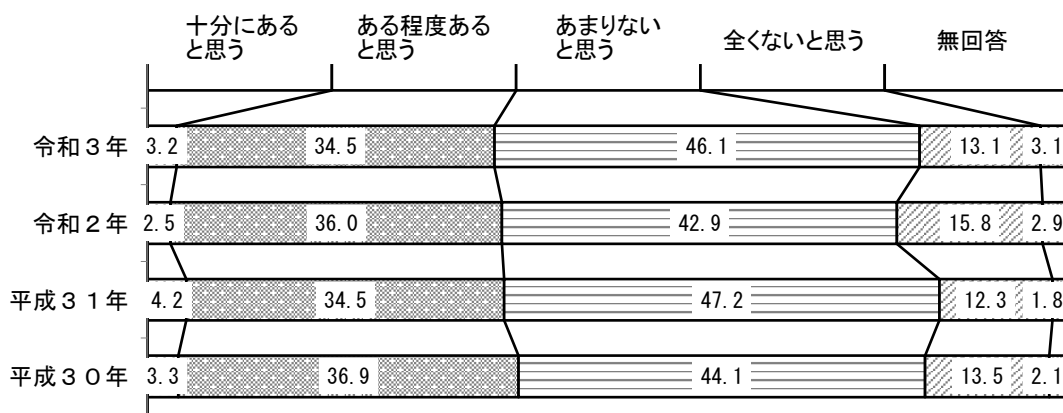


(3) 市議会情報を得る機会（問63）

あなたは、市議会情報を得る機会が十分にあると思いますか？

市議会情報を得る機会がある（「十分にある」＋「ある程度ある」）人の割合は37.7%、得る機会がない（「全くない」＋「あまりない」）人の割合は59.2%となっている。

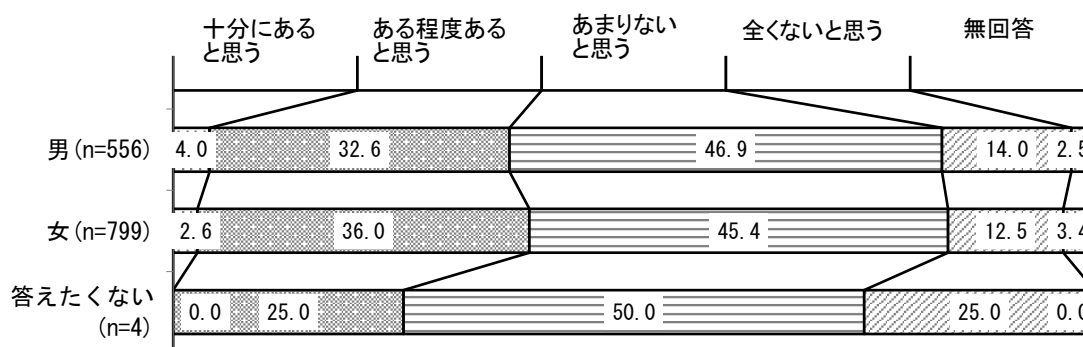
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 十分にあると思う	43	3.2	33	2.5	47	4.2	31	3.3
2 ある程度あると思う	470	34.5	478	36.0	385	34.5	345	36.9
3 あまりないと思う	629	46.1	570	42.9	527	47.2	412	44.1
4 全くないと思う	179	13.1	210	15.8	137	12.3	126	13.5
5 無回答	42	3.1	38	2.9	20	1.8	20	2.1
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

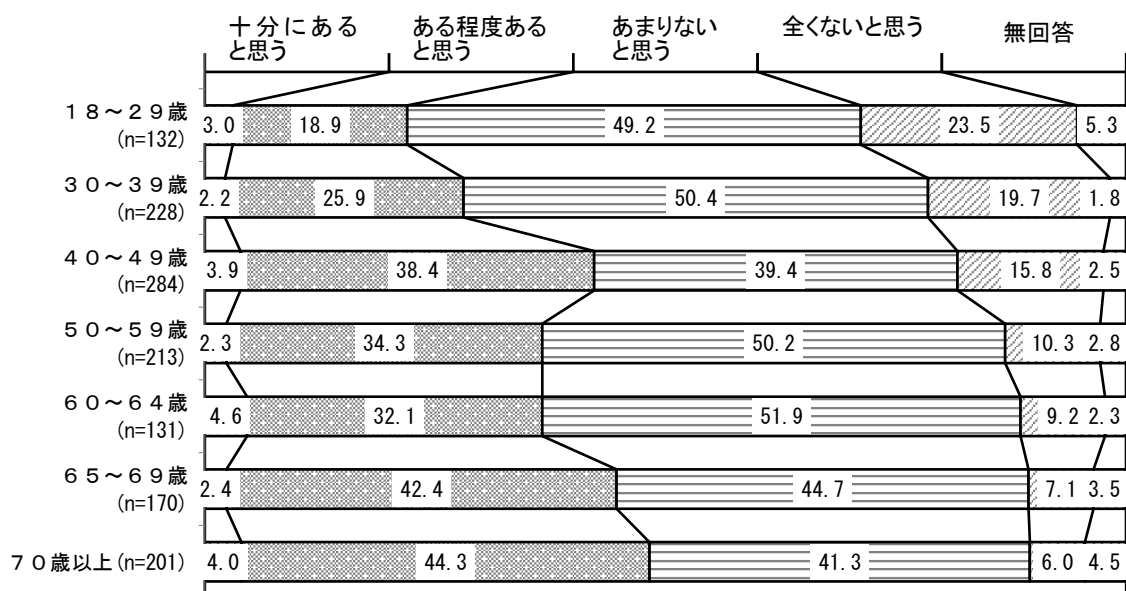
【性別】

- 男女により大きな違いはみられていない。



【年齢別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合は、20代以下から40代までは年代が上がるにつれ高くなっている。また、40代以上ではいずれの年代においても4割を超えており、70歳以上では48.3%となっている。
- 市議会情報を得る機会がない人の割合は、30代以下で約7割と高くなっている。



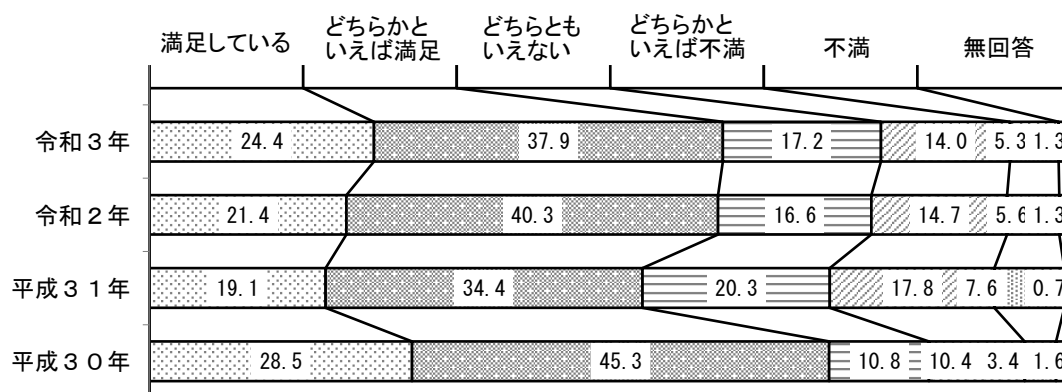
◆買い物事情と土地利用について

1. 買い物利便性について（問64）

合志市において普段の買い物の利便性について満足していますか。

普段の買い物の利便性について満足している（「満足している」＋「どちらかといえば満足」）人の割合は62.3%、不満（「不満」＋「どちらかといえば不満」）とする人の割合は19.3%となっている。

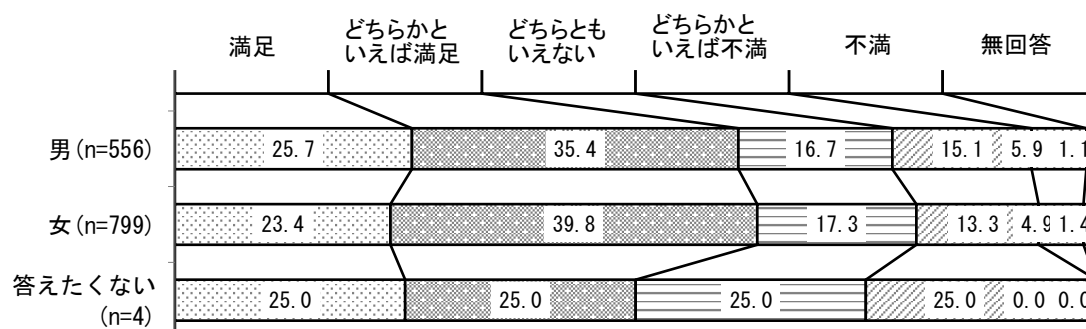
昨年度と比較して大きな違いはみられていない。



	令和3年度		令和2年度		平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 満足している	332	24.4	284	21.4	213	19.1	266	28.5
2 どちらかといえば満足	516	37.9	536	40.3	384	34.4	423	45.3
3 どちらともいえない	234	17.2	221	16.6	227	20.3	101	10.8
4 どちらかといえば不満	191	14.0	196	14.7	199	17.8	97	10.4
5 不満	72	5.3	75	5.6	85	7.6	32	3.4
6 無回答	18	1.3	17	1.3	8	0.7	15	1.6
合計	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0	934	100.0

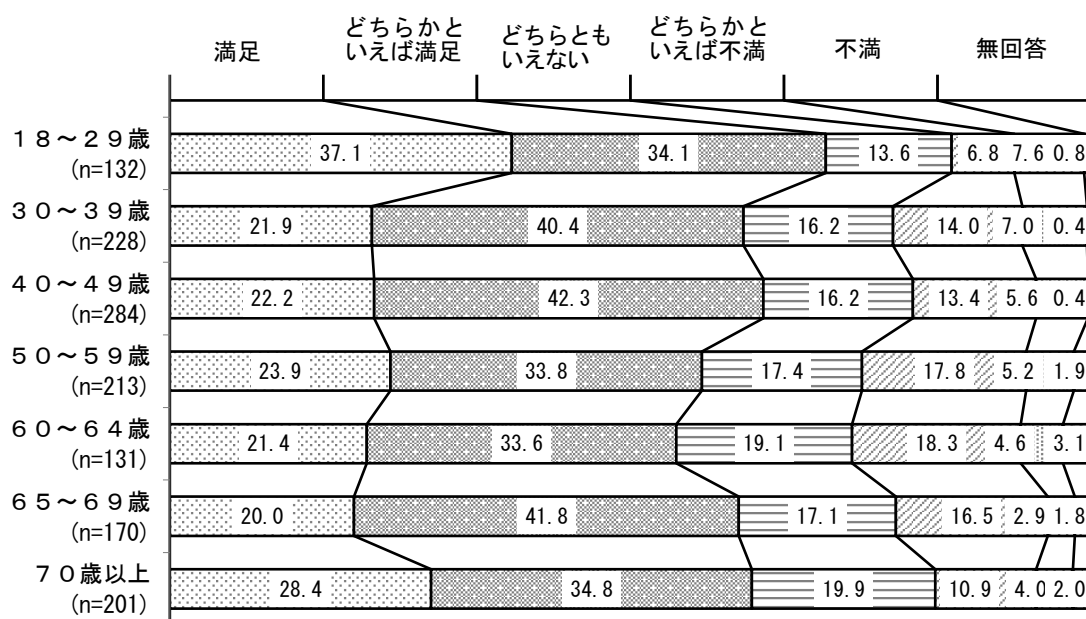
【性別】

●男女で大きな違いはみられていない。



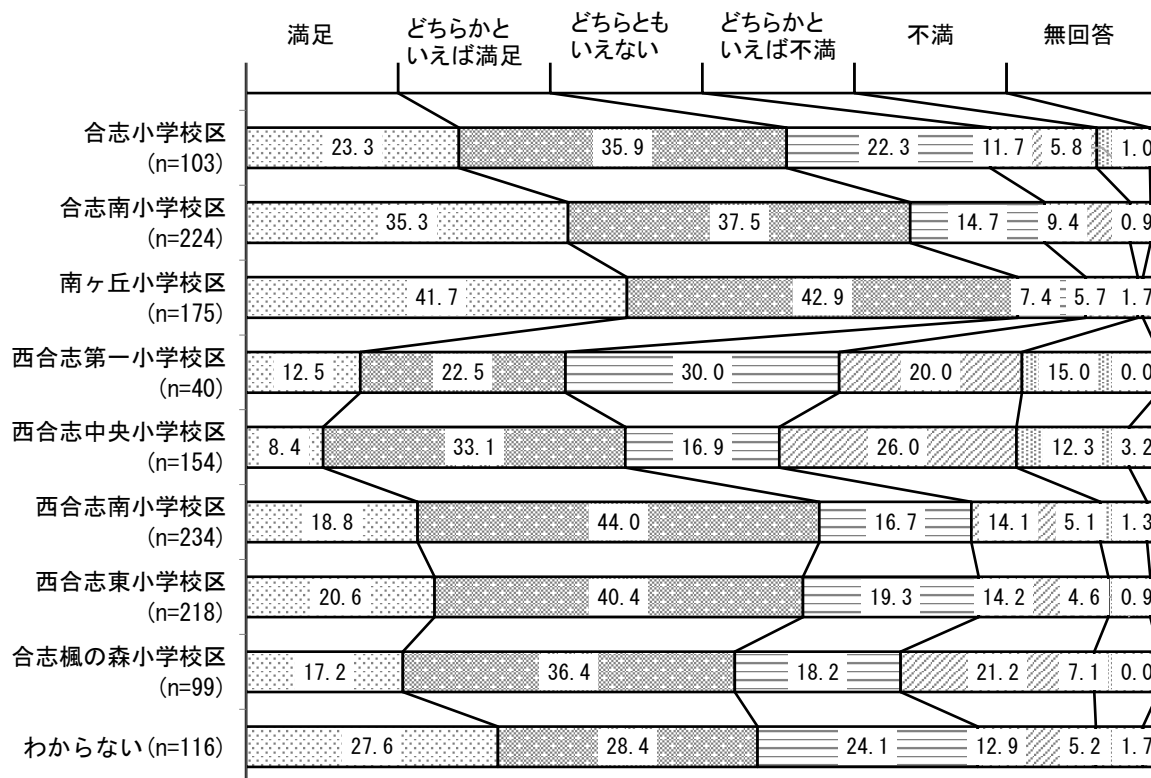
【年齢別】

- 満足している人の割合は、20 代以下で 7 割を超えており、他の年代と比較して高くなっている。
- 昨年度と比較して、満足している人の割合は、20 代以下で 5 ポイント以上増加している。



【校區別】

- 満足している人の割合は、南ヶ丘小で 84.6%と最も高く、合志南小、西合志東小、西合志南小も 6 割を超えている。一方、西合志中央小、西合志第一小では満足している割合は4割前後となっており、不満がほぼ同率となっている。



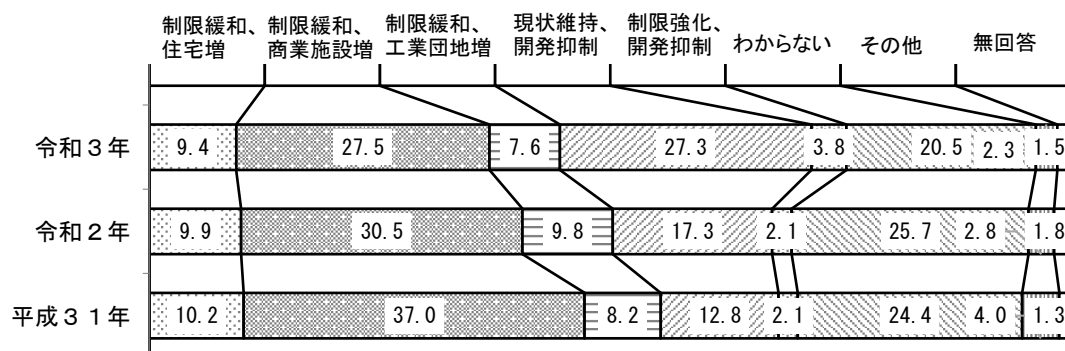
2. 土地利用について（問 6 5）

合志市の南側の住宅からなる市街地を除き、北側に広がる農地や山林を含む古くからの既存集落地域では、原則的に土地利用が制限されています。今後の本市の発展に必要な対策はどのようなものと思われますか。

今後の市の発展のための土地利用対策については、「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が27.5%と最も多く、次いで「現状と同様の制限により、開発を抑制する」が27.3%となっている。

現状の制限を緩和すべきと考える人（「制限を緩和し、住宅を増やす」＋「制限を緩和し、商業施設を増やす」＋「制限を緩和し工業団地を増やす」）は44.5%となっており、現状の制限を維持すべきと考える人は27.3%、制限を強化すべきと考える人は3.8%となっている。

昨年度と比較して、制限を緩和すべきと考える人の割合は5.7ポイント減少、現状の制限を維持すべきと考える人の割合は10.0ポイント増加している。



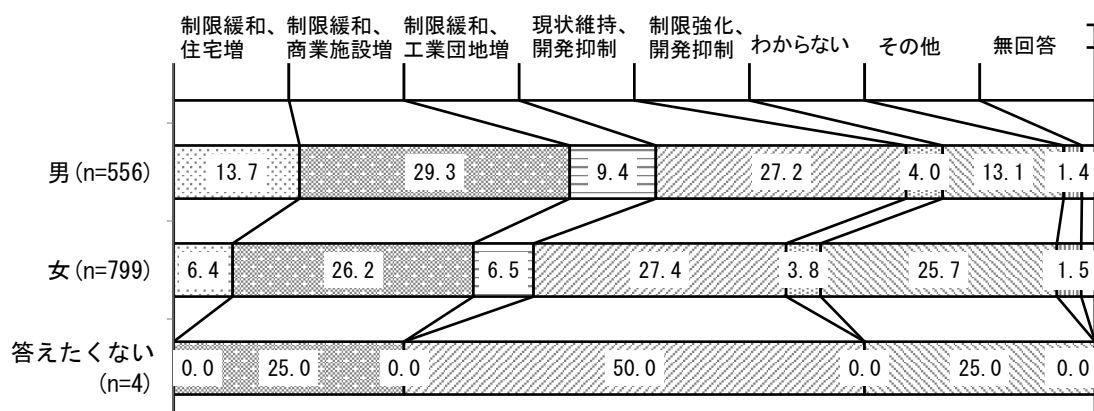
	令和3年度		令和2年度	
	人	%	人	%
1 制限緩和、開発誘導し住宅を増やす	128	9.4	132	9.9
2 制限緩和、開発誘導し商業施設を増やす	375	27.5	406	30.5
3 制限緩和、開発誘導し工業団地を増やす	104	7.6	130	9.8
4 現状の制限にて、開発抑制し農地や山林を守る	372	27.3	230	17.3
5 制限強化、開発抑制し農地や山林を守る	52	3.8	28	2.1
6 わからない	280	20.5	342	25.7
7 その他	32	2.3	37	2.8
8 無回答	20	1.5	24	1.8
合計	1363	100.0	1329	100.0

＜その他＞

- 将来の人口減少と区域拡大のバランスを取る必要がある。電気、ガス、水道の整備にもお金がかかります。コンパクトCityにしないと、夕張の様に財政難になります。将来、一軒家のために整備にお金をかける様なことにならないように。
- 市外からも来てもらえる大型商業施設を作る。
- 制限を見直し、積極的に開発を誘導し、農地や森林を活用できる仕組み作り。
- 開発をするのなら、インフラが整っていない。道路の渋滞、小中学校の定員不足等追いつくのか。そこがクリアになるなら良いのでは。
- 制限は緩和し、次の段階はまた考える。
- キャンプ場。テニスコート・運動公園のような器具のある公園。市民は安く利用できるようにして欲しい。
- インターを利用した農業生産物発送の利用を促進して、全国へもっと売り出して欲しい。
- 総合病院があると嬉しいです。
- 全部。
- お互い良い形で話し合ってほしい。
- 車の運転が出来ないと困る環境（近くにスーパーやコンビニ）等がないので父母の老後が心配。
- 世界的なものならいいと思う。
- 自然を生かした大規模な公園やイベント、子供やペットと遊べる広い敷地。
- 「1つ選び」という点がおかしい。
- 市民にもう少し情報公開を。

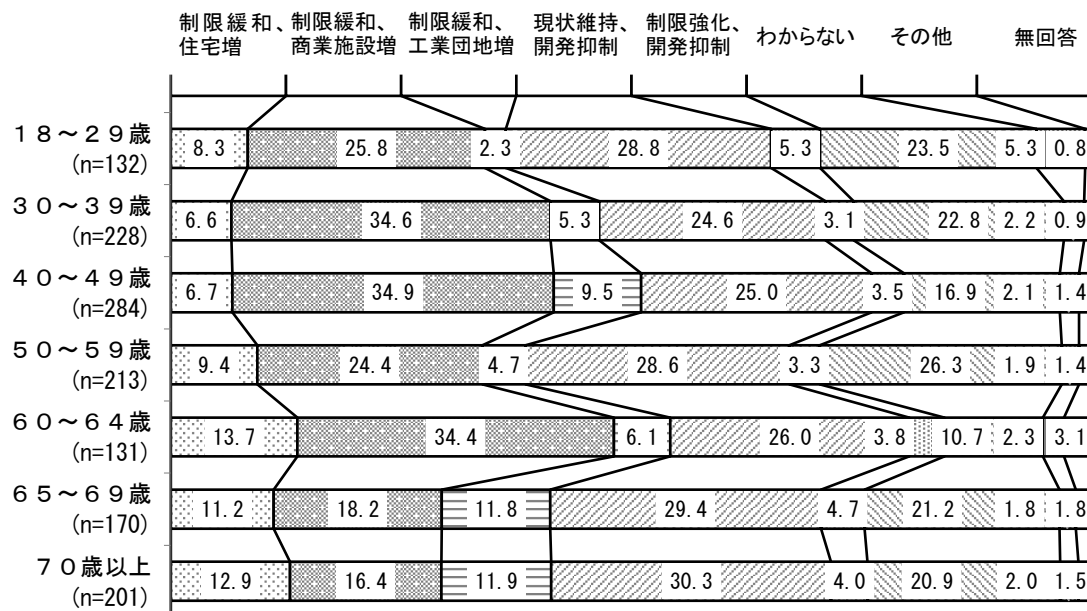
【性別】

- 男女ともに「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」、「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農地や山林を守る」がそれぞれ約3割となっている。
- 制限を緩和すべきと考える人の割合は、男性 52.4%、女性 39.1%と男性が女性を上回っている。
- 「わからない」の割合において、女性が男性を10ポイント以上上回っている。



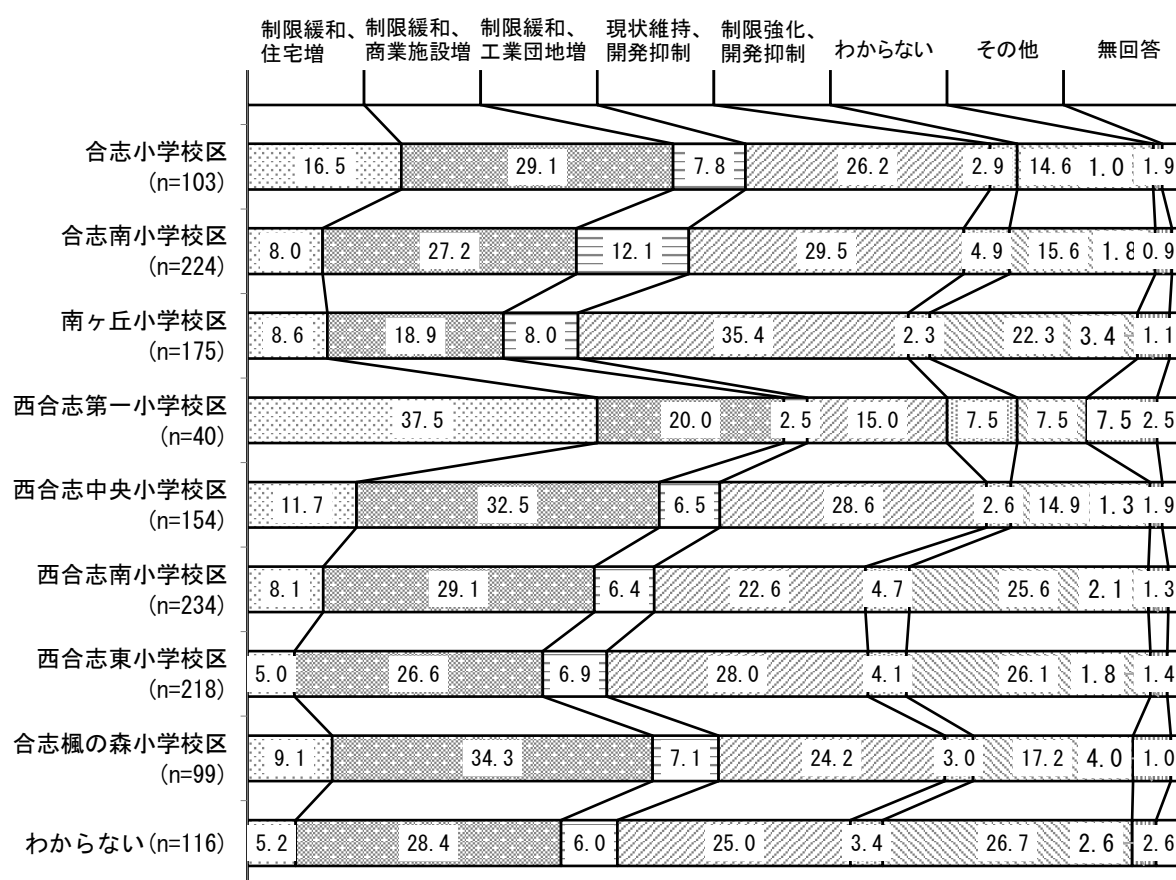
【年齢別】

- 60 代前半以下では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が2～3割、65 台後半以上では「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農地や山林を守る」が3割前後となっている。



【校区】

- 西合志中央小、合志風の森小では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が3割を超えている。
- 西合志第一小は「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、住宅を増やす」が 37.5%と他の校区と比較して高くなっている。
- 合志南小、南ヶ丘小、西合志中央小、西合志東小では「現状と同様の制限により、開発を抑制する」が3割前後と他の校区と比較して多くあげられている。



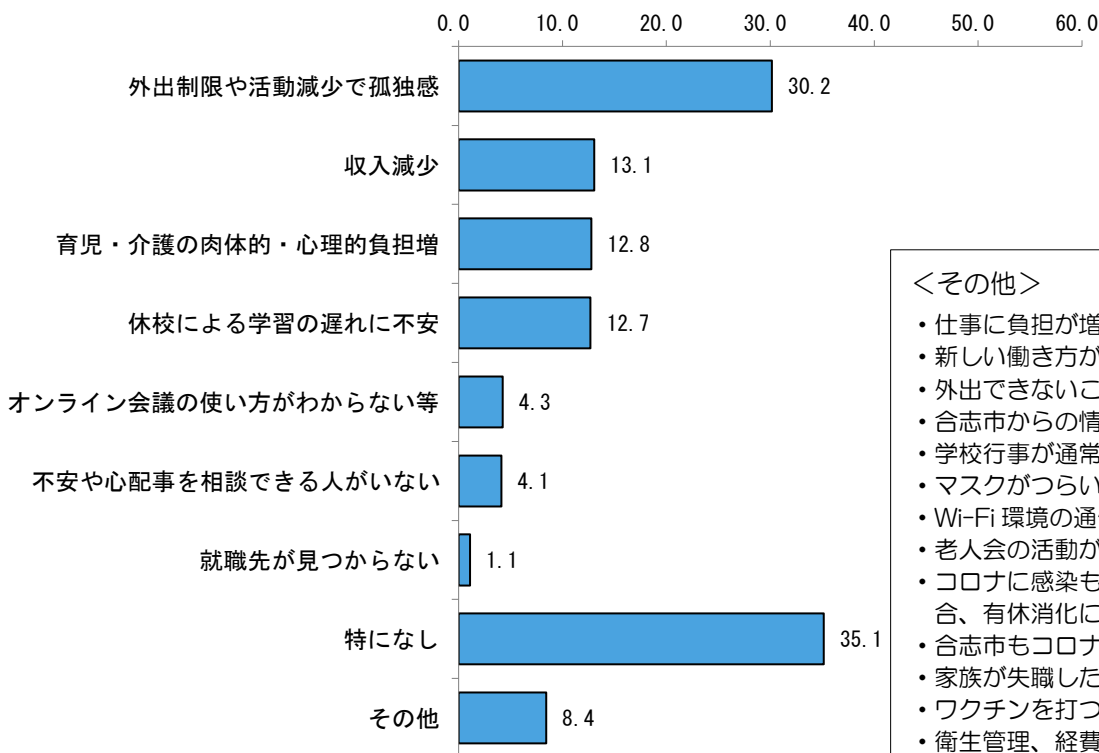
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

◆新型コロナウイルス感染症について

(1) コロナ禍において困っていること（問66）

コロナ禍において困っていることはありますか。

コロナ禍における困りごとについては、「特になし」が35.1%と最も多く、次いで「外出制限や活動減少で孤独感」が30.2%となっている。



<その他>

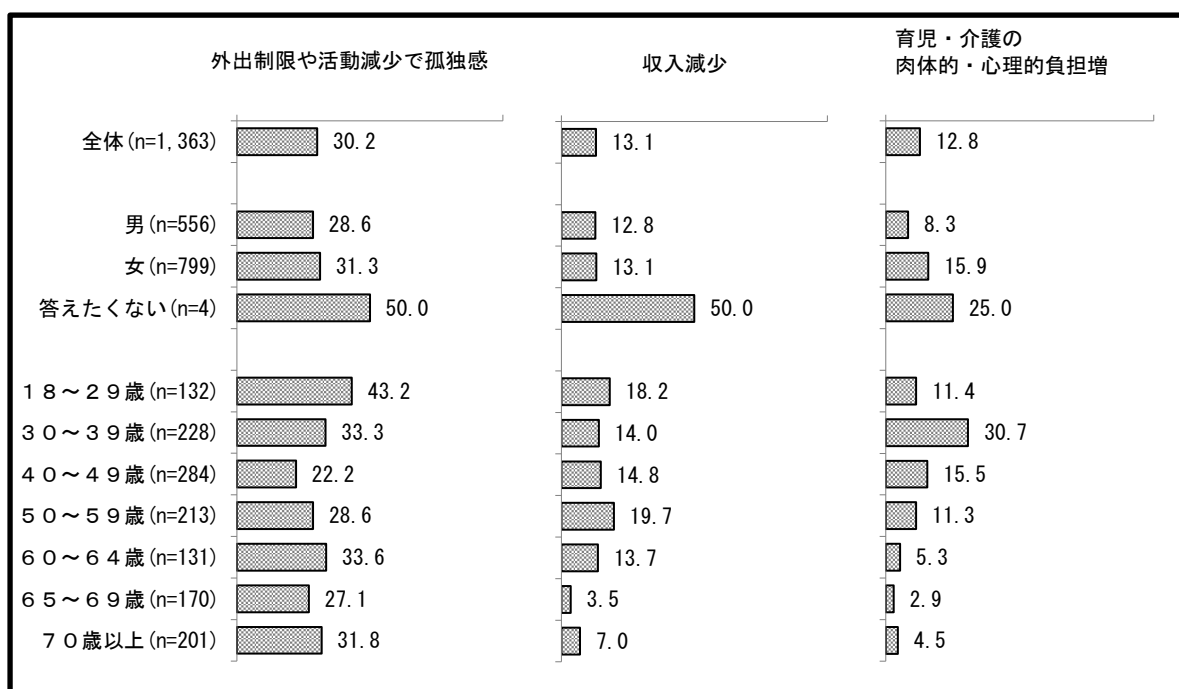
- ・仕事に負担が増えた(6)
- ・新しい働き方が実現できて良い
- ・外出できないことによるストレス(44)
- ・合志市からの情報がない(3)
- ・学校行事が通常通り行われない(8)
- ・マスクがづらい(3)
- ・Wi-Fi 環境の通信料が高い
- ・老人会の活動が減少
- ・コロナに感染もしくは濃厚接触者になった場合、有休消化になるから
- ・合志市もコロナが多い
- ・家族が失職した(4)
- ・ワクチンを打つのに時間がかかっている(4)
- ・衛生管理、経費が増加した
- ・気力がなくなる
- ・早く以前の生活に戻って欲しい
- ・病院の面会ができない(家族)
- ・公民館などの施設が使えなくなり運動する機会が減った(2)
- ・リモートワークと出社が交互にあり業務が進まない
- ・未だに近所でもノーマスクで、近距離で話す人がいる。
- ・同僚のお子さんの学校が休校になること
- ・税金の無駄使い
- ・感染リスクの不安(18)

【性別】

- 「育児・介護の肉体的・心理的負担増」において、女性が男性より 5 ポイント以上高くなっている。

【年齢別】

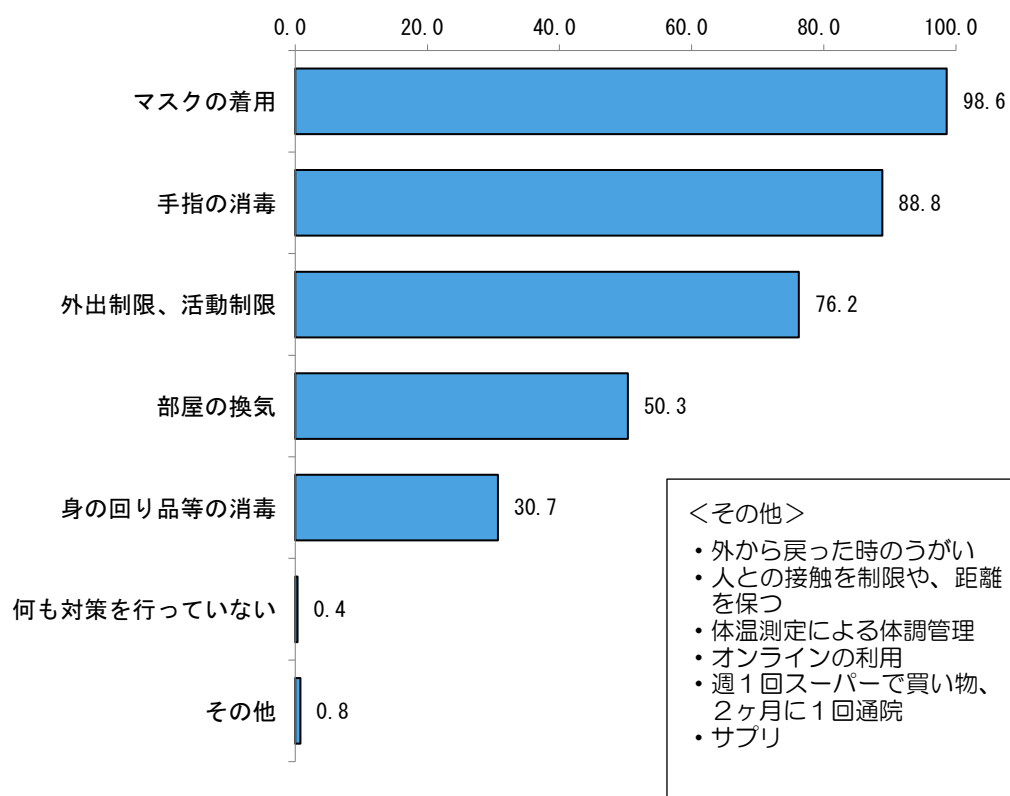
- 20 代以下においては「外出制限や活動減少での孤独感」が4割を超え、30 代においては「育児・介護の肉体的・心理的負担増」が約 3 割と他の年代に比べ多くなっている。



(2) コロナウイルス感染予防対策（問67）

あなたは、どのような新型コロナウイルスの感染防止対策を行っていますか。

新型コロナウイルスの感染予防策については、「マスクの着用」が98.6%と最も多く、次いで「手指の消毒」が88.8%、「外出制限、活動制限」が76.2%となっている。

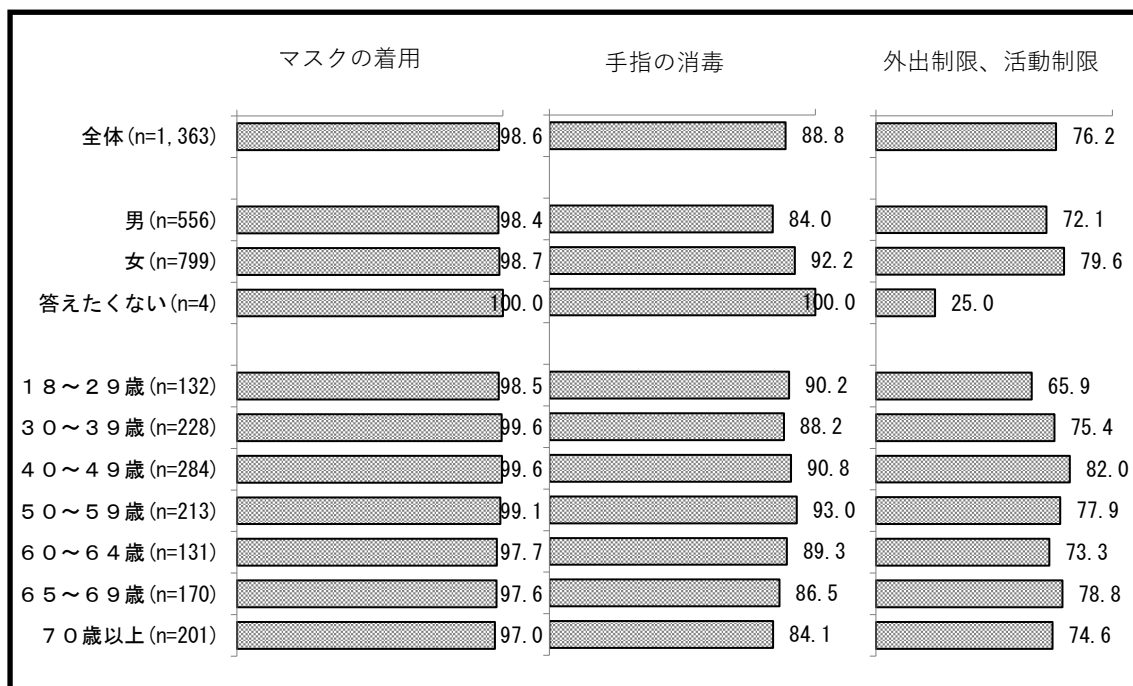


【性別】

- 「手指の消毒」において、女性が男性より5ポイント以上高くなっている。

【年齢別】

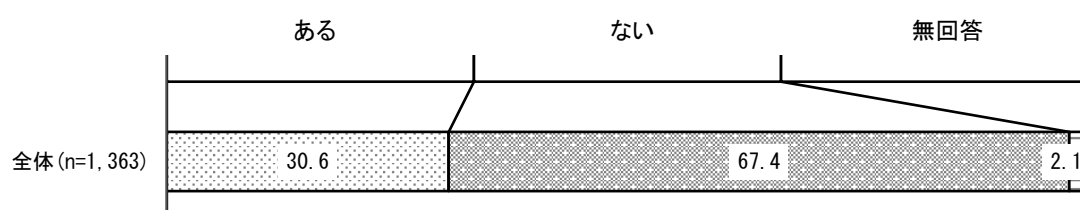
- 「外出制限、活動制限」においては最も高い40代では82.0%、最も低い20代以下では65.9%になっている。



(3) コロナウイルスに関する不当差別や誹謗中傷、いじめ（問68）

あなたは、新型コロナウイルスに関連して、感染者（感染の疑いがある人）、医療従事者、県外からの帰省者、帰国者、外国人（いずれもその家族や同じ職場、学校など身近な人を含む）への不当な差別や誹謗中傷、いじめなどを見聞きしたことがありますか。

新型コロナウイルスに関連する不当差別等を見聞きした経験については、「ある」が30.6%、「ない」が67.4%となっている。

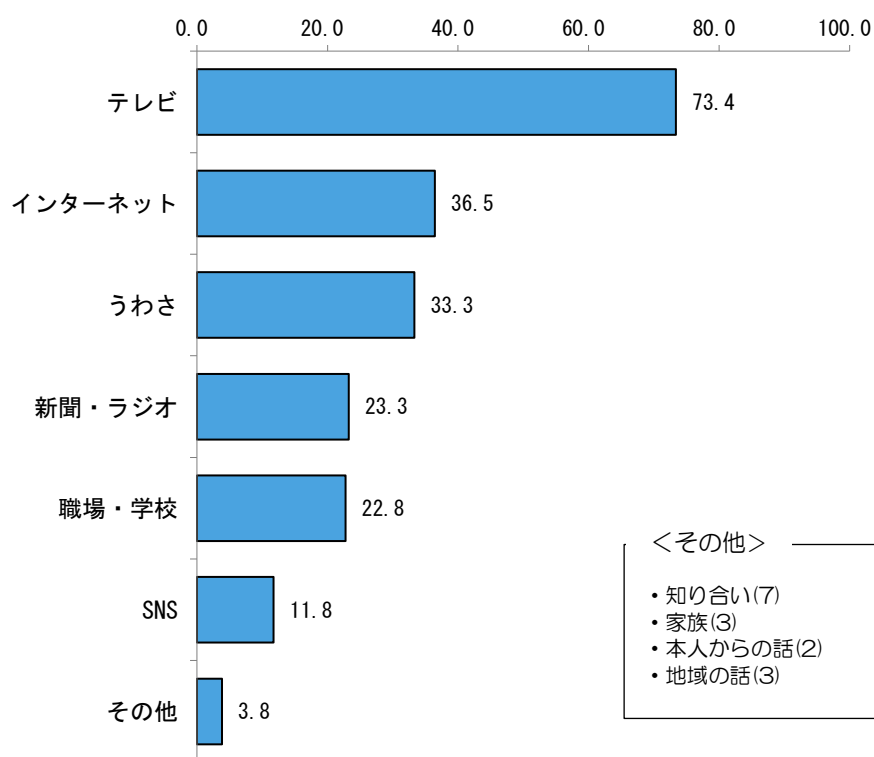


(4) どこで見聞きしたか (問69)

問68で「1. ある」と答えた方にお尋ねします。

それはどこで見聞きしましたか。

新型コロナウイルスに関連する不当差別等を見聞きした経験のある417人について、見聞きした媒体等について尋ねたところ、「テレビ」が73.4%と最も多く、次いで「インターネット」が36.5%、「うわさ」が33.3%となっている。

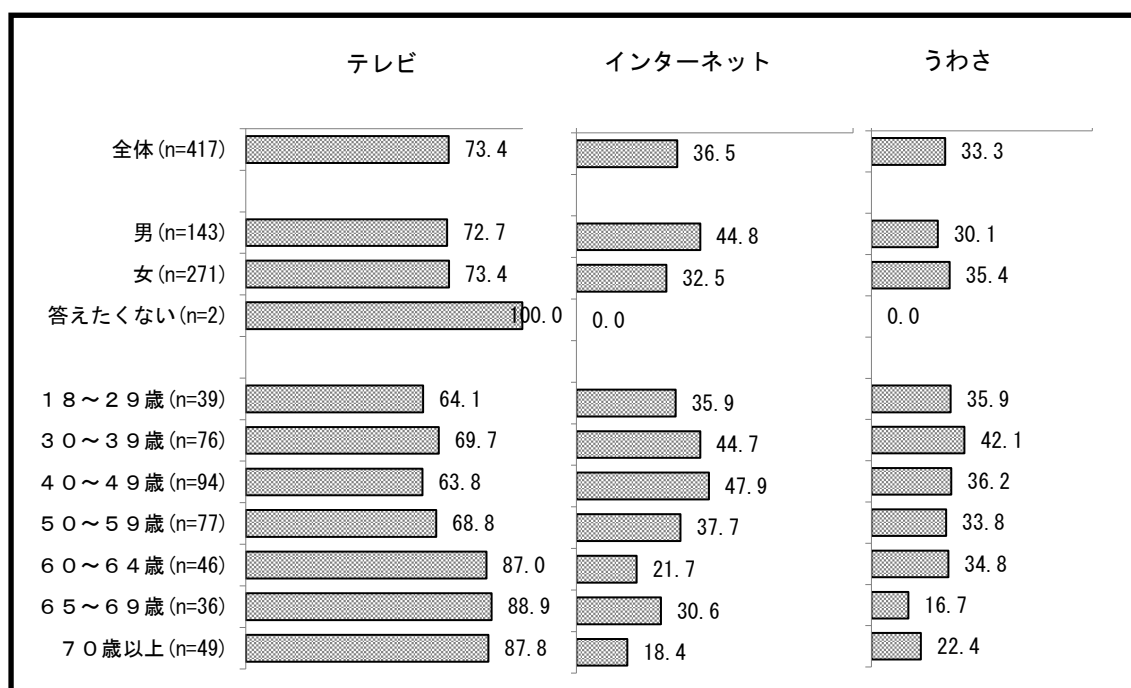


【性別】

- 「インターネット」において、男性が女性より 10 ポイント以上高くなっている。

【年齢別】

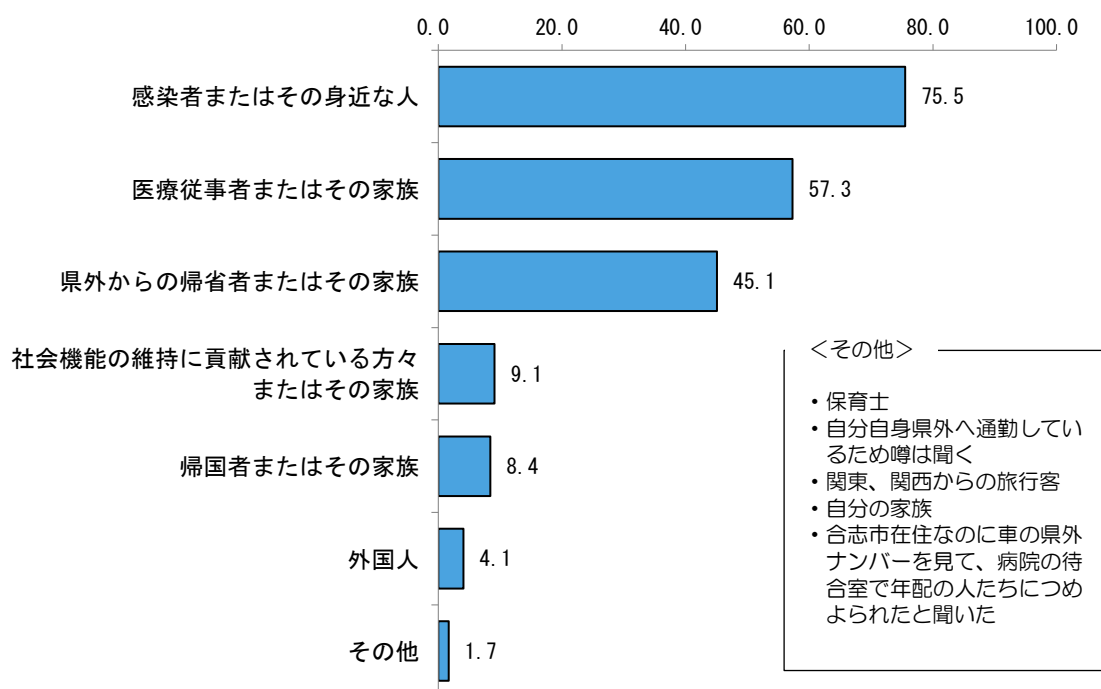
- 「テレビ」は 60 代前半以上の比較的高齢の世代で多くなっており、「インターネット」は 50 代以下の比較的若い世代で多くなっている。



(5) 誰に対する人権侵害か (問70)

それは誰に対する人権侵害でしたか。

人権侵害の対象者については、「感染者またはその身近な人」が75.5%と最も多く、次いで「医療従事者またはその家族」が57.3%、「県外からの帰省者またはその家族」が45.1%となっている。



【性別】

- 男女による大きな違いはみられていない。

【年齢別】

- 20 代以下を除き、「感染者またはその身近な人」は年代が下がるにつれ多く、「医療従事者またはその家族」は年代が上がるにつれ多くなっている。また、「県外からの帰省者またはその家族」は年代が下がるにつれ多くなっている。

